

首都圏中央連絡自動車道
戸田高架橋耐震補強工事

設 計 図

【戸田高架橋】

令和8年9月

東日本高速道路株式会社
関東支社市原管理事務所

図 面 目 次

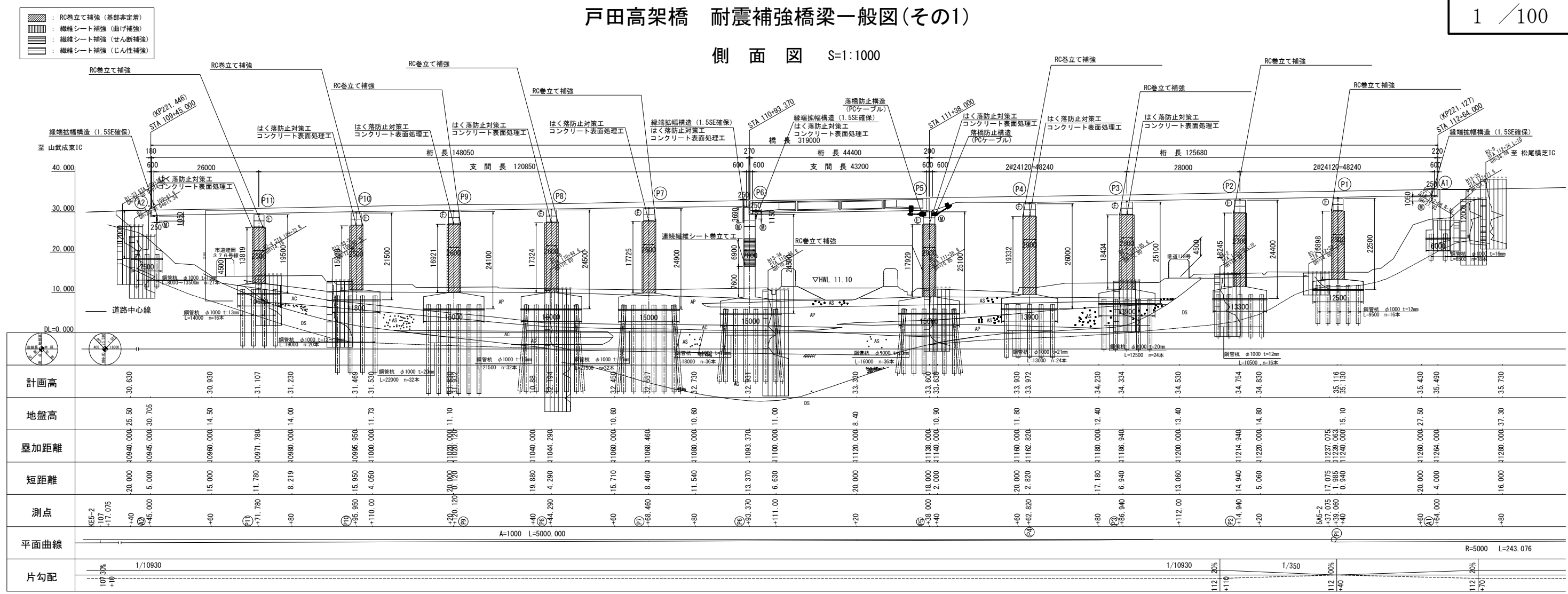
図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1 . 戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 1 ～ 4	31 . 戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2構造図(その1)(参考図)	・ ・ ・ ・ 62
2 . 戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 5	32 . 戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2構造図(その2～3)	・ ・ ・ ・ 63 ～ 64
3 . 戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 6 ～ 9	33 . 戸田高架橋 下部工施工要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 65
4 . 戸田高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 10	34 . 戸田高架橋 上部工施工要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 66
5 . 戸田高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 11 ～ 13	35 . 戸田高架橋 コンクリート打設要領図(参考図)	・ ・ ・ ・ 67
6 . 戸田高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 14	36 . 戸田高架橋 P1橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 68
7 . 戸田高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 15 ～ 18	37 . 戸田高架橋 P2橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 69
8 . 戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 19	38 . 戸田高架橋 P3橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 70
9 . 戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 20 ～ 22	39 . 戸田高架橋 P4橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 71
10 . 戸田高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 23	40 . 戸田高架橋 P5橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 72
11 . 戸田高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～3)	・ ・ ・ ・ 24 ～ 26	41 . 戸田高架橋 P7橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 73
12 . 戸田高架橋 P6橋脚 炭素繊維巻立て補強詳細図	・ ・ ・ ・ 27	42 . 戸田高架橋 P8橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 74
13 . 戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 28	43 . 戸田高架橋 P9橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 75
14 . 戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 29 ～ 32	44 . 戸田高架橋 P10橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 76
15 . 戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 33	45 . 戸田高架橋 P11橋脚 構造物掘削図	・ ・ ・ ・ 77
16 . 戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 34 ～ 37	46 . 戸田高架橋 P1橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 78
17 . 戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 38	47 . 戸田高架橋 P2橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 79
18 . 戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 39 ～ 42	48 . 戸田高架橋 P3橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 80
19 . 戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 43	49 . 戸田高架橋 P4橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 81
20 . 戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 44 ～ 47	50 . 戸田高架橋 P5橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 82
21 . 戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強一般図	・ ・ ・ ・ 48	51 . 戸田高架橋 P6橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 83
22 . 戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1～4)	・ ・ ・ ・ 49 ～ 52	52 . 戸田高架橋 P7橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 84
23 . 戸田高架橋 A1橋台 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 53	53 . 戸田高架橋 P8橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 85
24 . 戸田高架橋 P6(起)橋脚 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 54	54 . 戸田高架橋 P9橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 86
25 . 戸田高架橋 P6(終)橋脚 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 55	55 . 戸田高架橋 P10橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 87
26 . 戸田高架橋 A2橋台 縁端拡幅工B詳細図	・ ・ ・ ・ 56	56 . 戸田高架橋 P11橋脚 足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 88
27 . 戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1配置図	・ ・ ・ ・ 57	57 . 戸田高架橋 A1橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 89
28 . 戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1構造図(その1)(参考図)	・ ・ ・ ・ 58	58 . 戸田高架橋 P5橋脚 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 90
29 . 戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1構造図(その2～3)	・ ・ ・ ・ 59 ～ 60	59 . 戸田高架橋 P6橋脚 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 91
30 . 戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2配置図	・ ・ ・ ・ 61	60 . 戸田高架橋 A2橋台 上部工施工用足場工図(参考図)	・ ・ ・ ・ 92

図 面 目 次

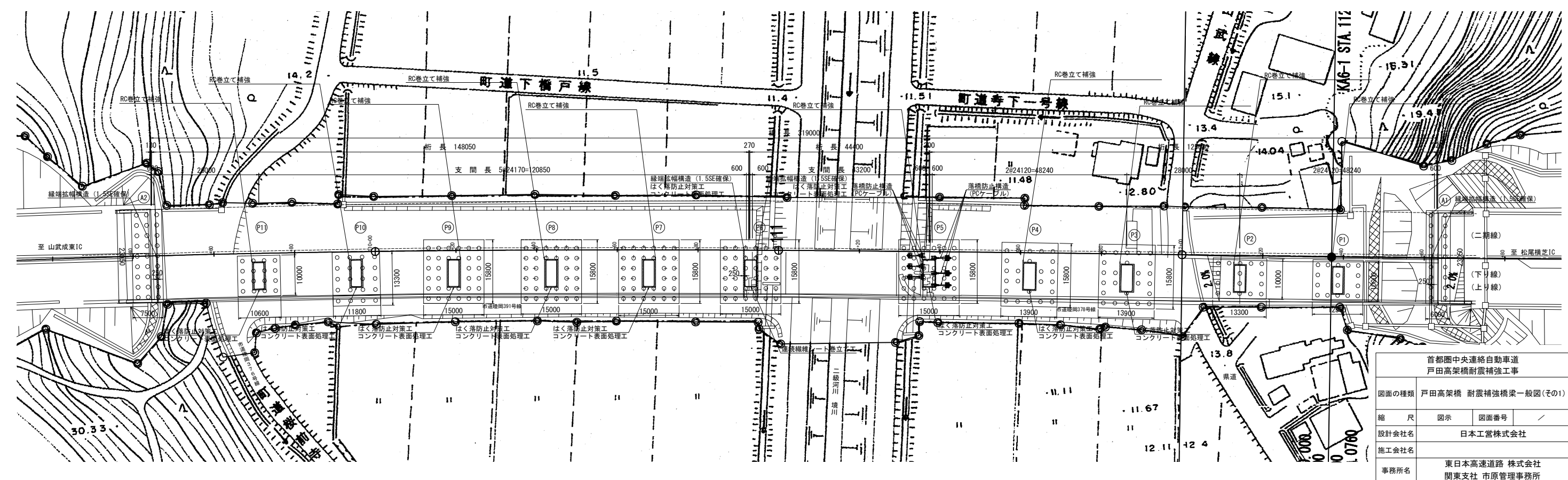
図 面 名	図 番
61 . 戸田高架橋 交通保安要員配置図(参考図)	 93
62 . 戸田高架橋 P4橋脚 補修図	 94
63 . 戸田高架橋 P5橋脚 補修図	 95
64 . 戸田高架橋 P6橋脚 補修図	 96
65 . 戸田高架橋 P7橋脚 補修図	 97
66 . 戸田高架橋 P9橋脚 補修図	 98
67 . 戸田高架橋 P10橋脚 補修図	 99
68 . 戸田高架橋 P11橋脚 補修図	 100

戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1)

側面図 S=1:1000

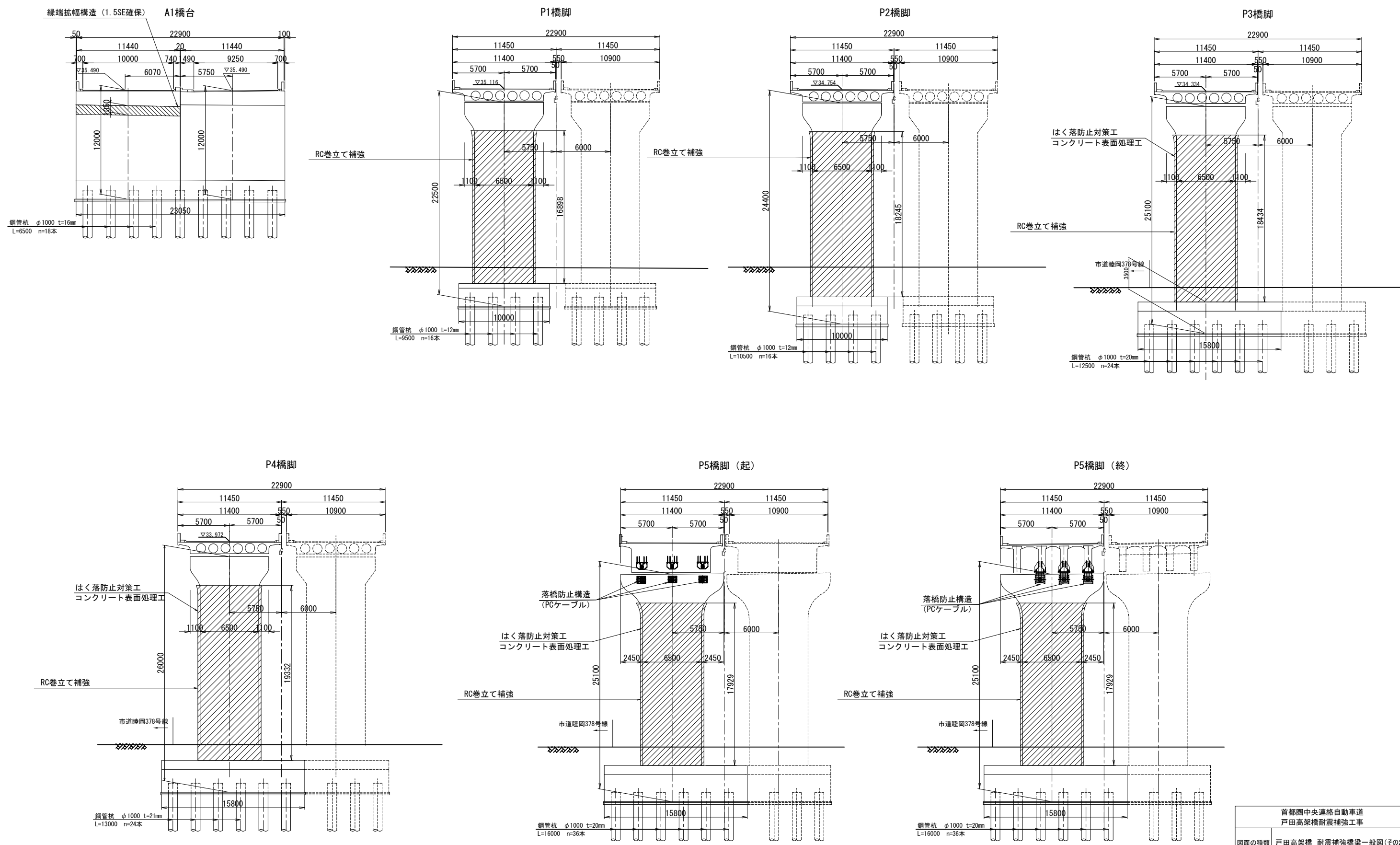


平面図 S=1:1000



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強橋梁一般図(その1)			
図面の種類	戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その1)	縮尺	図示 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社	施工会社名	東日本高速道路 株式会社
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

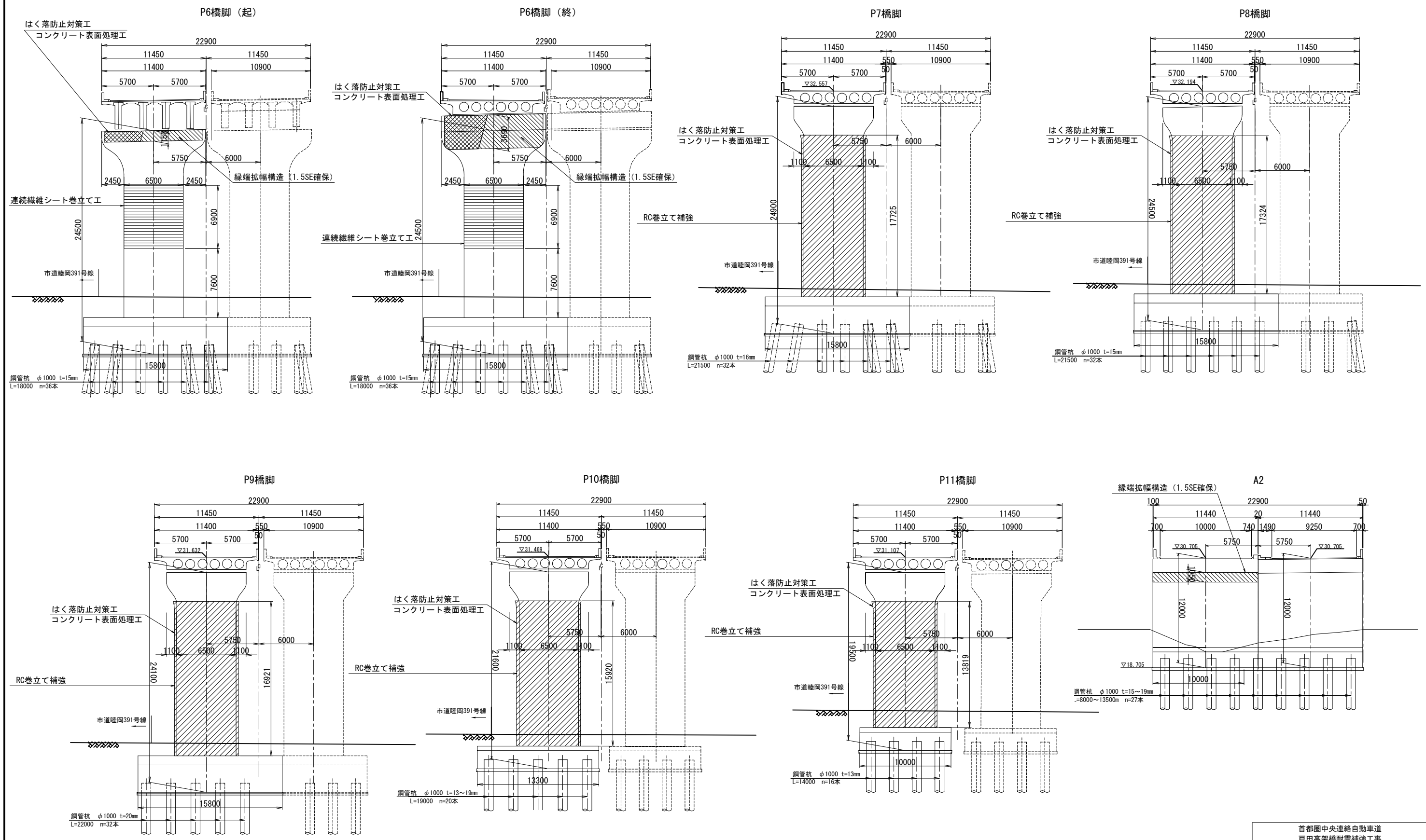
正面図 S=1 : 400



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

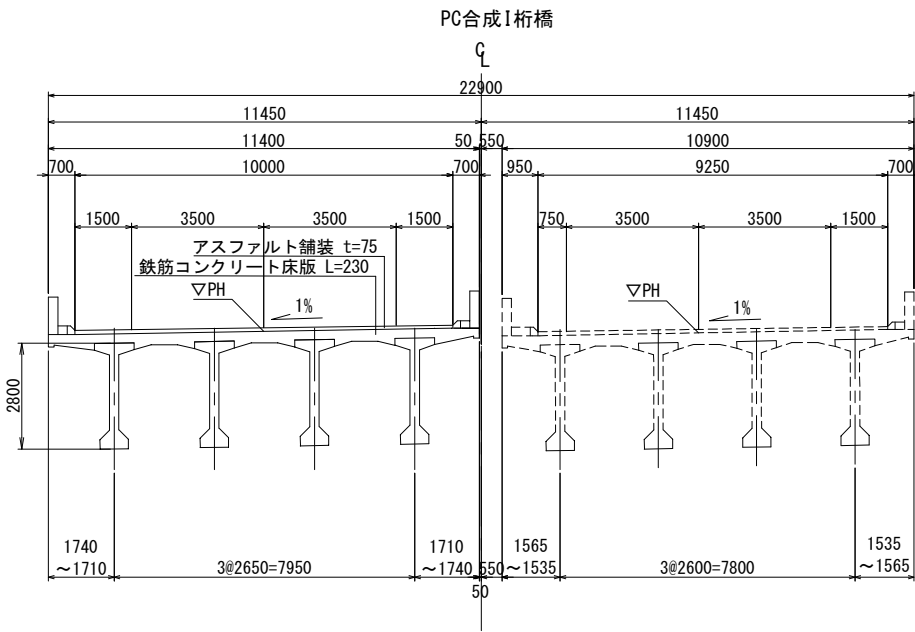
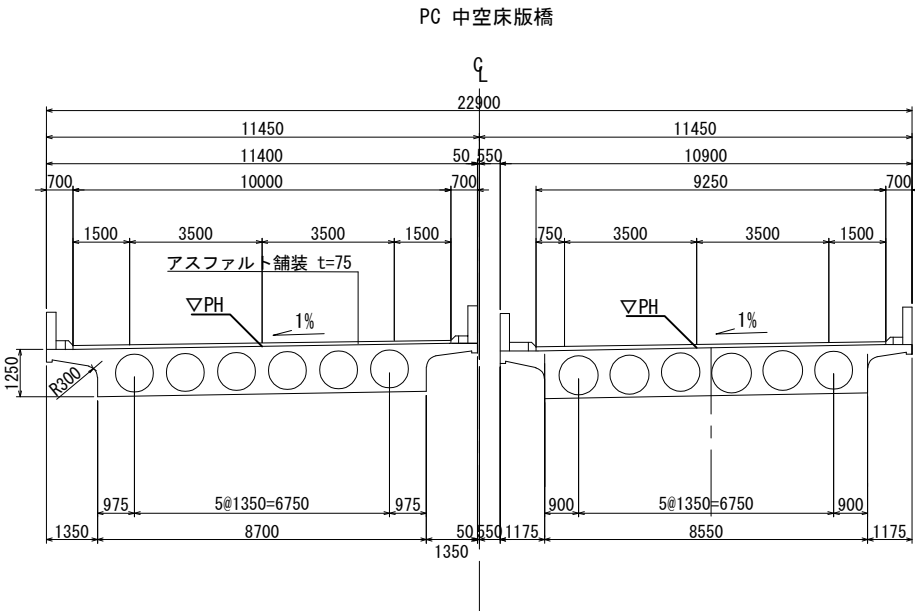
戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)

正面図 S=1:400



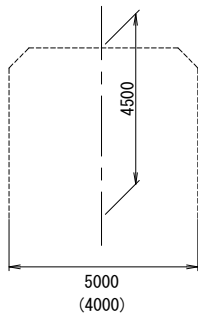
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

標準横断図 S=1：200



交差道路 S=1：200

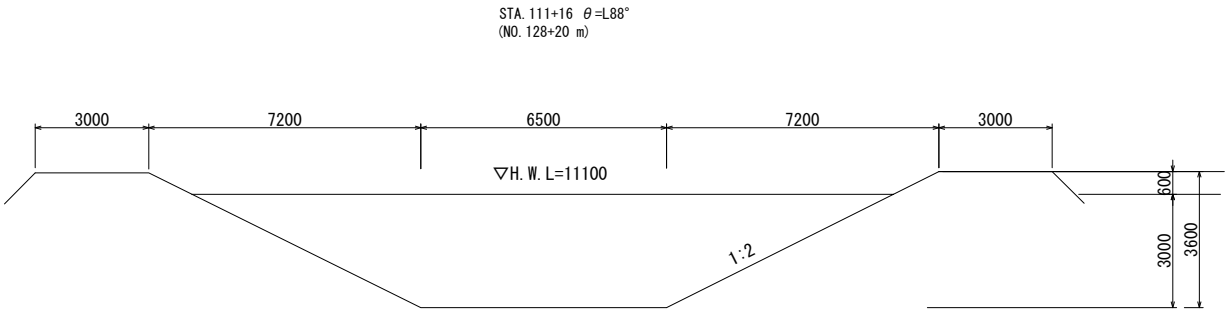
県道成東・山武線
(町道桜前・寺下線)



建設時設計条件			
橋長	319.000m		
桁長	148.050+44.400+125.680m		
道路規格	第1種2級B規格		
荷重	TL-20, TT-43		
型式	6径間連続PC中空床版橋 +PC単純合成桁橋+5径間連続PC中空床版橋		
支間	26.000m+5@24.170m+43.200m +2@24.120+28.000+2@24.120		
有効幅員	10.000m	斜角	90° -00' -00"
横断勾配	2.564 % ~ 1.600 %		
縦断勾配	1.500 %		
地震係数	水平震度 KH=0.30	鉛直震度 KV=0.00	
床版コンクリート	圧縮強度 σ_{ck} =350.0kg/cm ²		
床版鉄筋	材質 SD345 許容引張応力度 σ_{sa} = 1400kg/cm ²		
適用示方書	平成6年2月 道路橋示方書同解説 平成2年7月 日本道路公団 設計要領 第2集		

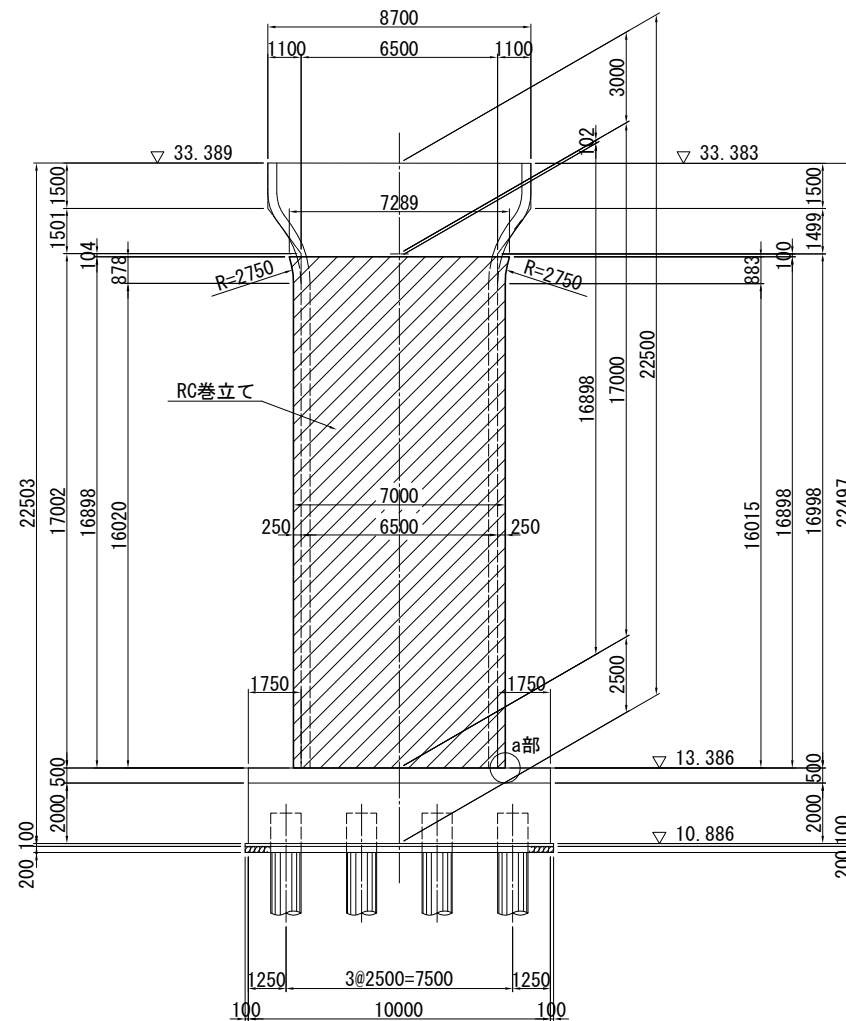
設計条件表（補強設計時）			
設計年次	令和8年4月		
橋 長	319.000m	桁 長	148.050m+44.40m+125.680m
道路規格	第1種2級B規格	設計速度	V= 100km/h
荷 重	TL-20,TT-43		
補強形式	上部工	---	
	下部工	RC巻き立て補強、炭素繊維巻き立て補強	
	基礎工	---	
支 間	26.000m + 5@24.170m + 43.200m + 2@24.120 + 28.000 + 2@24.120		
有効幅員	10.000m		
幅員構成	1.500m + 3.500m + 3.500m + 1.500m		
斜 角	90° -00' -00"		
横断勾配	1.600% ～ 2.564%	縦断勾配	1.500%
架設工法	---		
舗 装	アスファルト舗装 t = 80mm		
床 版	単純PC合成桁部：RC床版 t=230mm		
壁高欄	RC壁高欄		
添加物	---		
使用材料	上 部 工	鋼 材	---
		コンクリート	---
		鉄 筋	---
		PC鋼材	---
	下 部 工	連続繊維シート	炭素繊維シート；引張強度3400N/mm2
		コンクリート	σ_{ck} =30N/mm2
		鉄 筋	SD345
	基 礎 工	鋼 材	---
コンクリート		---	
	鉄 筋	---	
重要度区分	B種		
地域区分	レベル1	A2地域(Cz=1.0)	
	レベル2	タイプⅠ	A2地域(CⅠz=1.00)
		タイプⅡ	A2地域(CⅡz=1.00)
地盤種別	AⅠ：Ⅱ種地盤、PⅠ：Ⅰ種地盤、P2～P5：Ⅱ種地盤、P6～9：Ⅲ種地盤、P10～A2：Ⅱ種地盤		
支承条件	形 式	AⅠ～A2：積層ゴム支承	
	橋軸方向	P1～P4,P5終,P7～P11：分散、A1,P5起,P6,A2：可動	
	直角方向(レベル1)	全支点：固定	
	直角方向(レベル2)	全支点：固定	
橋脚柱補強	RC巻き立て補強	P1～P5、P7～P11	
	炭素繊維巻立て補強	P6	
落橋防止システム	落橋防止構造	PCケーブル	P5起、P5終:H=PLG
	横変位拘束構造	---	
	縁端拉幅	RC縁端拉幅	A1、P6起、P6終、A2:1.5SE確保
固有周期 ※各連毎に記載する	レベル1	---	
	レベル2(タイプⅠ)	AⅠ-P5：1.393s、P5-P6：1.985s、P6-A2：1.458s	
	レベル2(タイプⅡ)	AⅠ-P5：1.393s、P5-P6：1.985s、P6-A2：1.458s	
耐震性能	レベル1	---	
	レベル2	耐震性能2 主たる塑性化を考慮する部位：橋脚柱基部	
設計水平震度	レベル1	---	
	レベル2(タイプⅠ)	動的照査法を適用	
	レベル2(タイプⅡ)	動的照査法を適用	
適用基準等	道路橋示方書・同解説(平成24年3月)		
	道路橋示方書・同解説(平成14年3月)		
	設計要領第二集 橋梁保全編（東日本高速道路株式会社：令和6年7月）		

境川河川計画断面図 S=1：200

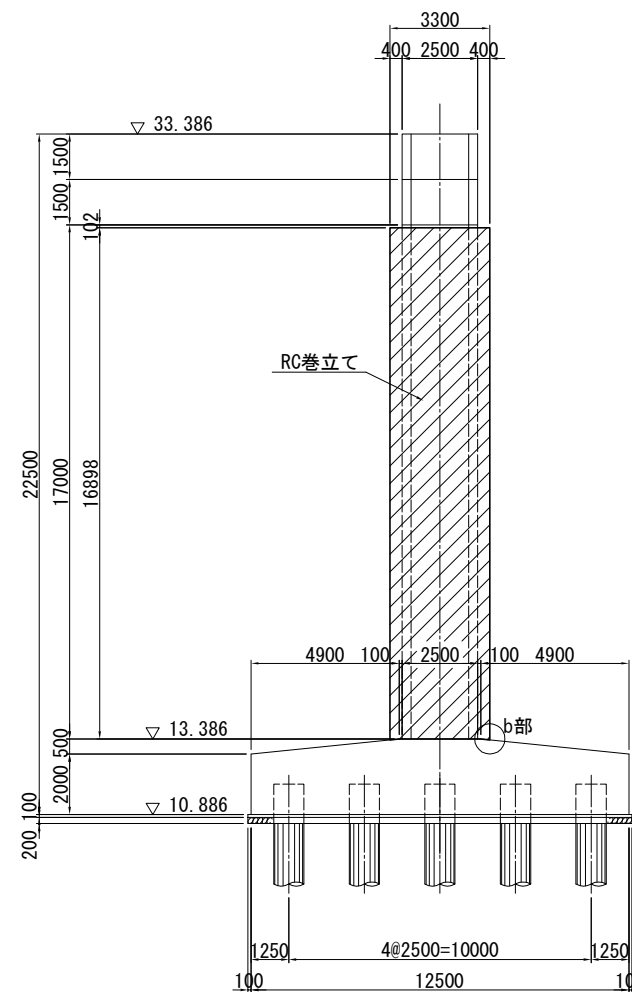


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 耐震補強橋梁一般図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

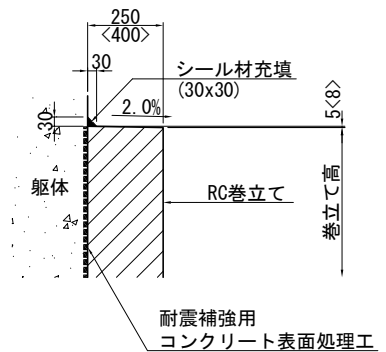


側面図

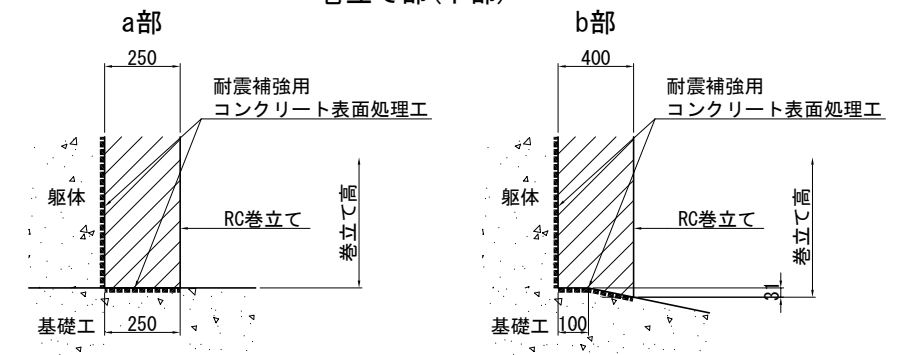


巻立て部詳細図 S=1:25

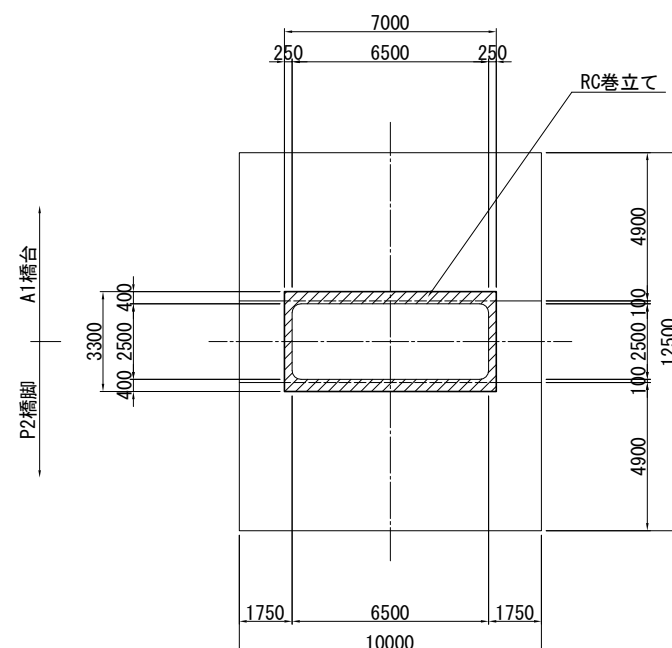
卷立て部(上部)



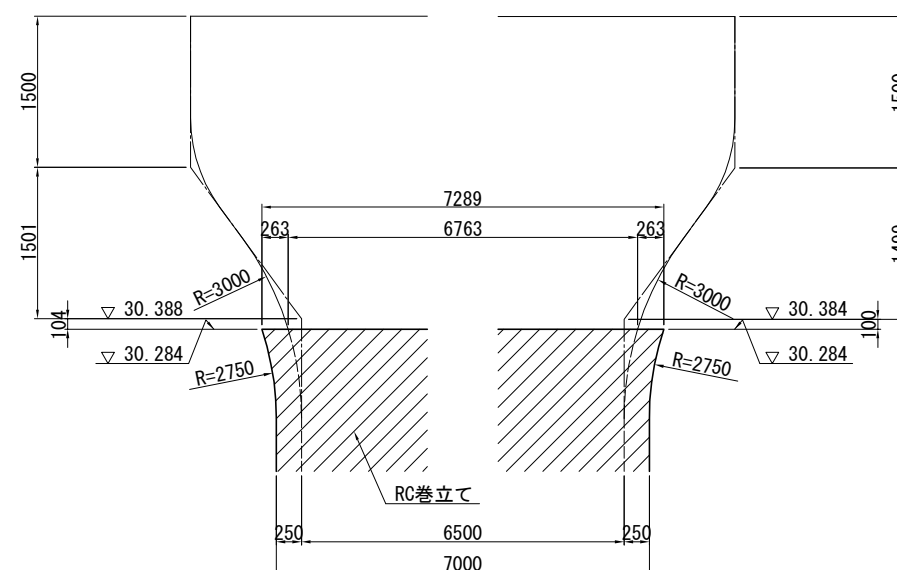
卷立て部(下部)



平面图



卷立て部天端拡大図 S=1:75

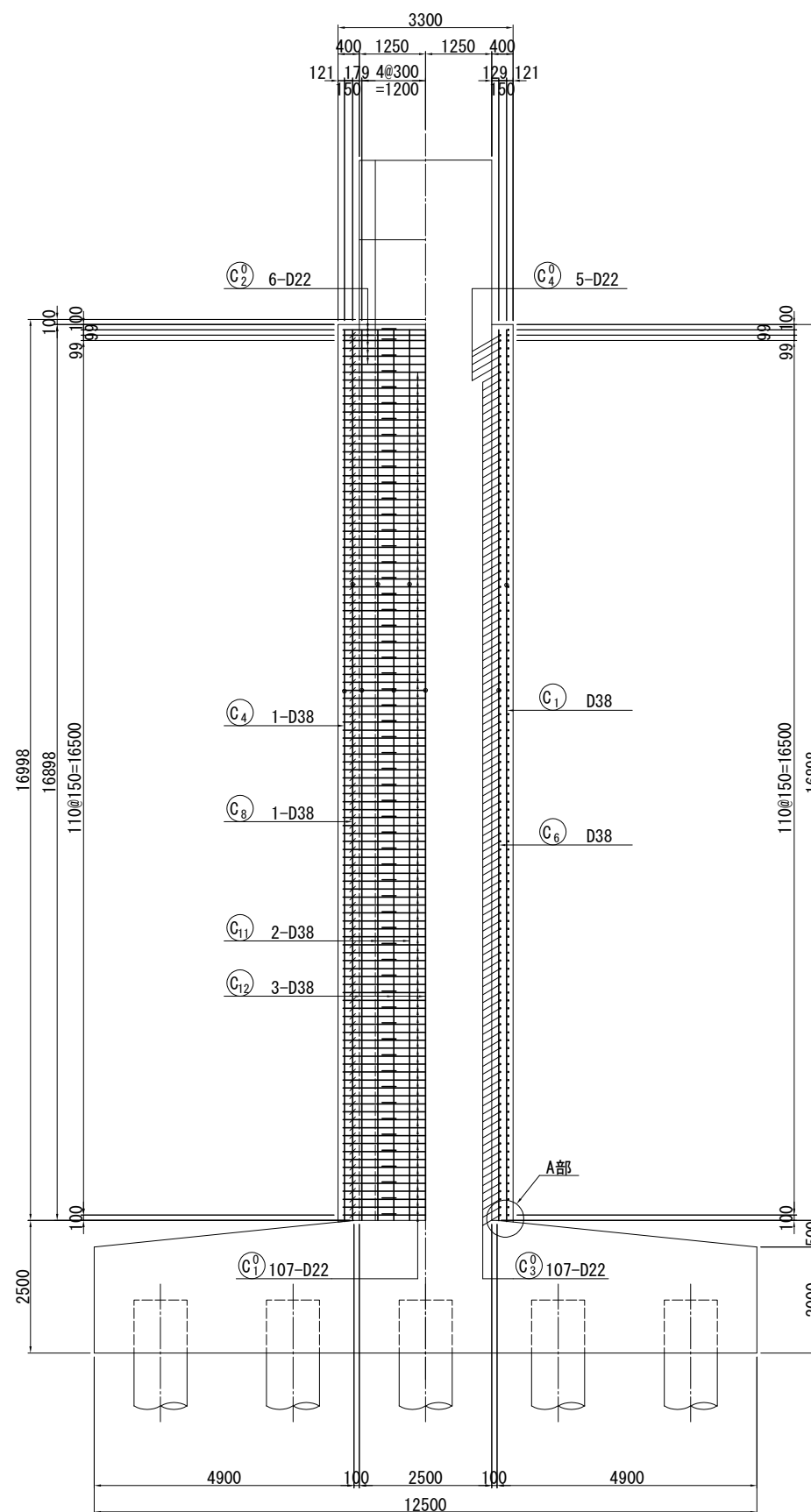


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. R0巻立ての天端は排水用の勾配 (2.00%) を付すこと。

使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

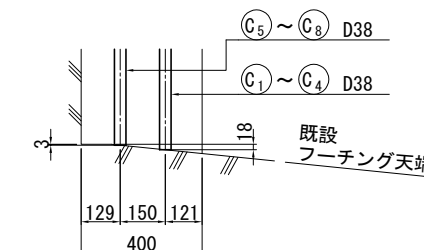
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強一般図	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

$$2 - 2 \quad 3 - 3$$
[illegible]

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	390	220	8
B	210	85	1
合計		305	10

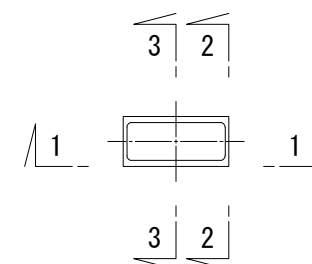
A部詳細図 S=1:25



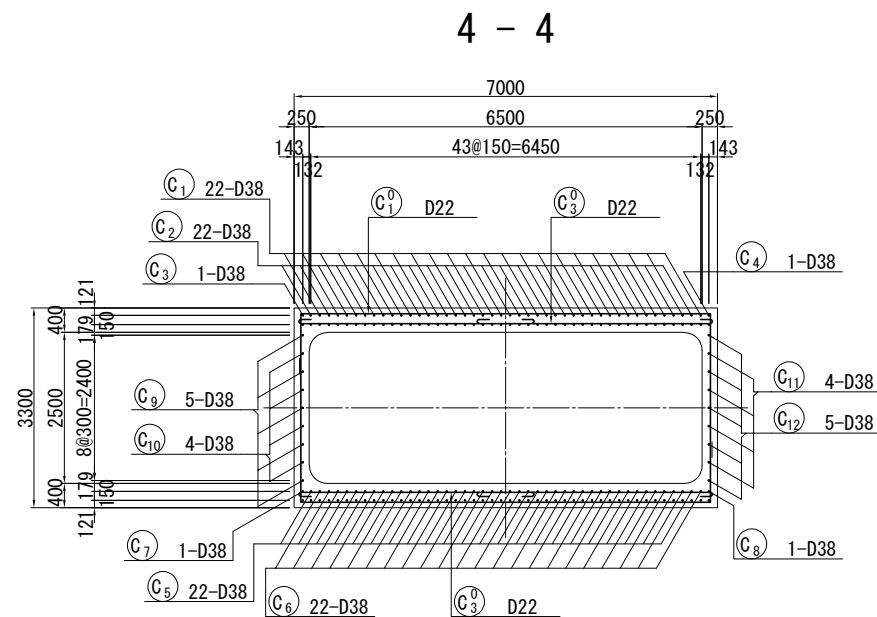
- ## 使用材料

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

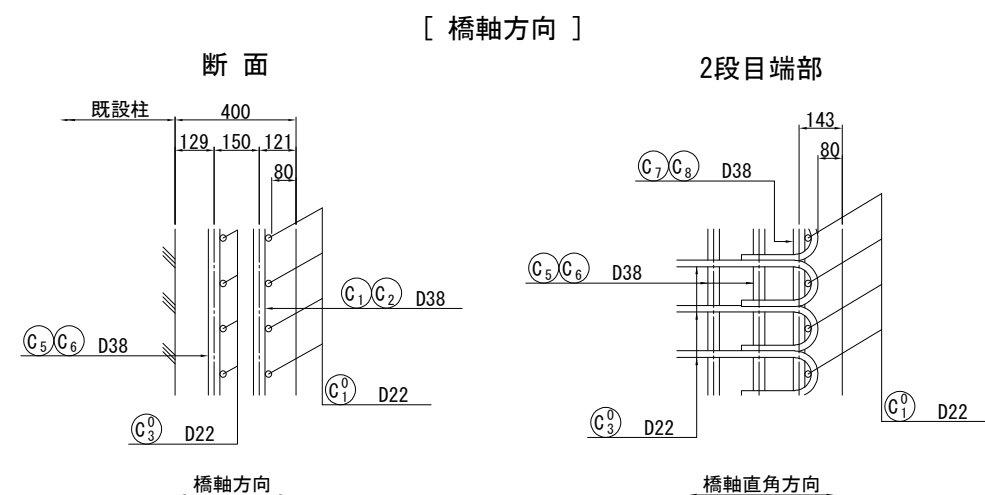
位置図



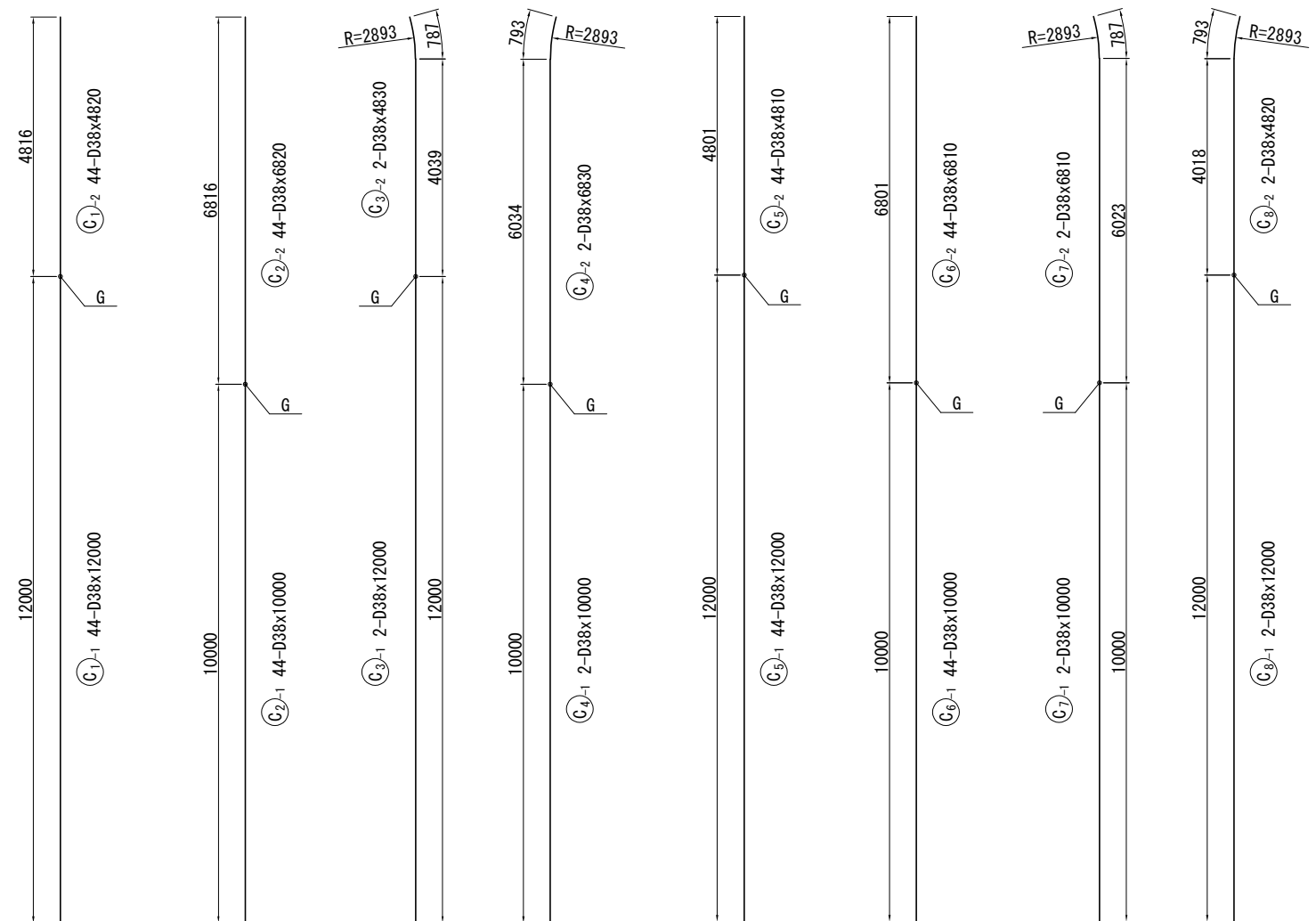
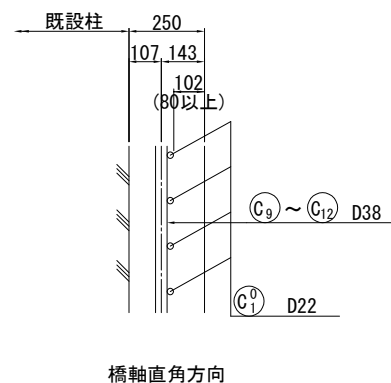
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その1)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



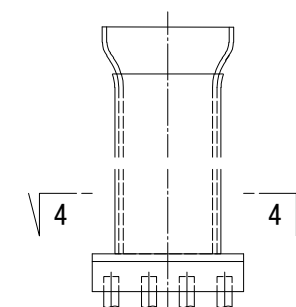
かぶり詳細図 S=1:25



[橋軸直角方向]

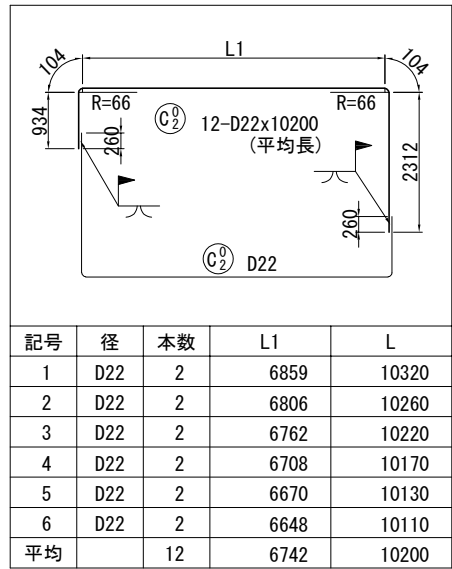
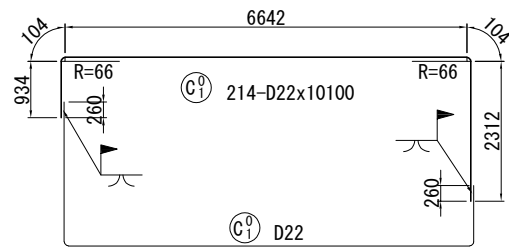
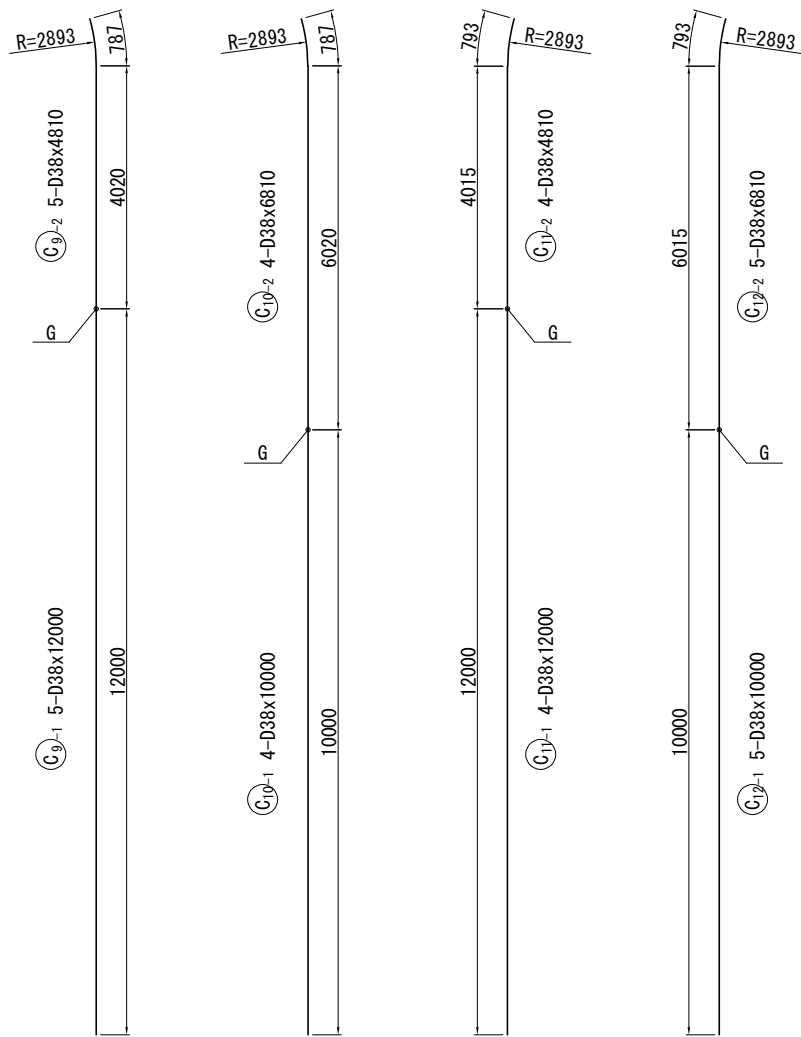


位置図

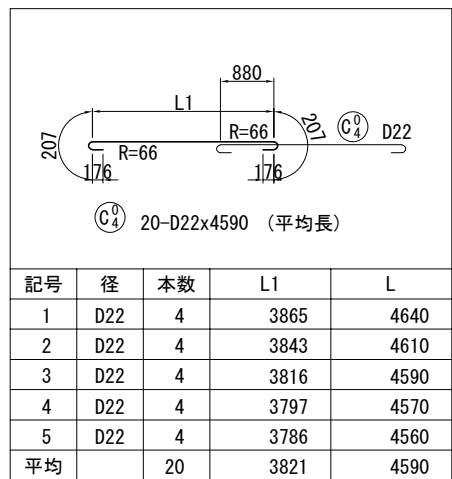
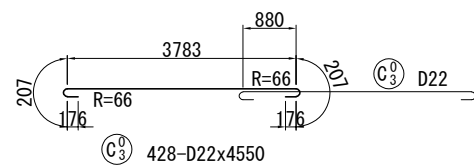
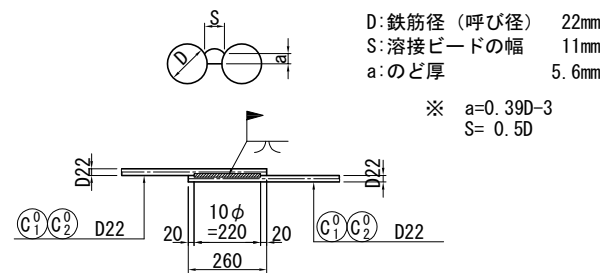


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



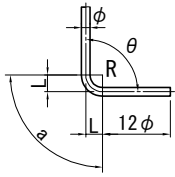
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	4820	44	8.95	43.1	1896	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	6820	44	8.95	61.0	2684	
C 3 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 3 -2	D38	4830	2	8.95	43.2	86	
C 4 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 4 -2	D38	6830	2	8.95	61.1	122	
C 5 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 5 -2	D38	4810	44	8.95	43.0	1892	
C 6 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 6 -2	D38	6810	44	8.95	60.9	2680	
C 7 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 7 -2	D38	6810	2	8.95	60.9	122	
C 8 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 8 -2	D38	4820	2	8.95	43.1	86	
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	4810	5	8.95	43.0	215	
C 10-1	D38	10000	4	8.95	89.5	358	↑ (4)
C 10-2	D38	6810	4	8.95	60.9	244	
C 11-1	D38	12000	4	8.95	107	428	↑ (4)
C 11-2	D38	4810	4	8.95	43.0	172	
C 12-1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 12-2	D38	6810	5	8.95	60.9	305	
30351 kg							
C 1 ⁰	D22	10100	214	3.04	30.7	6570	┘ [214]
C 2 ⁰	D22	10200	12	3.04	31.0	372	┘ 平均長 [12]
C 3 ⁰	D22	4550	428	3.04	13.8	5906	┘
C 4 ⁰	D22	4590	20	3.04	14.0	280	┘ 平均長
13128 kg							
T ガス圧接箇所数 フレアー溶接箇所数							
D38		30351 kg	(202)		-		
D22		13128 kg	-		[226]		
合 計		43479 kg	(202)		[226]		
コンクリートアンカー					M12x52	305	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 △L=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

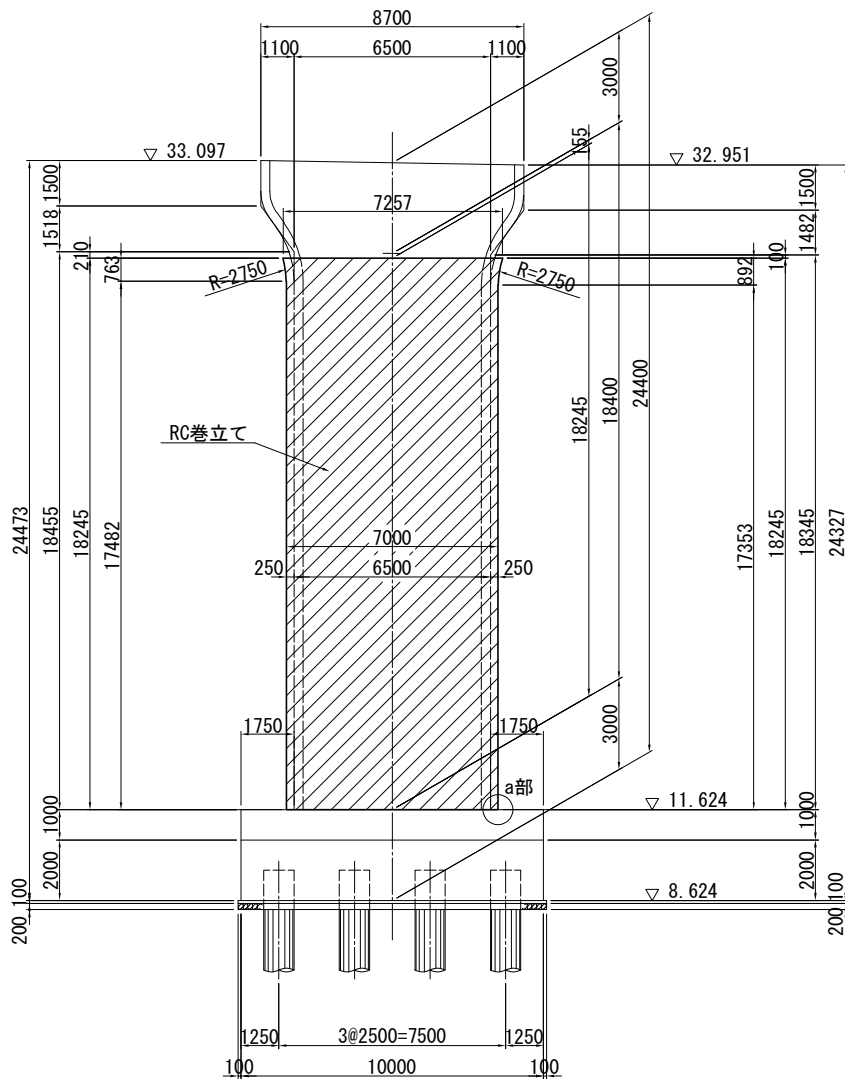
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

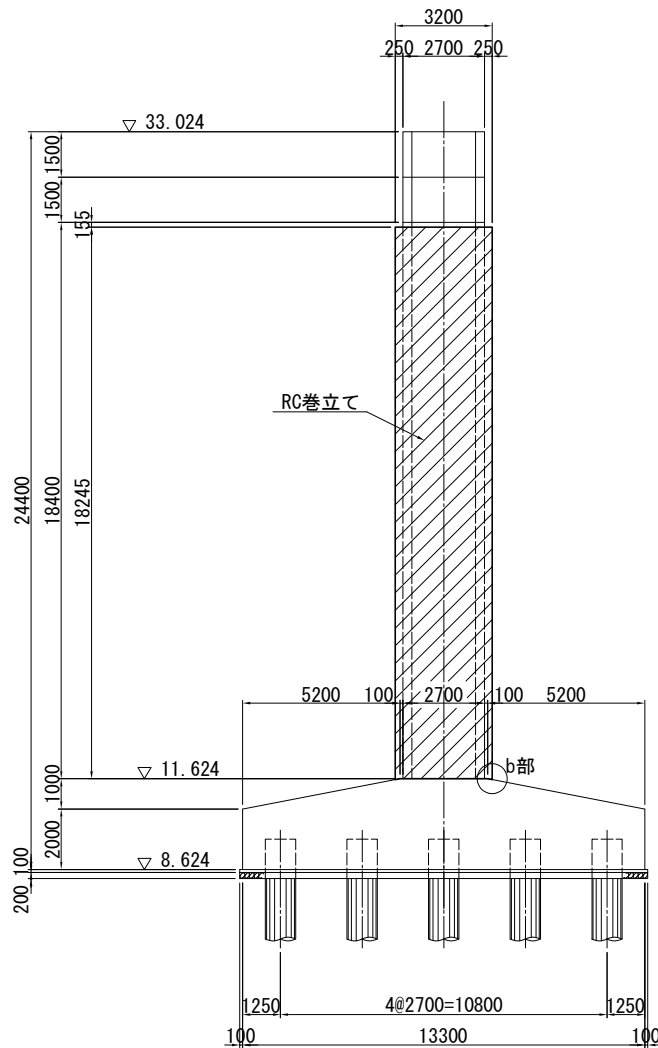
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P1橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

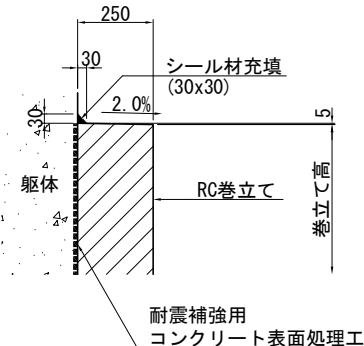


側面図

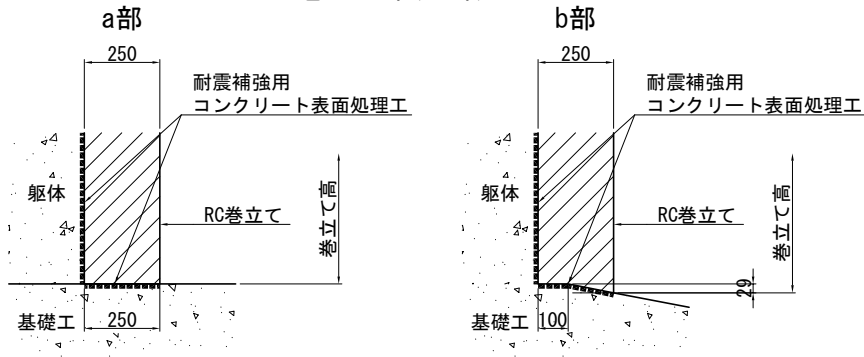


巻立て部詳細図 S=1:25

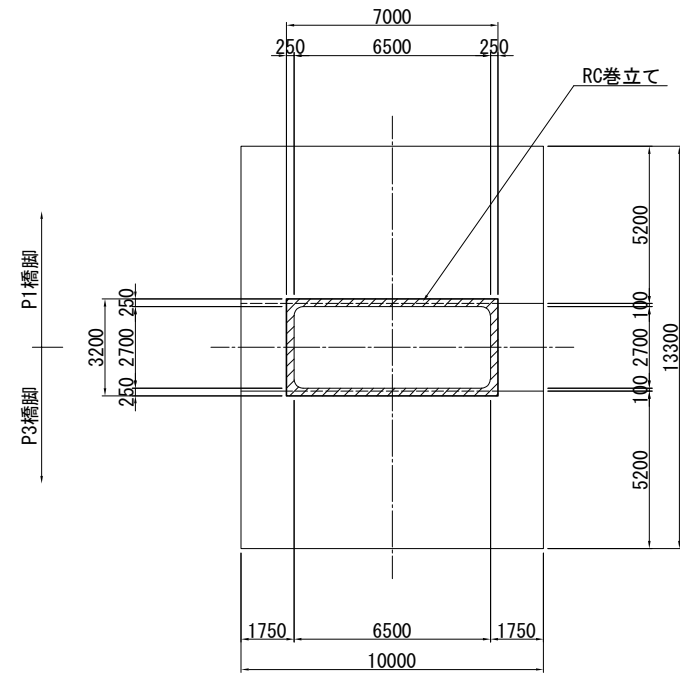
巻立て部(上部)



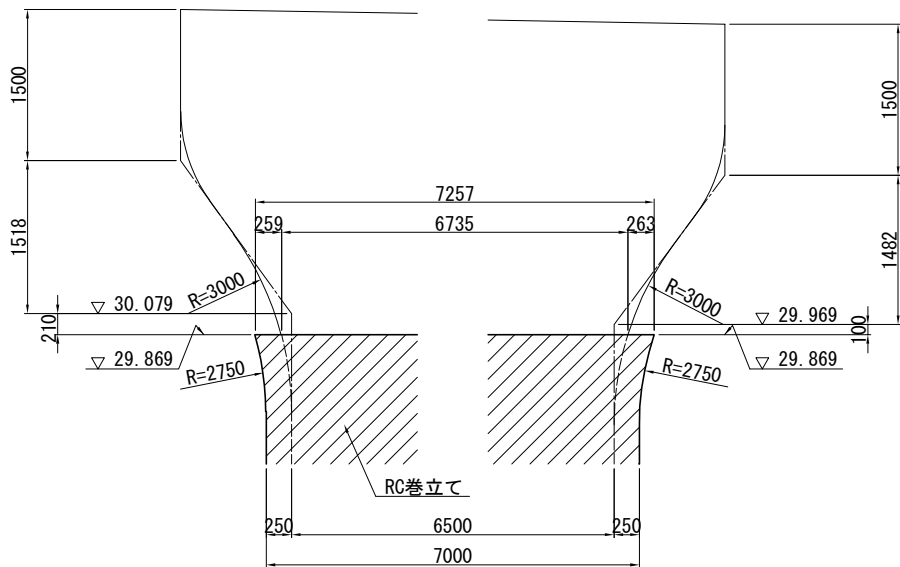
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75

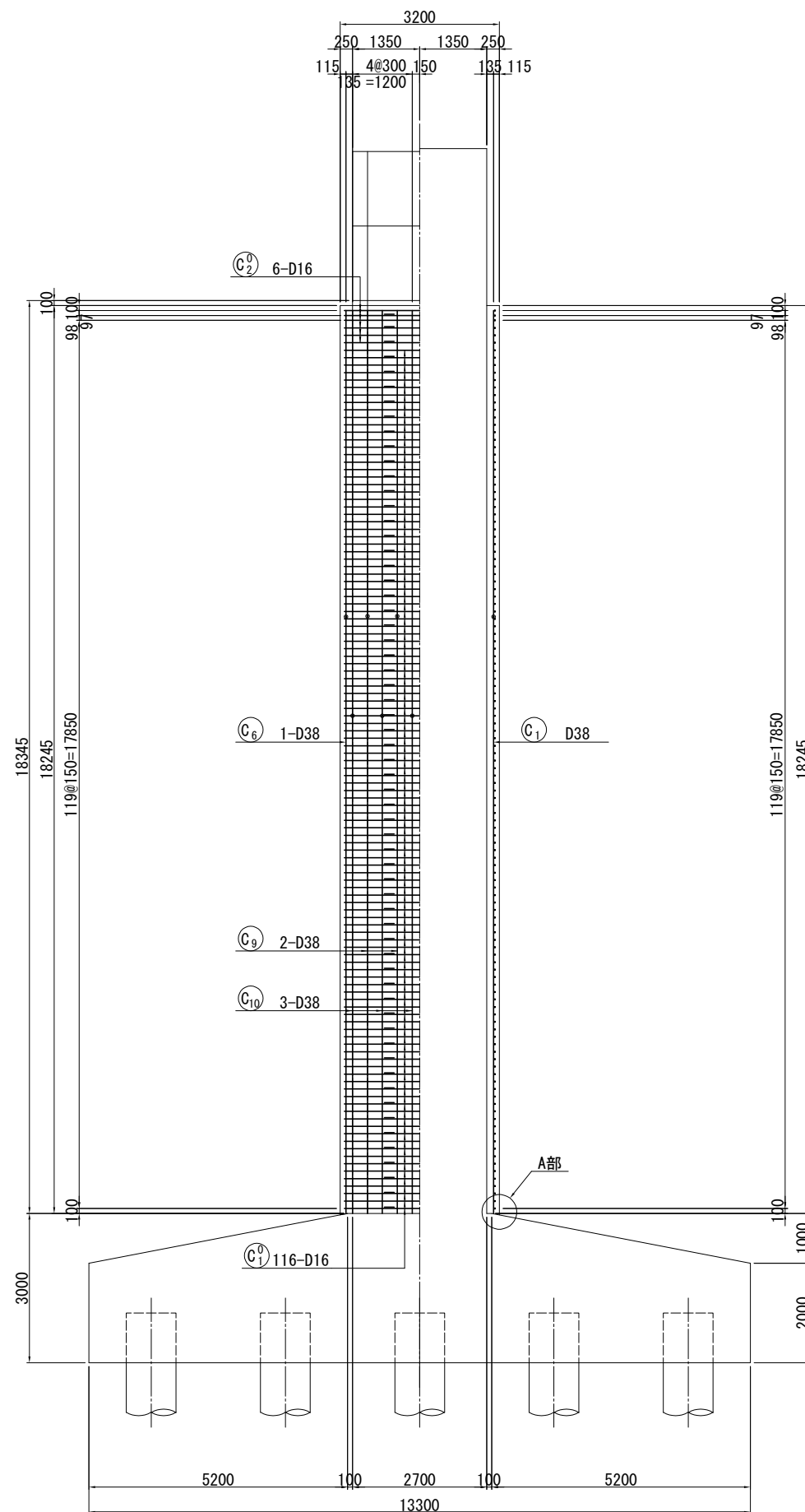


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

$$2 - 2 \quad 3 - 3$$


52 250
32 135 115
20
(M12スチ加工)

コンクリートアンカー
M12x52

削孔 φ18x58

組立用アンカー
D13

既設コンクリート

巻立てでコンクリート
($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

主鉄筋
D38

96

61

61

L (mm)	本数	質量 (kg)
240	336	80

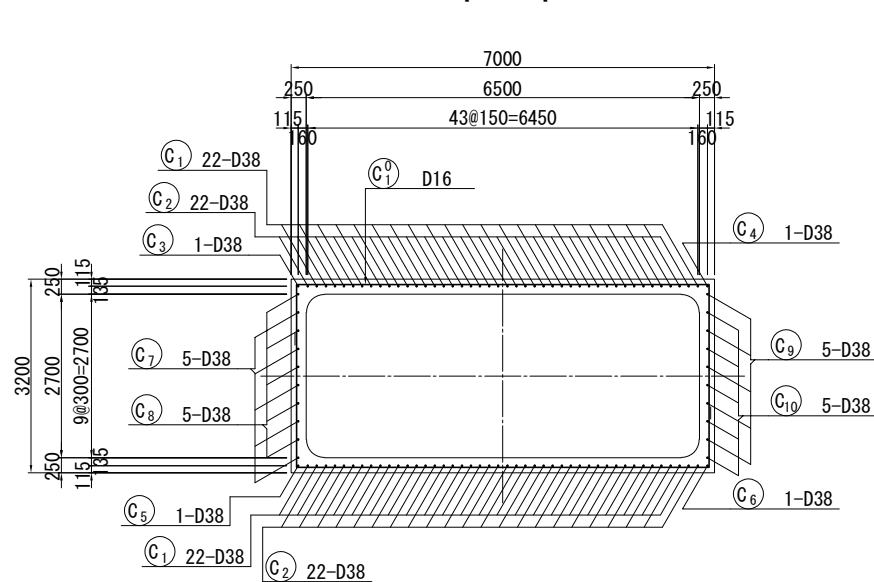
Technical drawing of a wall section showing reinforcement details. The drawing includes a vertical reinforcement bar labeled $C_1 \sim C_6$ D38, a horizontal reinforcement bar labeled 135, 115, and a dimension of 250. A note indicates "既設フーチング天端" (Existing footing top edge).

- | | | |
|-----|--------|----------------------|
| 工 種 | | 仕 様 |
| 補強部 | コンクリート | 30 N/mm ² |
| | 鉄 筋 | SD345 |

A diagram showing a 2x2 grid of squares. The top-left square contains the number 1, the top-right square contains the number 2, and the bottom-left square contains the number 3. The bottom-right square is empty. Arrows indicate a clockwise cycle: an arrow points from the top-left square to the top-right square, an arrow points from the top-right square to the bottom-right square, an arrow points from the bottom-right square to the bottom-left square, and an arrow points from the bottom-left square to the top-left square.

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

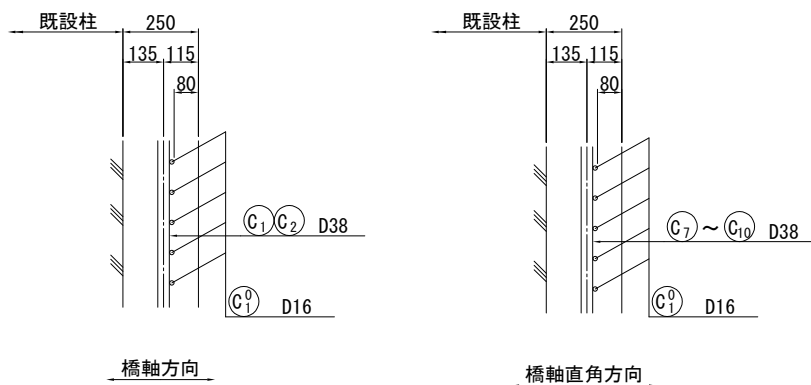
4 - 4



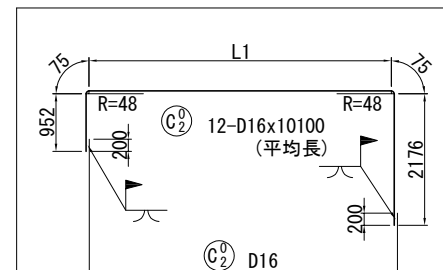
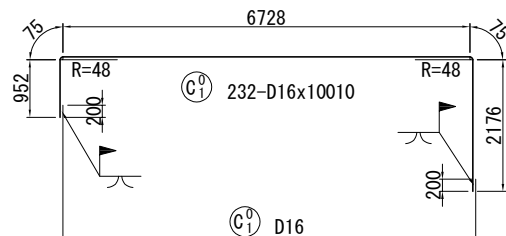
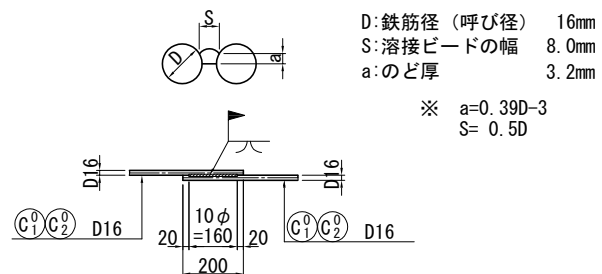
かぶり詳細図 S=1:25

[橋軸方向]

[橋軸直角方向]



フレアー溶接詳細図 S=1:25



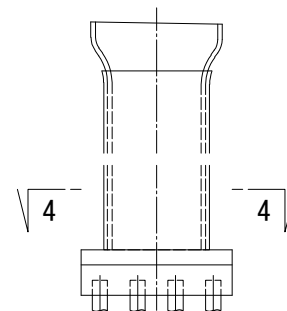
記号	径	本数	L1	L
1	D16	2	6919	10200
2	D16	2	6871	10150
3	D16	2	6830	10110
4	D16	2	6781	10060
5	D16	2	6749	10030
6	D16	2	6732	10010
平均		12	6814	10100

位置図

注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。

3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

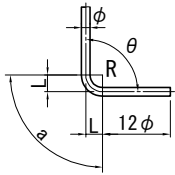


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P2脚脚 RC巻立て補強配筋図(図その2)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	6160	44	8.95	55.1	2424	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	8160	44	8.95	73.0	3212	
C 3 -1	D38	12000	1	8.95	107	107	↑ (1)
C 3 -2	D38	6160	1	8.95	55.1	55	
C 4 -1	D38	10000	1	8.95	89.5	90	↑ (1)
C 4 -2	D38	8170	1	8.95	73.1	73	
C 5 -1	D38	10000	1	8.95	89.5	90	↑ (1)
C 5 -2	D38	8160	1	8.95	73.0	73	
C 6 -1	D38	12000	1	8.95	107	107	↑ (1)
C 6 -2	D38	6170	1	8.95	55.2	55	
C 7 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 7 -2	D38	6160	5	8.95	55.1	276	
C 8 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 8 -2	D38	8160	5	8.95	73.0	365	
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	6160	5	8.95	55.1	276	
C 10 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 10 -2	D38	8160	5	8.95	73.0	365	
						18180	kg
C 0 1	D16	10010	232	1.56	15.6	3619	┐ [232]
C 2 0	D16	10100	12	1.56	15.8	190	┐ 平均長 [12]
						3809	kg
T				ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数	
D38		18180		kg	(112)	-	
D16		3809		kg	-	[244]	
合 計		21989		kg	(112)	[244]	
コンクリートアンカー				M12x52		336 個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 △L=2L-a										
径	θ ≤90°	θ >90°	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
	R=3.0φ	R=5.5φ	a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

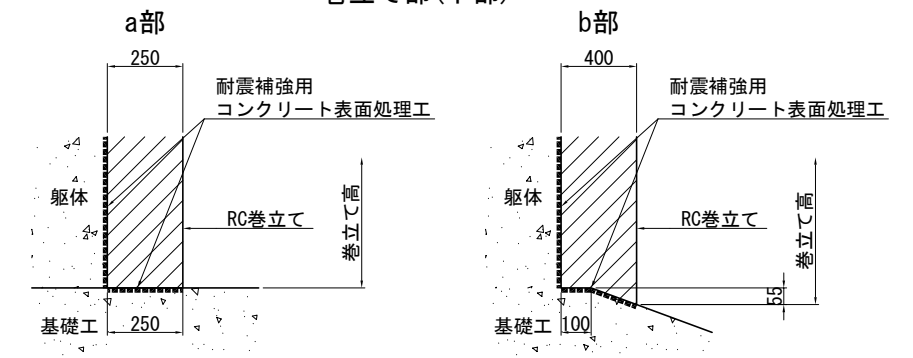
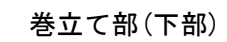
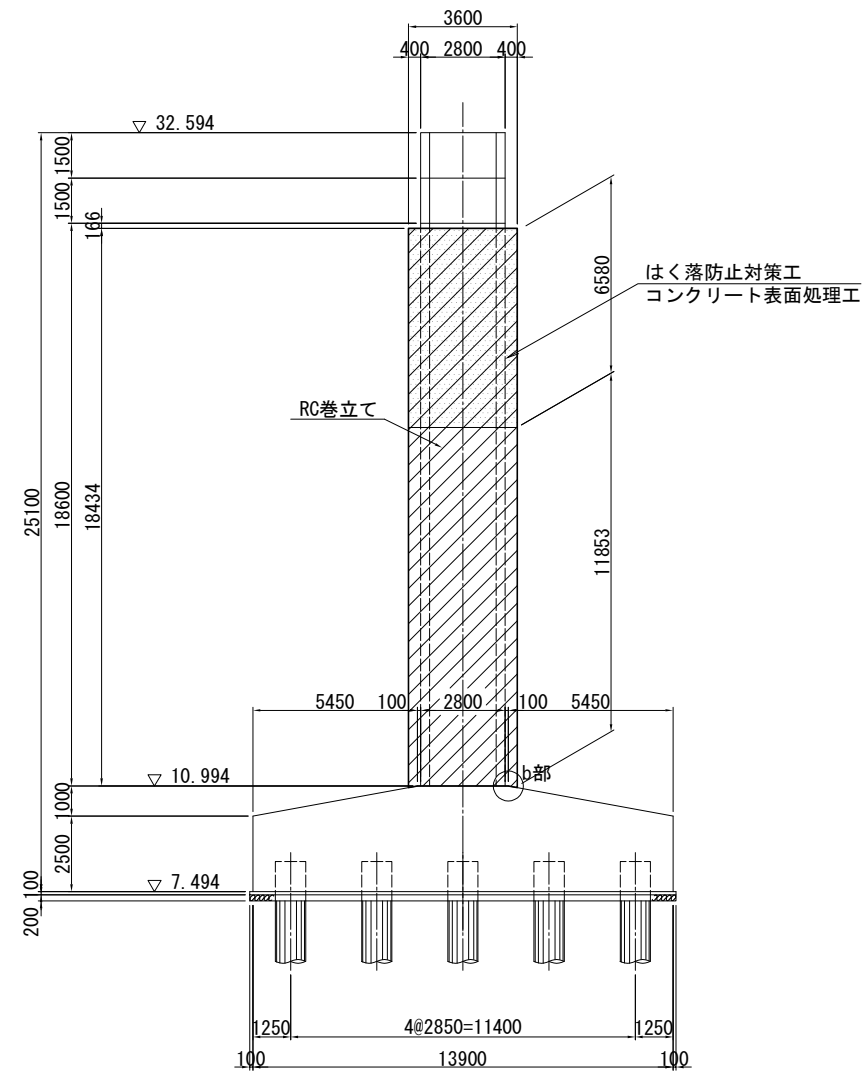
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

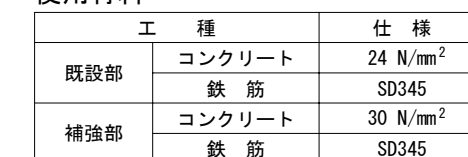
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P2橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

卷立て部(上部)

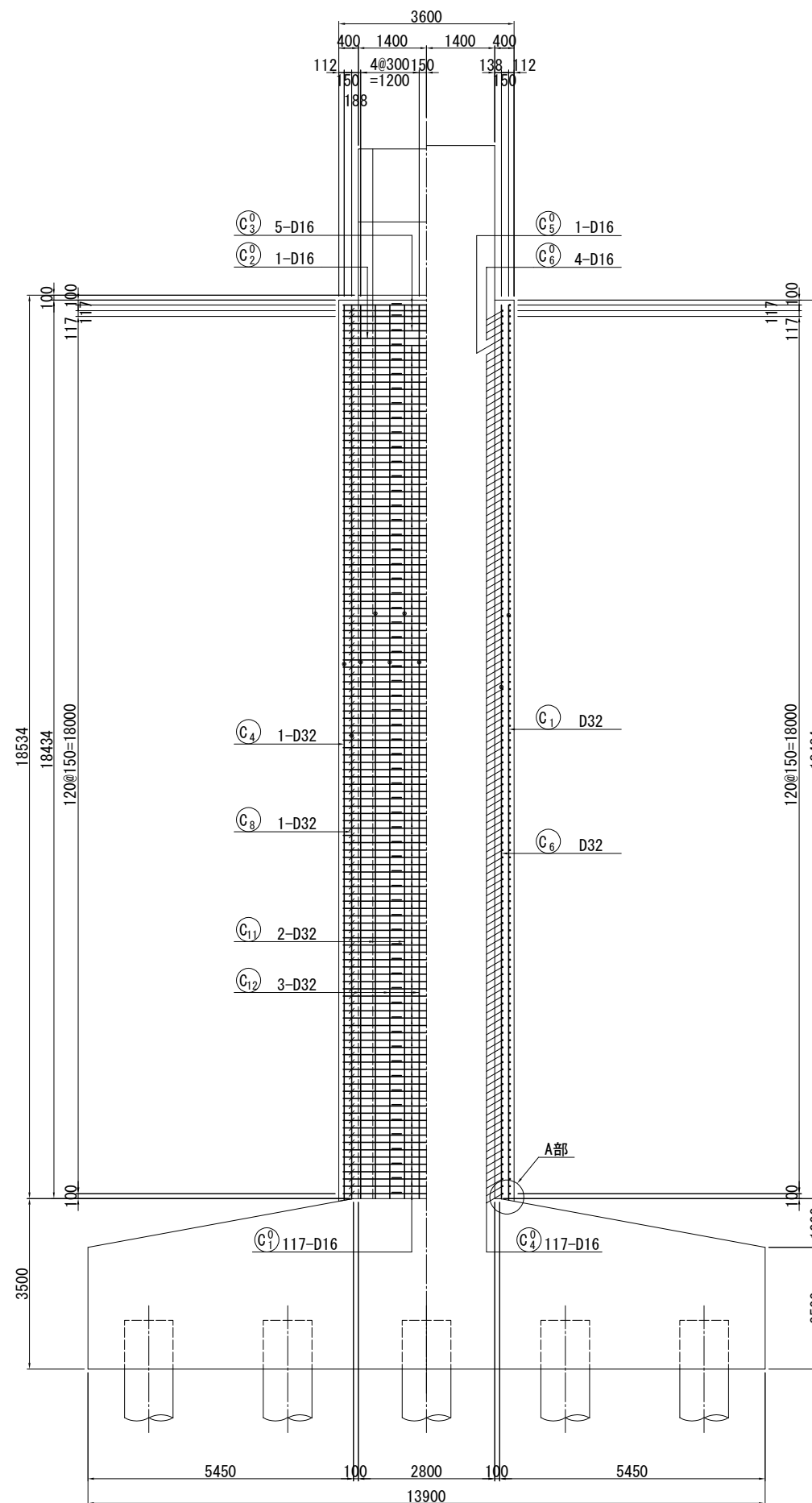


使用材料



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. R0巻立ての天端は排水用の勾配 (2.00%) を付すこと。

$$2 - 2 \quad 3 - 3$$


52 400 (250)

32 288 112

20 (122) (128)

(M12ネジ加工)

巻立てコンクリート
($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

コンクリートアンカー
M12x52

削孔 $\phi 18 \times 58$

組立用アンカーA(B)
D13

主鉄筋
D32

既設コンクリート

R=30

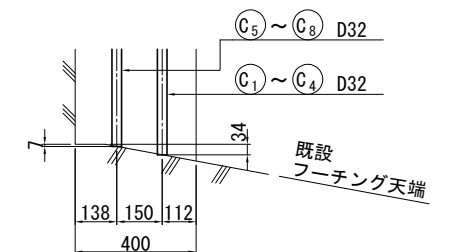
6 60 30 60

249 (83)

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	400	240	96
B	230	103	24
合計		343	120

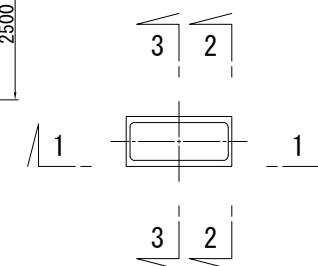
A部詳細図 S=1:25



- ## 使用材料

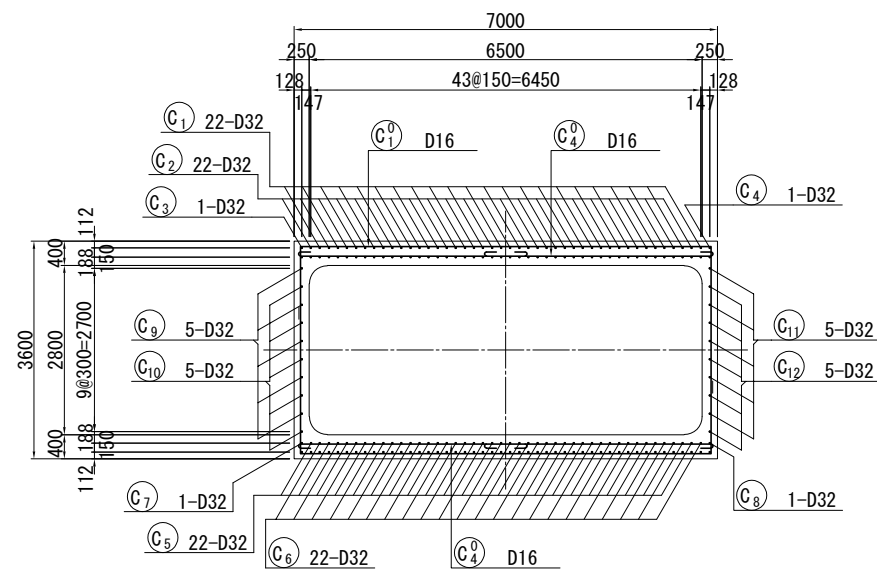
工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

位置図



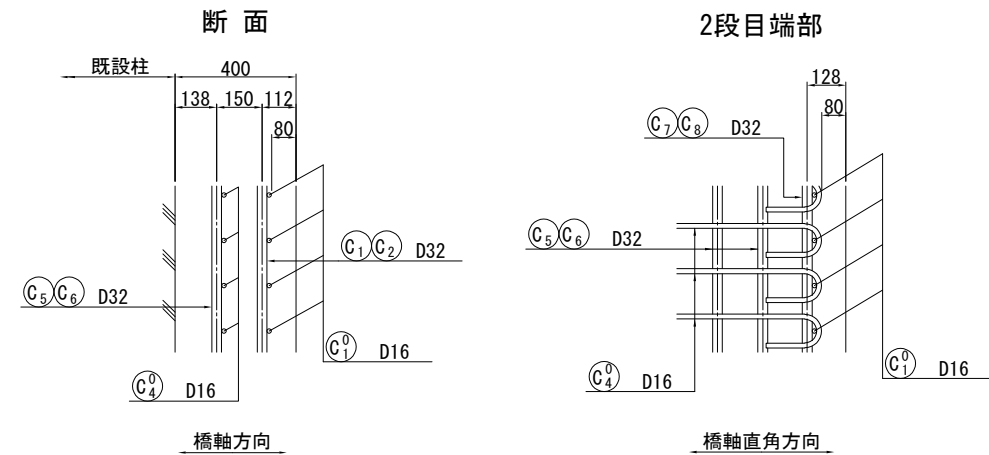
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

4 - 4

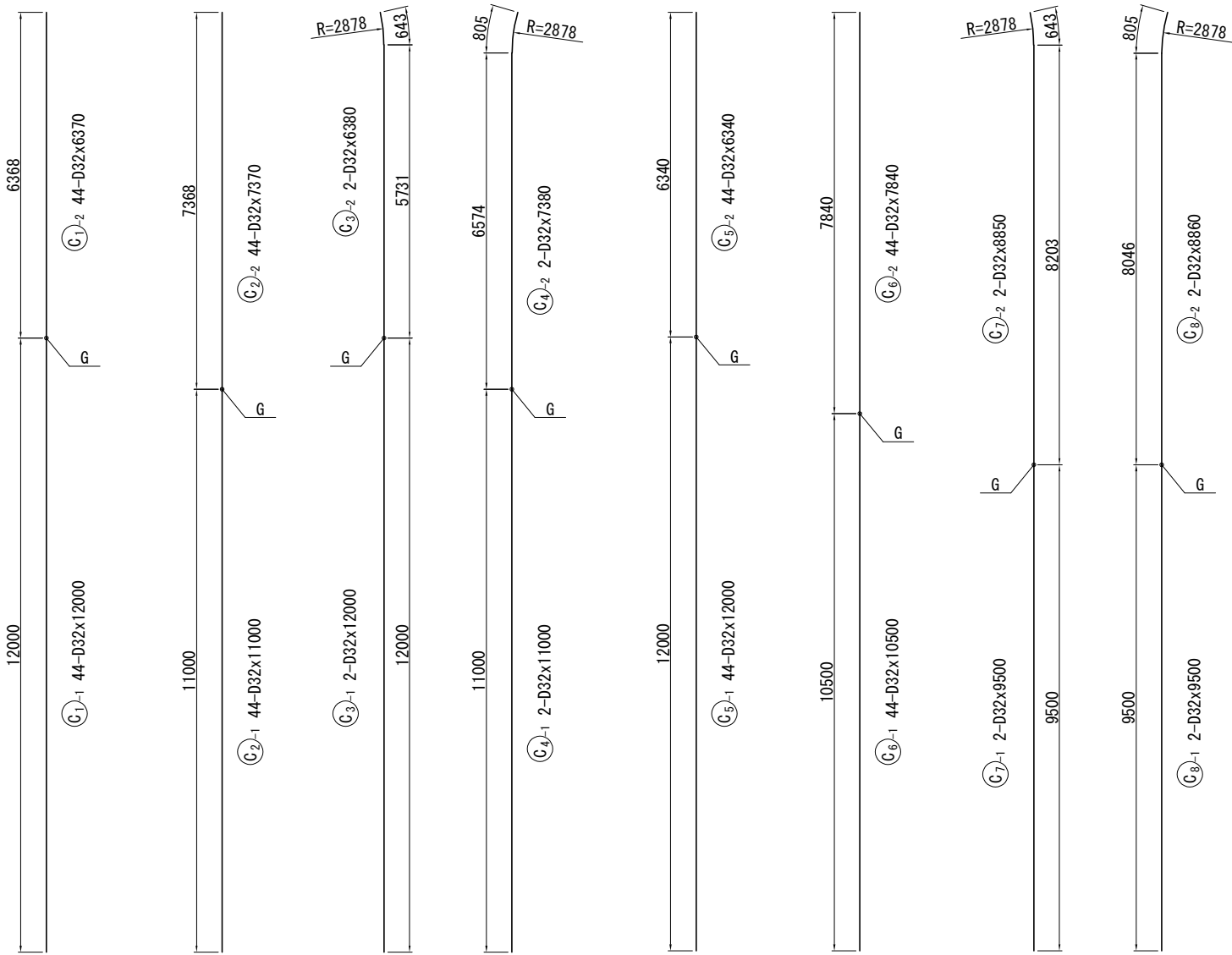
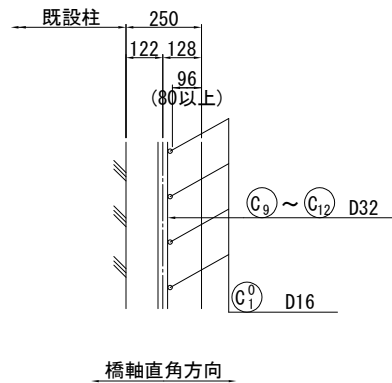


かぶり詳細図 S=1:25

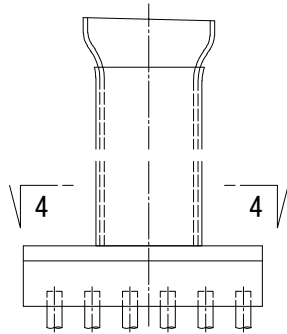
[橋軸方向]



[橋軸直角方向]

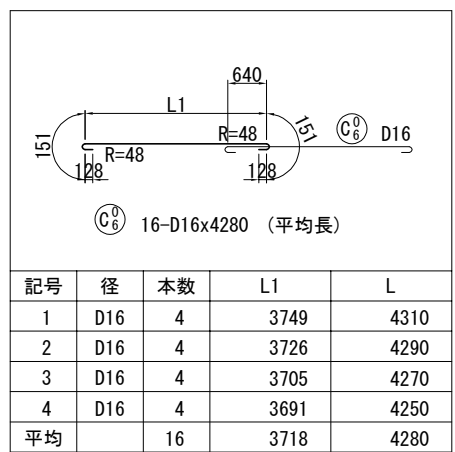
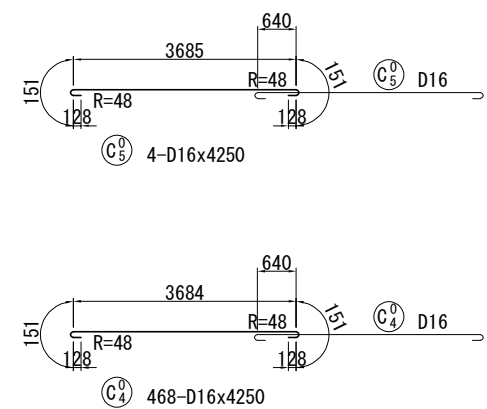
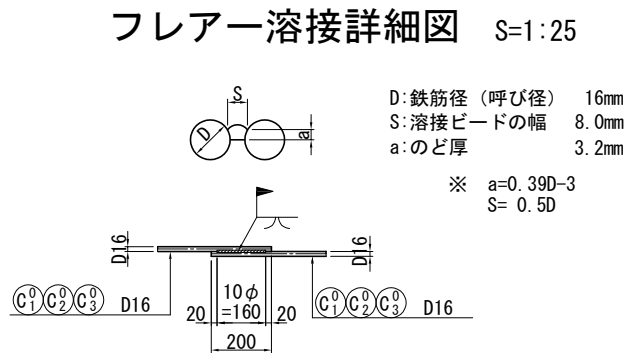
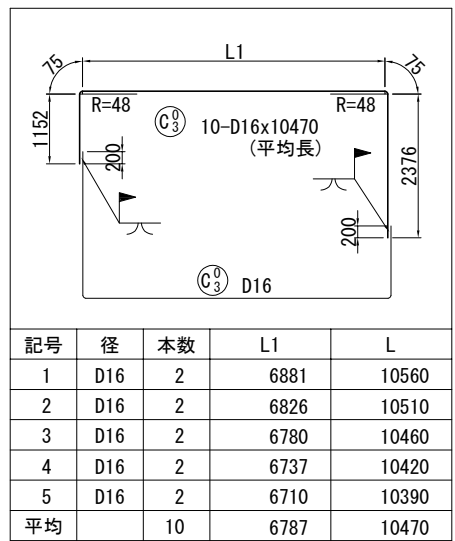
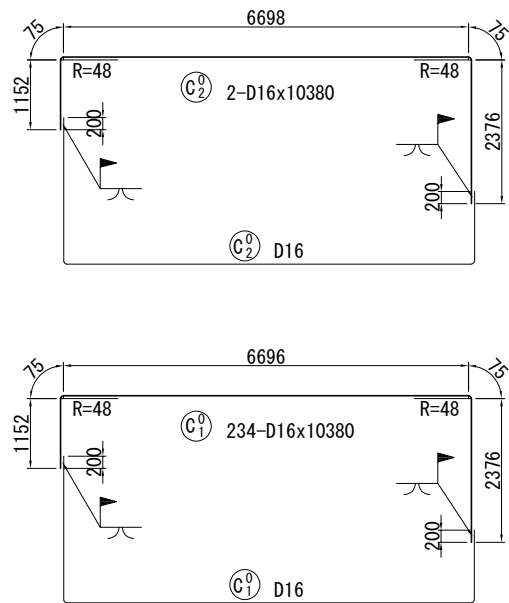
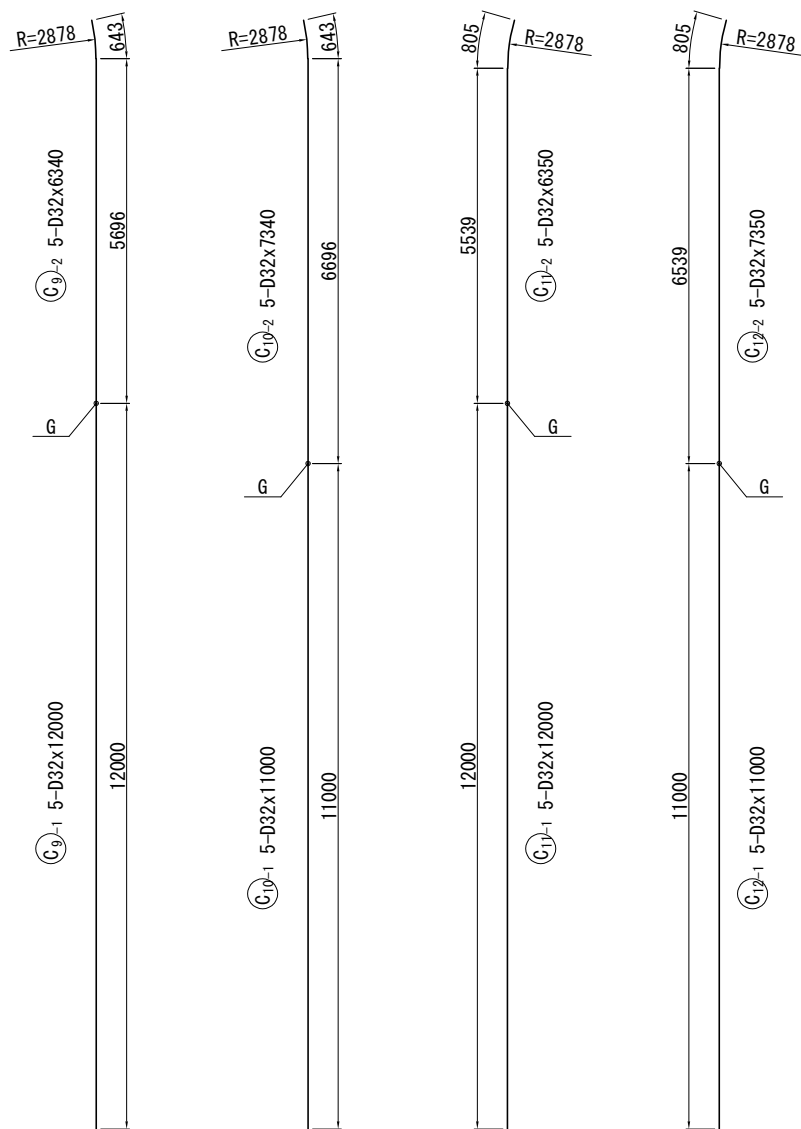


位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

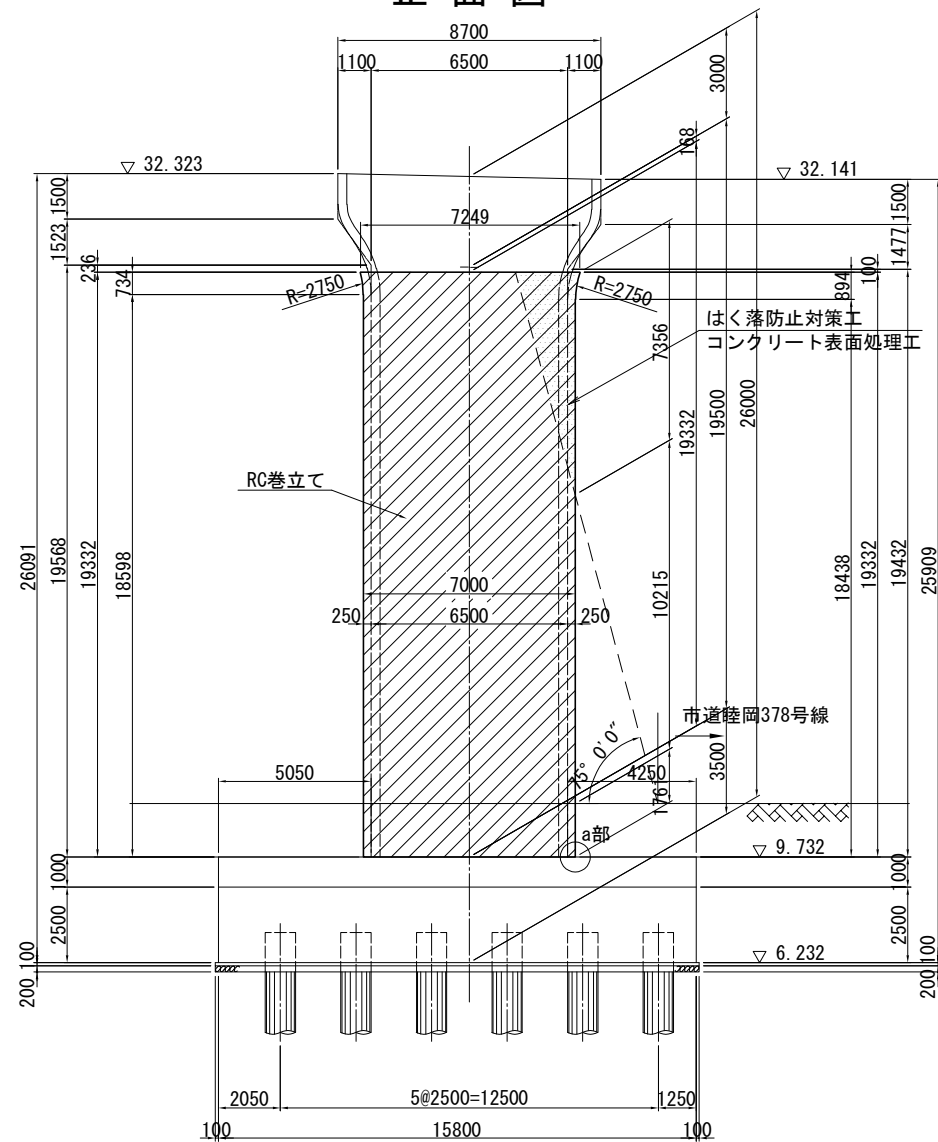
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



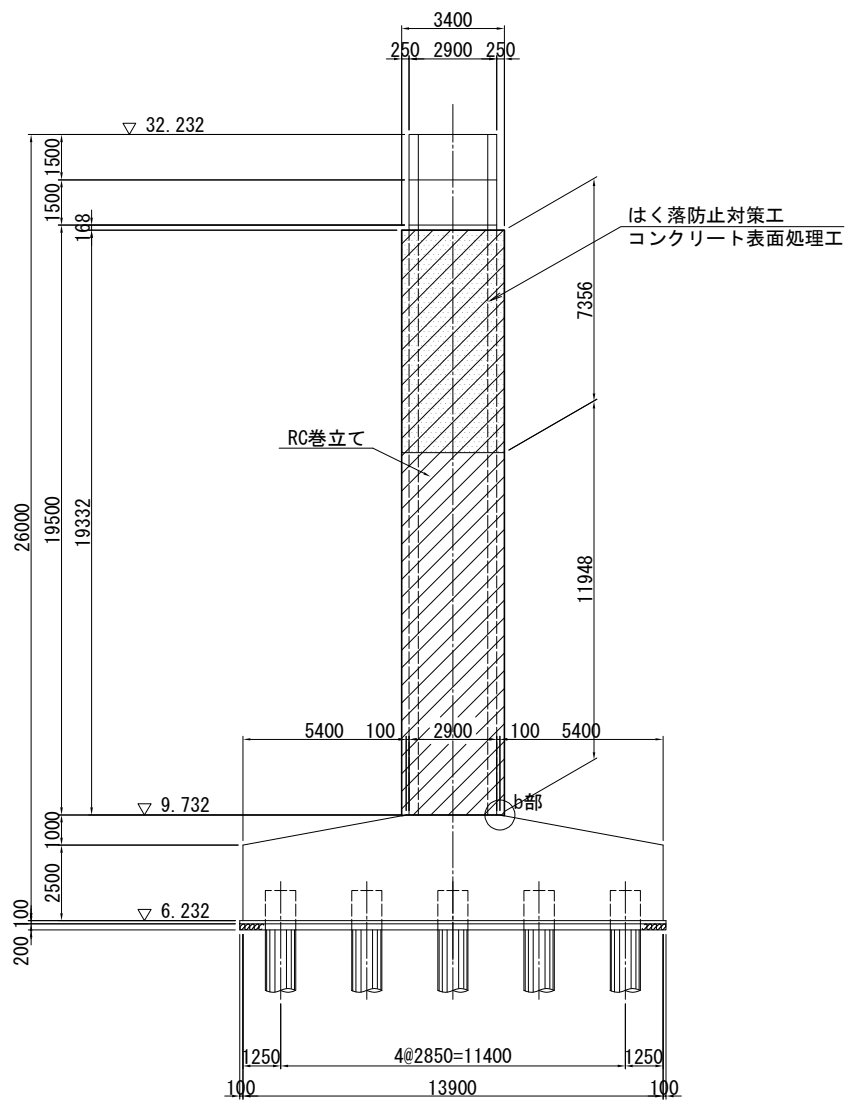
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚		
	RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

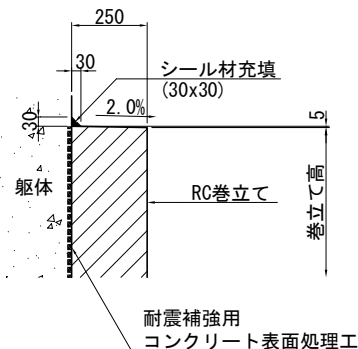


側面図

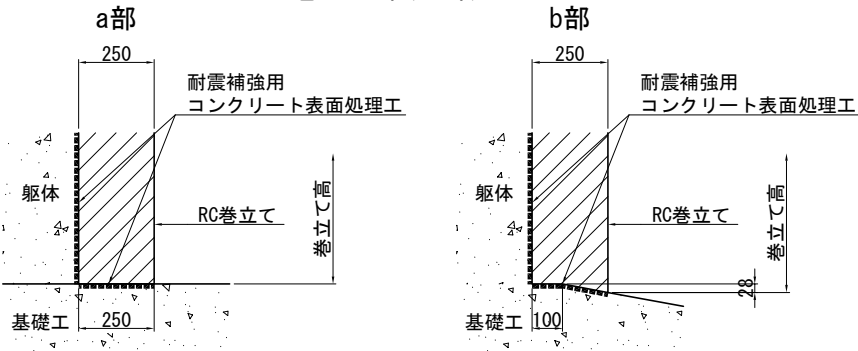


巻立て部詳細図 S=1:25

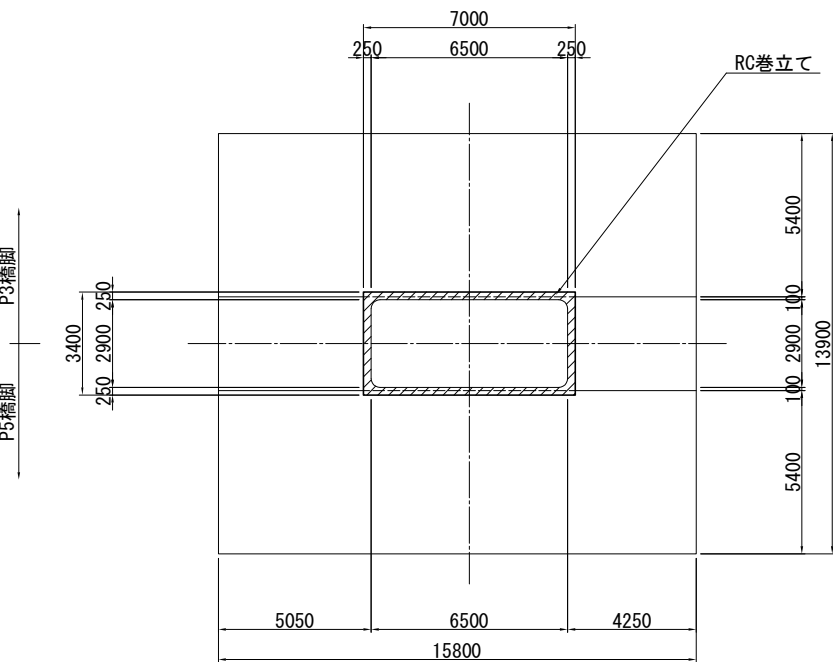
巻立て部(上部)



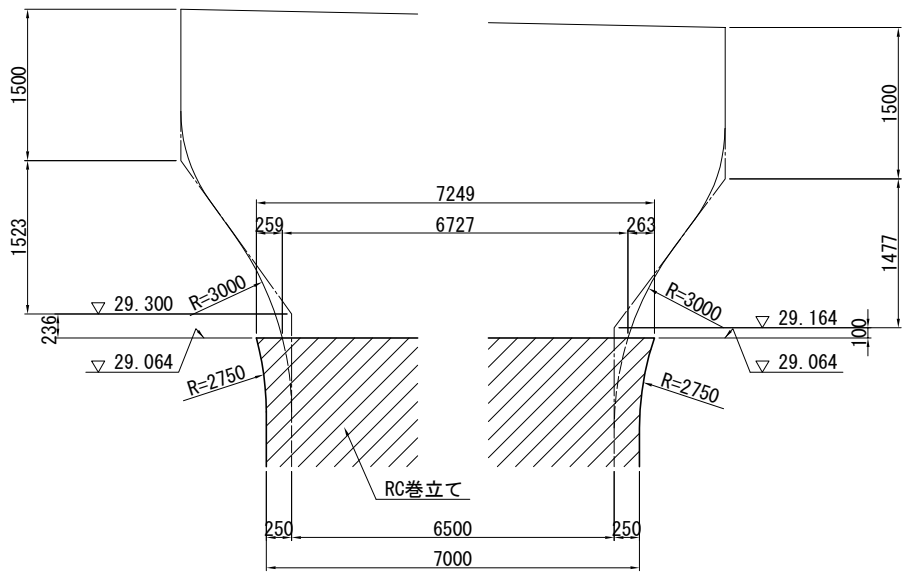
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75



- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

工種	仕様
既設部	コンクリート 24 N/mm ²
	鉄筋 SD345
補強部	コンクリート 30 N/mm ²
	鉄筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

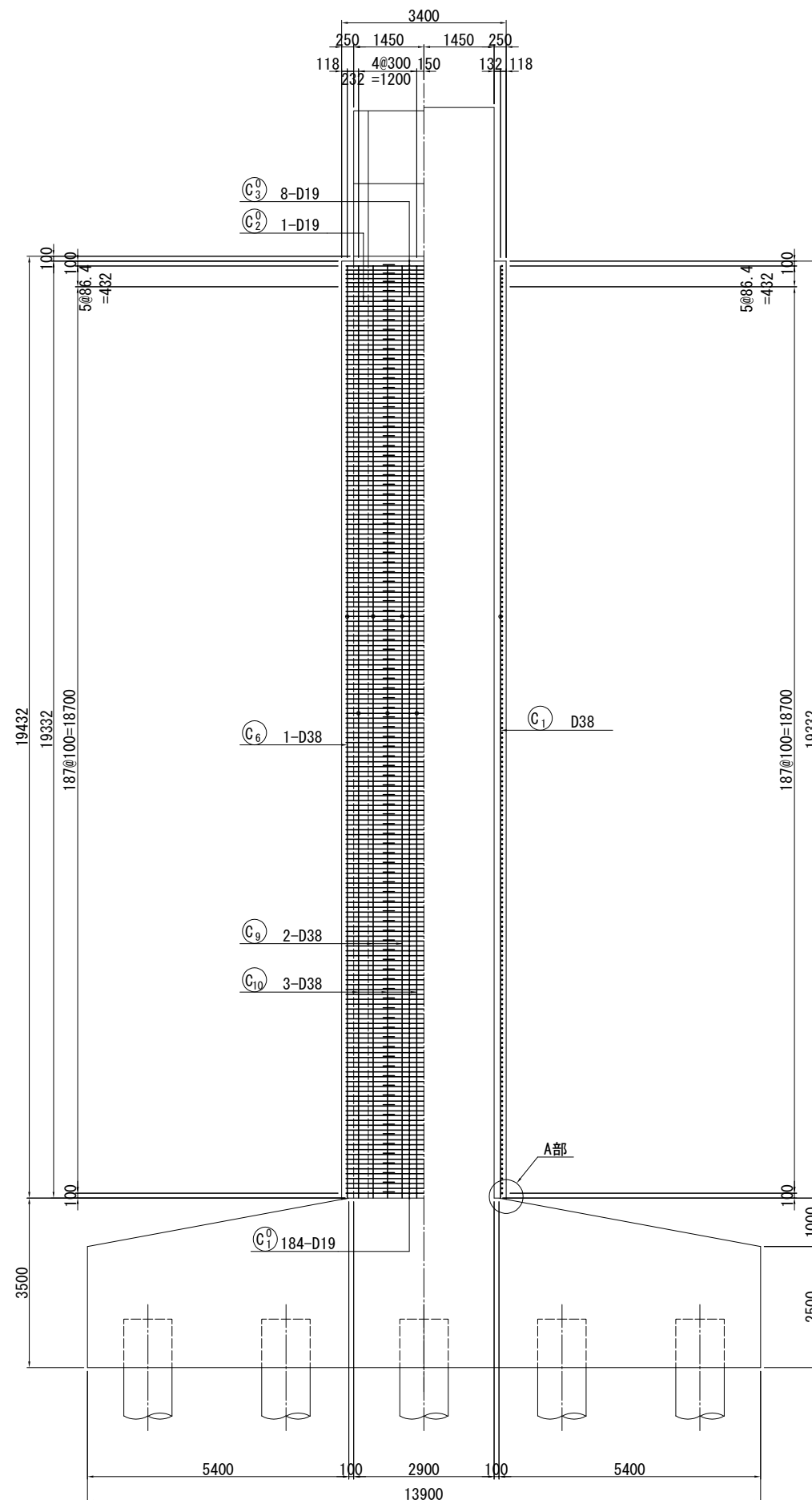
$$2 - 2 \quad 3 - 3$$


Figure 1: Reinforcement details of the main beam. The diagram shows a cross-section of a beam with various reinforcement components. Key dimensions include 52, 250, 32, 132, 118, 20, 61, 93, and 120. Components labeled include 'コンクリートアンカー M12x52', '削孔 φ18x58', '組立用アンカー D13', '主鉄筋 D38', and '巻立てコンクリート ($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)'. A note '(M12ネジ加工)' is also present.

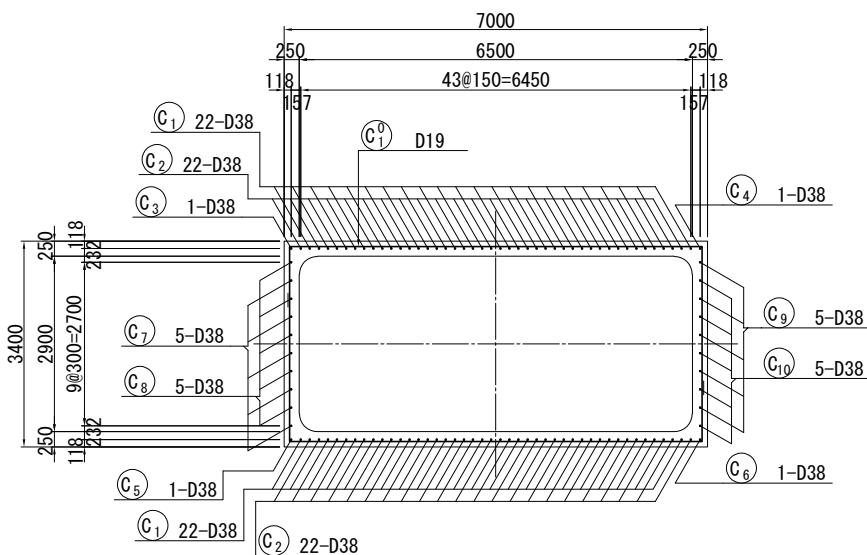
L (mm)	本数	質量 (kg)
240	364	87

- | 工 種 | | 仕 様 |
|-----|--------|----------------------|
| 補強部 | コンクリート | 30 N/mm ² |
| | 鉄 筋 | SD345 |

A diagram of a 2D rectangular box with a width of 3 and a height of 2. The box is divided into a 3x2 grid of smaller squares. A 1x1 square is located in the center of the box, with a horizontal line and a vertical line intersecting at its center. The dimensions are labeled as 3 (width) and 2 (height).

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

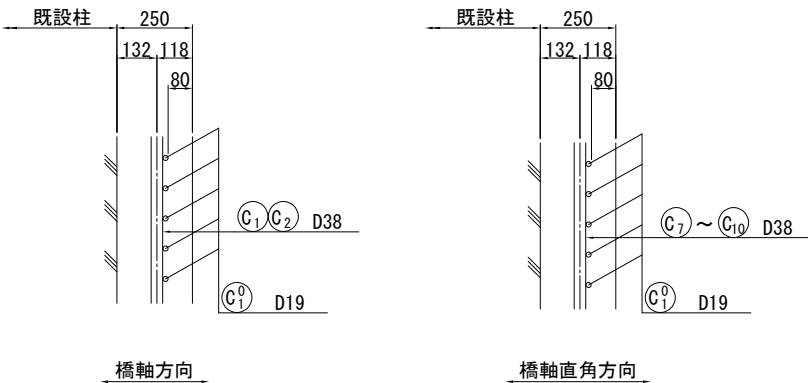
4 - 4



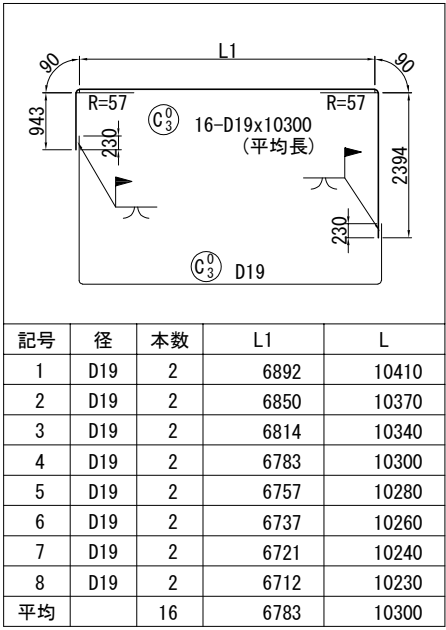
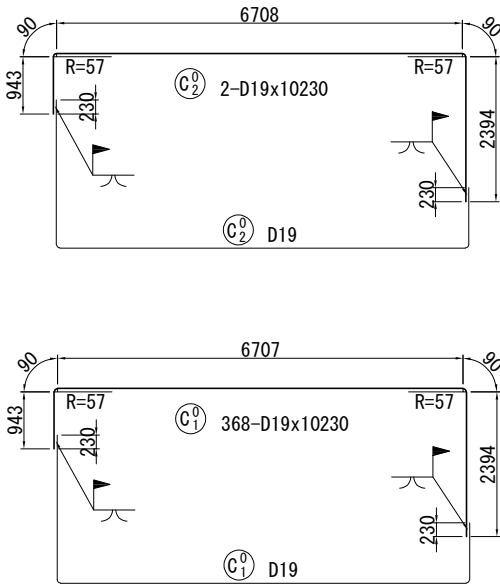
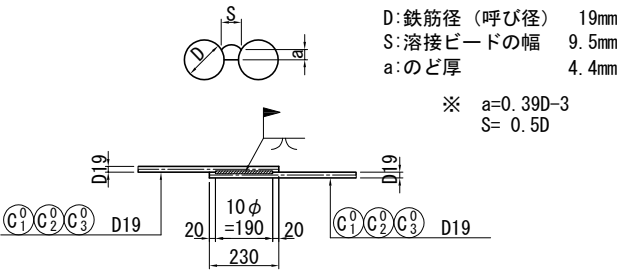
かぶり詳細図 S=1:25

[橋軸方向]

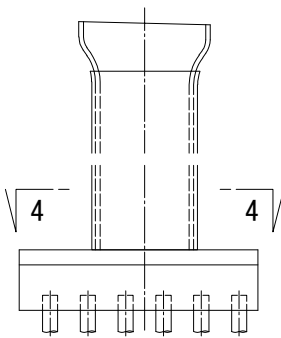
[橋軸直角方向]



フレアー溶接詳細図 S=1:25



位置図



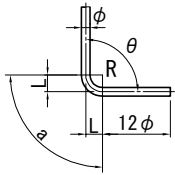
- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類		戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮	尺	図示	図面番号	／
設計会社名		日本工営株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	7240	44	8.95	64.8	2851	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	9240	44	8.95	82.7	3639	
C 3 -1	D38	12000	1	8.95	107	107	↑ (1)
C 3 -2	D38	7250	1	8.95	64.9	65	↓
C 4 -1	D38	10000	1	8.95	89.5	90	↑ (1)
C 4 -2	D38	9250	1	8.95	82.8	83	↓
C 5 -1	D38	10000	1	8.95	89.5	90	↑ (1)
C 5 -2	D38	9250	1	8.95	82.8	83	↓
C 6 -1	D38	12000	1	8.95	107	107	↑ (1)
C 6 -2	D38	7250	1	8.95	64.9	65	↓
C 7 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 7 -2	D38	7240	5	8.95	64.8	324	↓
C 8 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 8 -2	D38	9240	5	8.95	82.7	414	↓
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	7250	5	8.95	64.9	325	↓
C 10 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 10 -2	D38	9250	5	8.95	82.8	414	↓
19269 ^{kg}							
C 1 ⁰	D19	10230	368	2.25	23.0	8464	┘ [368]
C 2 ⁰	D19	10230	2	2.25	23.0	46	┘ [2]
C 3 ⁰	D19	10300	16	2.25	23.2	371	┘ 平均長 [16]
8881 ^{kg}							
T ガス圧接箇所数 フレアー溶接箇所数							
D38		19269 ^{kg}	(112)		-		
D19		8881 ^{kg}	-		[386]		
合 計		28150 ^{kg}	(112)		[386]		
コンクリートアンカー					M12x52	364	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 △L=2L-a										
径	$\theta \leq 90^\circ$ R=3.0φ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5φ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	△L	a	△L	a	△L	a	△L
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

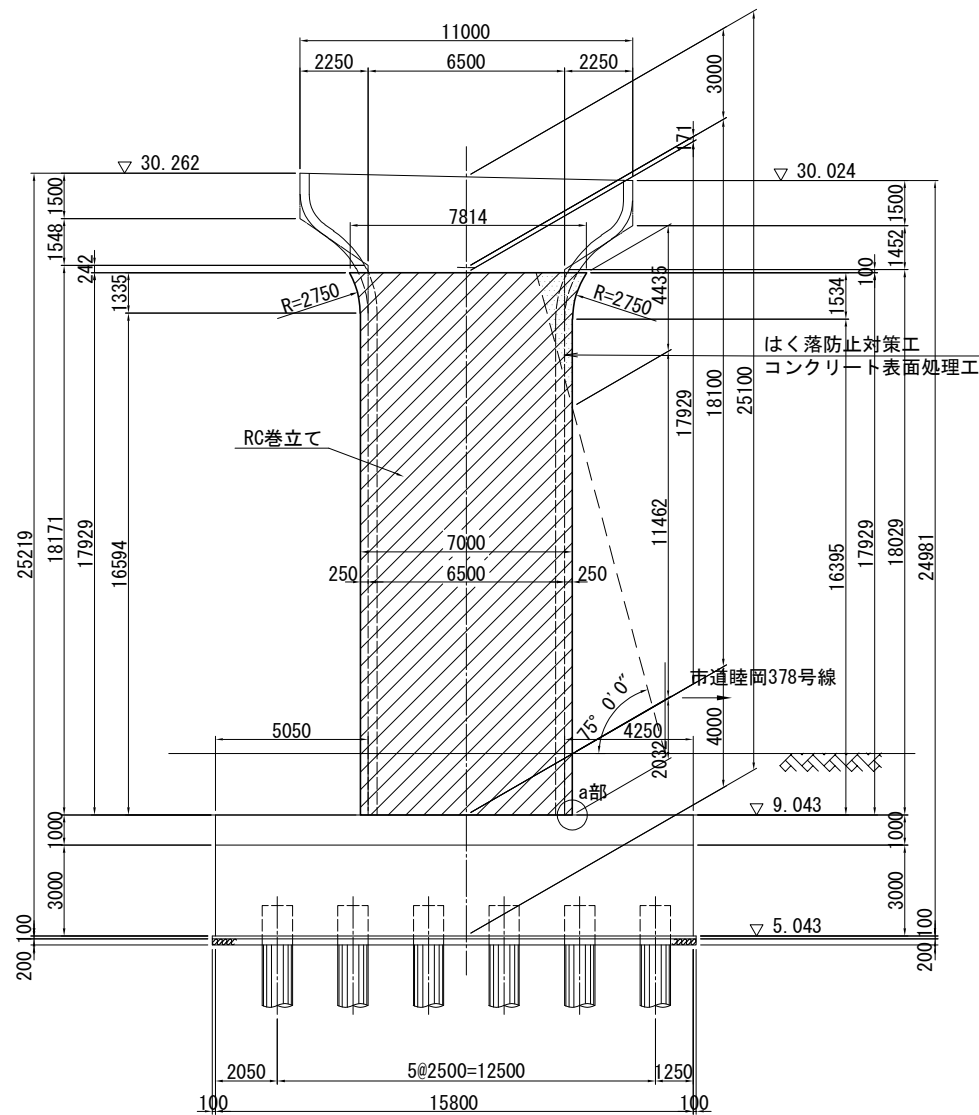
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

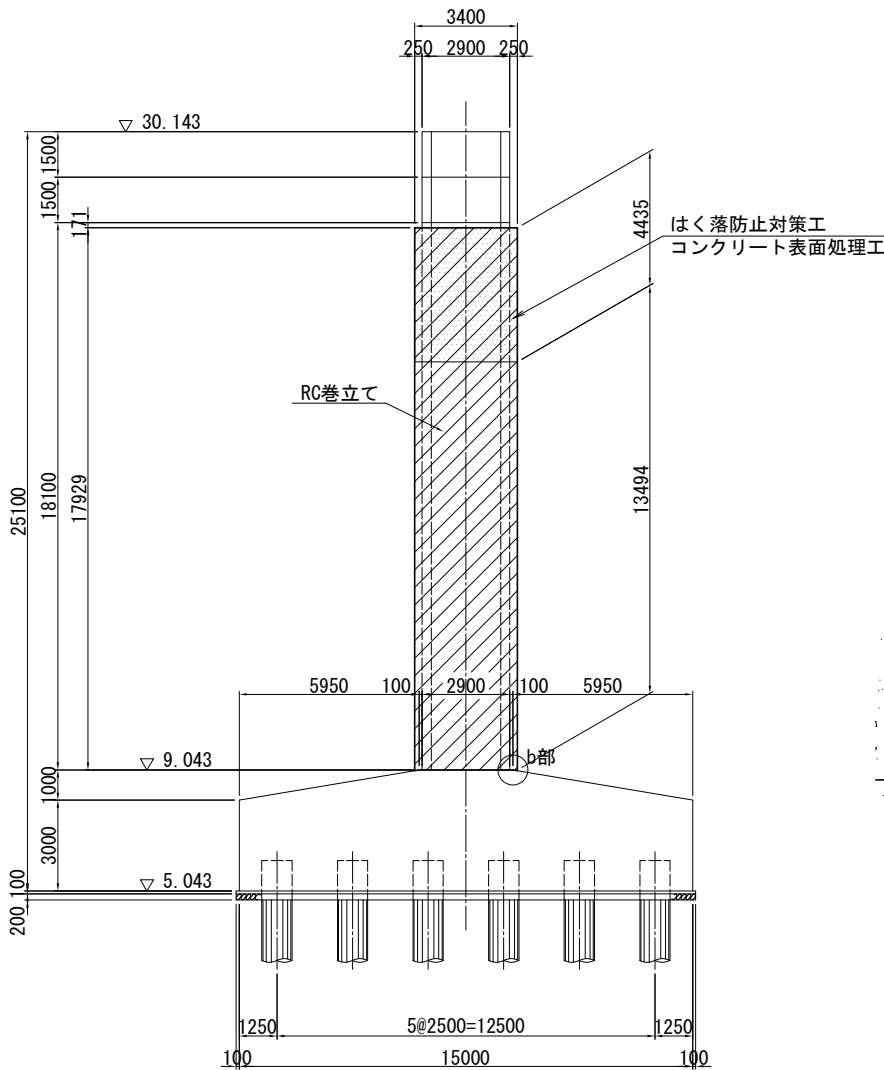
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P4橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

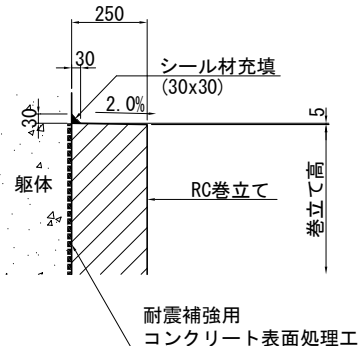


側面図

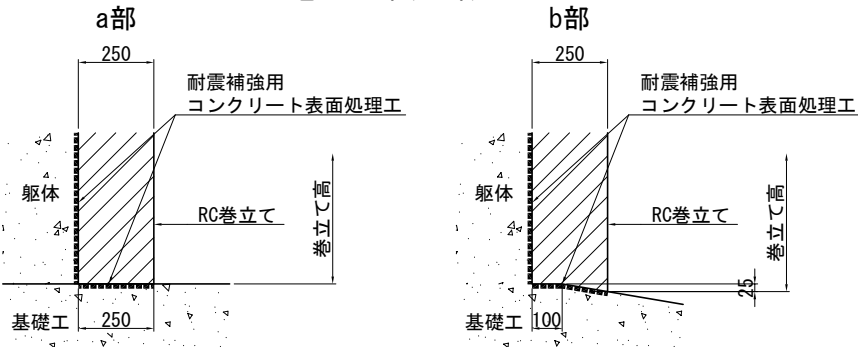


巻立て部詳細図 S=1:25

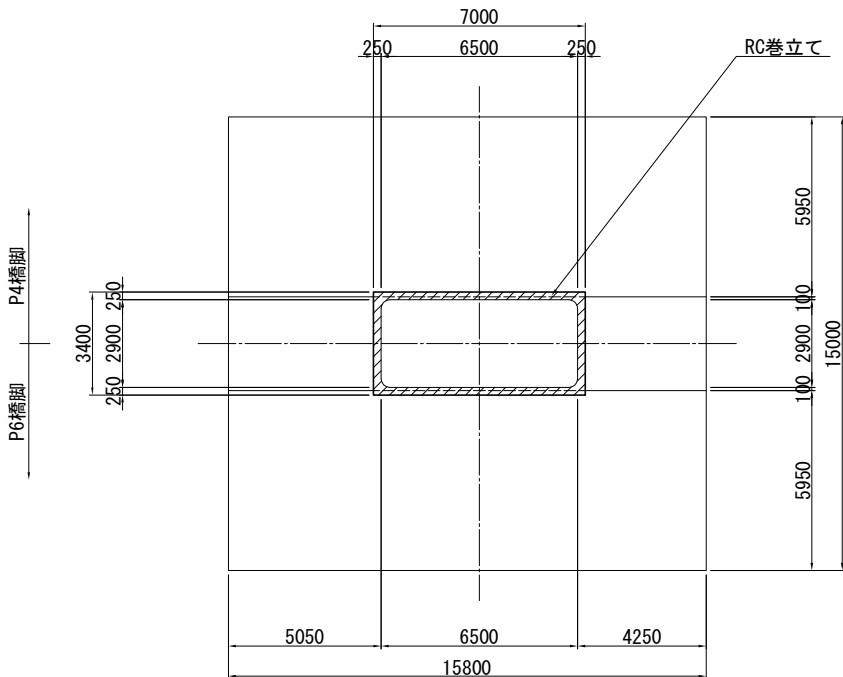
巻立て部(上部)



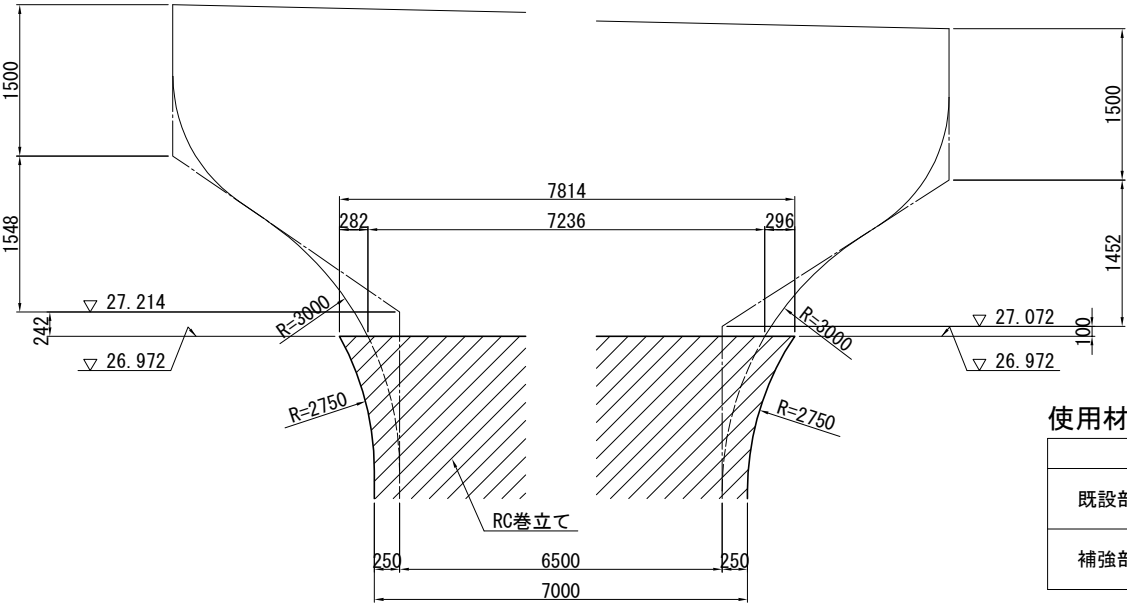
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75



- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

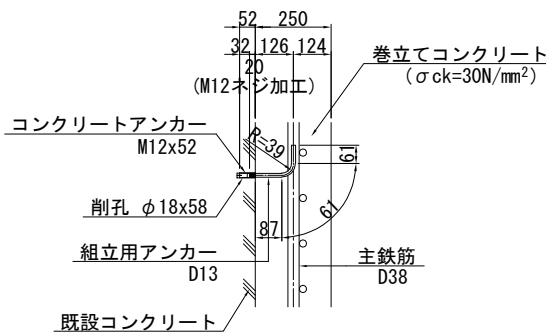
工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

1 - 1

2 - 2 3 - 3

組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



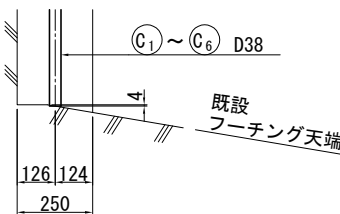
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

L (mm)	本数	質量 (kg)
230	338	77

※組立用アンカー本数
N=337.6m²/1本/m²=338本

A部詳細図 S=1:25

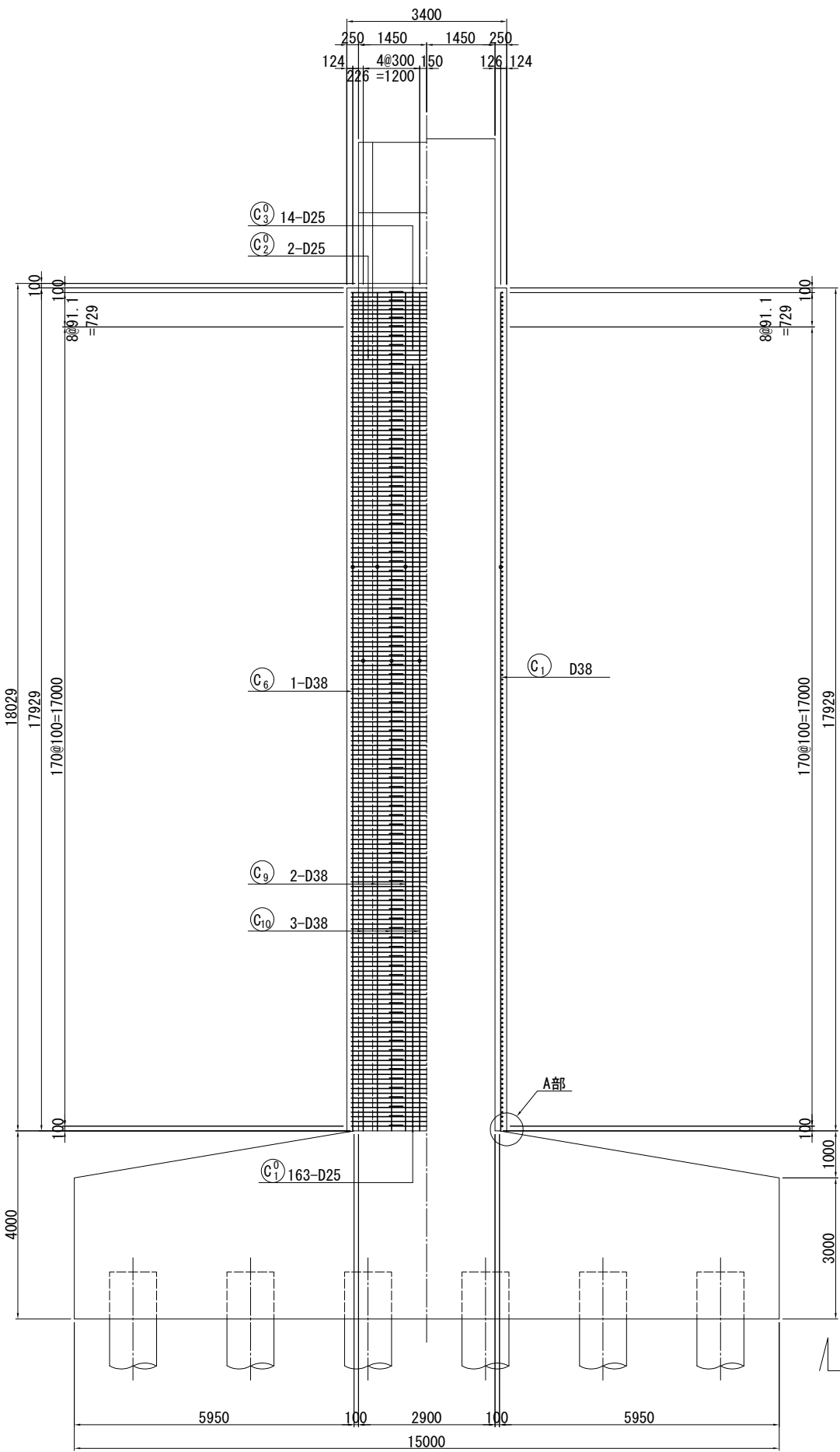
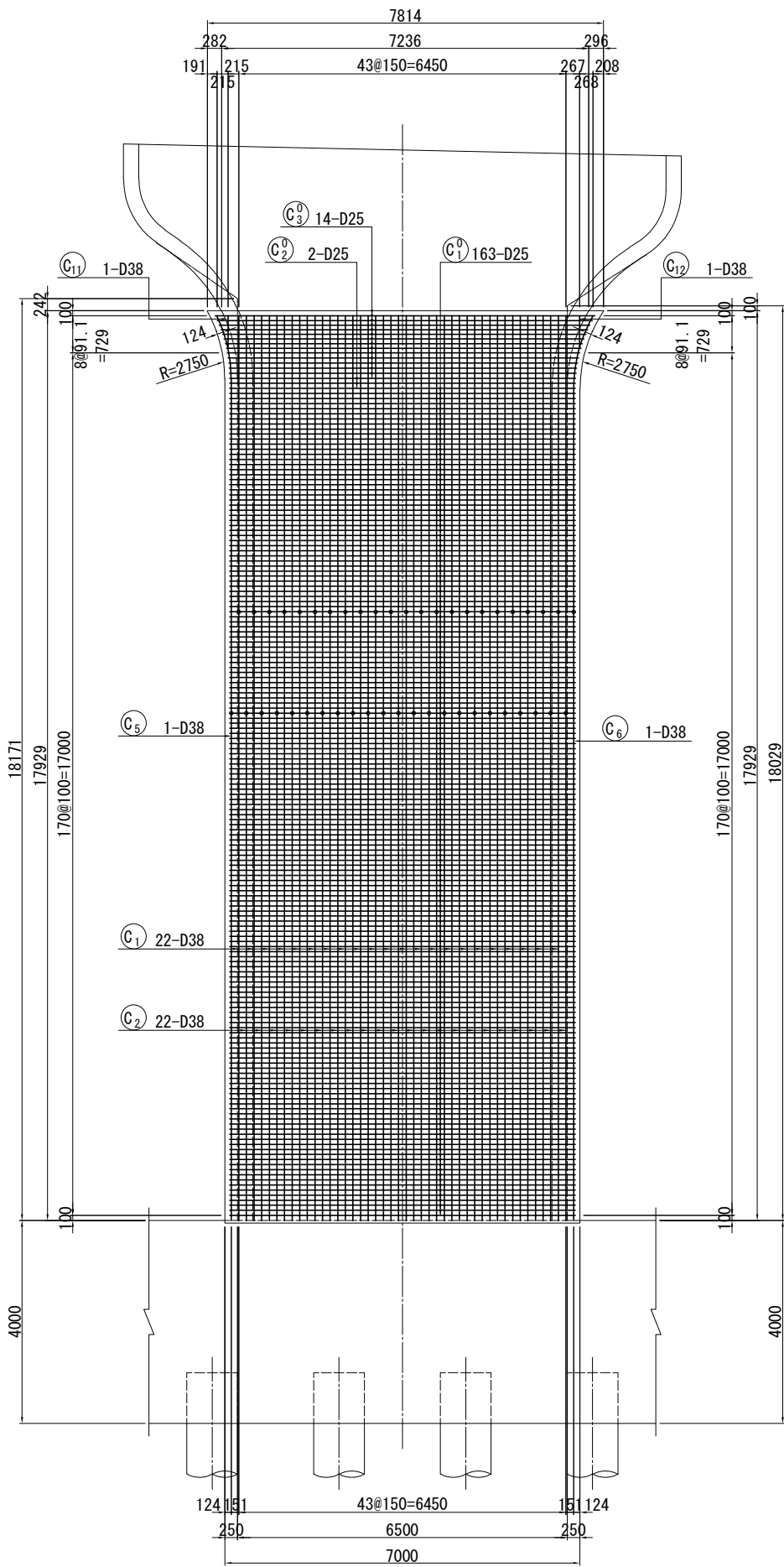
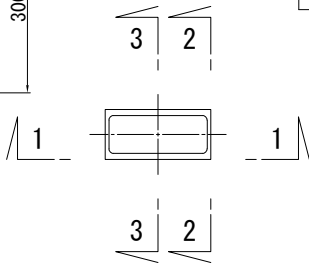


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

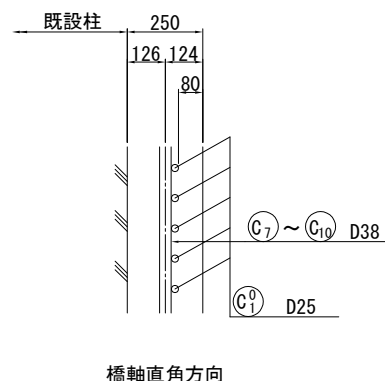
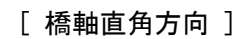
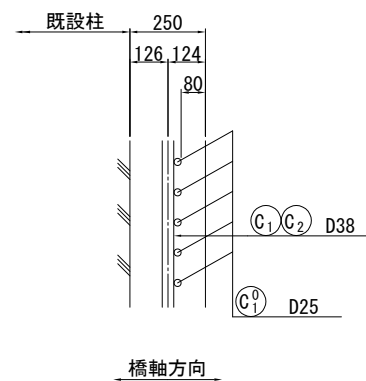
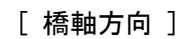
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm²
	鉄 筋 SD345

位 置 図

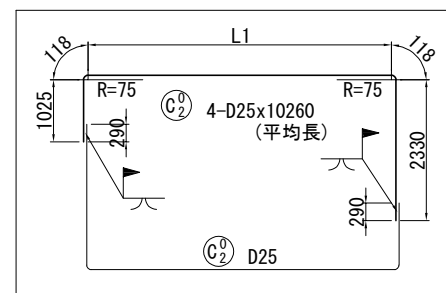


かぶり詳細図 S=1:25

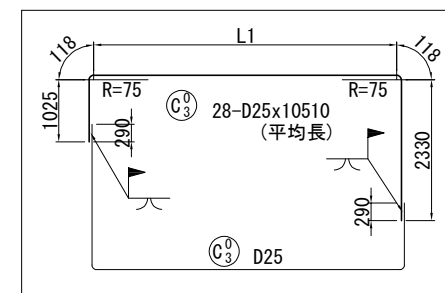


D:鉄筋径
 S:溶接ビ
 a:のど厚
 ※

※ $a=0.39D-4$
 $S=0.5D$



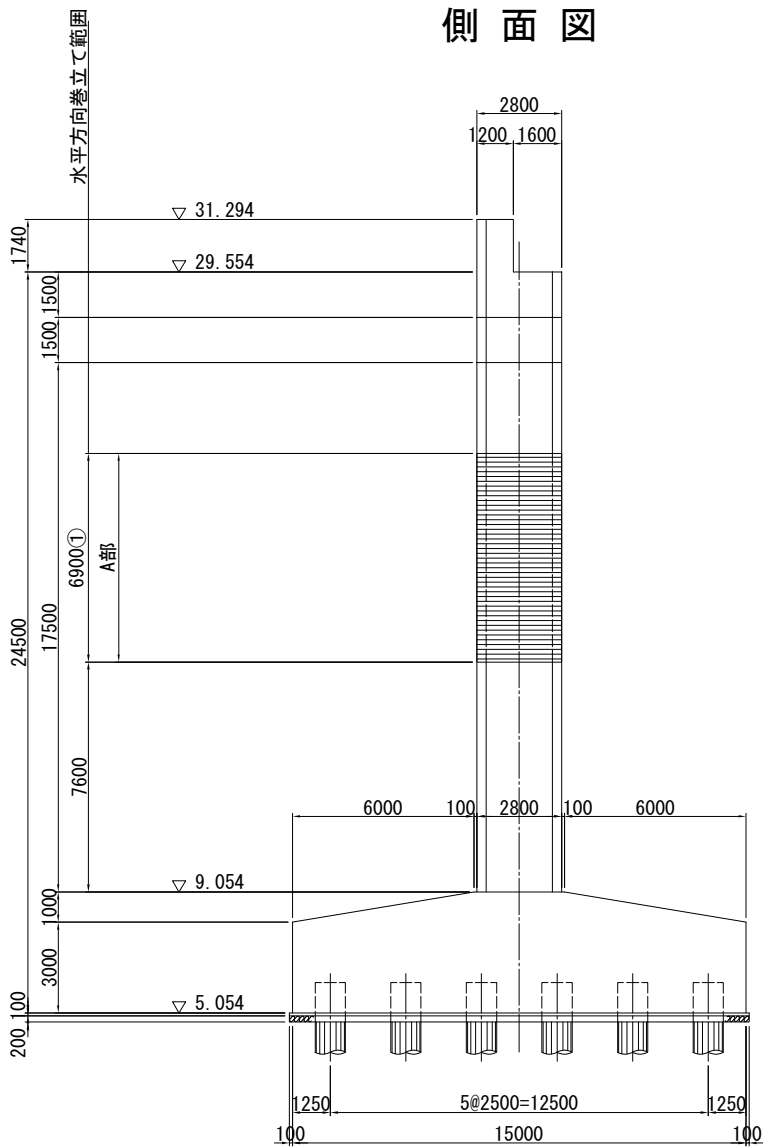
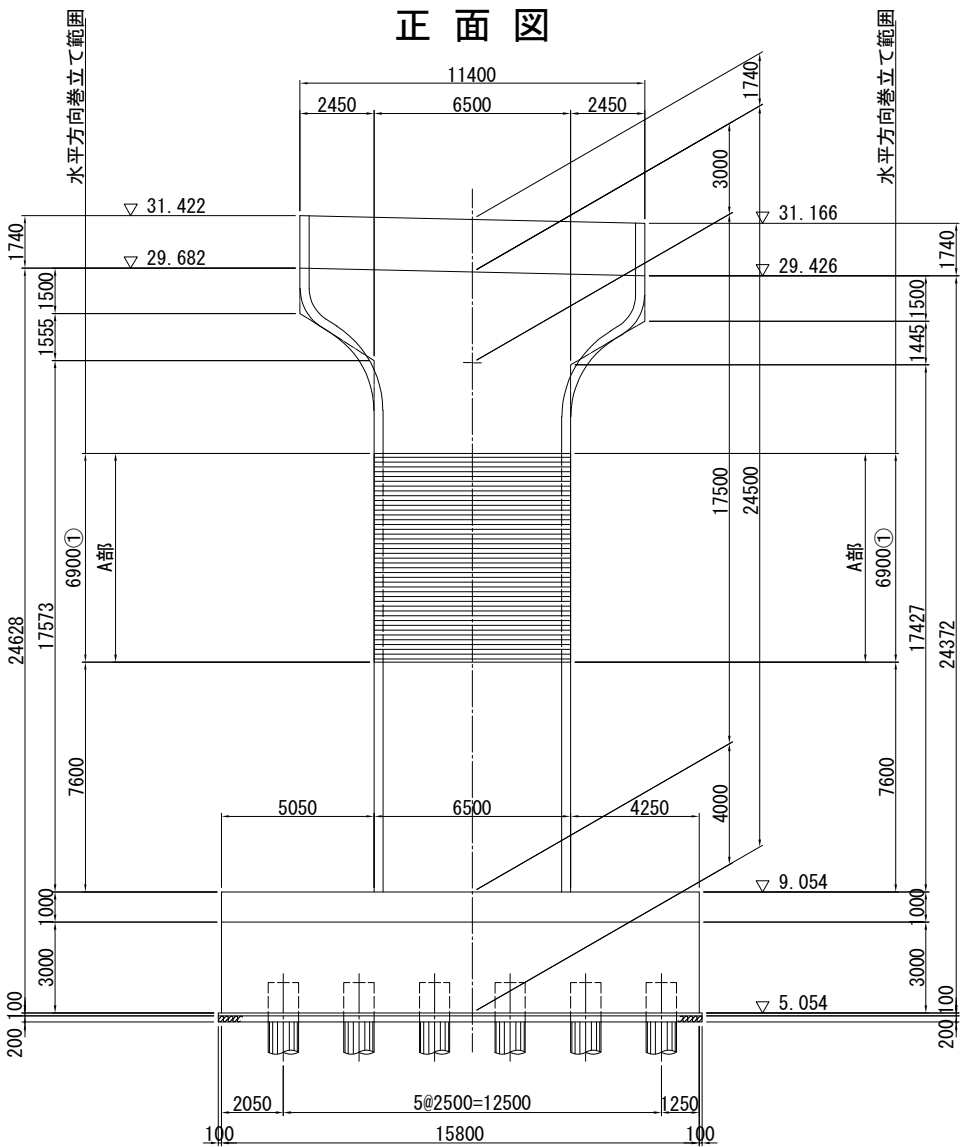
記号	径	本数	L1	L
1	D25	2	6667	10260
2	D25	2	6665	10260
平均		4	6666	10260



記号	径	本数	L1	L
1	D25	2	7336	10930
2	D25	2	7243	10840
3	D25	2	7158	10750
4	D25	2	7081	10680
5	D25	2	7011	10610
6	D25	2	6948	10540
7	D25	2	6892	10490
8	D25	2	6842	10440
9	D25	2	6799	10390
10	D25	2	6759	10350
11	D25	2	6727	10320
12	D25	2	6702	10300
13	D25	2	6683	10280
14	D25	2	6672	10270
平均		28	6918	10510

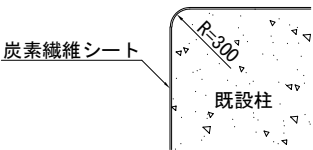
注記) 1. 鉄筋の継手位置は 1 断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚 RC巻立て補強配筋図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

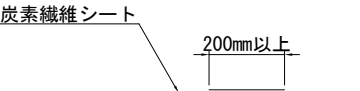


※ハッチングは補強部炭素繊維シートを示す。

柱面曲り部詳細図 S=1:125



重ね継手詳細



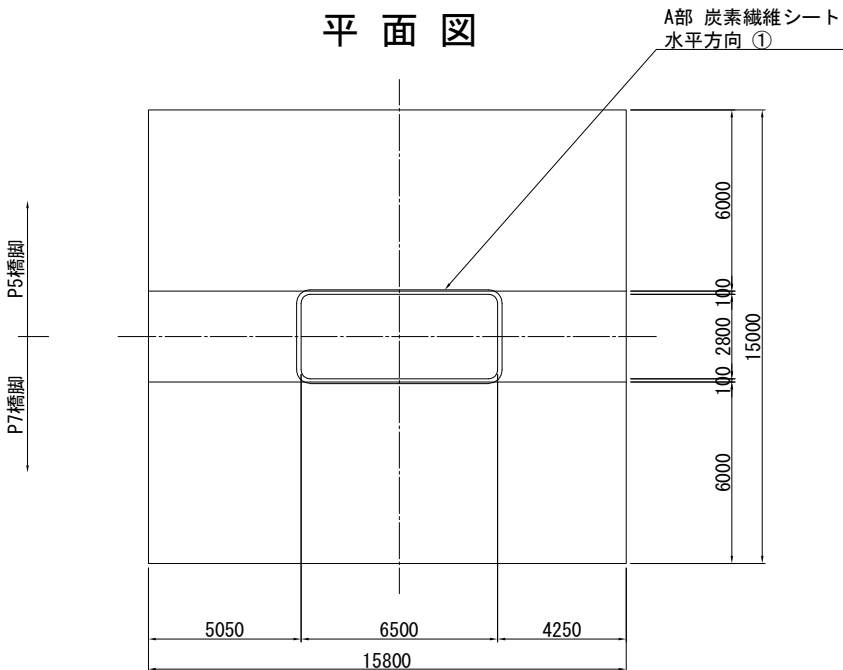
※重ね継手位置は50cm以上離すものとする。

- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 不陸修正材 (エポキシパテ) の使用量は、下地状況確認後決定する。
3. 補強部分 (既設面) は、電動工具による表面処理を行うこと。
4. 炭素繊維巻立て表面仕上げ工は、仕上げ材A (ポリマーセメントモルタルt=1mm) とする。

使用材料

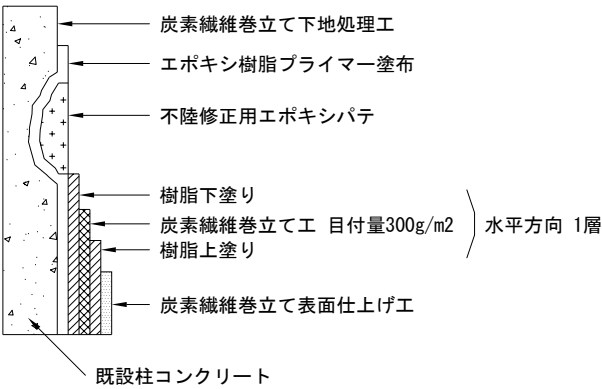
工 種	仕 様	
	コンクリート	24 N/mm ²
既設部	鉄 筋	SD345
補強部	炭素繊維	図 示

平面図



炭素繊維シート施工断面図

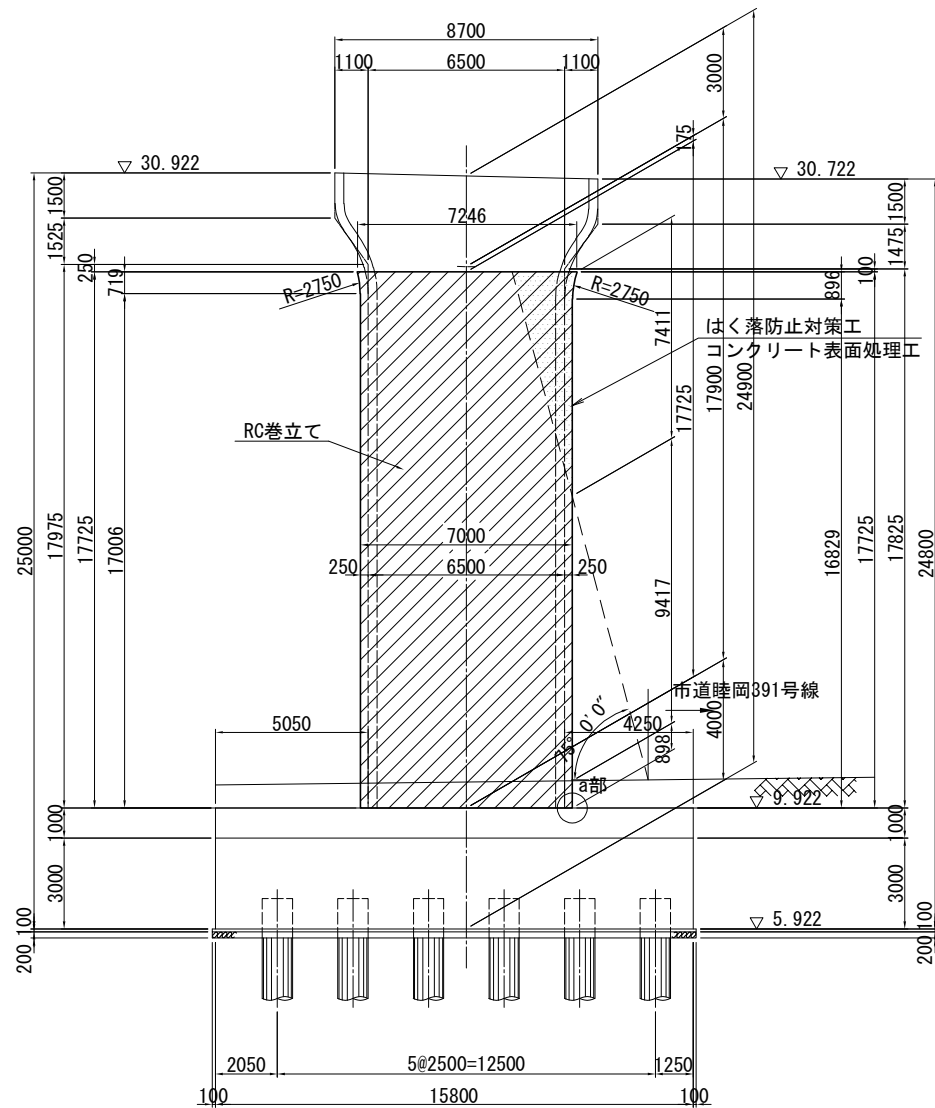
A部



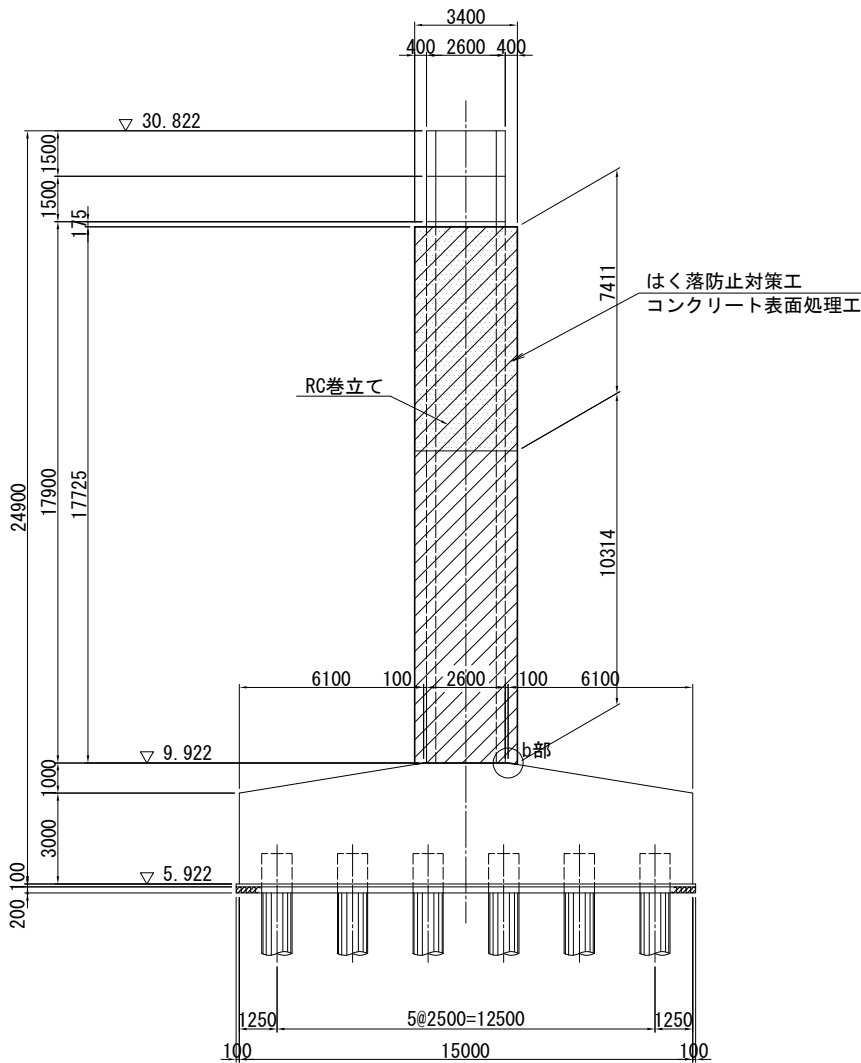
炭素繊維シート

	目付量	方向	層	引張強度	引張弾性率 (N/mm ²)	設計厚さ	種別
①	300g/m ²	水平	1 層	3400N/mm ²	(2.45 ± 0.36) × 10 ⁵	0.167mm	高強度型

正面図

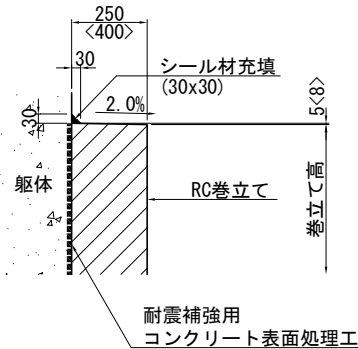


側面図

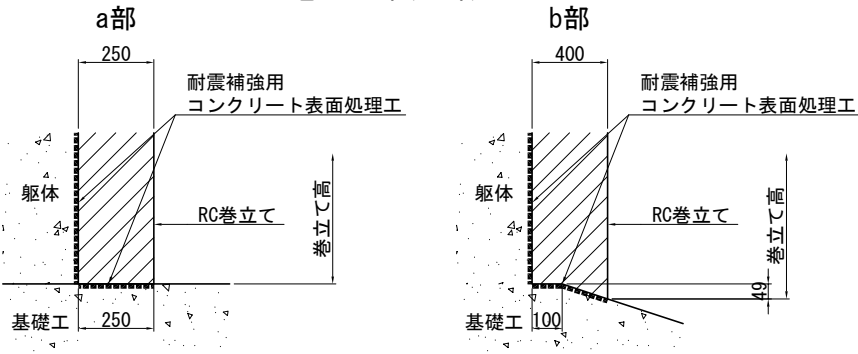


巻立て部詳細図 S=1:25

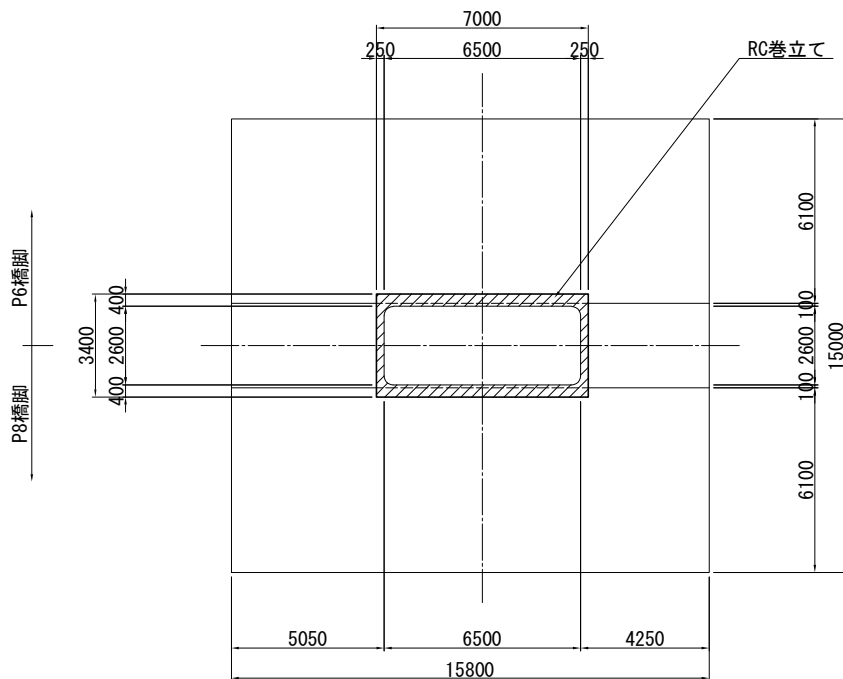
巻立て部(上部)



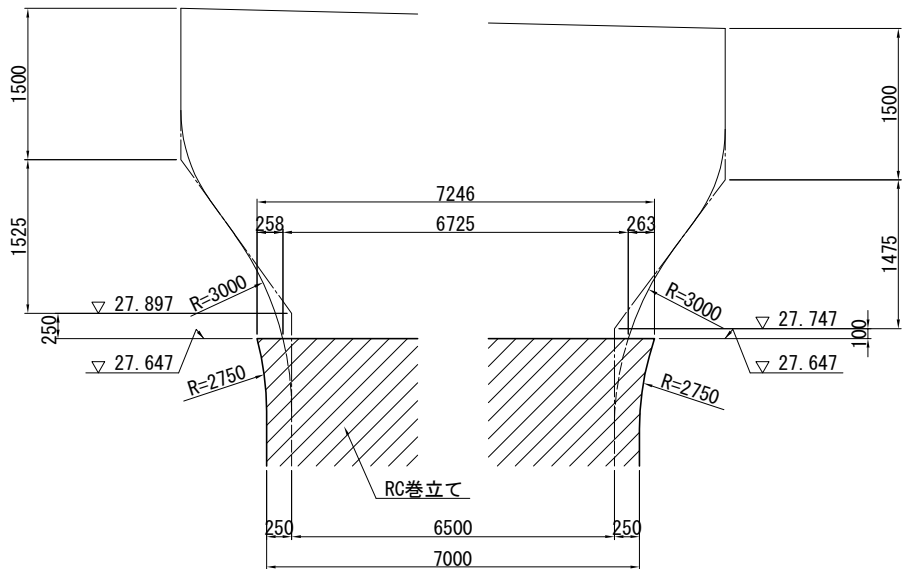
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75

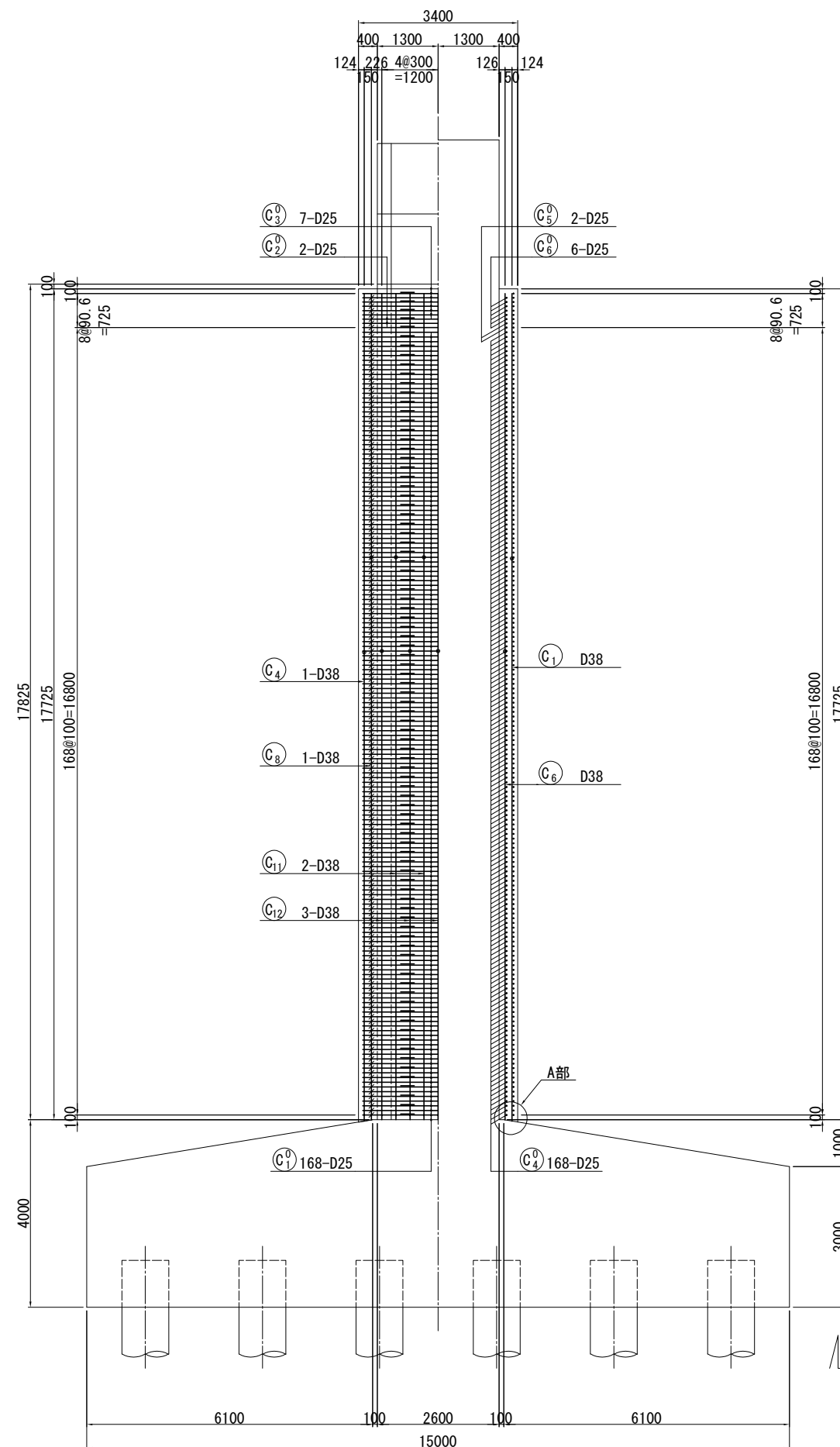


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

$$2 - 2 \quad 3 - 3$$


52 400 (250)

32 276 124

20 (101) 149

(M12ネジ加工)

巻立てコンクリート
($\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$)

コンクリートアンカー
M12x52

削孔 $\phi 18 \times 58$

組立用アンカーA(B)
D13

R=39

67

237 (62)

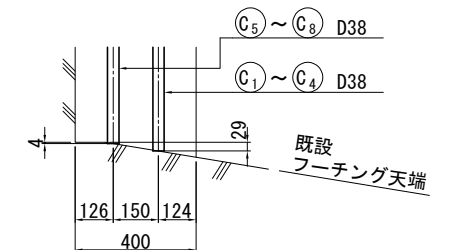
主鉄筋
D38

既設コンクリート

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	380	233	88
B	210	105	22
合計		338	110

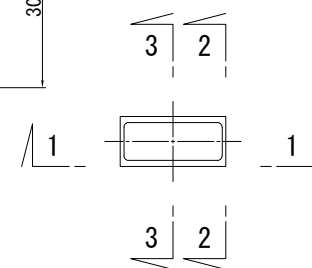
A部詳細図 S=1:25



- ## 使用材料

工 種		仕 様
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

位置図



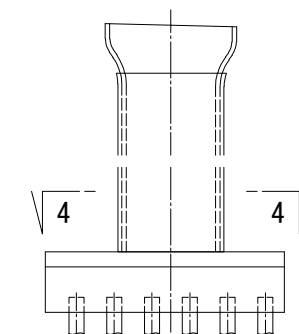
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

Technical drawing of a rectangular tank with dimensions and reinforcement details. The drawing shows a cross-section of the tank with a central rectangular cavity. The overall dimensions are 7000 mm in width and 3400 mm in height. The width is divided into three sections: 250 mm on the left, 6500 mm in the center, and 250 mm on the right. The height is divided into four sections: 400 mm at the top, 2600 mm in the middle, 400 mm at the bottom, and 150 mm at the base. The drawing includes reinforcement details such as 22-D38 bars, 1-D38 bars, 4-D38 bars, 5-D38 bars, and 43@150=6450 mesh. The drawing also shows a central rectangular cavity with a width of 6450 mm and a height of 2600 mm. The drawing is labeled with various callouts and dimensions.

[橋軸方向]

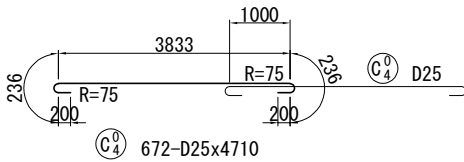
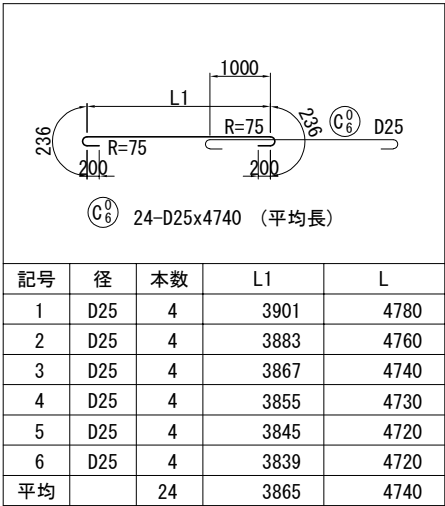
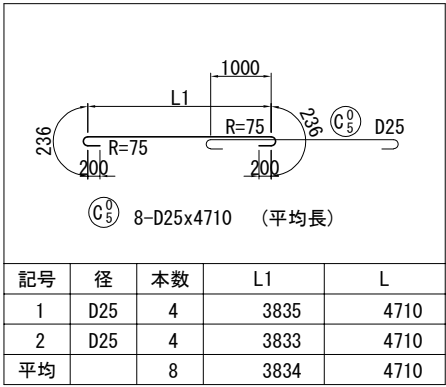
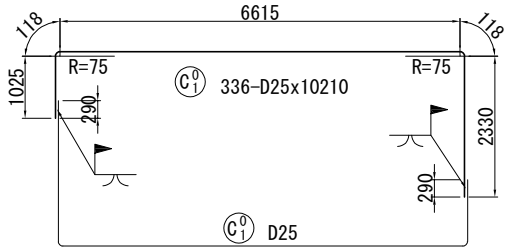
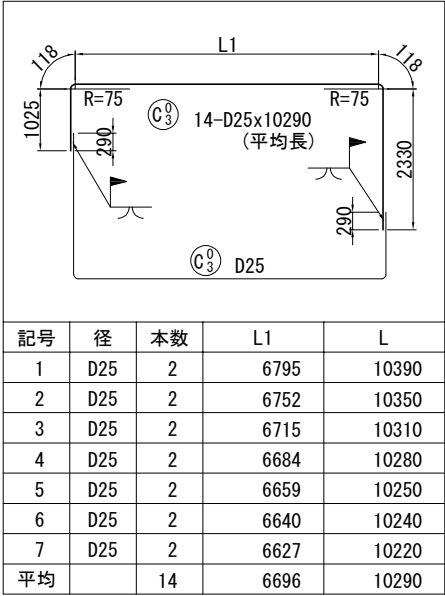
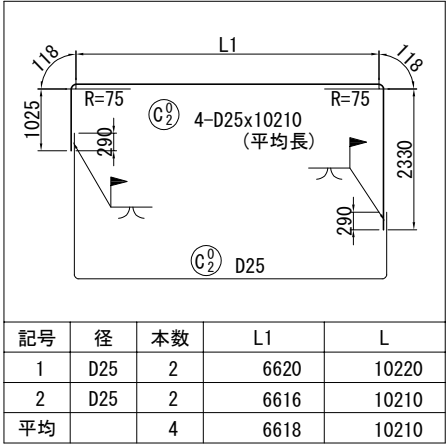
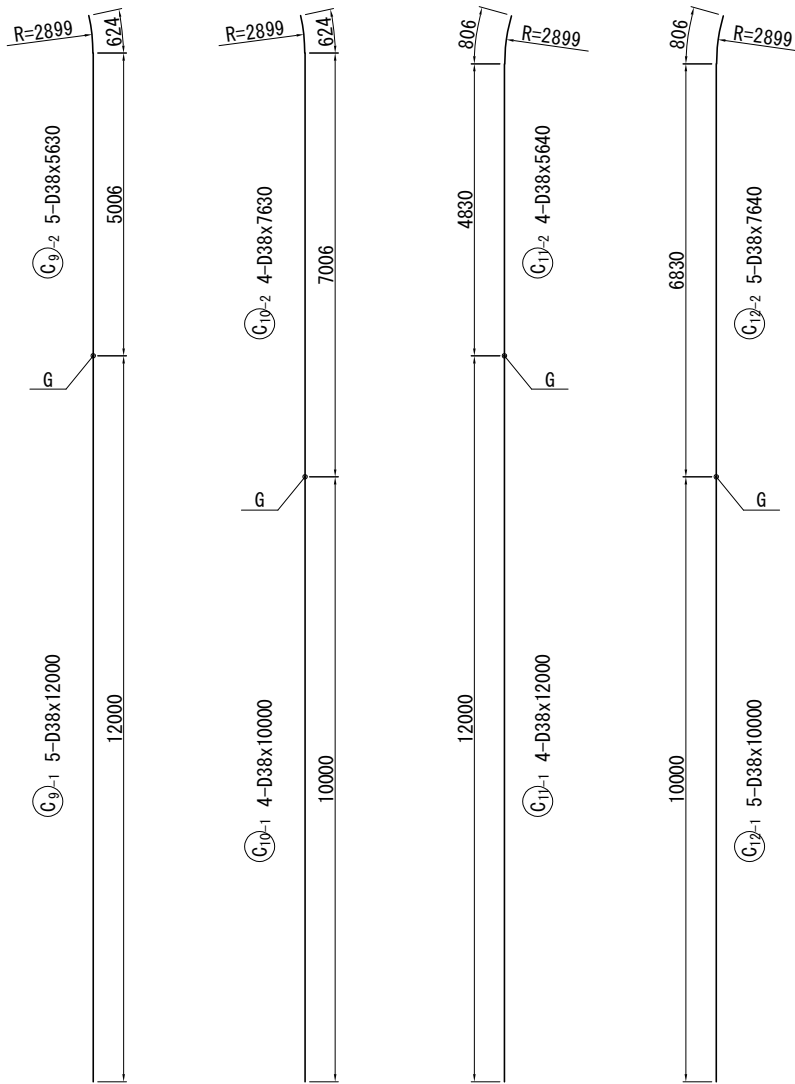
[橋軸直角方向]

位置図

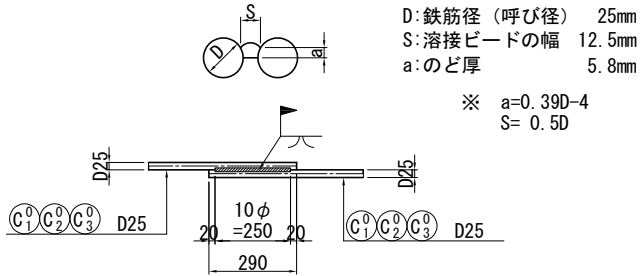


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
戸田高架橋 P7橋脚			
図面の種類		RC巻立て補強配筋図(その2)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	



フレアー溶接詳細図 S=1:25



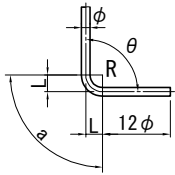
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	5660	44	8.95	50.7	2231	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	7660	44	8.95	68.6	3018	
C 3 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 3 -2	D38	5660	2	8.95	50.7	101	┘
C 4 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 4 -2	D38	7670	2	8.95	68.6	137	┘
C 5 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 5 -2	D38	5630	44	8.95	50.4	2218	
C 6 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 6 -2	D38	7630	44	8.95	68.3	3005	
C 7 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 7 -2	D38	7640	2	8.95	68.4	137	┘
C 8 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 8 -2	D38	5640	2	8.95	50.5	101	┘
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	5630	5	8.95	50.4	252	┘
C 10 -1	D38	10000	4	8.95	89.5	358	↑ (4)
C 10 -2	D38	7630	4	8.95	68.3	273	┘
C 11 -1	D38	12000	4	8.95	107	428	↑ (4)
C 11 -2	D38	5640	4	8.95	50.5	202	┘
C 12 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 12 -2	D38	7640	5	8.95	68.4	342	┘
						31864	kg
C 1 ⁰	D25	10210	336	3.98	40.6	13642	┘ [336]
C 2 ⁰	D25	10210	4	3.98	40.6	162	┘ 平均長 [4]
C 3 ⁰	D25	10290	14	3.98	41.0	574	┘ 平均長 [14]
C 4 ⁰	D25	4710	672	3.98	18.7	12566	┘
C 5 ⁰	D25	4710	8	3.98	18.7	150	┘ 平均長
C 6 ⁰	D25	4740	24	3.98	18.9	454	┘ 平均長
						27548	kg
T				ガス圧接箇所数	フレアー溶接箇所数		
D38		31864 kg		(202)		-	
D25		27548 kg		-		[354]	
合 計		59412 kg		(202)		[354]	
コンクリートアンカー				M12x52	338	個	
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

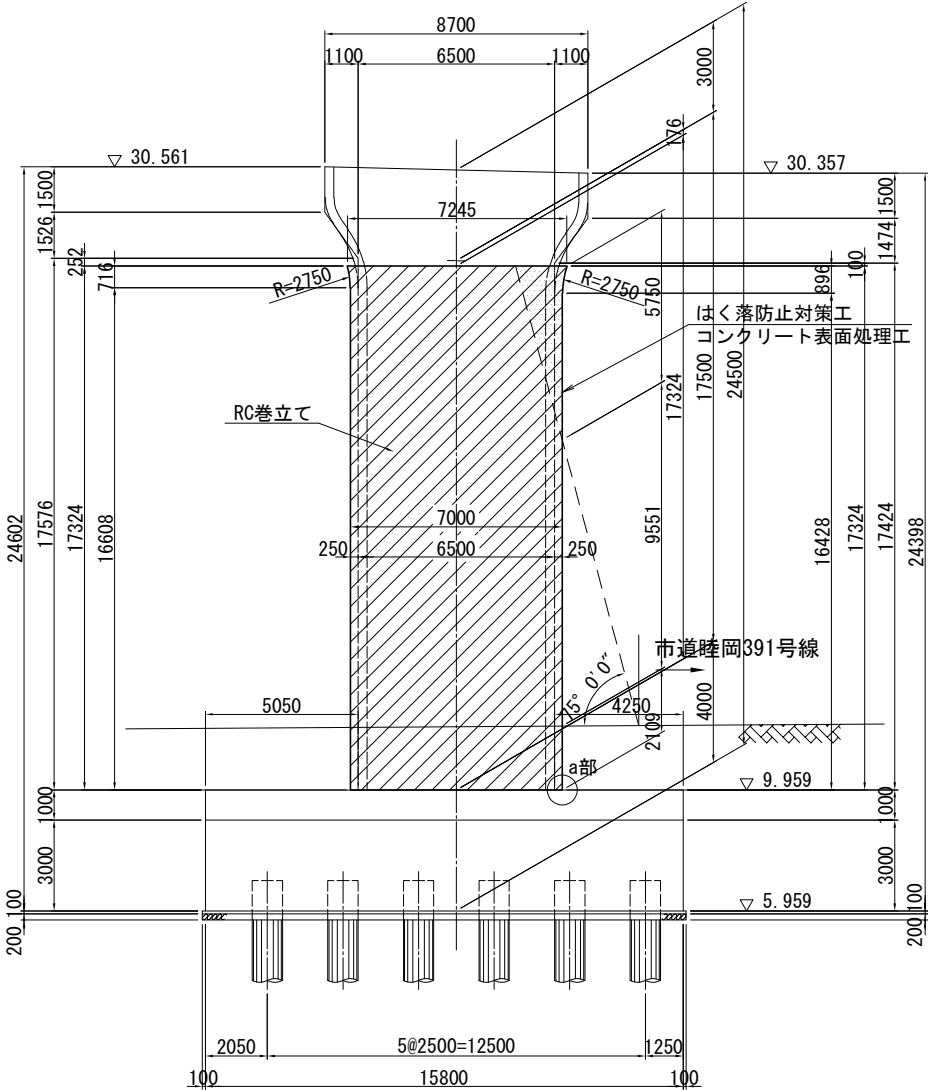
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

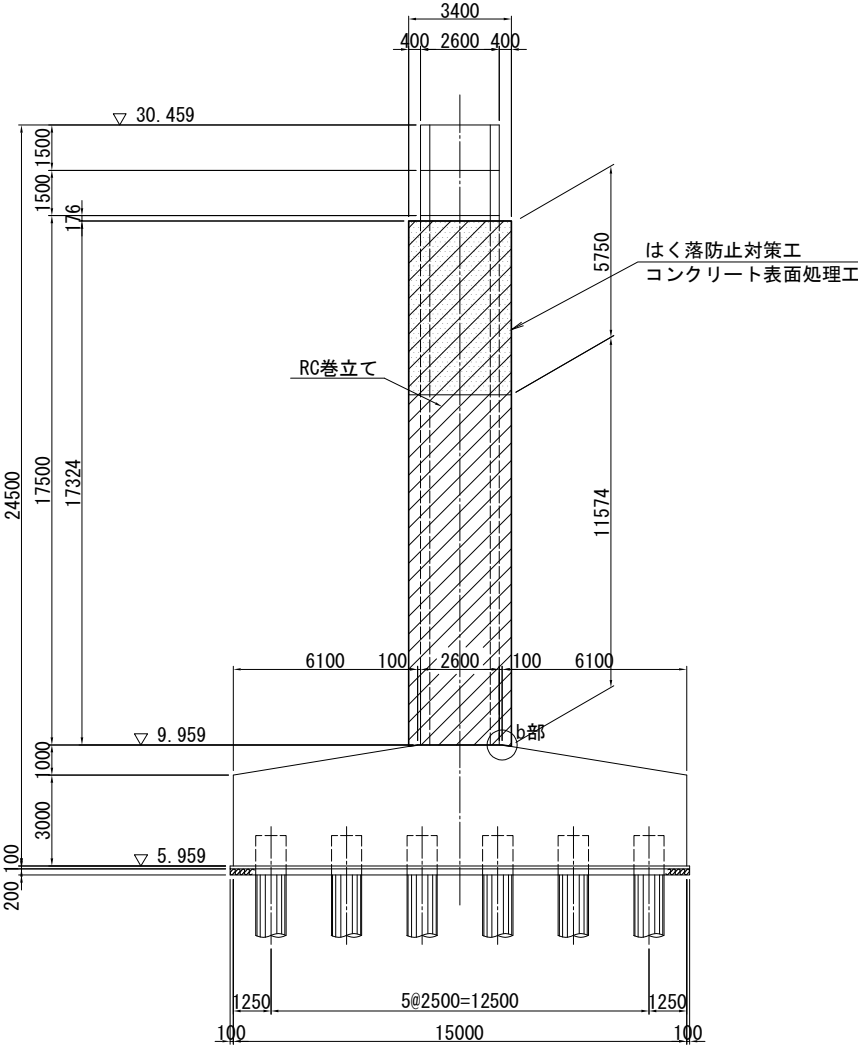
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

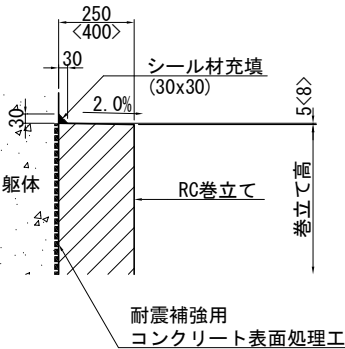


側面図

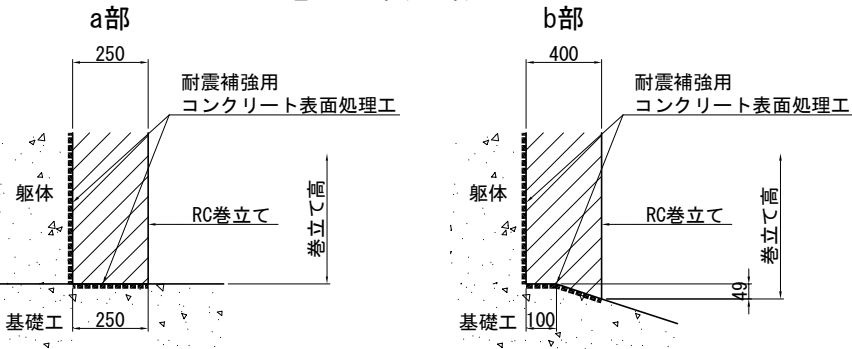


巻立て部詳細図 S=1:25

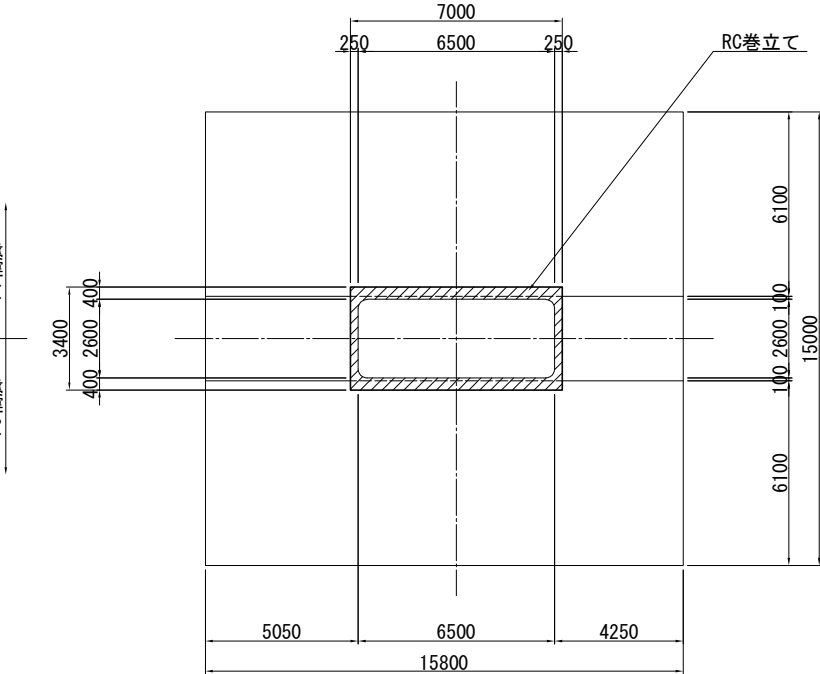
巻立て部(上部)



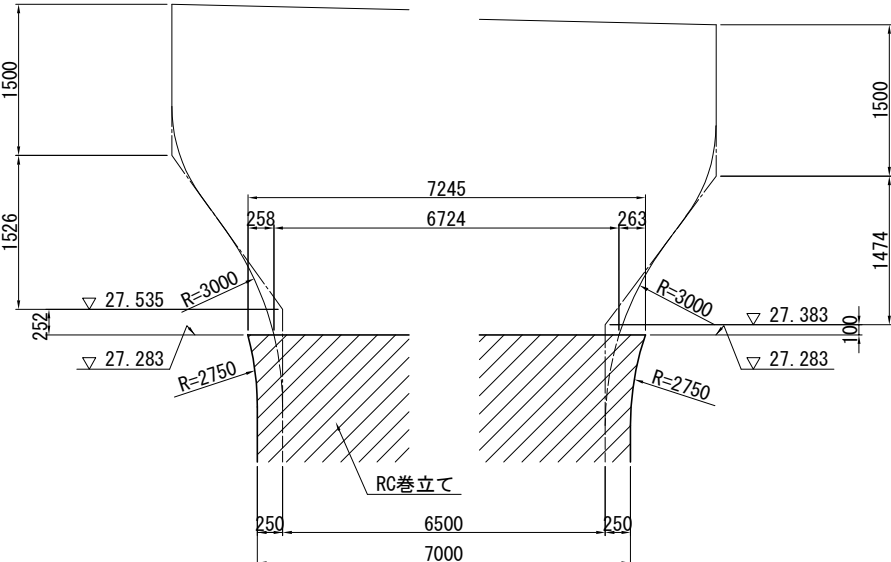
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75

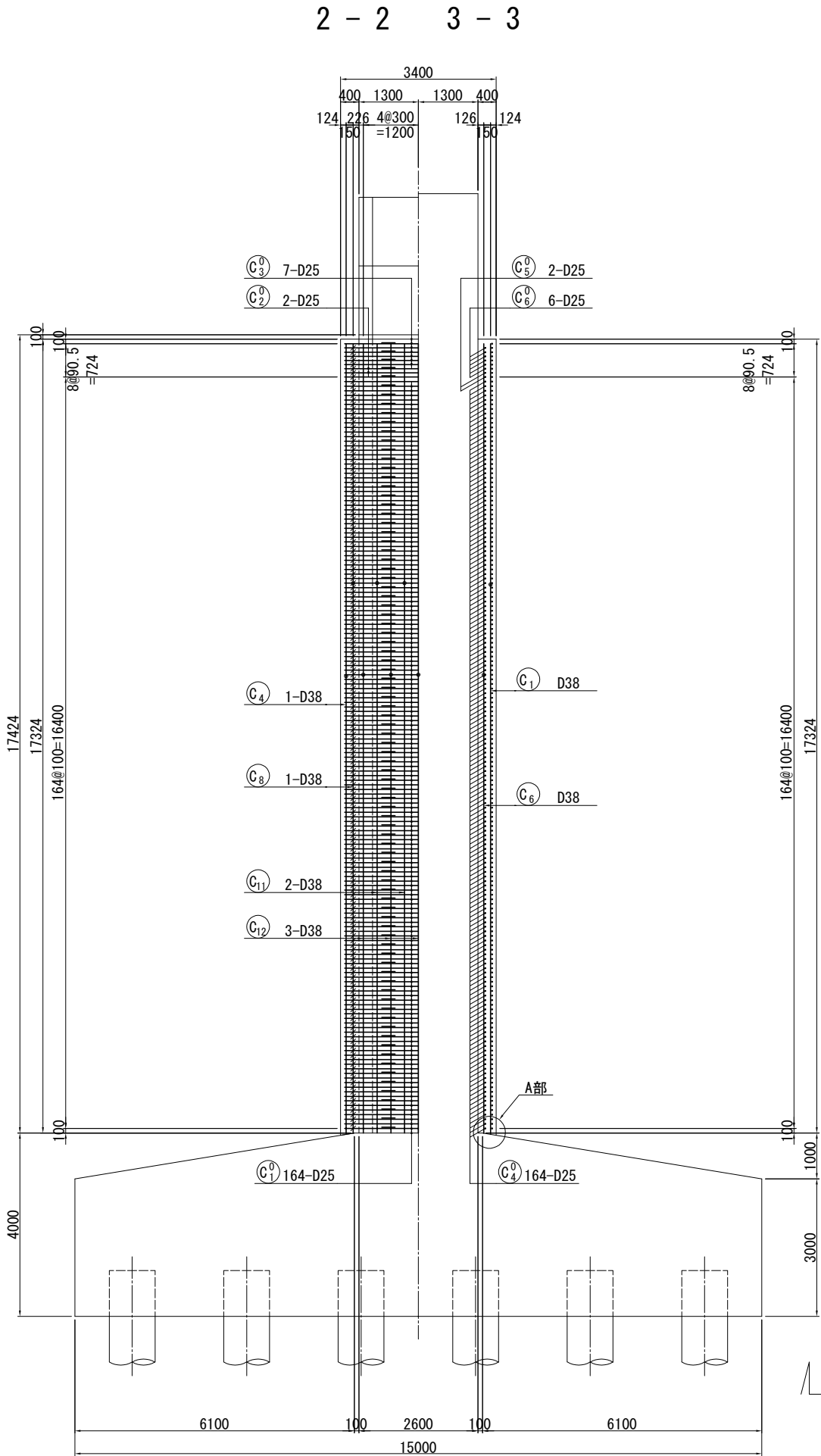
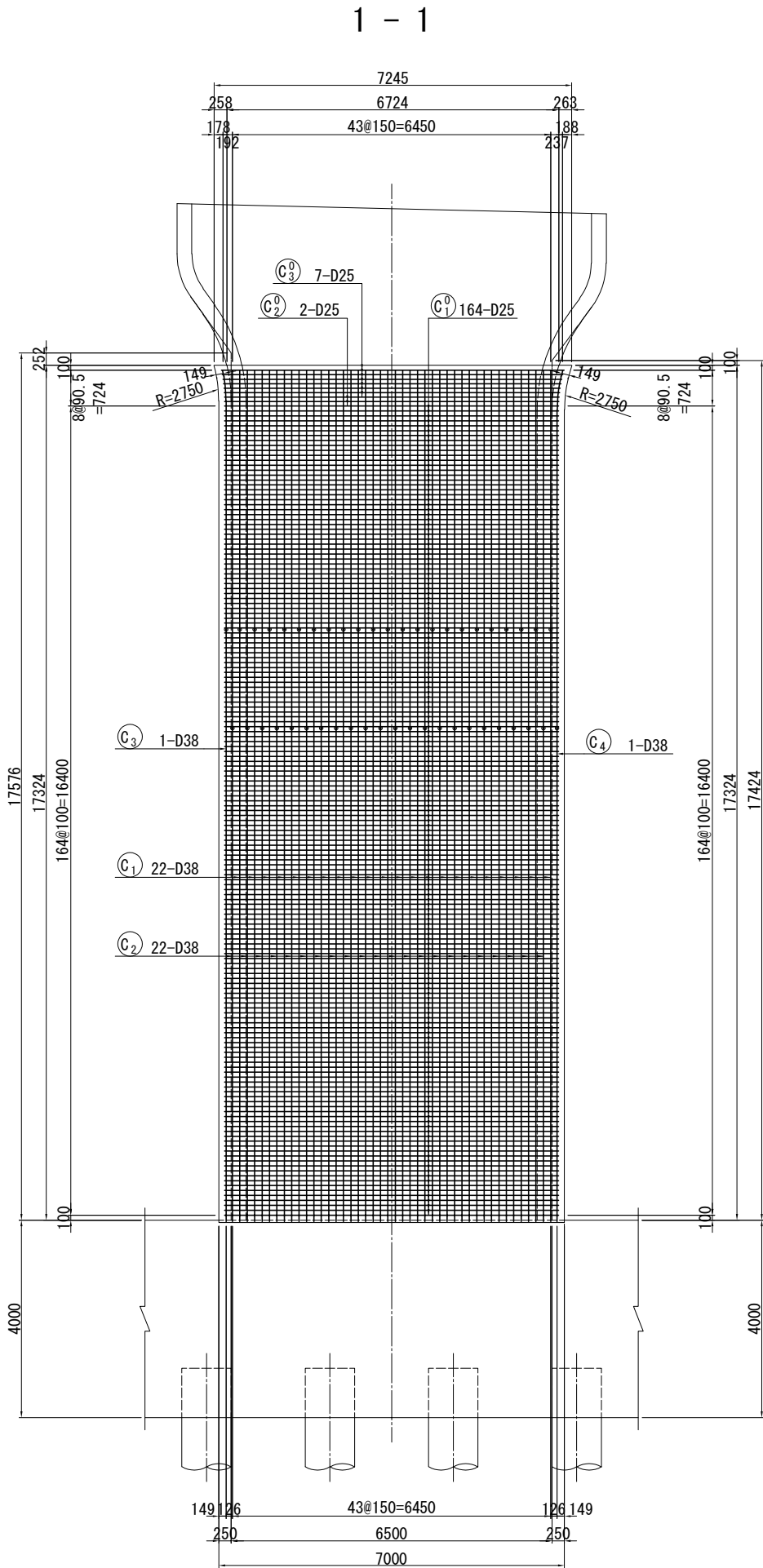


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

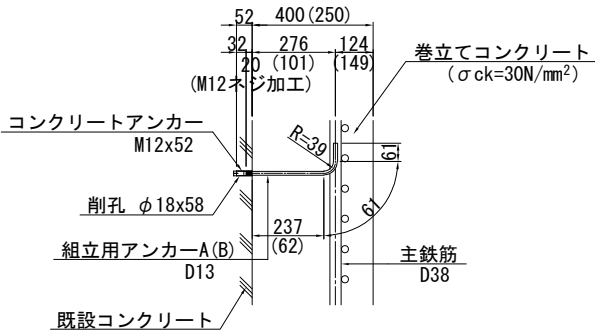
使用材料

工種	仕様
既設部	コンクリート 24 N/mm ²
	鉄筋 SD345
補強部	コンクリート 30 N/mm ²
	鉄筋 SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



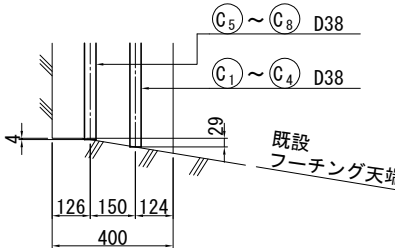
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	380	225	85
B	210	90	19
合計		315	104

※組立用アンカー本数
N=225.3m²/1本/m²=225本
N= 90.2m²/1本/m²= 90本

A部詳細図 S=1:25

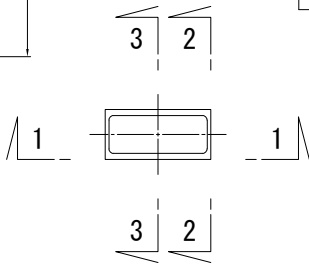


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

使用材料

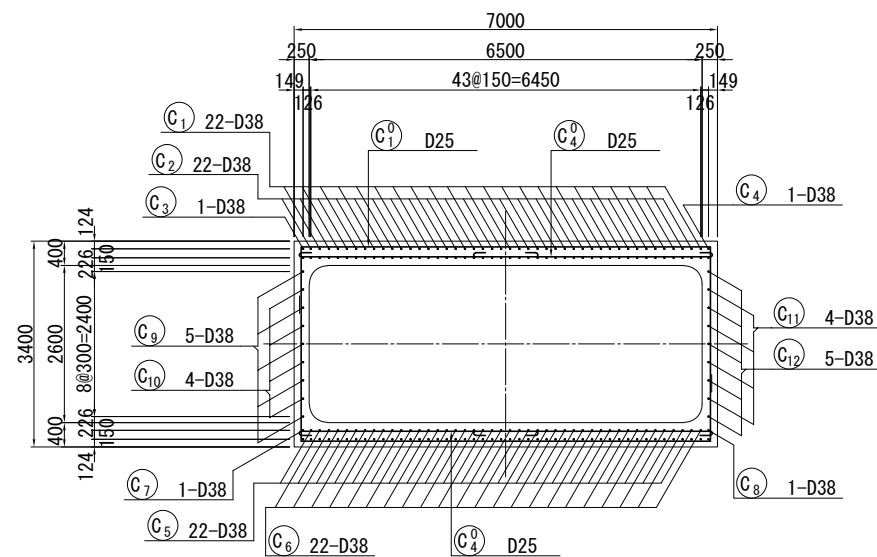
工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

位 置 図



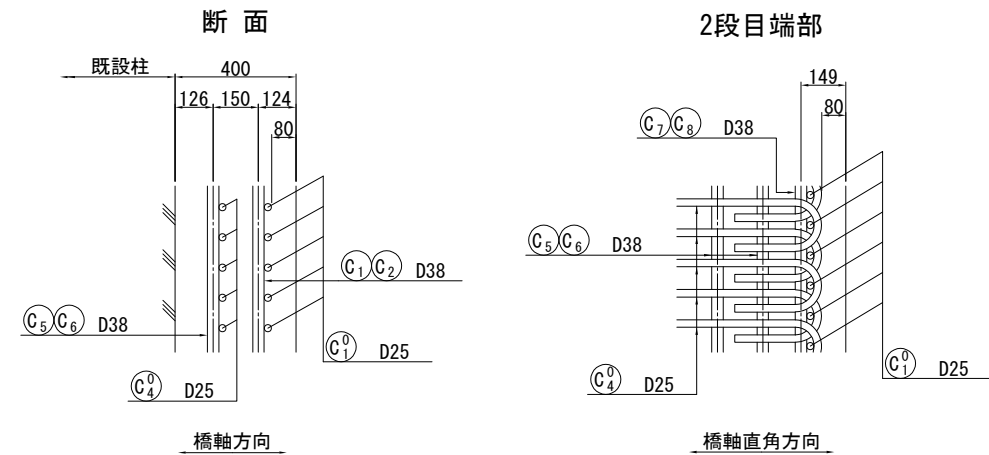
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

4 - 4

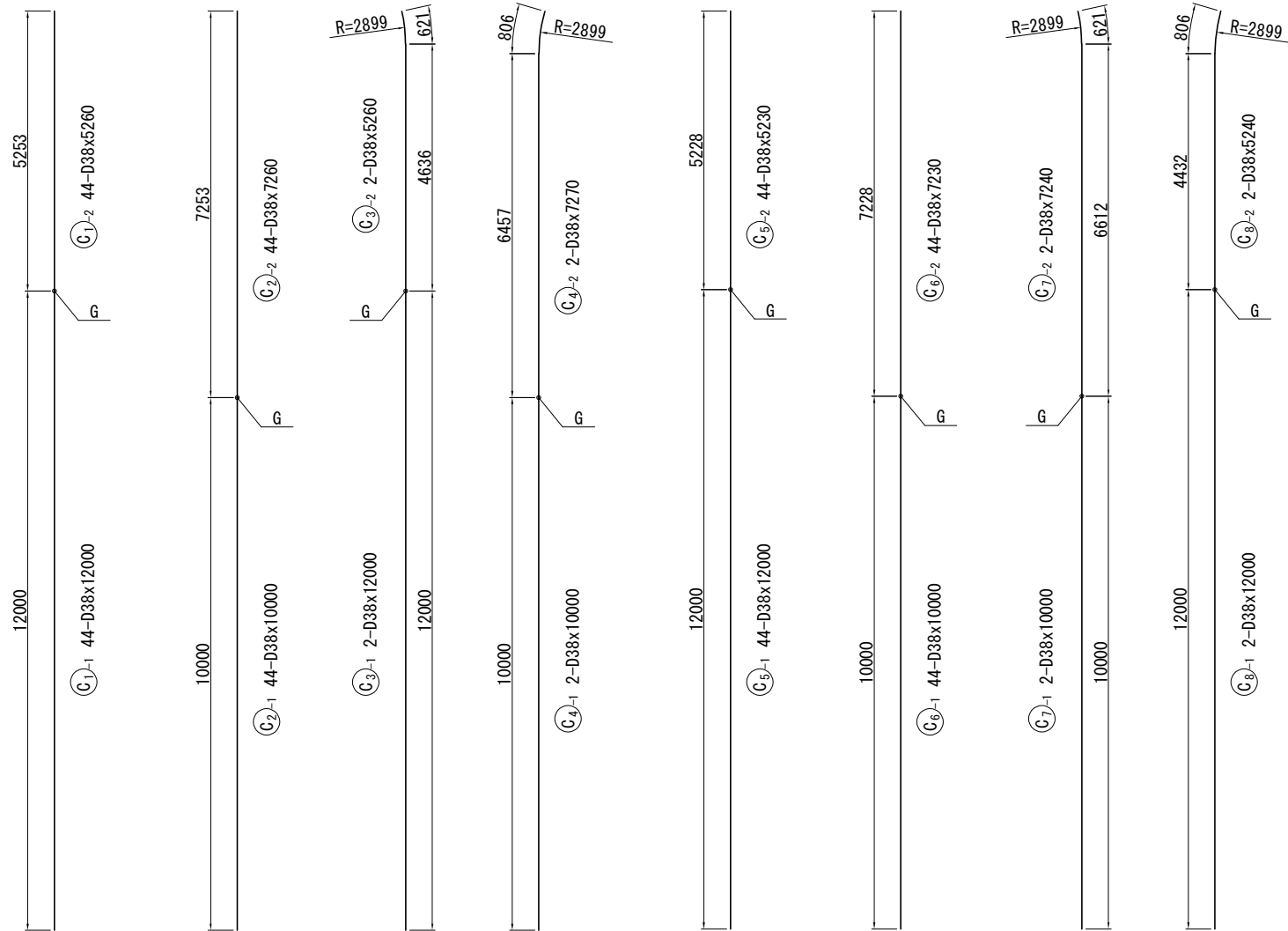
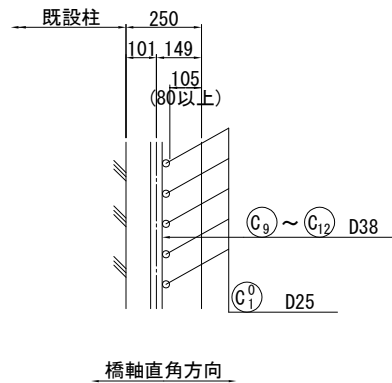


かぶり詳細図 S=1:25

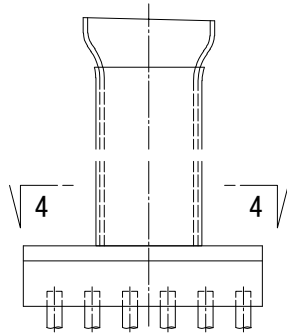
[橋軸方向]



[橋軸直角方向]

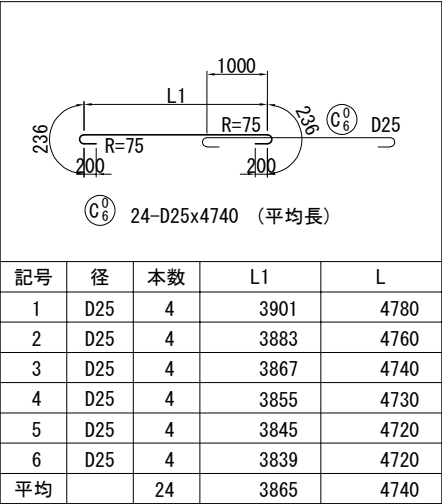
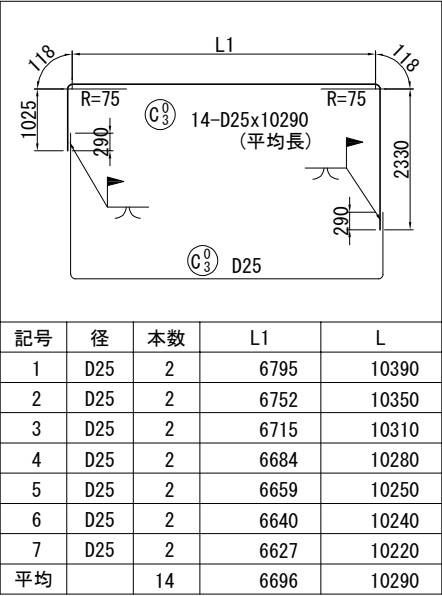
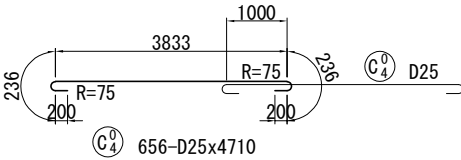
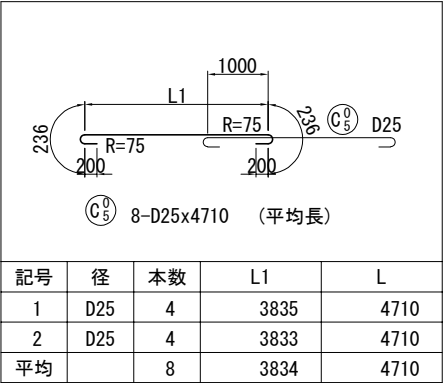
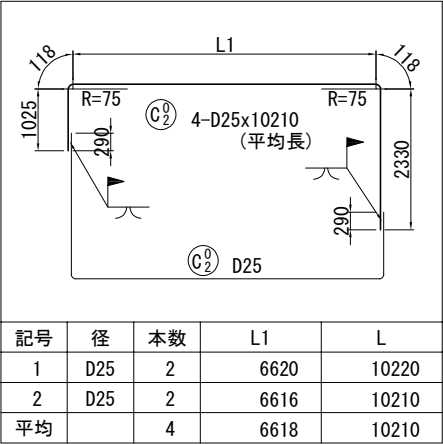
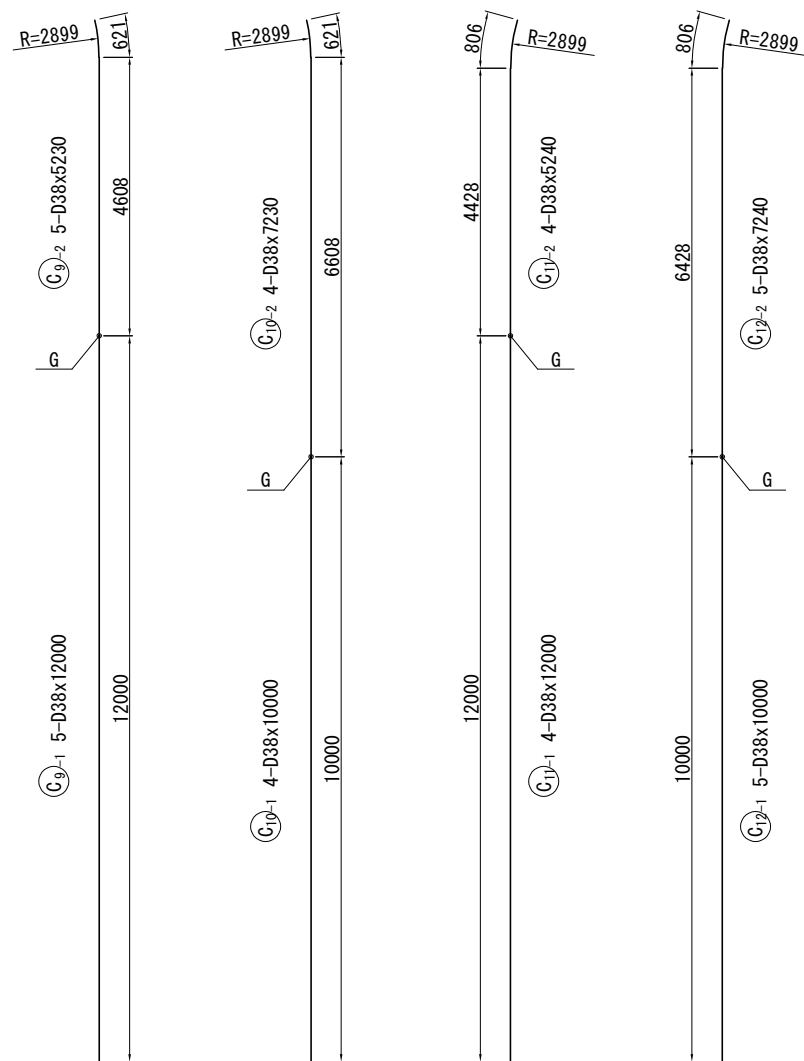


位置図

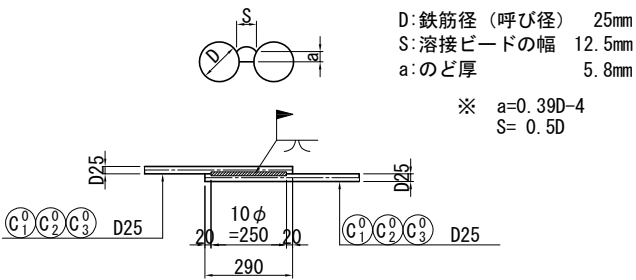


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



フレアー溶接詳細図 S=1:25



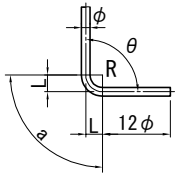
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚		
	RC巻立て補強配筋図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	5260	44	8.95	47.1	2072	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	7260	44	8.95	65.0	2860	
C 3 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 3 -2	D38	5260	2	8.95	47.1	94	┘
C 4 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 4 -2	D38	7270	2	8.95	65.1	130	┘
C 5 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 5 -2	D38	5230	44	8.95	46.8	2059	
C 6 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 6 -2	D38	7230	44	8.95	64.7	2847	
C 7 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 7 -2	D38	7240	2	8.95	64.8	130	┘
C 8 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 8 -2	D38	5240	2	8.95	46.9	94	┘
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	5230	5	8.95	46.8	234	┘
C 10 -1	D38	10000	4	8.95	89.5	358	↑ (4)
C 10 -2	D38	7230	4	8.95	64.7	259	┘
C 11 -1	D38	12000	4	8.95	107	428	↑ (4)
C 11 -2	D38	5240	4	8.95	46.9	188	┘
C 12 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 12 -2	D38	7240	5	8.95	64.8	324	┘
						31138	kg
C 1 ⁰	D25	10210	328	3.98	40.6	13317	┘ [328]
C 2 ⁰	D25	10210	4	3.98	40.6	162	┘ 平均長 [4]
C 3 ⁰	D25	10290	14	3.98	41.0	574	┘ 平均長 [14]
C 4 ⁰	D25	4710	656	3.98	18.7	12267	┘
C 5 ⁰	D25	4710	8	3.98	18.7	150	┘ 平均長
C 6 ⁰	D25	4740	24	3.98	18.9	454	┘ 平均長
						26924	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		31138	kg	(202)	-		
D25		26924	kg	-	[346]		
合 計		58062	kg	(202)	[346]		
コンクリートアンカー					M12x52	315	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

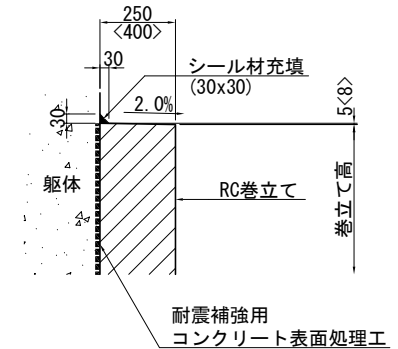
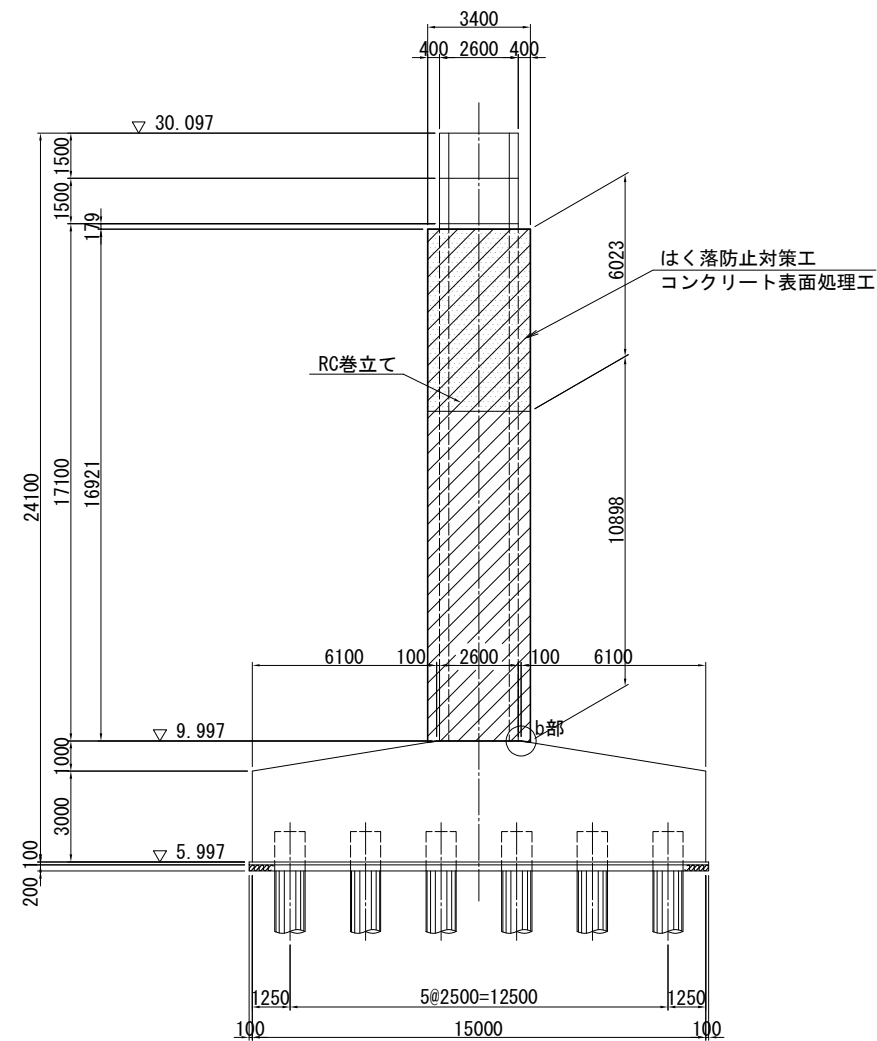
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

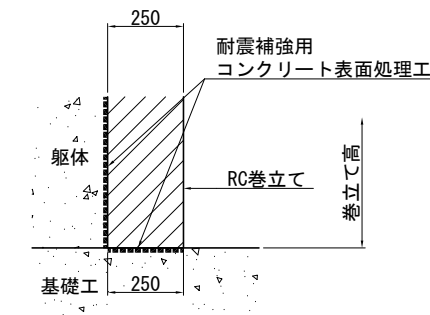
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

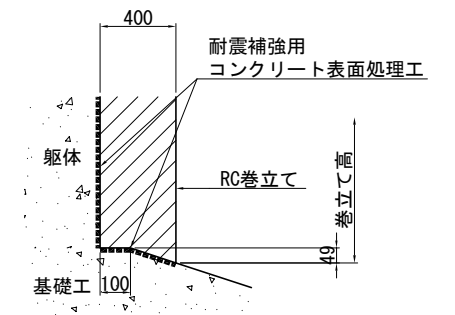
卷立て部(上部)



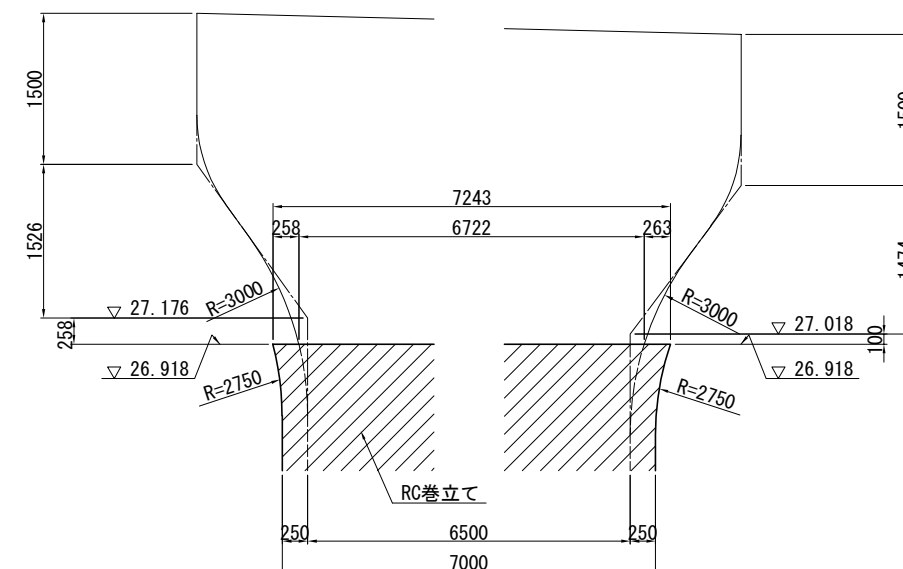
a部



b部



S=1 : 75

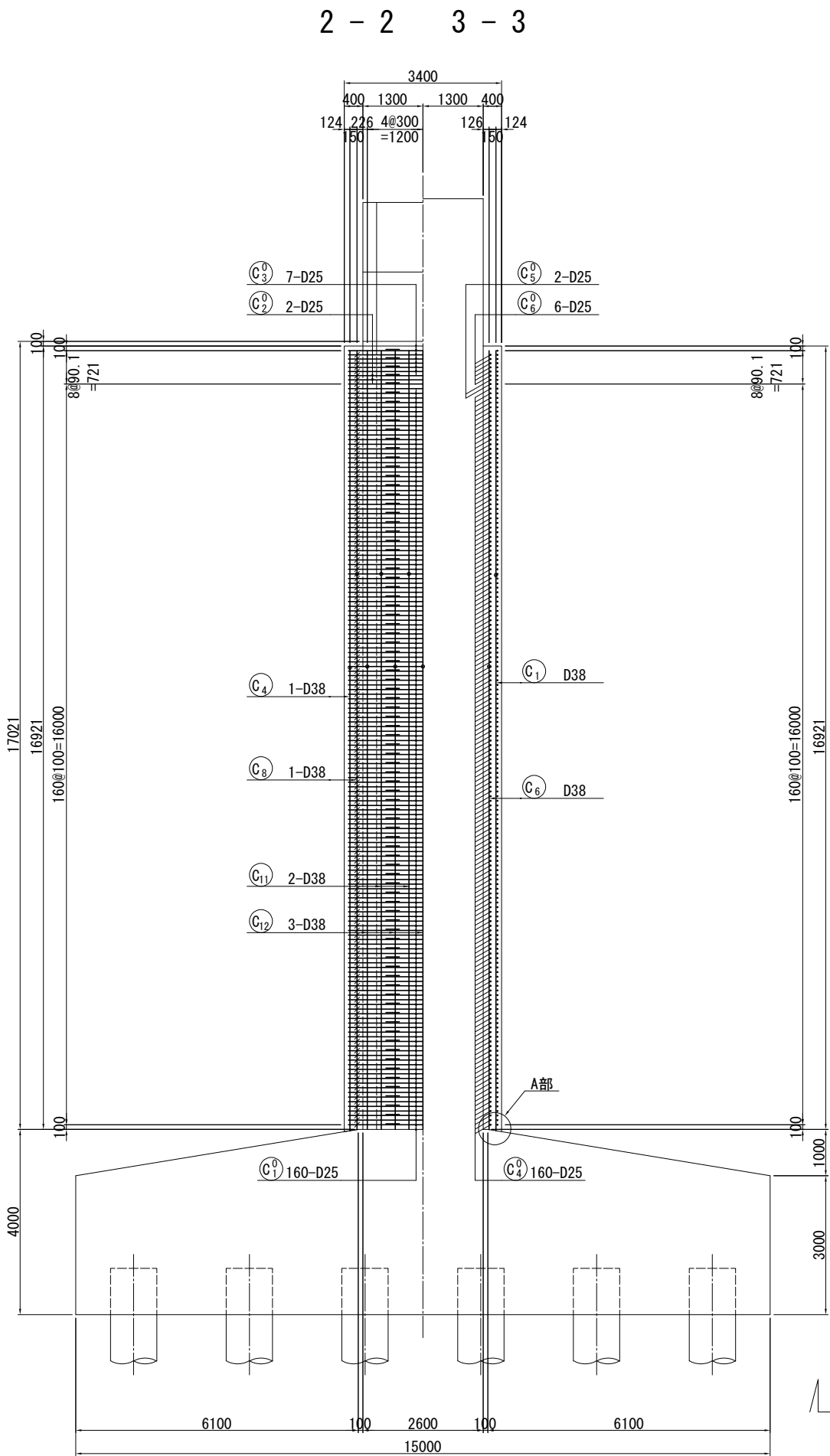
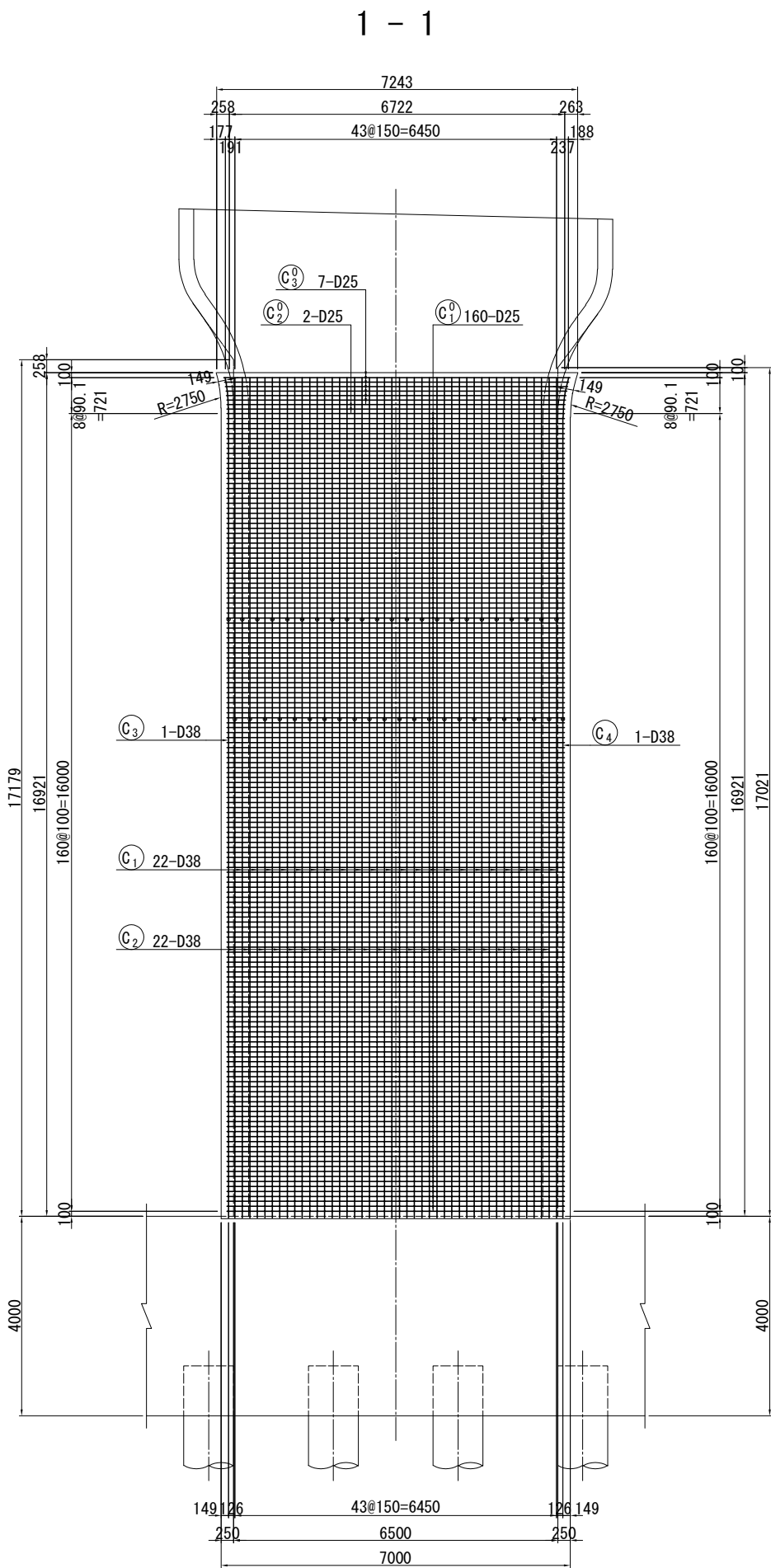


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. R0巻立ての天端は排水用の勾配 (2.00%) を付すこと。

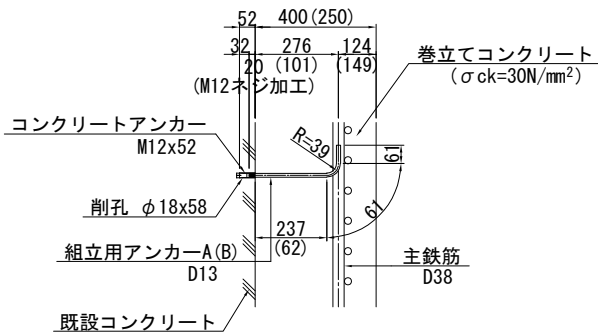
使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



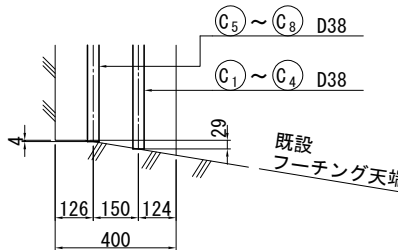
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	380	220	83
B	210	88	18
合計		308	101

※組立用アンカー本数
N=220.1m²/1本/m²=220本
N= 88.1m²/1本/m²= 88本

A部詳細図 S=1:25

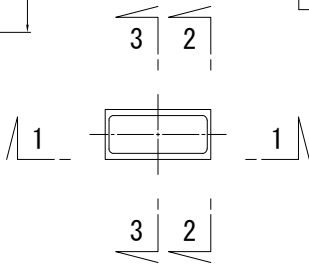


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート
	鉄 筋
	30 N/mm ²
	SD345

位 置 図



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

Technical drawing of a rectangular structure, likely a foundation or slab, showing dimensions and reinforcement details. The drawing includes a plan view (top) and a cross-section view (left).

Dimensions:

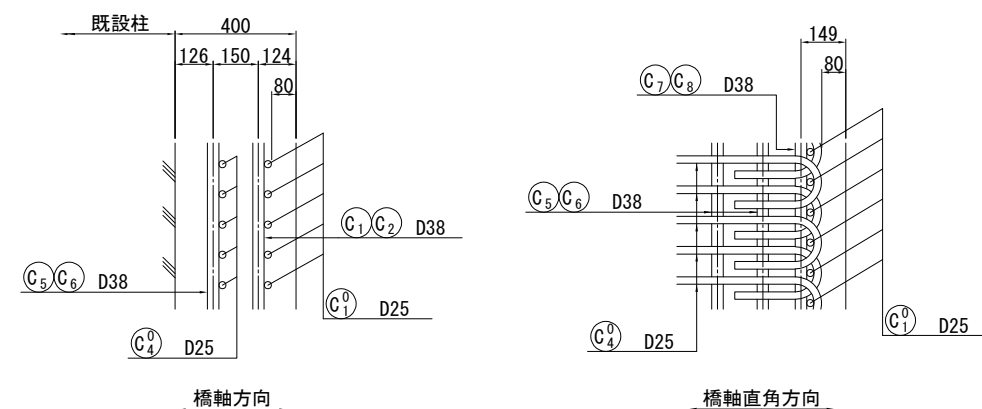
- Overall width: 7000
- Overall height: 3400
- Top width segments: 250, 6500, 250
- Top height segments: 149, 126, 126, 149
- Left height segments: 400, 2600, 400
- Bottom width segments: 124, 226, 8@300=2400, 226, 124
- Bottom height segments: 150, 150

Reinforcement Details:

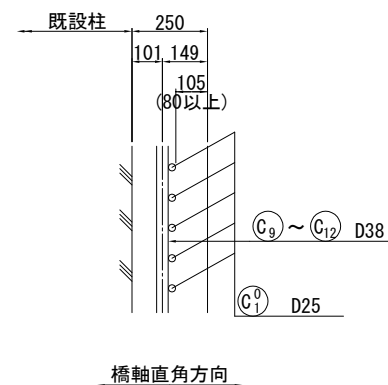
- Top reinforcement: 43@150=6450
- Bottom reinforcement: 8@300=2400
- Reinforcement bars are labeled with callouts: C₁, C₂, C₃, C₄, C₅, C₆, C₇, C₈, C₉, C₁₀, C₁₁, C₁₂, C₁⁰, C₄⁰, C₄⁰.
- Reinforcement bars are specified as 22-D38, 1-D38, 5-D38, 4-D38, and D25.

[橋軸方向]

2段目端部

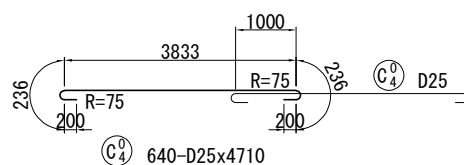
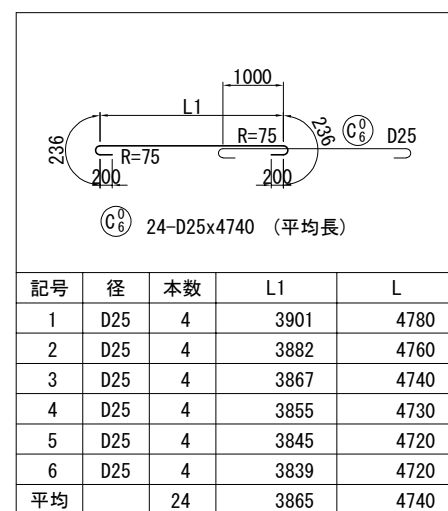
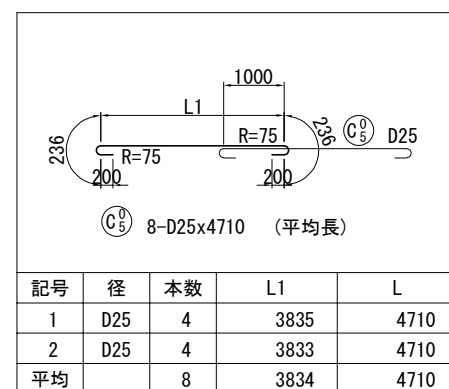
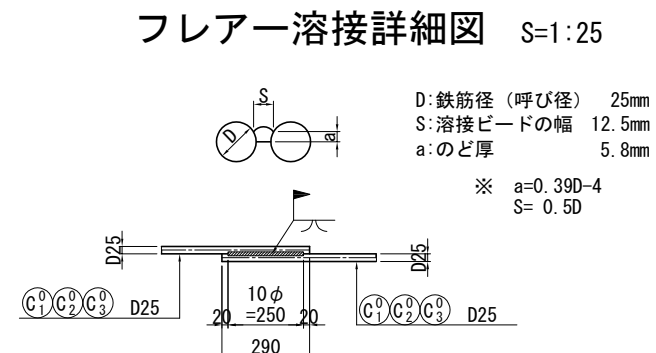
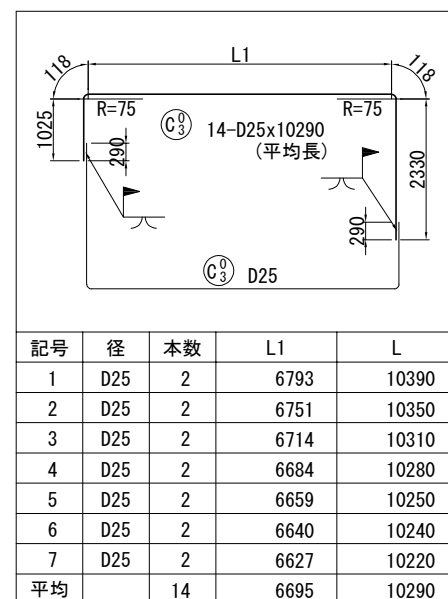
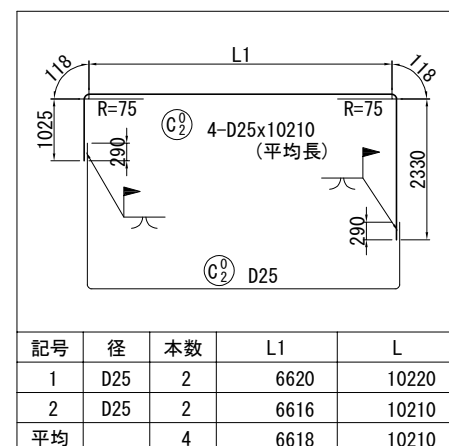
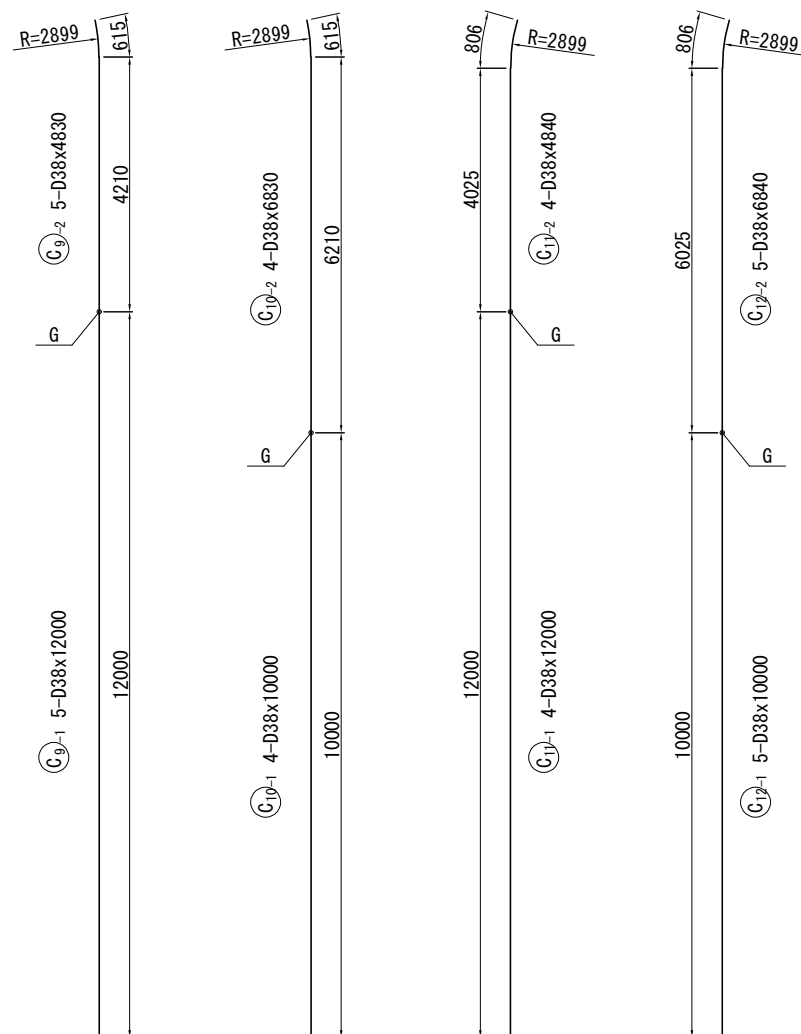


[橋軸直角方向]



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
戸田高架橋 P9橋脚			
図面の種類	RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



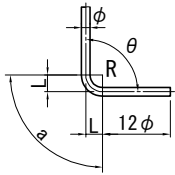
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強設筋図 (その3)	
縮	尺	図示	図面番号 /
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	4850	44	8.95	43.4	1910	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	6850	44	8.95	61.3	2697	
C 3 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 3 -2	D38	4860	2	8.95	43.5	87	┘
C 4 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 4 -2	D38	6860	2	8.95	61.4	123	┘
C 5 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 5 -2	D38	4830	44	8.95	43.2	1901	
C 6 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 6 -2	D38	6830	44	8.95	61.1	2688	
C 7 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 7 -2	D38	6830	2	8.95	61.1	122	┘
C 8 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 8 -2	D38	4840	2	8.95	43.3	87	┘
C 9 -1	D38	12000	5	8.95	107	535	↑ (5)
C 9 -2	D38	4830	5	8.95	43.2	216	┘
C 10-1	D38	10000	4	8.95	89.5	358	↑ (4)
C 10-2	D38	6830	4	8.95	61.1	244	┘
C 11-1	D38	12000	4	8.95	107	428	↑ (4)
C 11-2	D38	4840	4	8.95	43.3	173	┘
C 12-1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 12-2	D38	6840	5	8.95	61.2	306	┘
						30401	kg
C 1 ⁰	D25	10210	320	3.98	40.6	12992	┘ [320]
C 2 ⁰	D25	10210	4	3.98	40.6	162	┘ 平均長 [4]
C 3 ⁰	D25	10290	14	3.98	41.0	574	┘ 平均長 [14]
C 4 ⁰	D25	4710	640	3.98	18.7	11968	┘
C 5 ⁰	D25	4710	8	3.98	18.7	150	┘ 平均長
C 6 ⁰	D25	4740	24	3.98	18.9	454	┘ 平均長
						26300	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		30401	kg	(202)	-		
D25		26300	kg	-	[338]		
合 計		56701	kg	(202)	[338]		
コンクリートアンカー					M12x52	308	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90°	θ >90°	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
	R=3.0φ	R=5.5φ	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

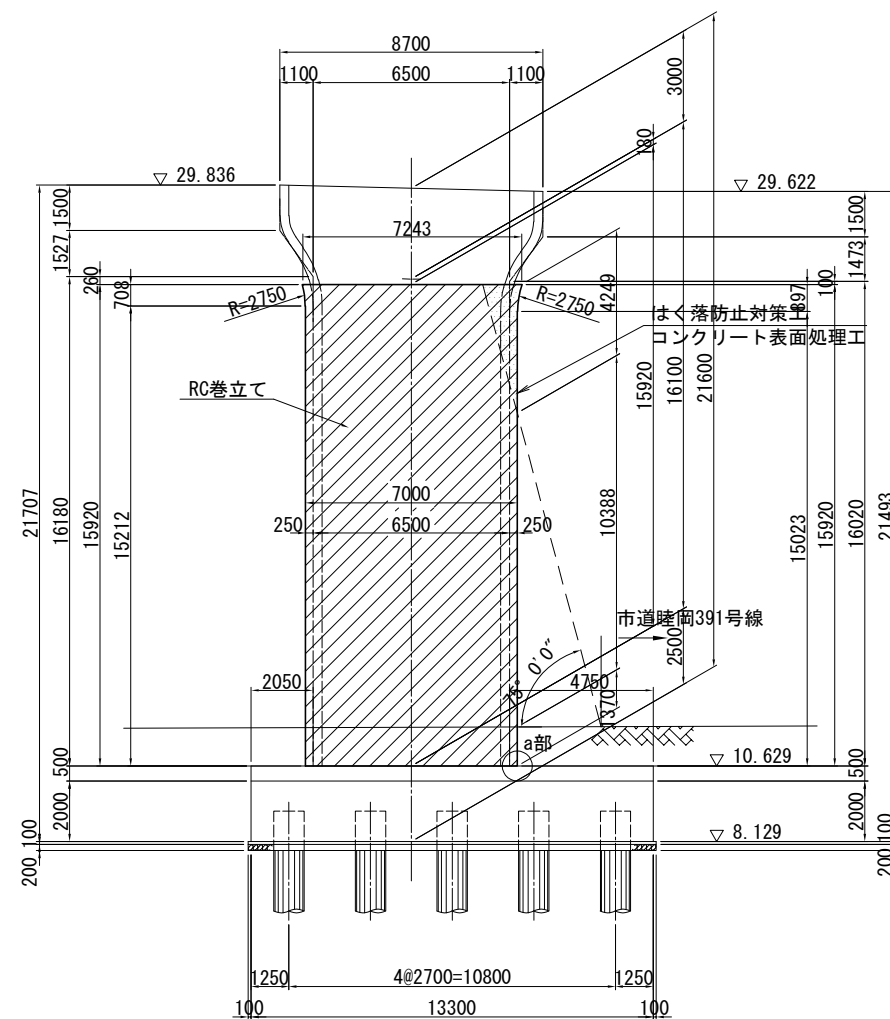
使用材料

補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

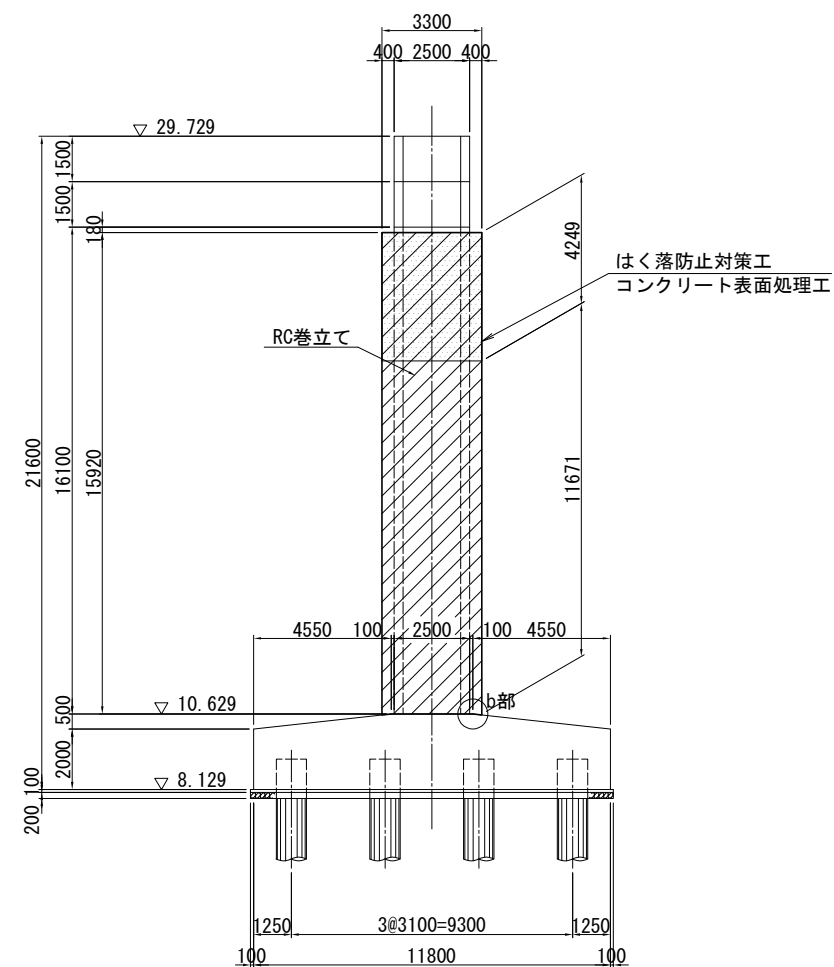
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P9橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強一般図 S=1:250

正面図

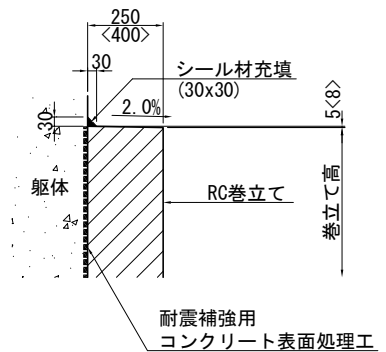


側面図

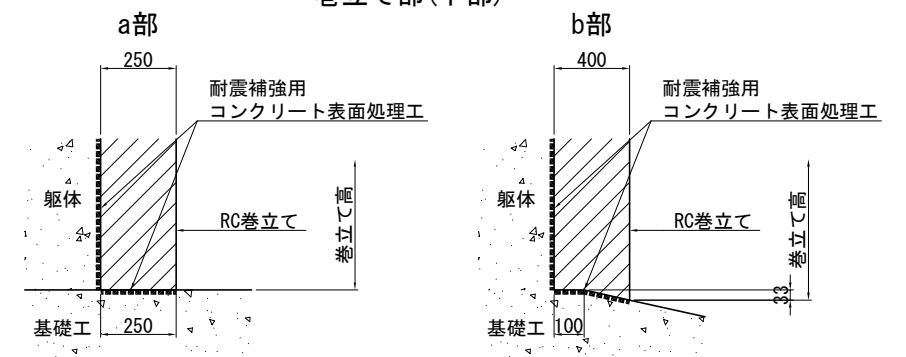


巻立て部詳細図 S=1:25

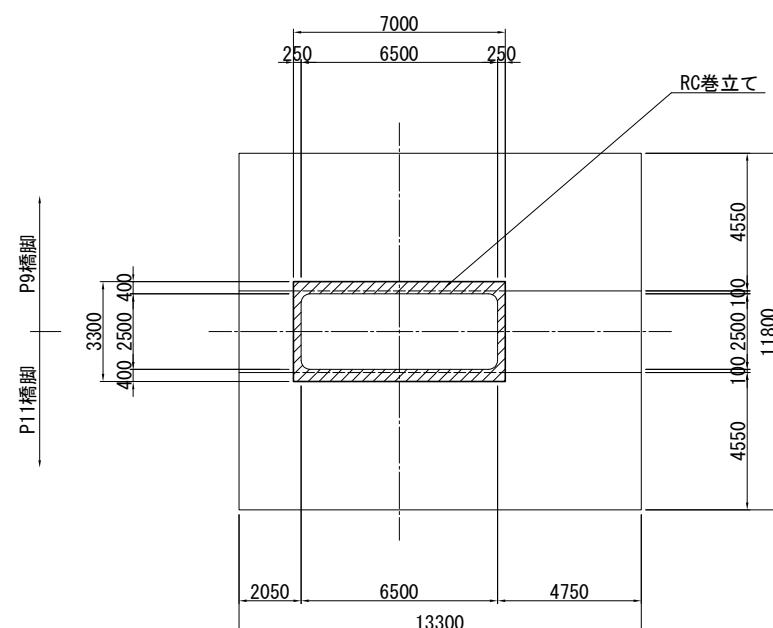
卷立て部(上部)



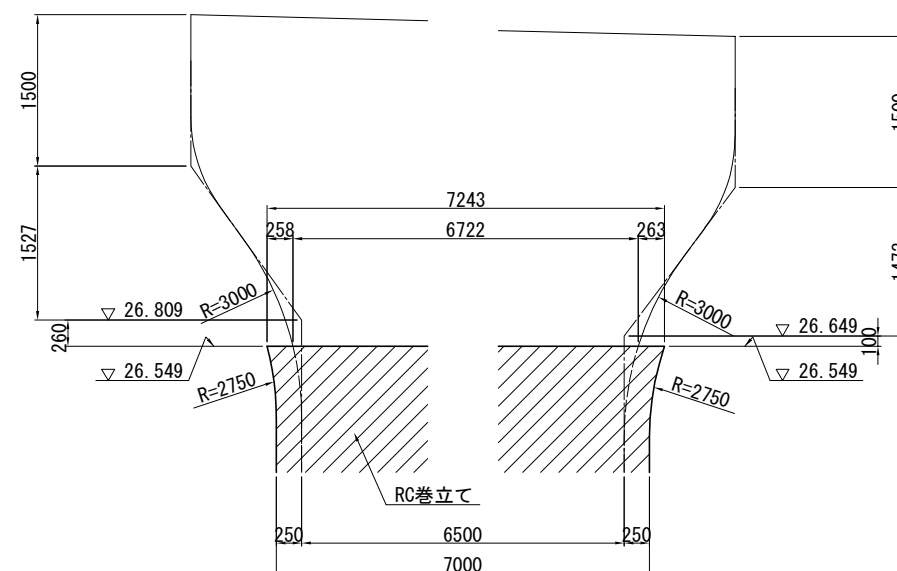
卷立て部(下部)



平面图



卷立て部天端拡大図 S=1:75

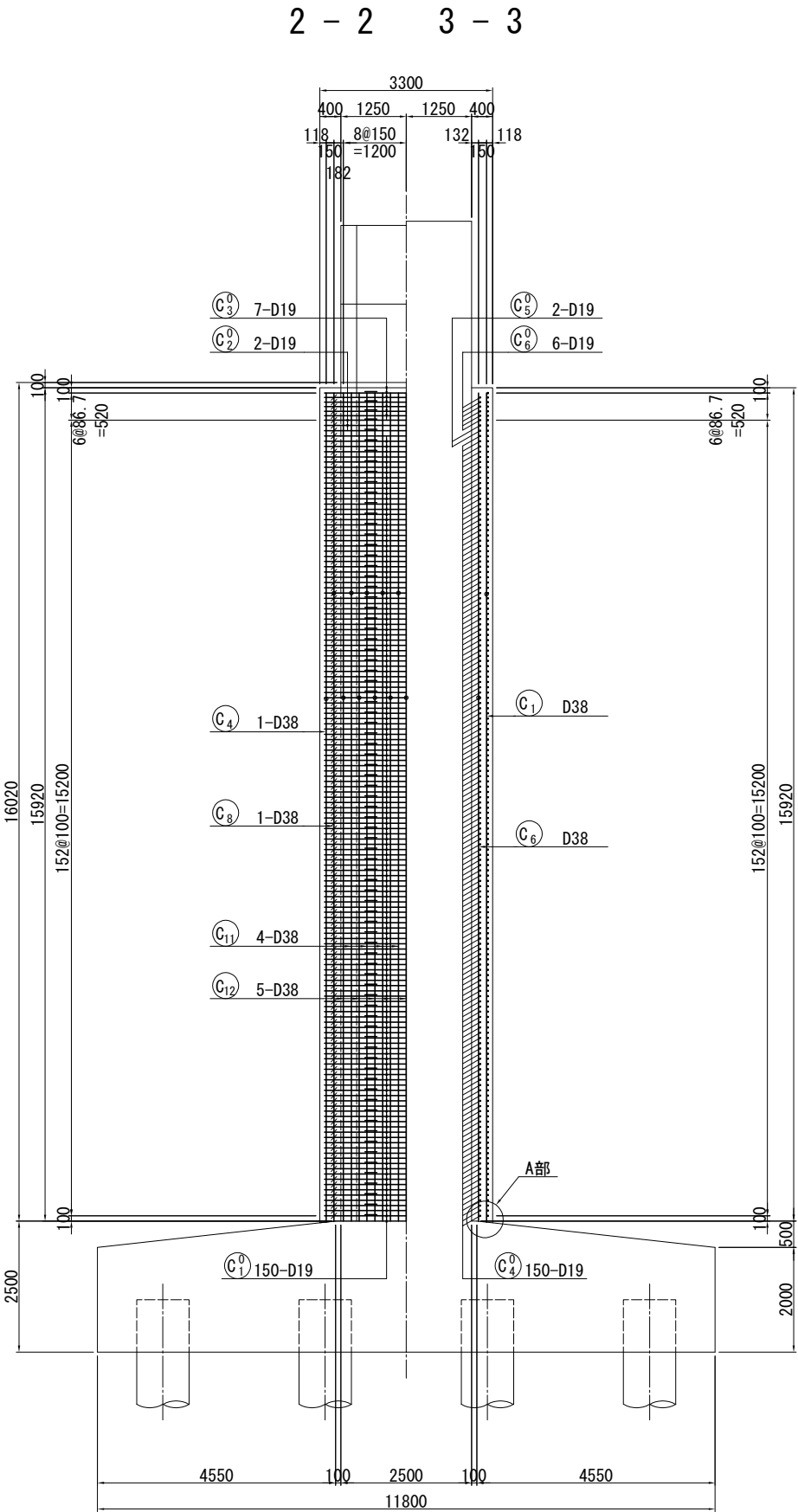
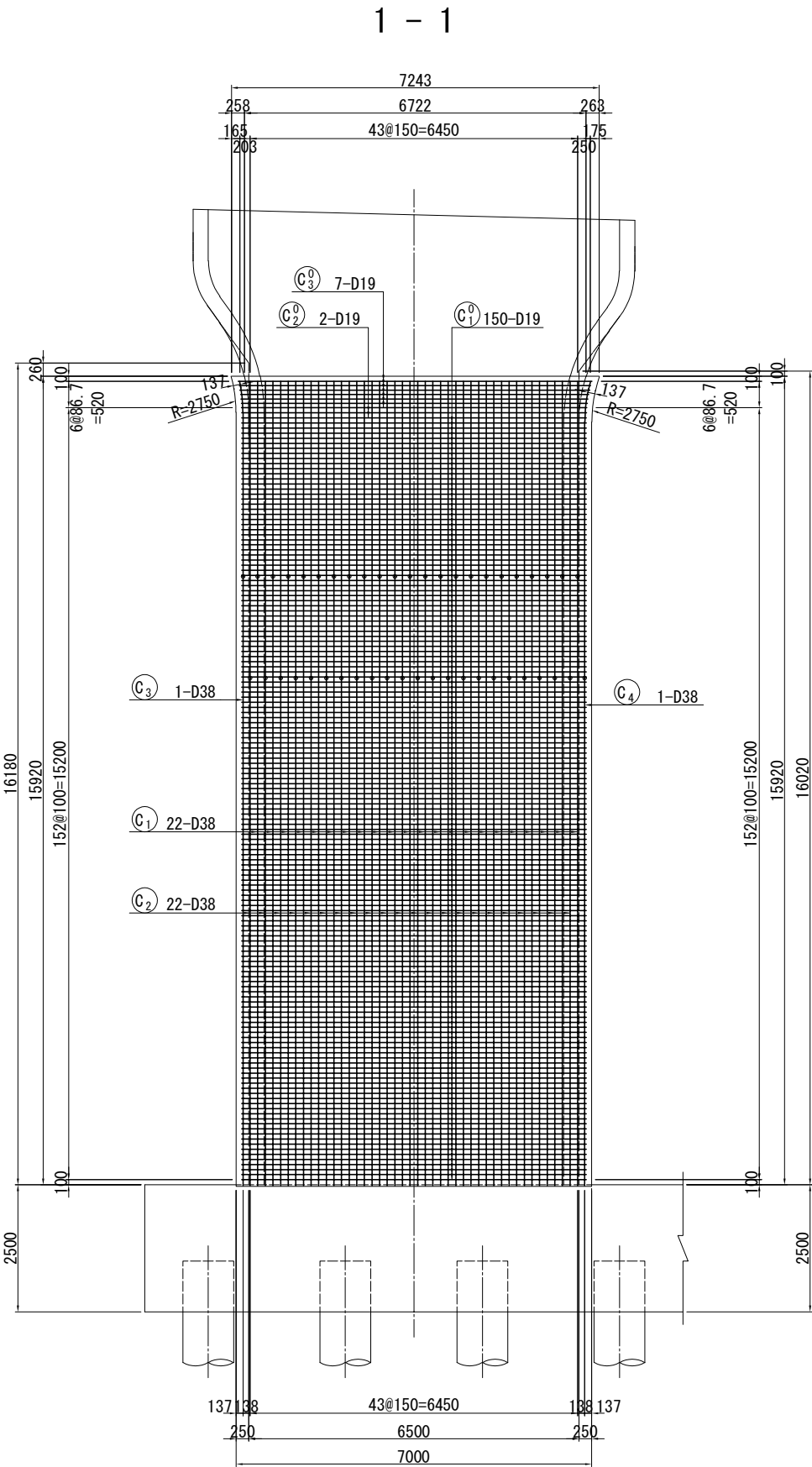


- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配 (2.00%) を付すこと。

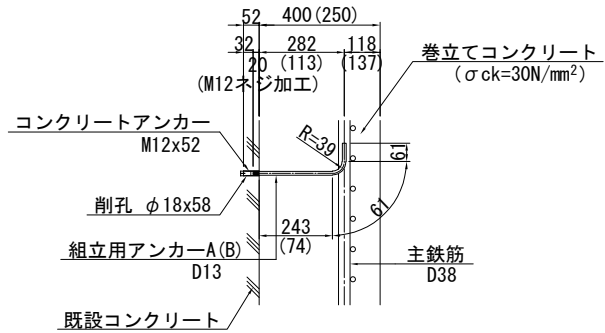
使用材料

工 種		仕 様
既設部	コンクリート	24 N/mm ²
	鉄 筋	SD345
補強部	コンクリート	30 N/mm ²
	鉄 筋	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



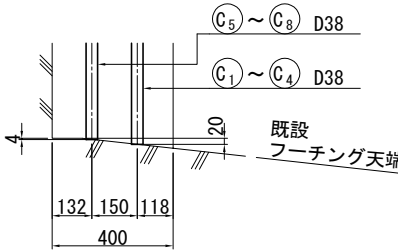
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	390	207	80
B	220	80	18
合計		287	98

※組立用アンカー本数
N=207. 1m²/1本/m²=207本
N= 79. 7m²/1本/m²= 80本

A部詳細図 S=1:25

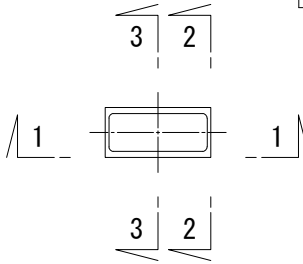


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

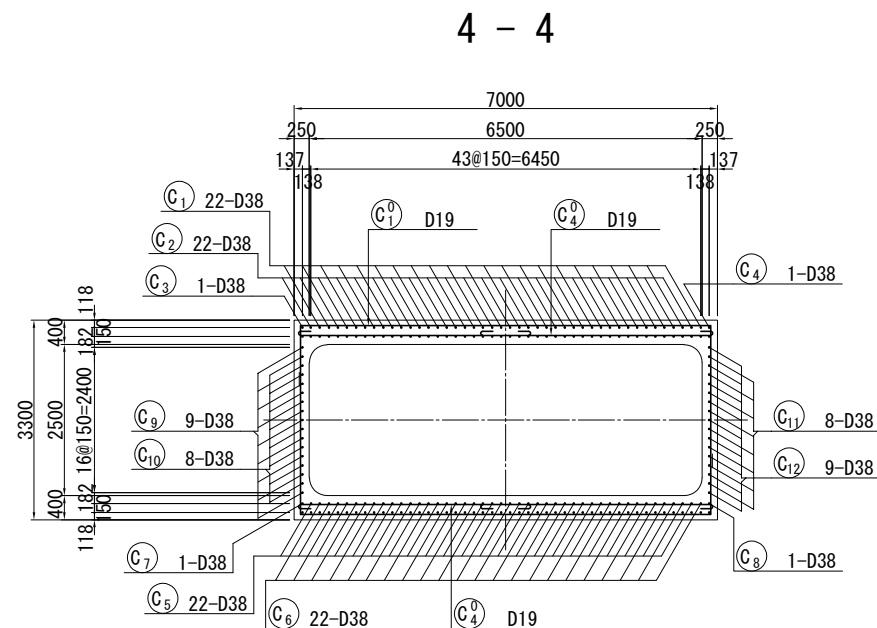
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

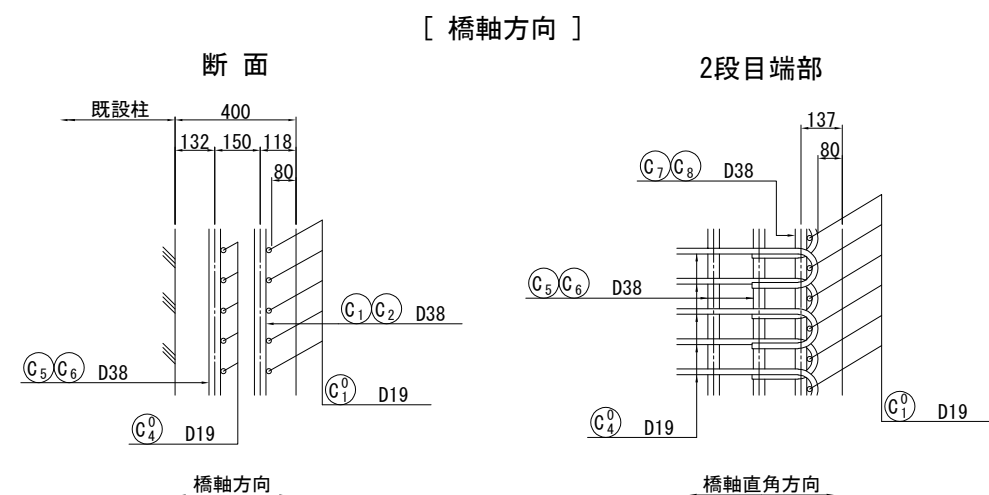
位 置 図



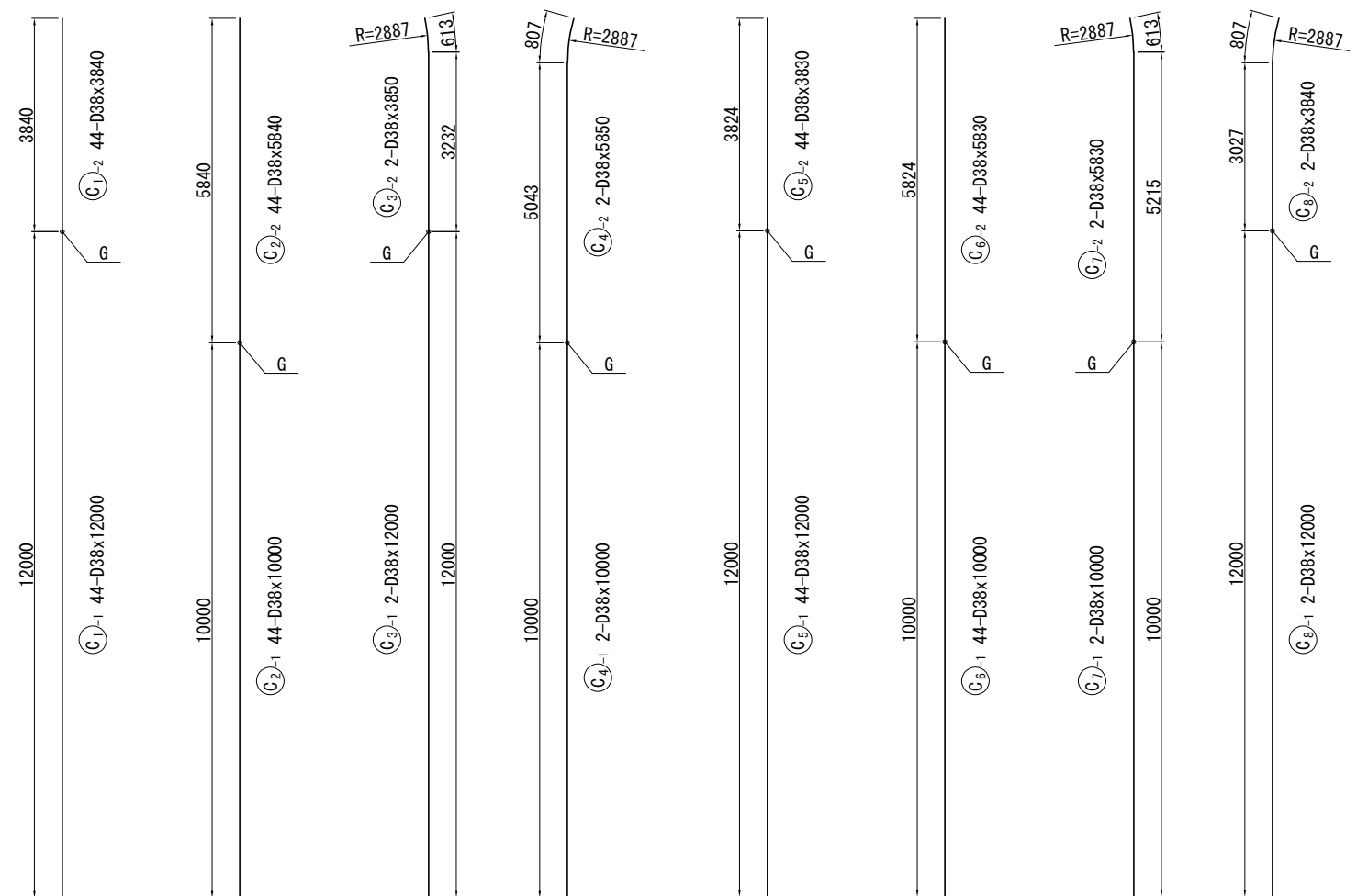
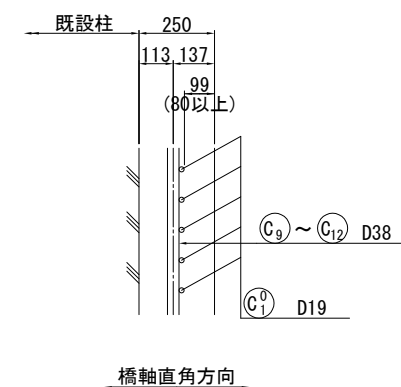
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



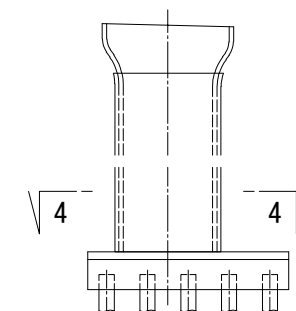
かぶり詳細図 S=1:25



[橋軸直角方向]

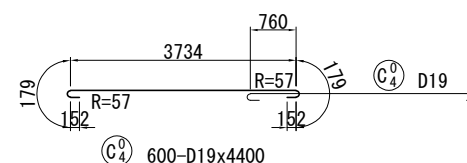
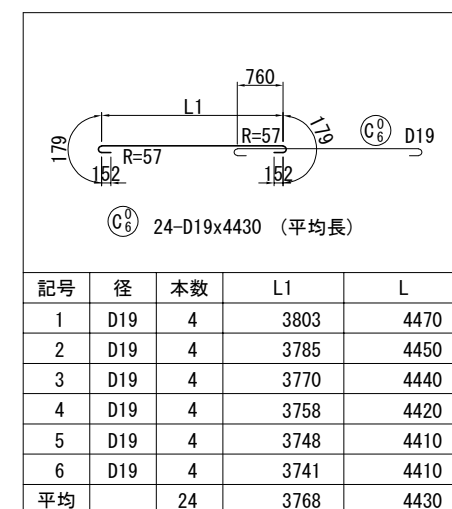
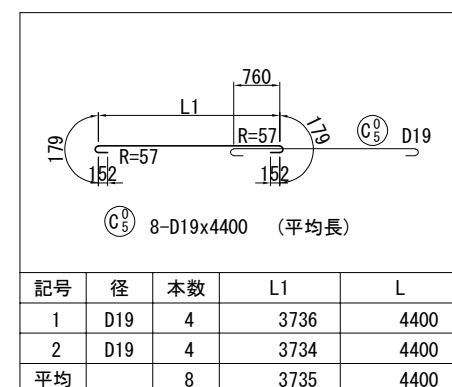
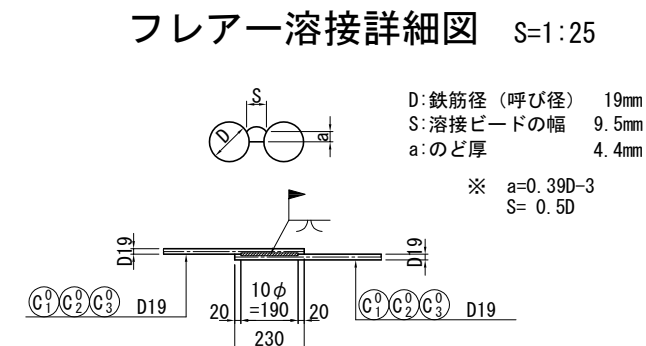
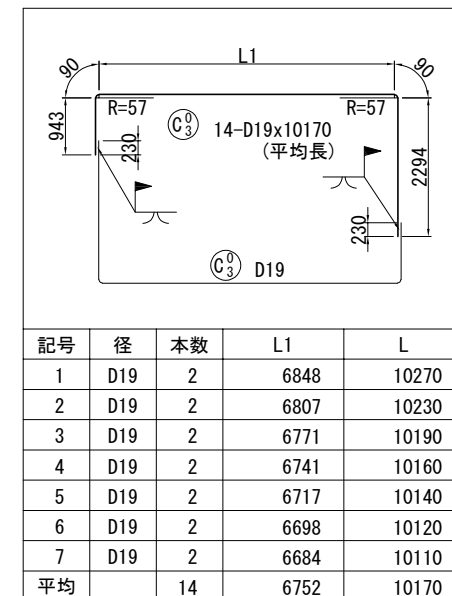
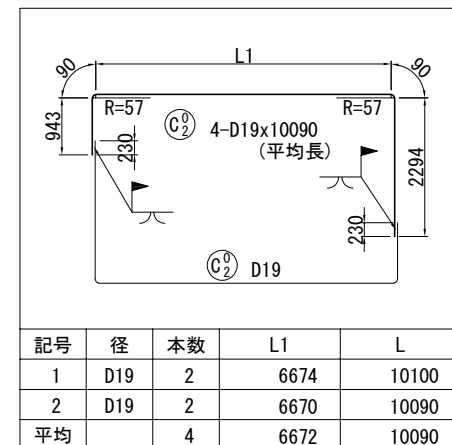
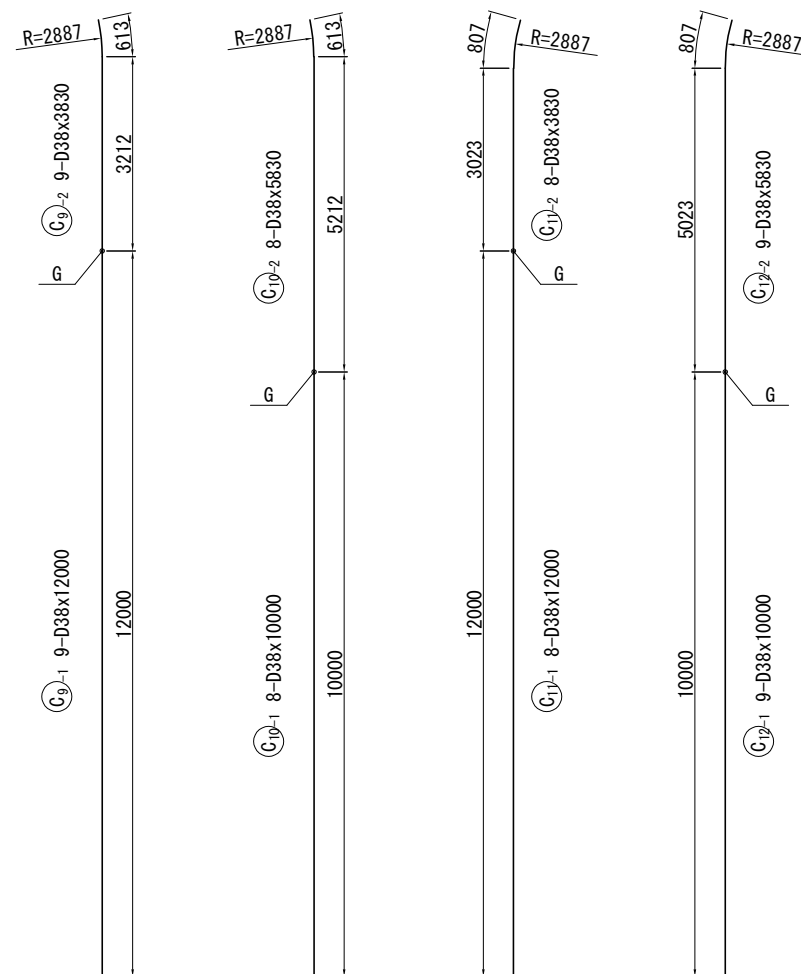


位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



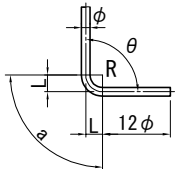
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 1 -2	D38	3840	44	8.95	34.4	1514	
C 2 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 2 -2	D38	5840	44	8.95	52.3	2301	
C 3 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 3 -2	D38	3850	2	8.95	34.5	69	┘
C 4 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 4 -2	D38	5850	2	8.95	52.4	105	┘
C 5 -1	D38	12000	44	8.95	107	4708	↑ (44)
C 5 -2	D38	3830	44	8.95	34.3	1509	
C 6 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 6 -2	D38	5830	44	8.95	52.2	2297	
C 7 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 7 -2	D38	5830	2	8.95	52.2	104	┘
C 8 -1	D38	12000	2	8.95	107	214	↑ (2)
C 8 -2	D38	3840	2	8.95	34.4	69	┘
C 9 -1	D38	12000	9	8.95	107	963	↑ (9)
C 9 -2	D38	3830	9	8.95	34.3	309	┘
C 10 -1	D38	10000	8	8.95	89.5	716	↑ (8)
C 10 -2	D38	5830	8	8.95	52.2	418	┘
C 11 -1	D38	12000	8	8.95	107	856	↑ (8)
C 11 -2	D38	3830	8	8.95	34.3	274	┘
C 12 -1	D38	10000	9	8.95	89.5	806	↑ (9)
C 12 -2	D38	5830	9	8.95	52.2	470	┘
						30858	kg
C 1 ⁰	D19	10090	300	2.25	22.7	6810	┘ [300]
C 2 ⁰	D19	10090	4	2.25	22.7	91	┘ 平均長 [4]
C 3 ⁰	D19	10170	14	2.25	22.9	321	┘ 平均長 [14]
C 4 ⁰	D19	4400	600	2.25	9.90	5940	┘
C 5 ⁰	D19	4400	8	2.25	9.90	79	┘ 平均長
C 6 ⁰	D19	4430	24	2.25	9.97	239	┘ 平均長
						13480	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		30858	kg	(218)	-		
D19		13480	kg	-	[318]		
合 計		44338	kg	(218)	[318]		
コンクリートアンカー					M12x52	287	個
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90°	θ >90°	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
	R=3.0φ	R=5.5φ	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

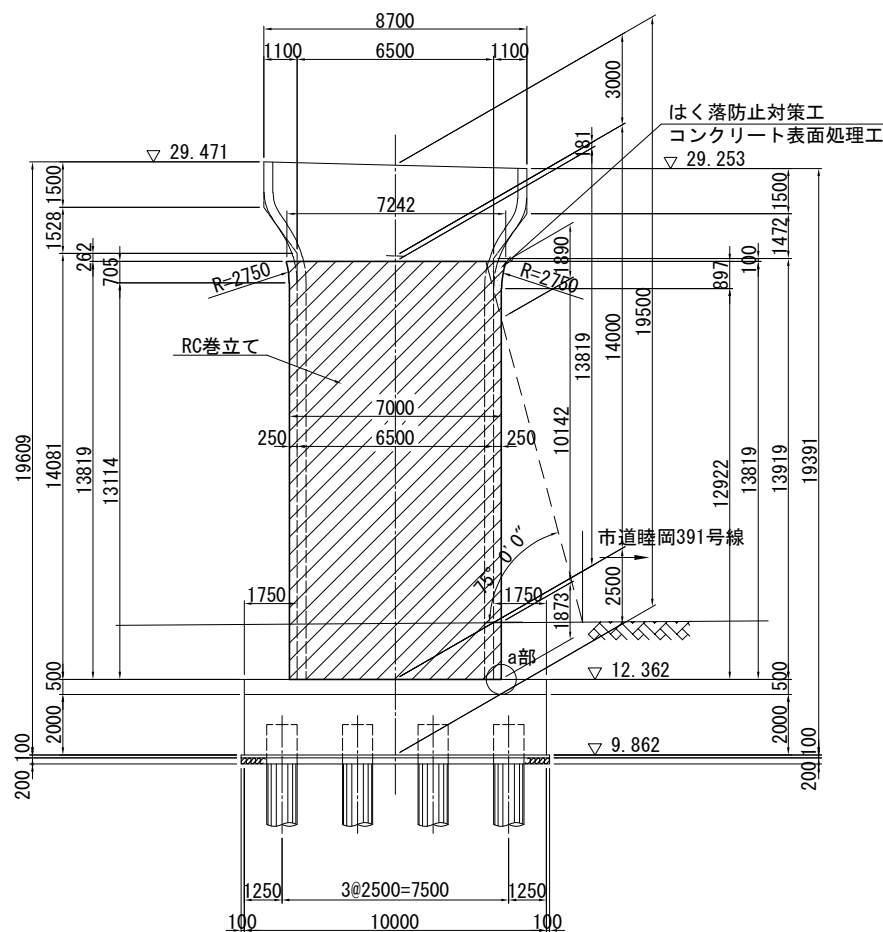
注記) 鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

使用材料

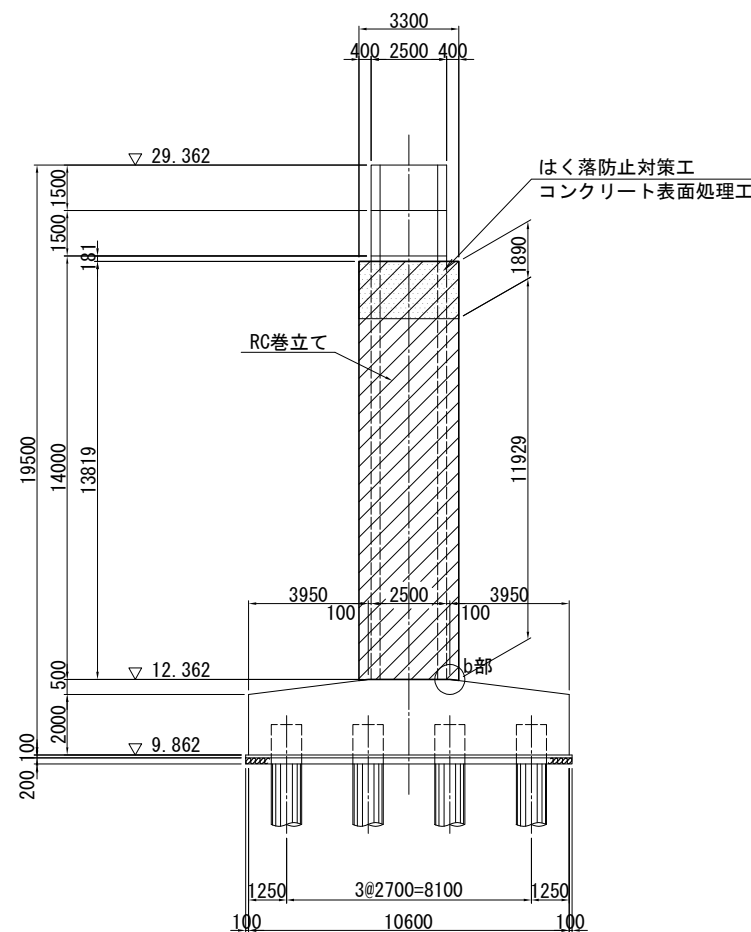
補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

正面図

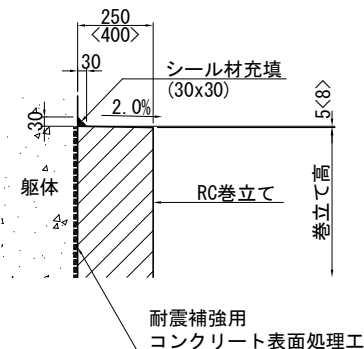


側面図

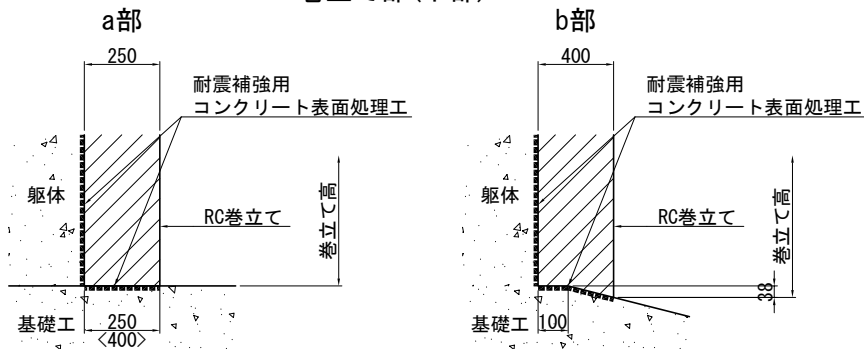


巻立て部詳細図 S=1:25

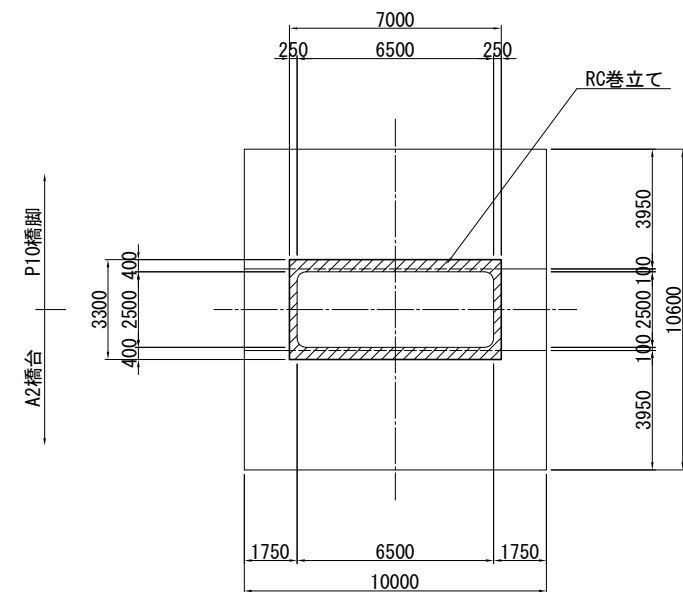
巻立て部(上部)



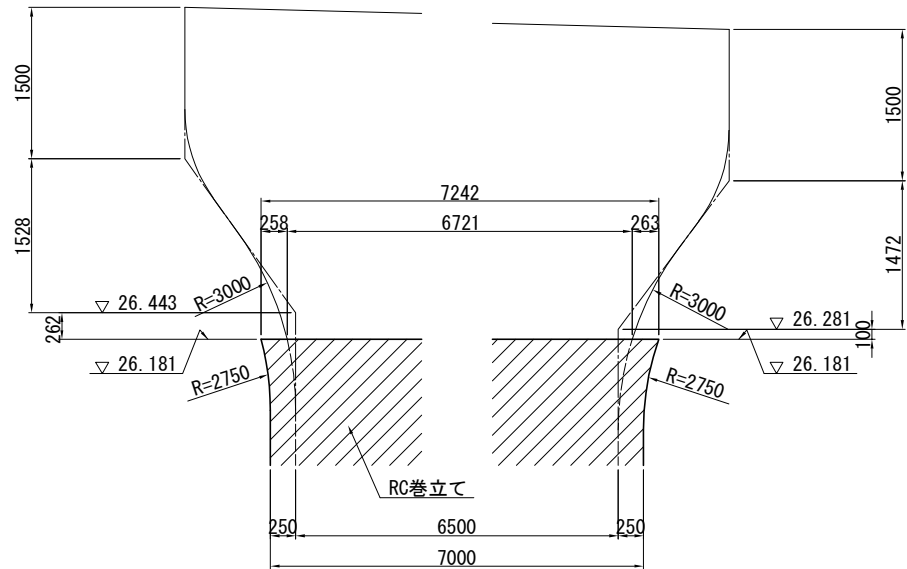
巻立て部(下部)



平面図



巻立て部天端拡大図 S=1:75



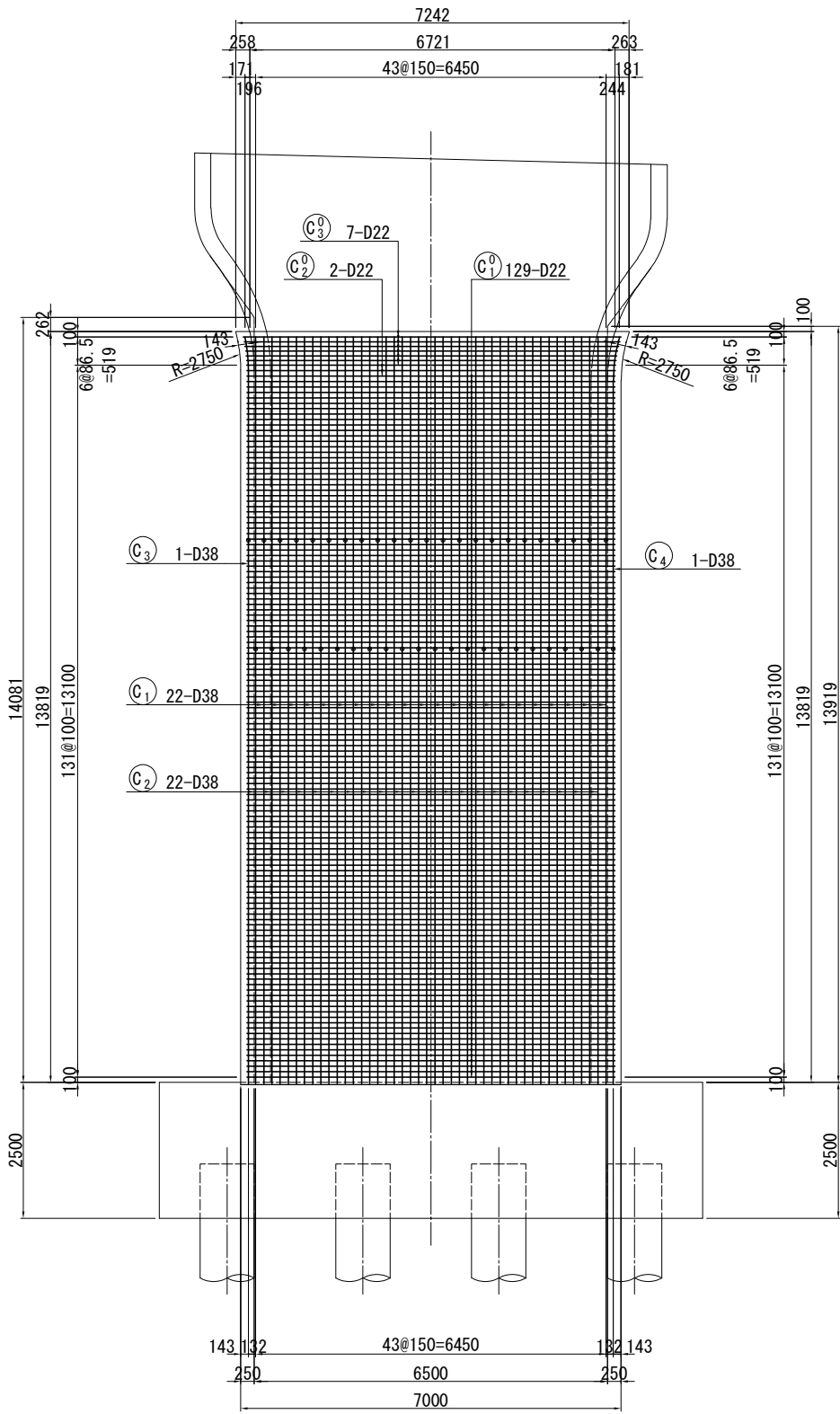
- 注記) 1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 補強部分(既設面)は、WJによる表面処理を行うこと。
3. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。
4. RC巻立ての天端は排水用の勾配(2.00%)を付すこと。

使用材料

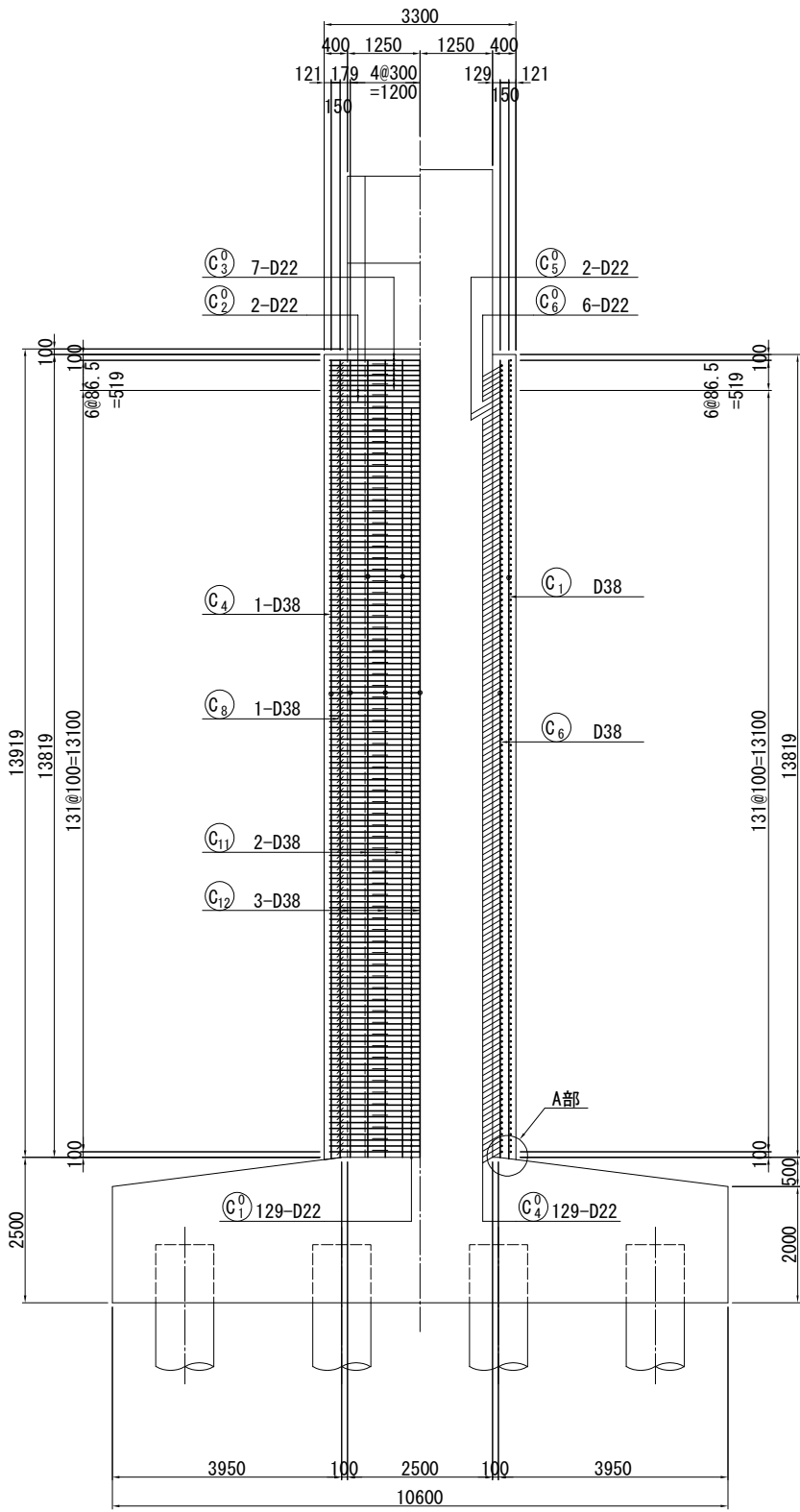
工種	仕様	
	コンクリート	鉄筋
既設部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345
補強部	24 N/mm ²	SD345
	30 N/mm ²	SD345

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

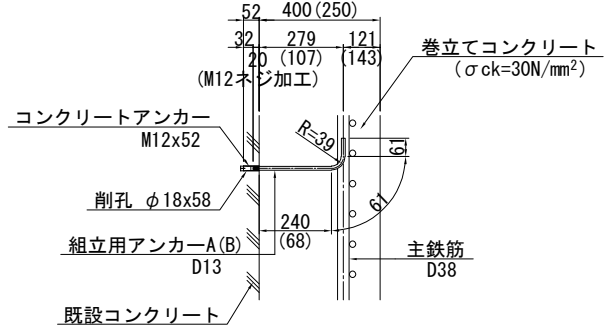
1 - 1



2 - 2 3 - 3



組立用アンカー詳細図 S=1:25
(参考図)



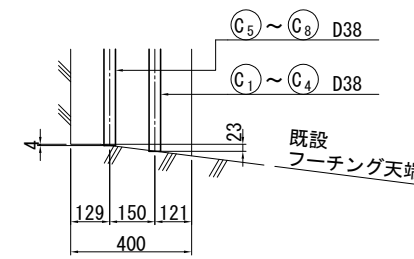
※ 組立用アンカーは1本/m²程度配置する。

組立用アンカー数量表

	L (mm)	本数	質量 (kg)
A	390	180	70
B	210	69	14
合計		249	84

※組立用アンカー本数
N=179.8m²/1本/m²=180本
N= 69.2m²/1本/m²= 69本

A部詳細図 S=1:25

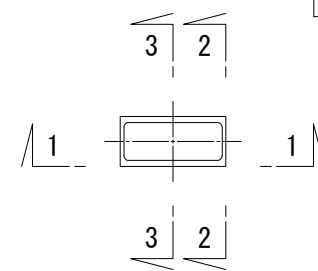


- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。
4. 張出梁部のある橋脚においては、施工性を考慮して張出梁から巻立ての下がり位置を設定すること。

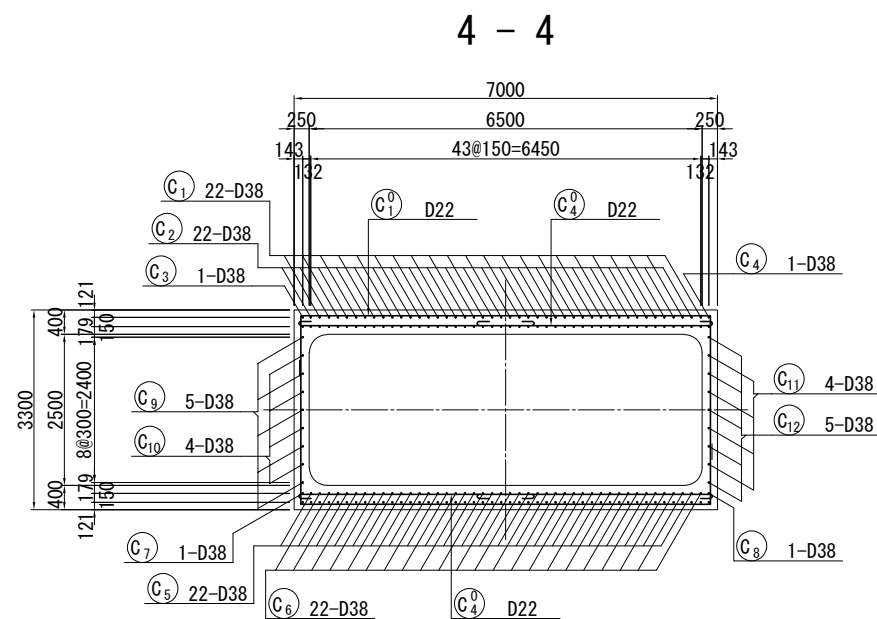
使用材料

工 種	仕 様
補強部	コンクリート 30 N/mm ² 鉄 筋 SD345

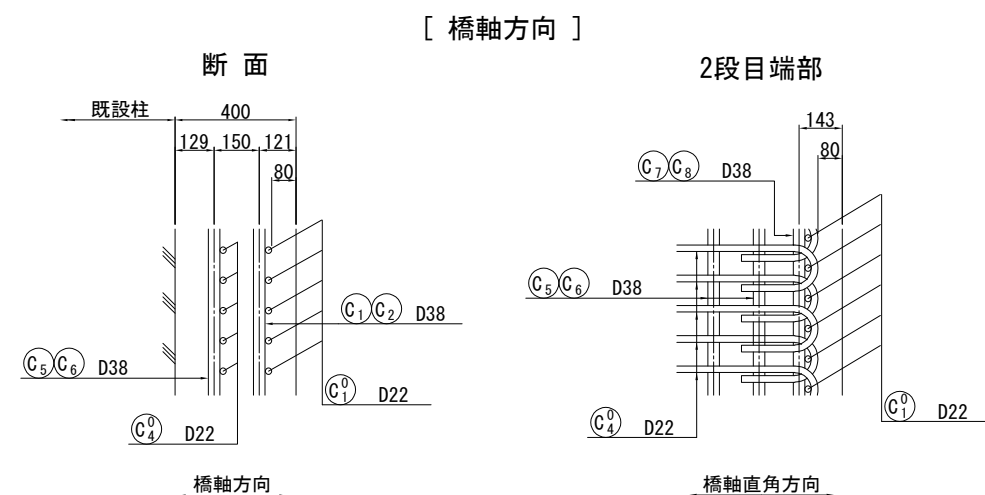
位 置 図



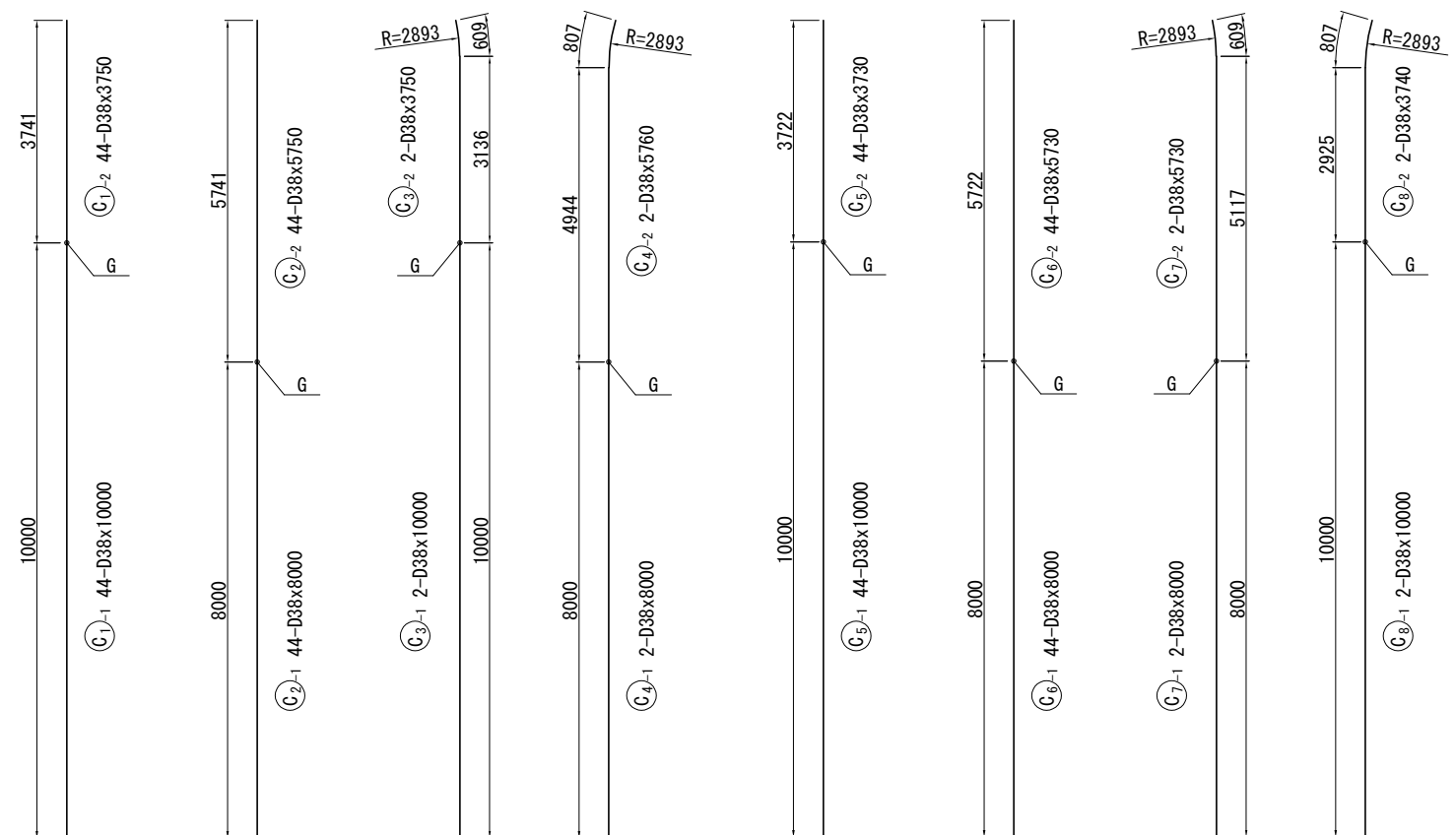
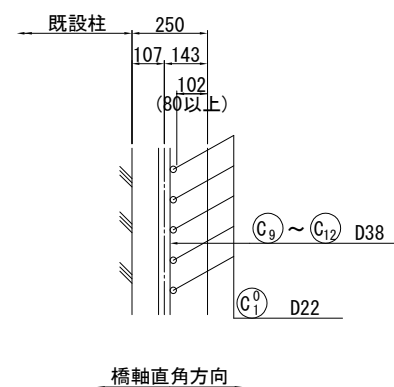
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



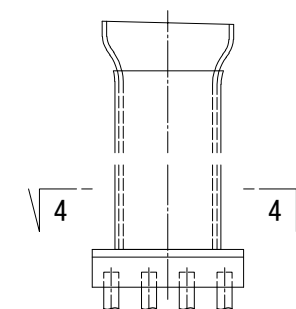
かぶり詳細図 S=1:25



[橋軸直角方向]

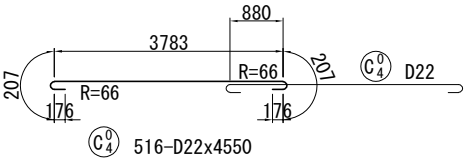
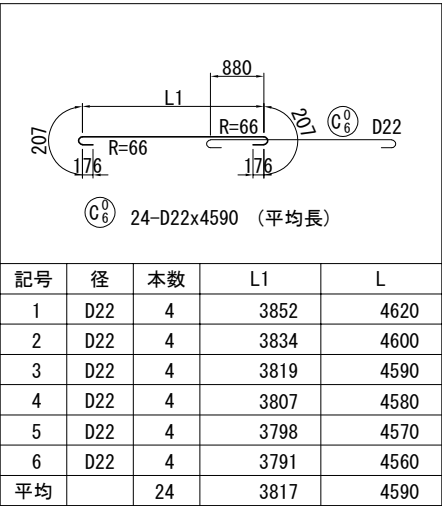
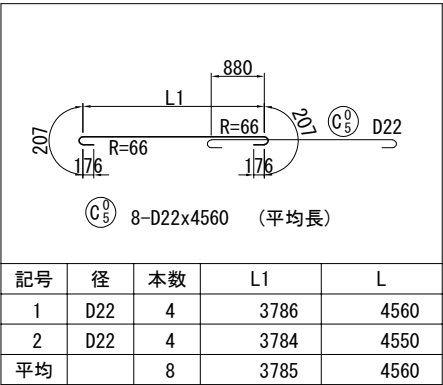
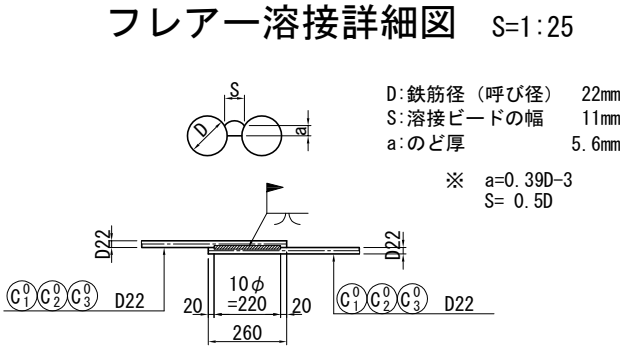
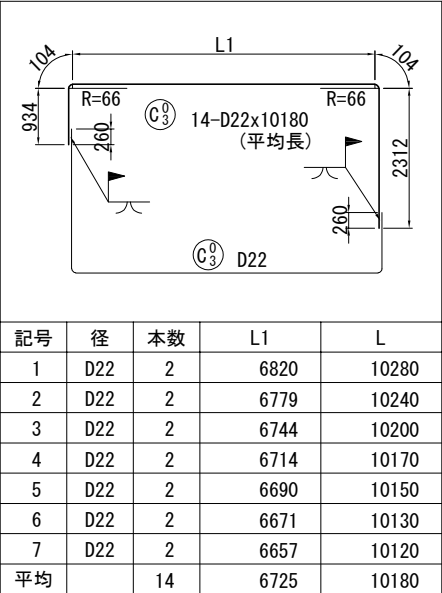
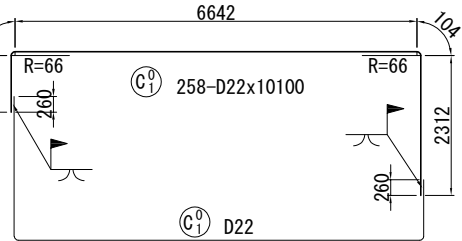
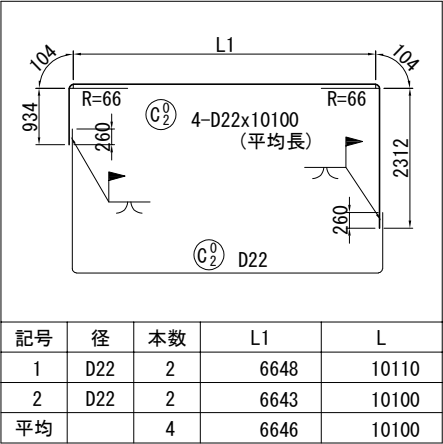
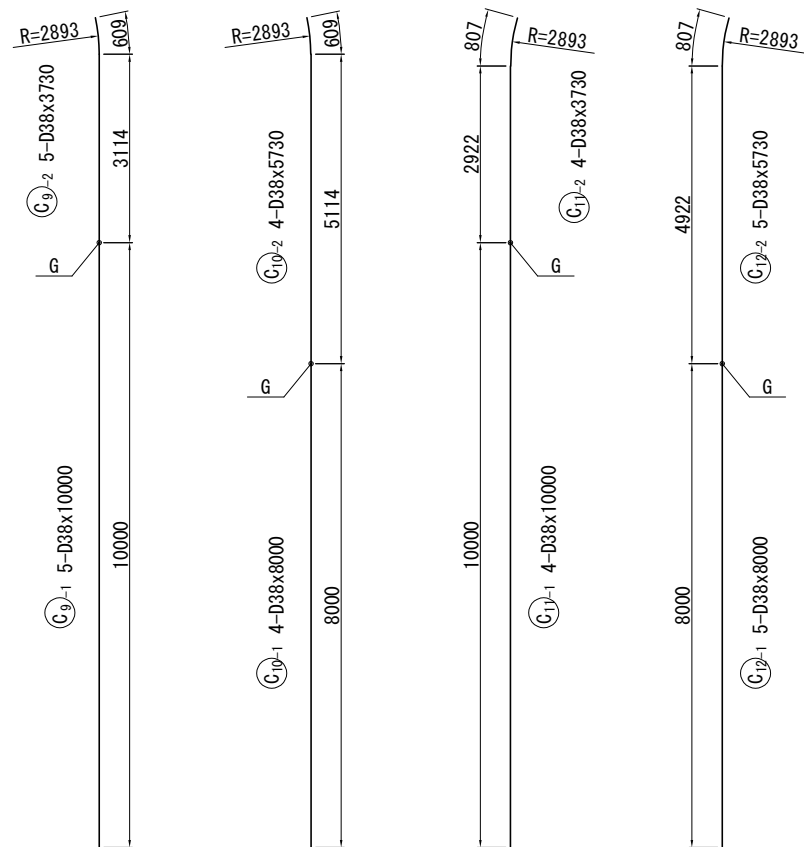


位置図



- 注記) 1. 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。
2. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
3. 補強部分(既設面)は、WJ による表面処理を行うこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



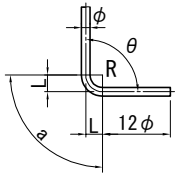
注記) 鉄筋の継手位置は1断面に集中させないように交互に配置すること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その3)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
C 1 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 1 -2	D38	3750	44	8.95	33.6	1478	
C 2 -1	D38	8000	44	8.95	71.6	3150	↑ (44)
C 2 -2	D38	5750	44	8.95	51.5	2266	
C 3 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 3 -2	D38	3750	2	8.95	33.6	67	
C 4 -1	D38	8000	2	8.95	71.6	143	↑ (2)
C 4 -2	D38	5760	2	8.95	51.6	103	
C 5 -1	D38	10000	44	8.95	89.5	3938	↑ (44)
C 5 -2	D38	3730	44	8.95	33.4	1470	
C 6 -1	D38	8000	44	8.95	71.6	3150	↑ (44)
C 6 -2	D38	5730	44	8.95	51.3	2257	
C 7 -1	D38	8000	2	8.95	71.6	143	↑ (2)
C 7 -2	D38	5730	2	8.95	51.3	103	
C 8 -1	D38	10000	2	8.95	89.5	179	↑ (2)
C 8 -2	D38	3740	2	8.95	33.5	67	
C 9 -1	D38	10000	5	8.95	89.5	448	↑ (5)
C 9 -2	D38	3730	5	8.95	33.4	167	
C 10 -1	D38	8000	4	8.95	71.6	286	↑ (4)
C 10 -2	D38	5730	4	8.95	51.3	205	
C 11 -1	D38	10000	4	8.95	89.5	358	↑ (4)
C 11 -2	D38	3730	4	8.95	33.4	134	
C 12 -1	D38	8000	5	8.95	71.6	358	↑ (5)
C 12 -2	D38	5730	5	8.95	51.3	257	
						24844	kg
C 1 ⁰	D22	10100	258	3.04	30.7	7921	┐ [258]
C 2 ⁰	D22	10100	4	3.04	30.7	123	┐ 平均長 [4]
C 3 ⁰	D22	10180	14	3.04	30.9	433	┐ 平均長 [14]
C 4 ⁰	D22	4550	516	3.04	13.8	7121	┐
C 5 ⁰	D22	4560	8	3.04	13.9	111	┐ 平均長
C 6 ⁰	D22	4590	24	3.04	14.0	336	┐ 平均長
						16045	kg
T			ガス圧接箇所数		フレアー溶接箇所数		
D38		24844	kg	(202)	-		
D22		16045	kg	-	[276]		
合 計		40889	kg	(202)	[276]		
コンクリートアンカー			M12x52	249	個		
(削孔 φ18x58)							

鉄筋加工寸法表

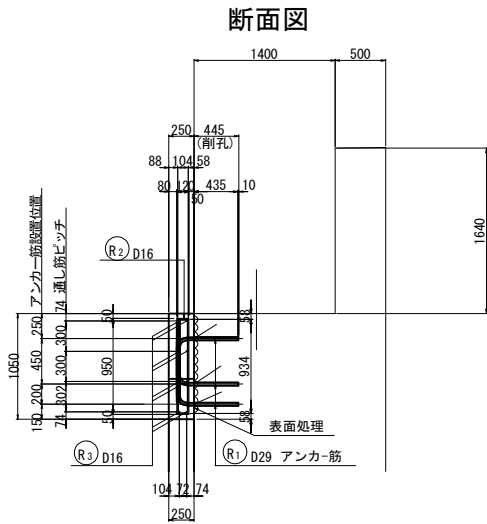
 ΔL=2L-a										
径	θ ≤90° R=3.0φ	θ >90° R=5.5φ	θ =45°		θ =60°		θ =90°		θ =135°	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4
D19	57	104.5	134	141	119	78	89	25	82	5
D22	66	121	155	164	138	91	104	28	95	5
D25	75	137.5	177	185	157	103	118	32	108	6
D29	87	159.5	205	215	182	119	137	37	125	7
D32	96	176	226	237	201	132	151	41	138	8
D35	105	192.5	247	260	220	144	165	45	151	8
D38	114	209	269	281	239	156	179	49	164	9
D41	123	225.5	290	304	258	168	193	53	177	10
D51	153	280.5	360	379	320	210	240	66	220	12

注記)鉄筋質量表内の()はガス圧接、[]はフレアー溶接の箇所数を示す。

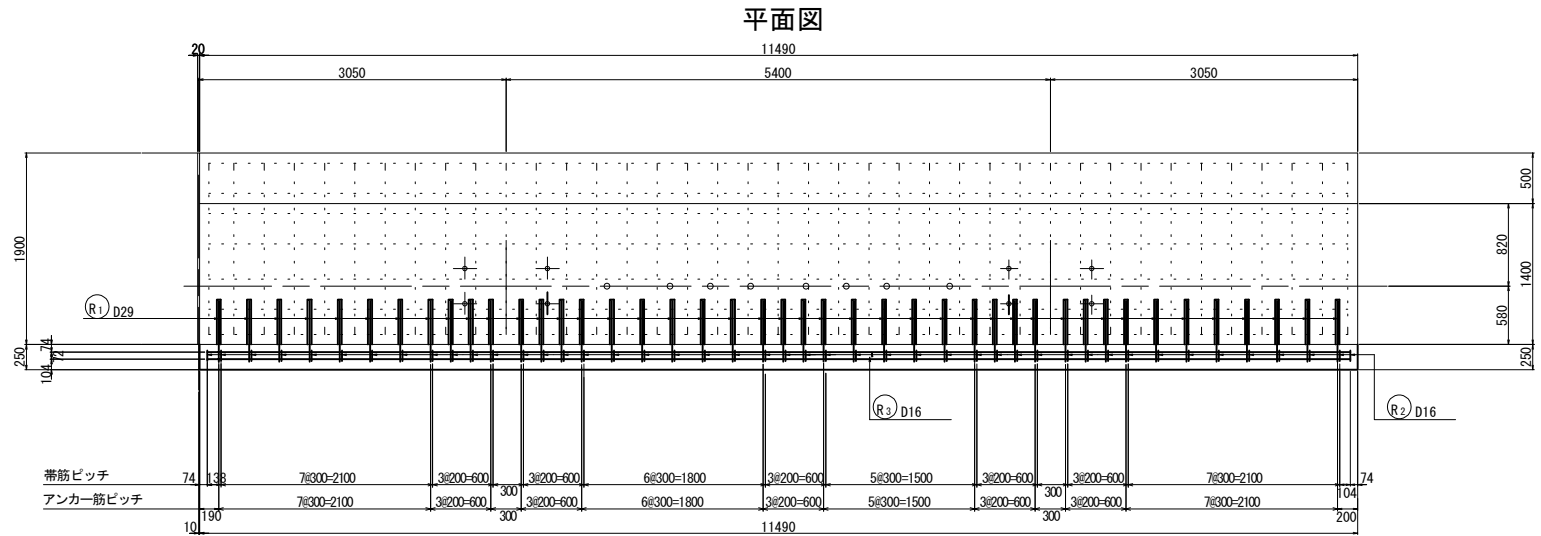
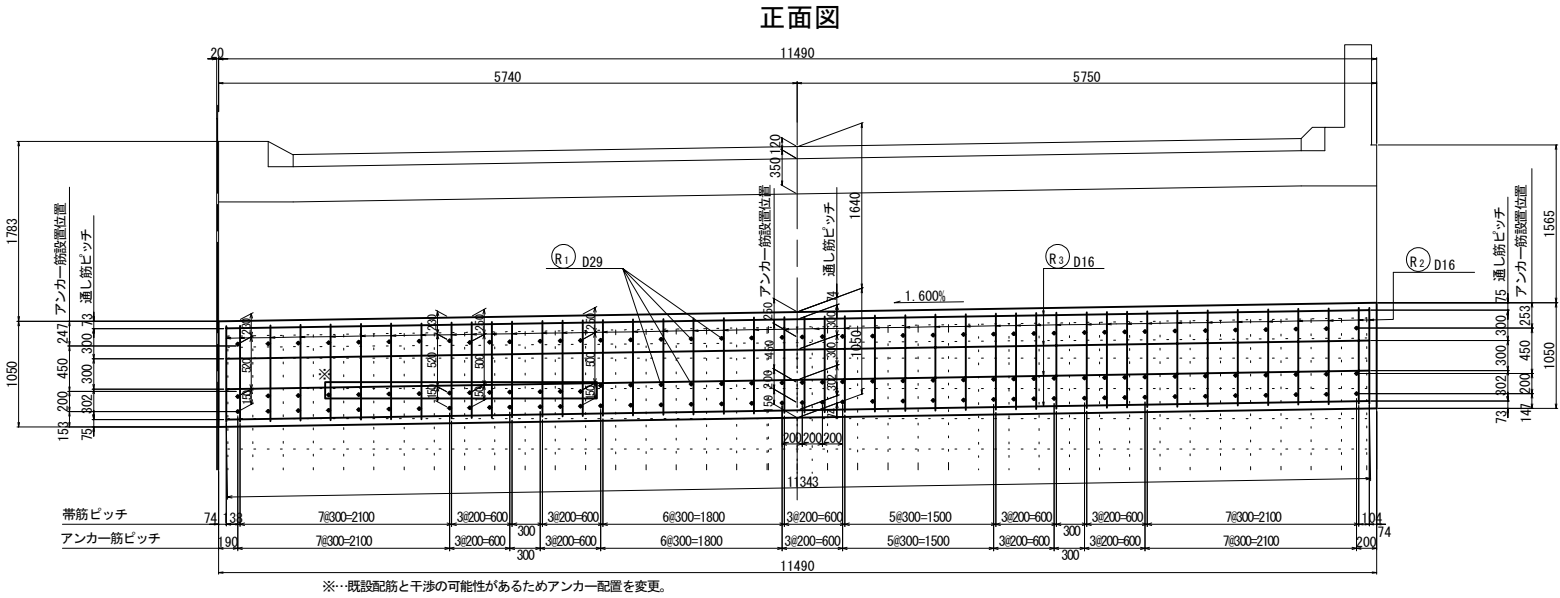
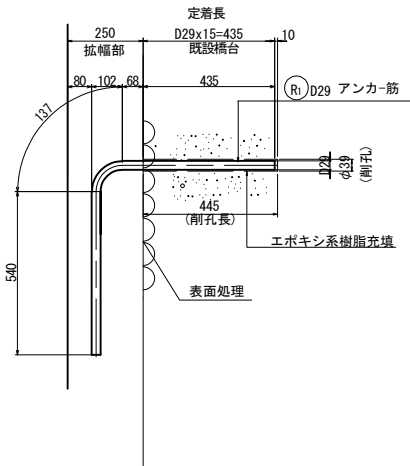
使用材料

補強部	工 種		仕 様
	コンクリート		30 N/mm ²
	鉄 筋		SD345

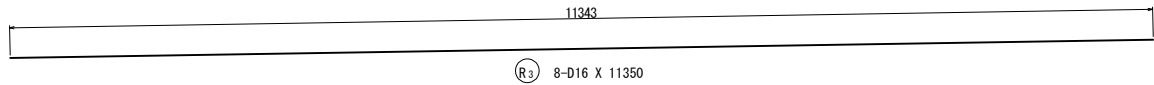
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 RC巻立て補強配筋図(その4)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



アンカー埋込み詳細図 S=1:10

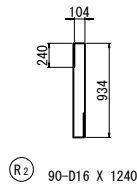
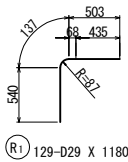


鉄筋加工図



鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	摘要
R1	D29	1180	129	5.04	5.95	768	アンカー筋
R2	D16	1240	90	1.56	1.93	174	帯筋
R3	D16	11350	8	1.56	17.7	142	通し筋
SD345 D29 768 kg							
SD345 D16 316 kg							
総質量 1084 kg							
割孔φ39×445 129箇所							



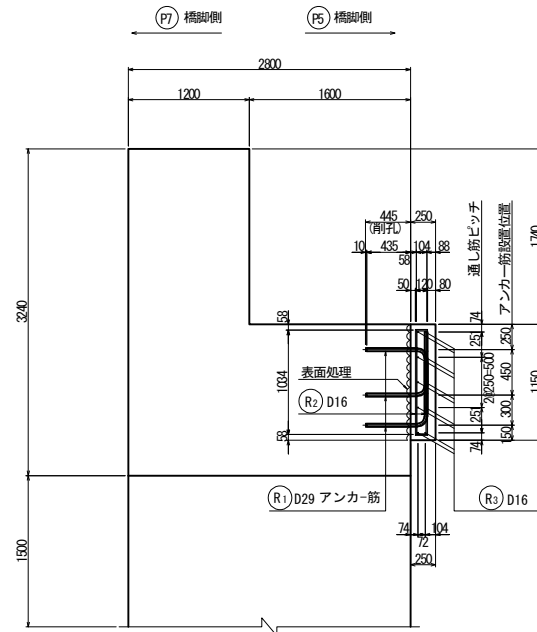
鉄筋曲げ加工表

φ	θ=90°	θ=135°	スターラップ
	R a ΔL	R a ΔL	R a ΔL
D13	39 61 17	71 5 56 3	32 5 51 14
D16	48 75 21	88 69 4 40	63 17
D19	57 89 25	104 5 82 5	47 5 75 20
D22	66 104 28	121 95 5 55	86 24

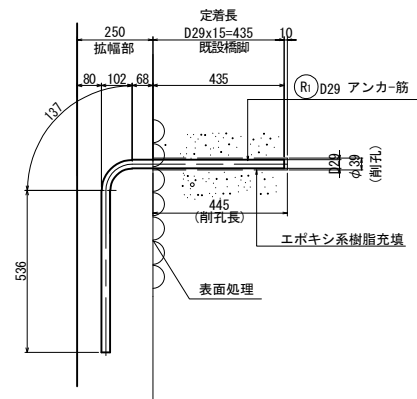
- 注記)
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
 - 鉄筋 (SD345) $\sigma_a=200\text{N/mm}^2$
 - 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 - 縁端拡幅部の既設橋台面は、WJによる表面処理を行うこと。
 - 施工にあたっては、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の切断は避けるようにすること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 A1橋台縁端拡幅工B詳細図		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

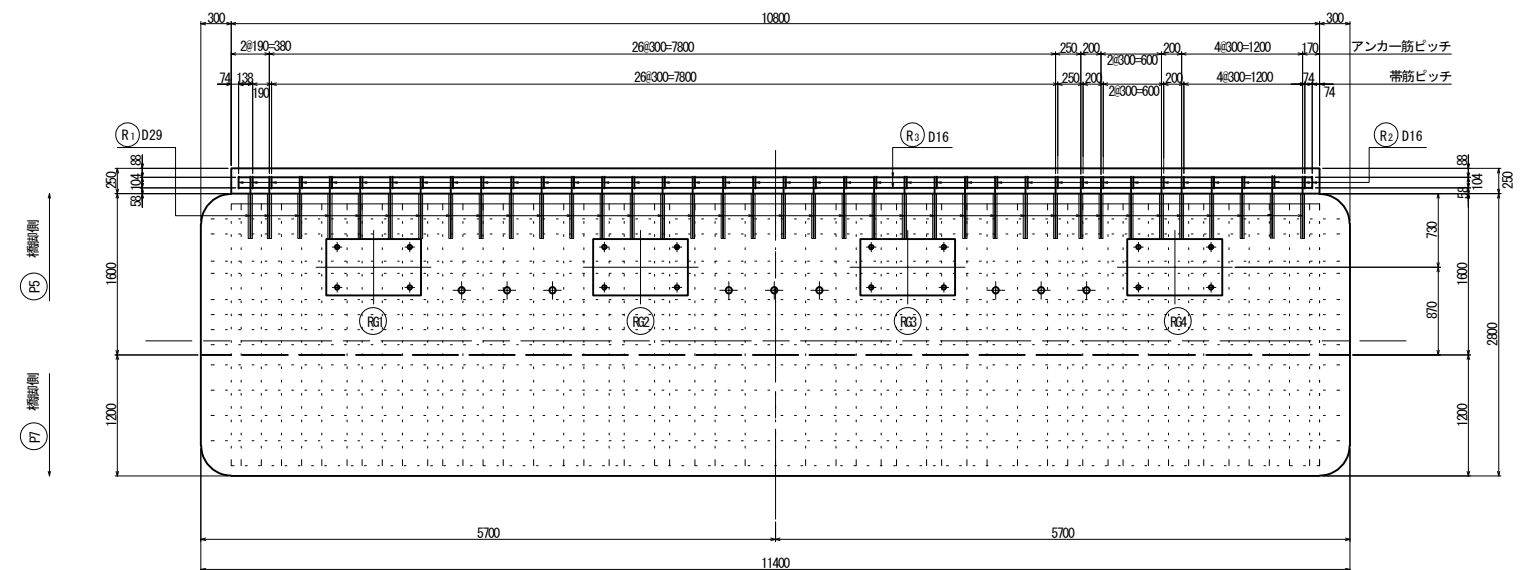
断面図



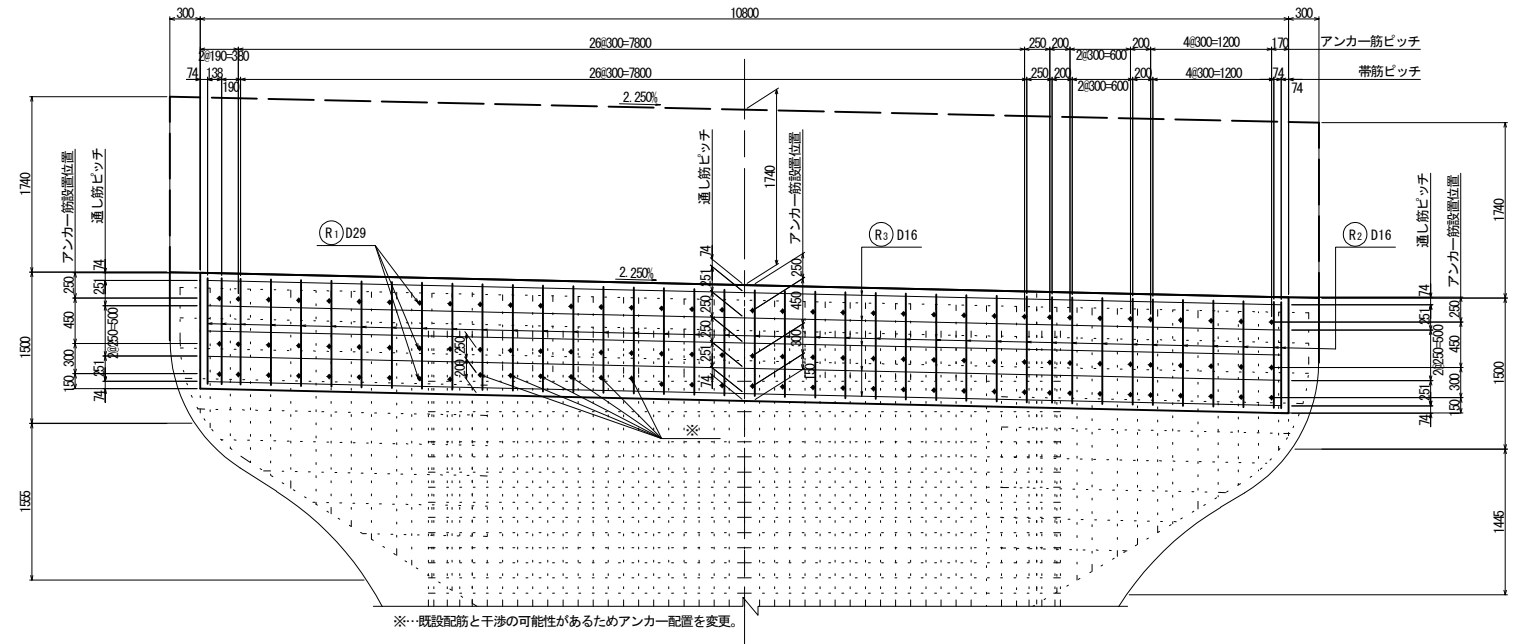
アンカー埋込み詳細図 S=1:10



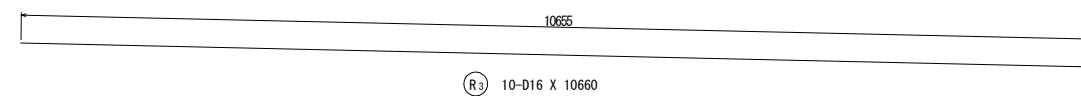
平面図



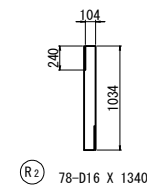
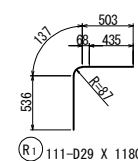
正面図



鉄筋加工図



鉄筋曲げ加工表



	$\theta \leq 90^\circ$		$R=3\phi$						
	$\theta > 90^\circ$		$R=5.5\phi$						
	スターラップ		$R=2.5\phi$						
	$\Delta L = \text{減長}$		$2Xc-a$						
ϕ	$\theta=90^\circ$	$\theta=135^\circ$	スターラップ						
	R	a	ΔL	R	a	ΔL			
D13	39	61	27	71.5	56	3	32.5	51	14
D16	48	75	21	88	69	4	50	63	17
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5	75	20
D22	66	104	28	121	95	5	55	86	24

(注記)

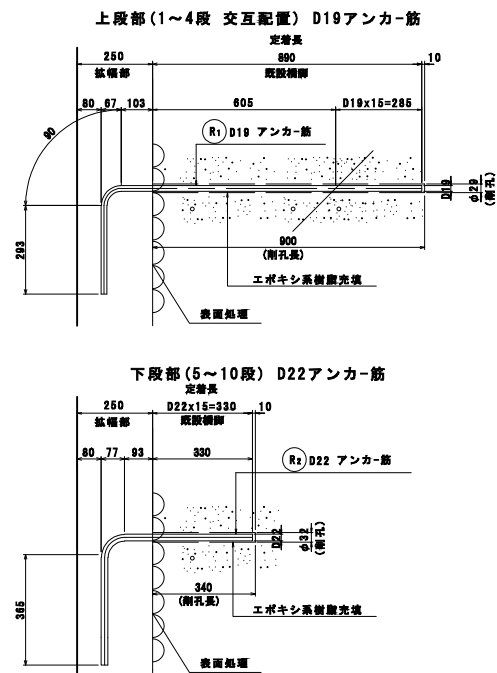
1. コンクリート強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
2. 鉄筋(SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
3. 施工にあたっては現地計測を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
4. 縁端拡幅部の既設橋台面は、WJによる表面処理を行うこと。
5. 施工にあたっては、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の
切断は避けるようにすること。

	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事		
図面の種類	戸田高架橋 P(起)橋脚基礎拡張工B詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

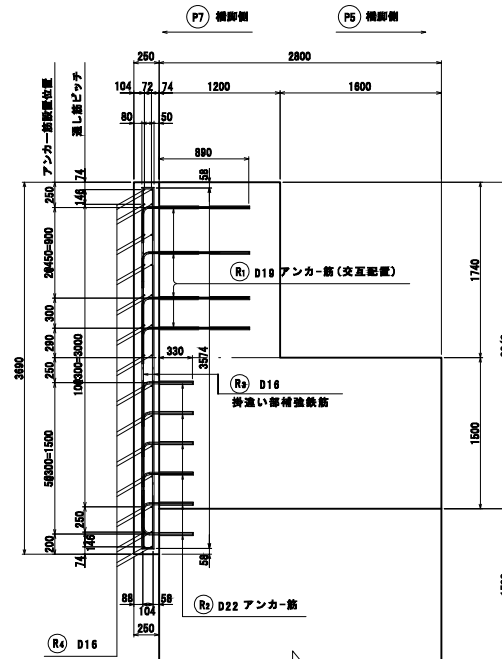
鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
R 1	D29	1180	111	5.04	5.95	660	┌ アンカー部
R 2	D16	1340	78	1.56	2.09	163	└ 帯 筋
R 3	D16	10660	10	1.56	16.63	166	—— 通し筋
SD345 D29						660 kg	
SD345 D16						329 kg	
総質量						989 kg	
割 入 れ 39 x 445						111 箇所	

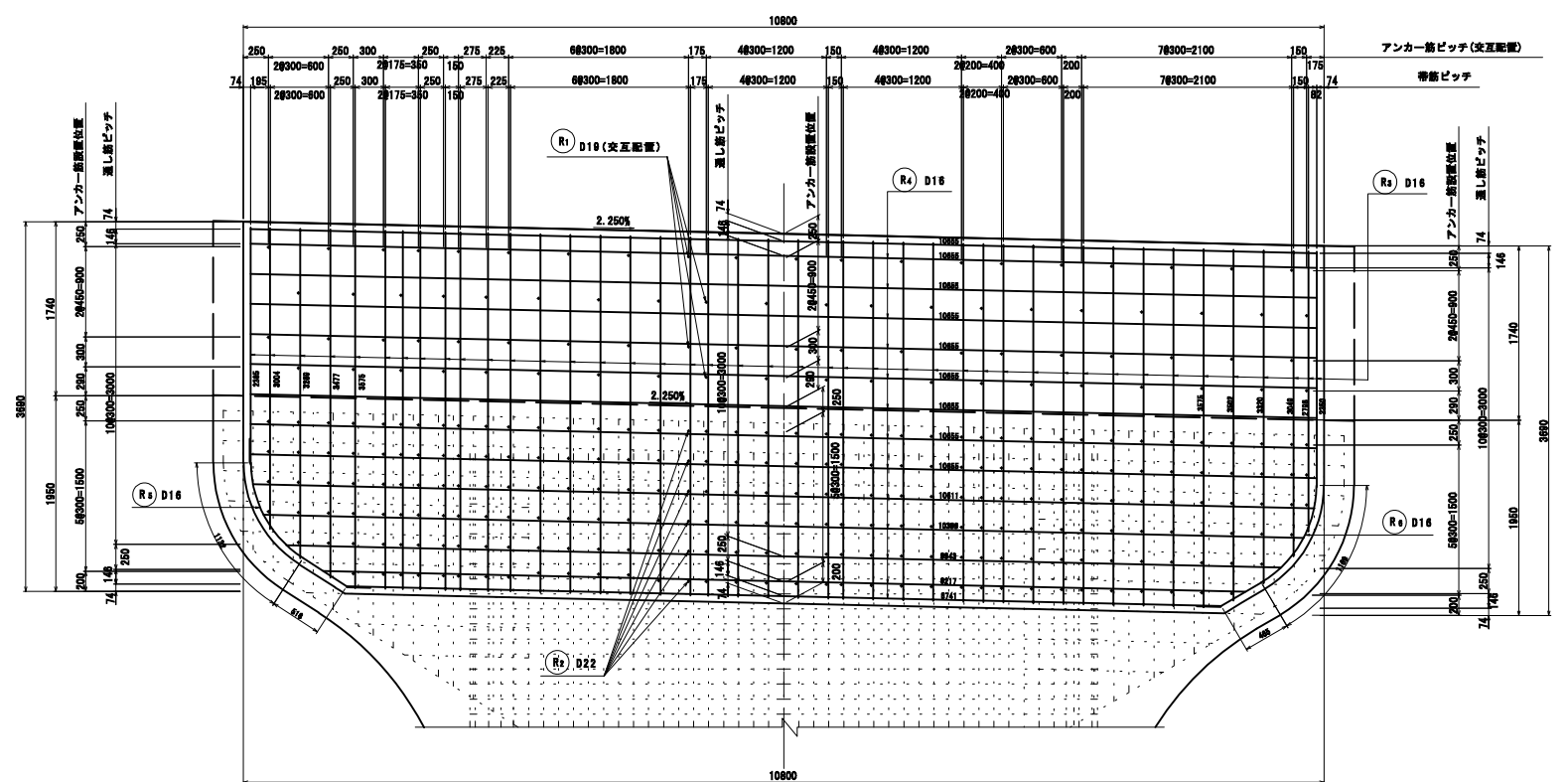
アンカー埋込み詳細図 S=1:10



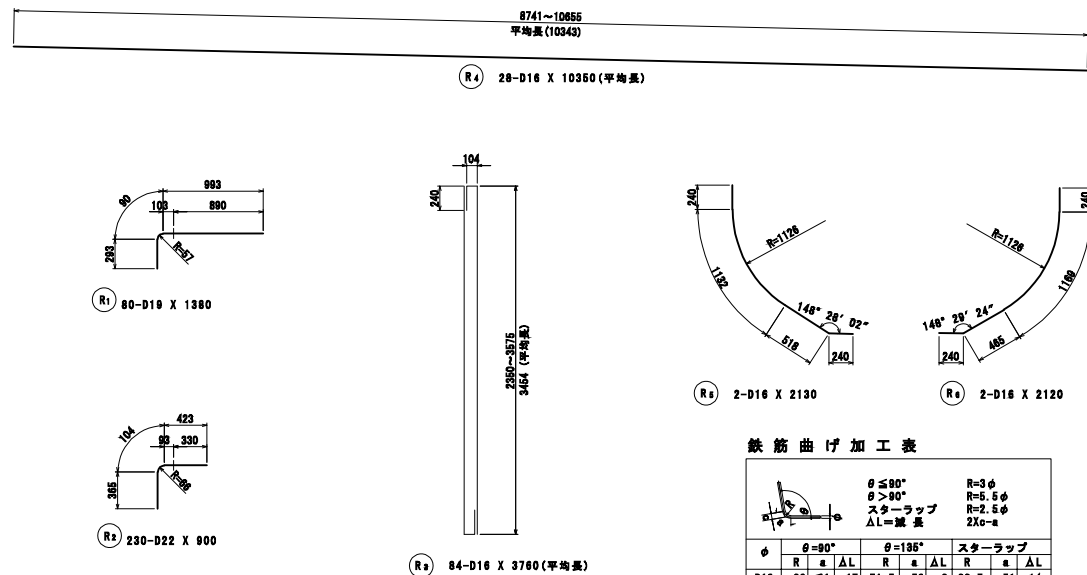
断面図



正 面 图



鉄筋加工図

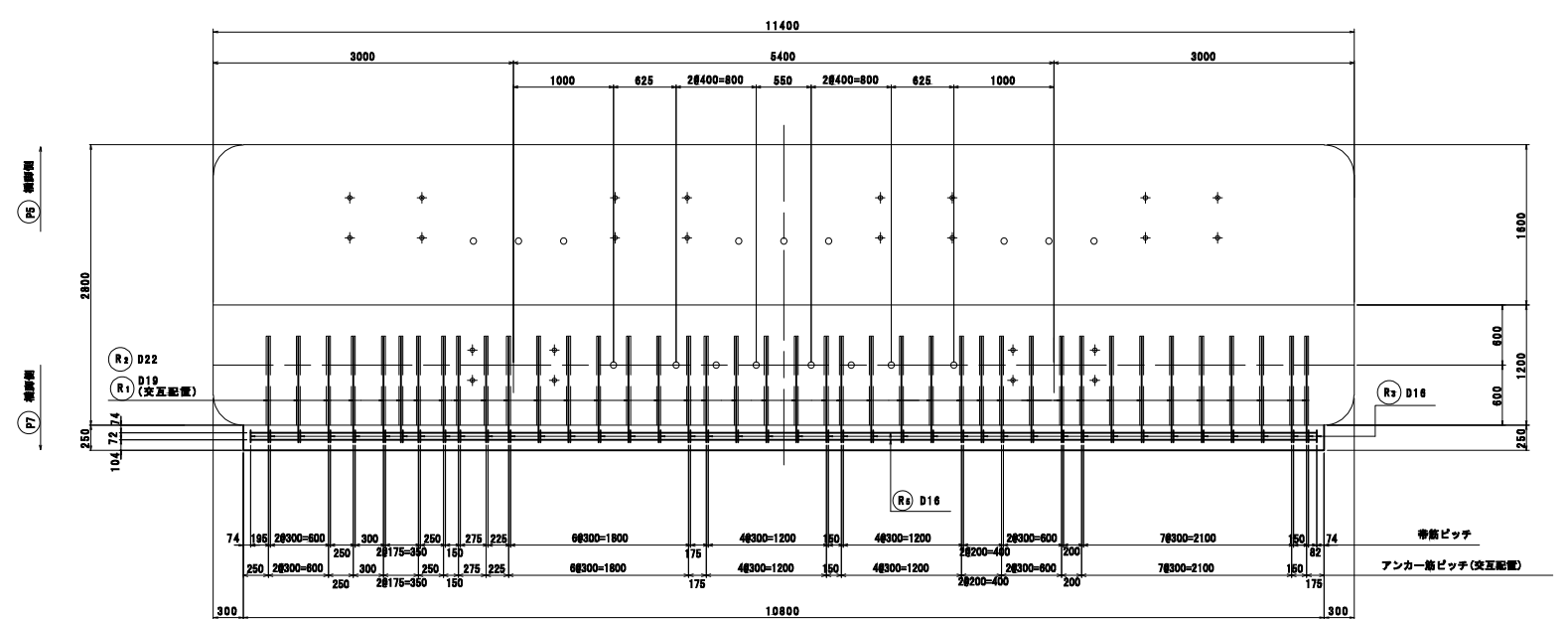


鉄筋曲げ加工表

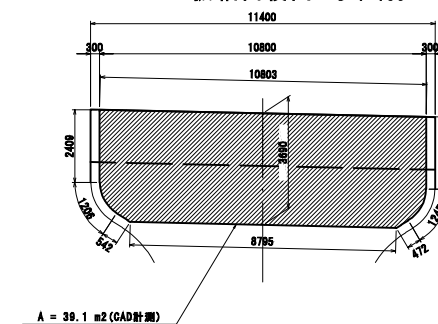
鉄筋質量表

[illegible]

平面图



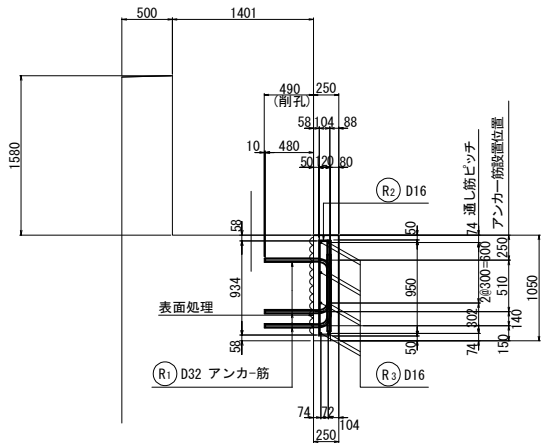
拡幅面積図 **S=1:100**



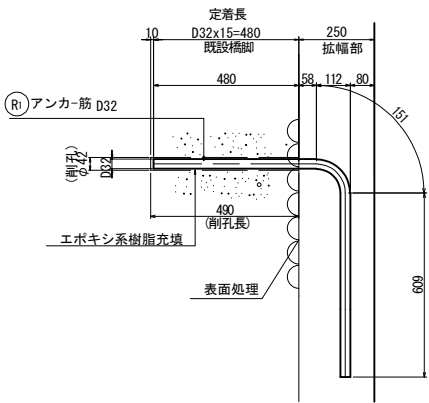
- 【注意】
1. コンクリート強度 $\sigma_{sk}=30\text{N/mm}^2$
 2. 鉄筋 (SD345) $\sigma_s=200\text{N/mm}^2$
 3. 施工にあたっては基礎計画を行い、
施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 4. 橋端幅桁部の既設側面は、引による表面処理を行うこと。
 5. 施工にあたっては、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の
切筋は避けるようにすること。

官報國中交通省自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 第6(橋)橋脚基礎地盤工B詳細面		
縮 尺	図 示	図面番号	/
監計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速建設株式会社 関東支社 市原管理事務所		

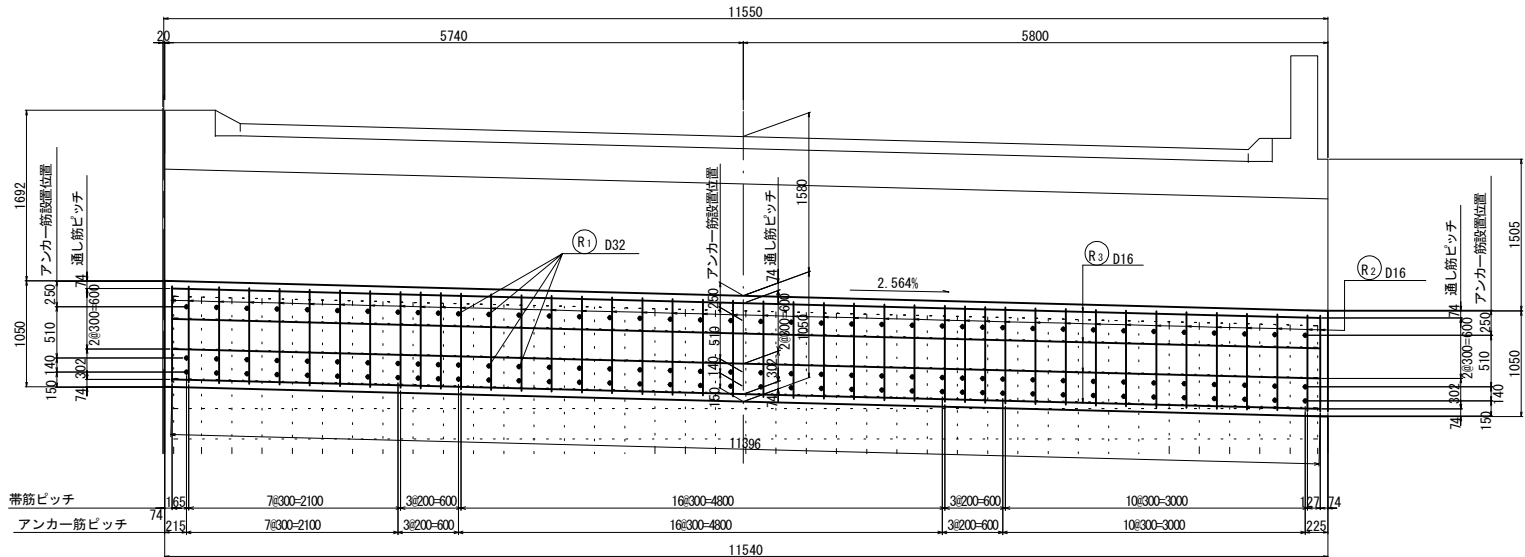
断面図



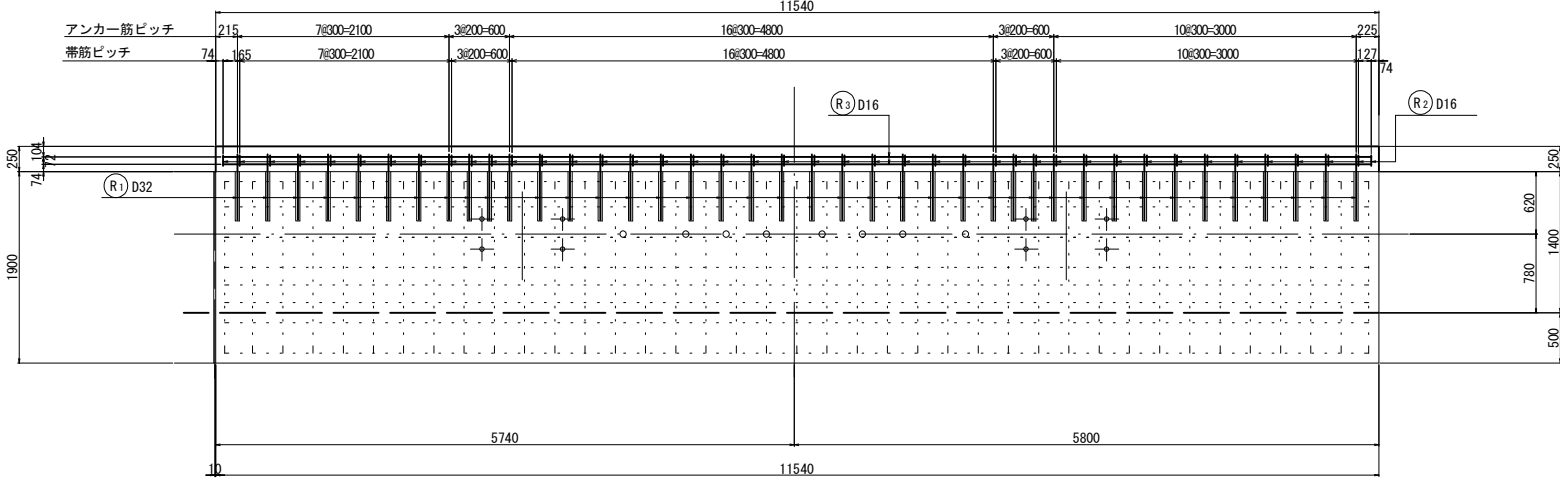
アンカー埋込み詳細図 S=1:10



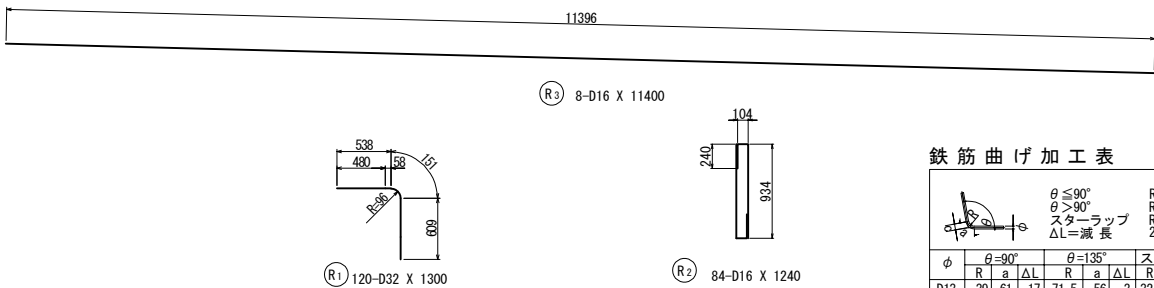
正面図



平面図



鉄筋加工図



鉄筋質量表

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
R 1	D 32	1300	120	6.23	8.10	972	アンカー-筋
R 2	D 16	1240	84	1.56	1.93	162	帯 筋
R 3	D 16	11400	8	1.56	17.8	142	通し筋
						SD345 D32 972 kg	
						SD345 D16 304 kg	
						総質量 1276 kg	
							削孔 φ42 × 490 120 箇所

鉄 筋 曲 げ 加 工 表

φ	θ=90°			θ=135°			スターラップ		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51	14
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17
D19	57	89	25	104.5	82	5	47.5	75	20
D22	66	104	28	121	95	5	55	86	24

- 注記)
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=30N/mm^2$
 - 鉄筋 (SD345) $\sigma_a=200N/mm^2$
 - 施工にあたっては現地計測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。
 - 縁端拡幅部の既設橋台面は、WJによる表面処理を行うこと。
 - 施工にあたっては、鉄筋探索を行い、既設鉄筋の切断は避けるようにすること。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 A2橋台縁端拡幅工B詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1配置図
P1-2340 (750)

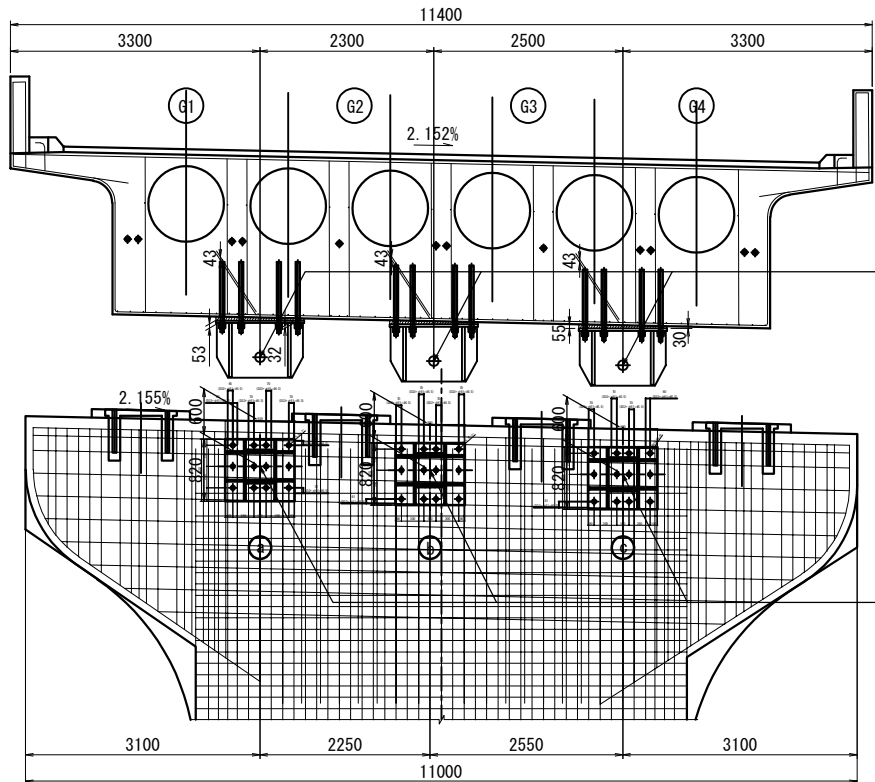
S=1:100

57 / 100

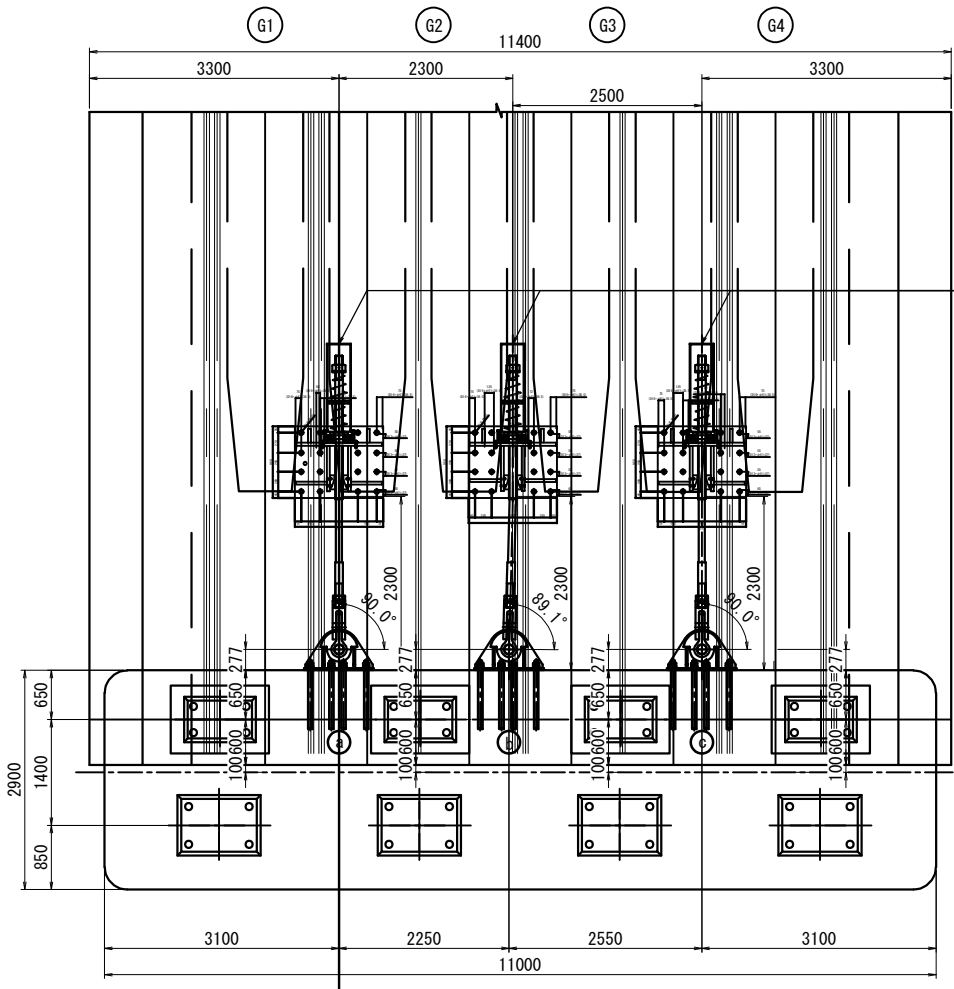
設計条件

死荷重反力 (R _d)	4900kN
設計反力 (H _f)	6000kN
1本あたりの設計反力 (P)	2340kN
設計遊間量	750mm

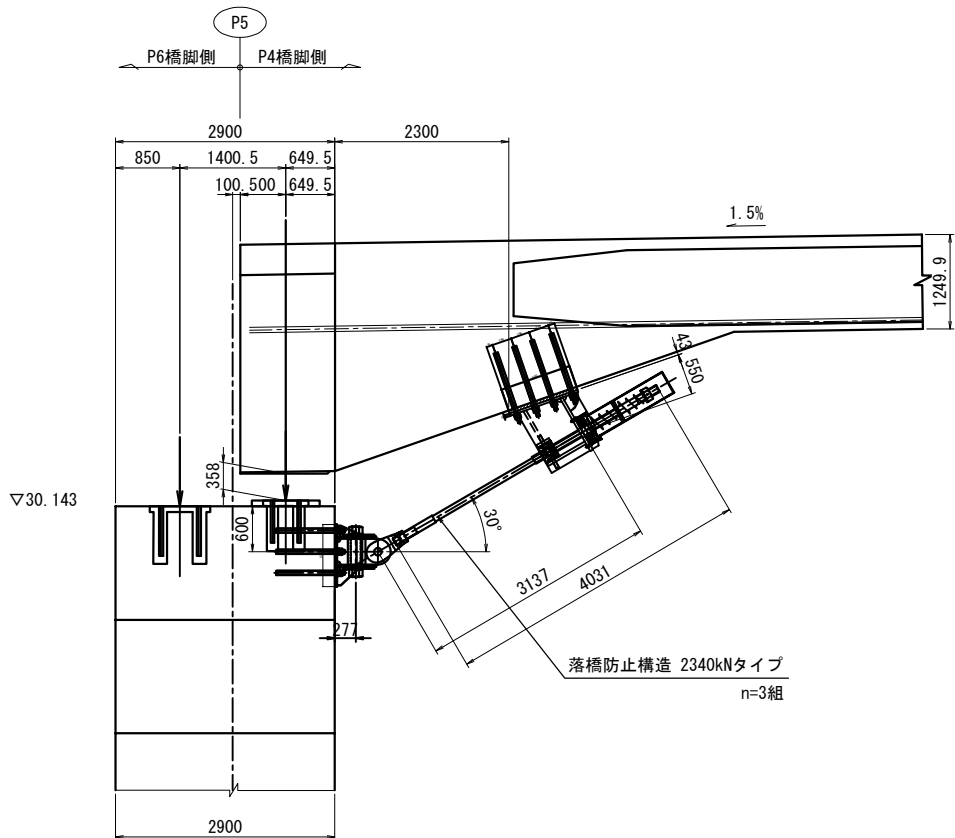
正面図



平面図



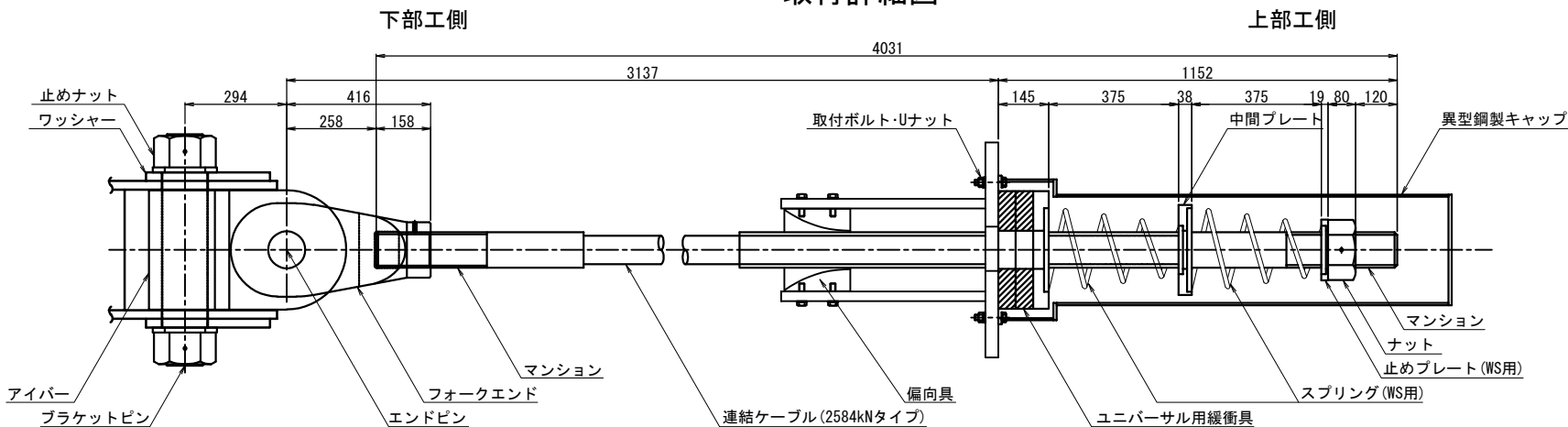
側面図



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1配置図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

P1-2340 (750)
取付詳細図及び部品図

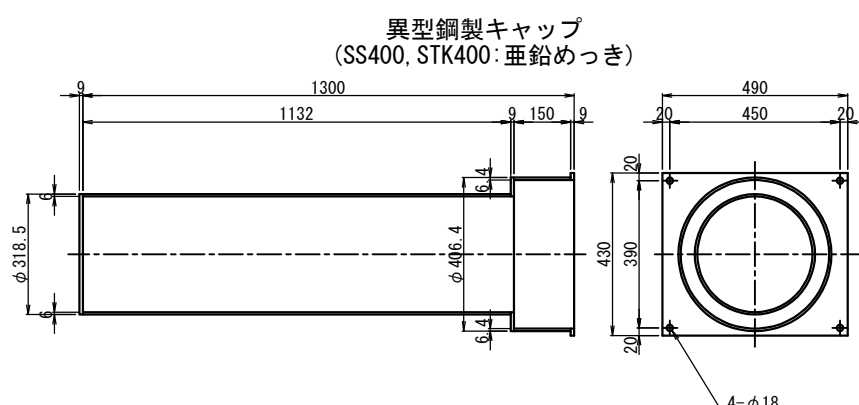
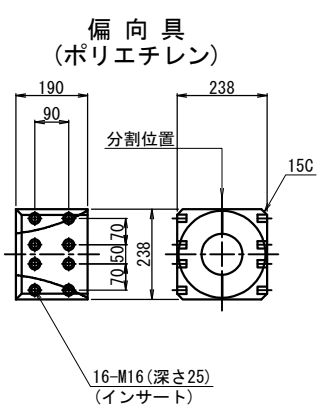
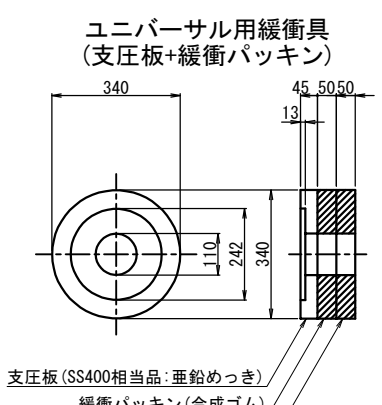
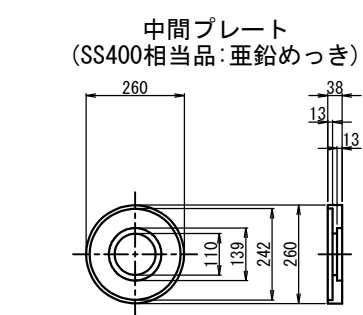
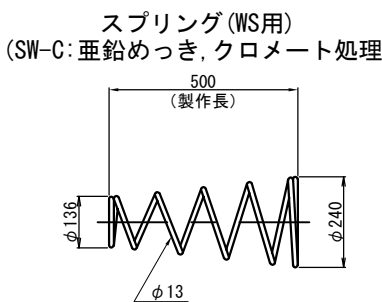
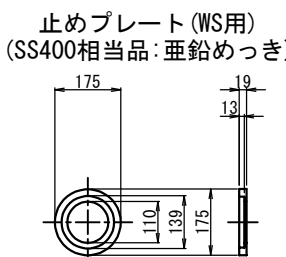
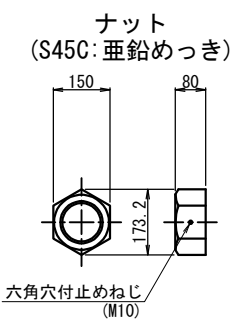
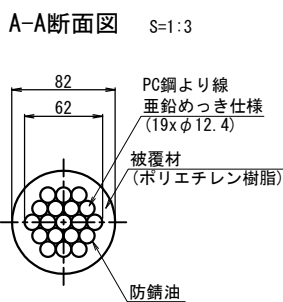
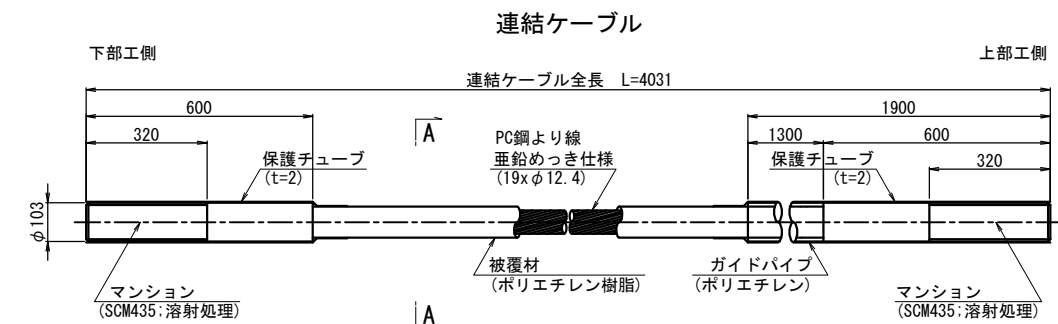
取付詳細図



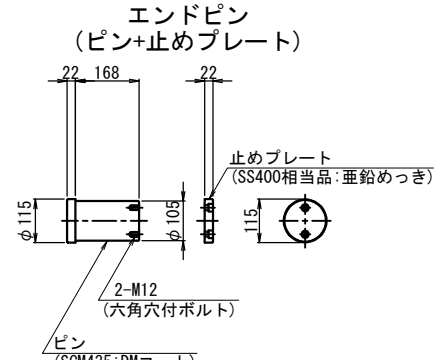
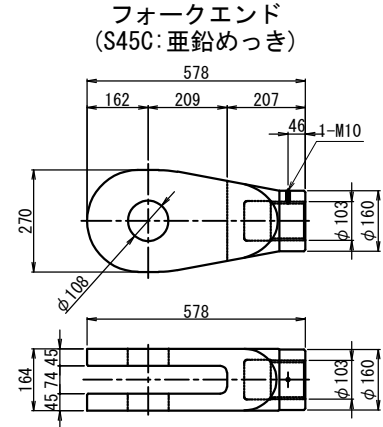
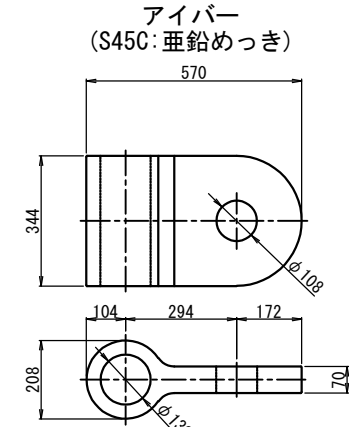
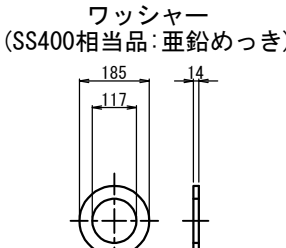
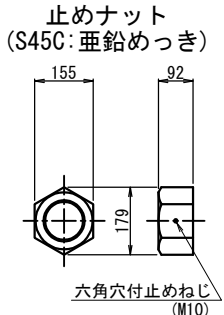
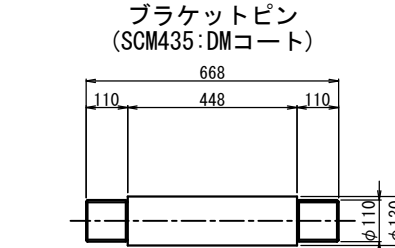
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全3組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	F310TDU L=4031mm	本	1	PC鋼より線, 垂鉛めっき仕様, ポリエチレン被覆
(マンション)	F310TDU 標準	個	2	SCM435, 垂鉛アルミ溶射, ねじきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	F310TDU 1300mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	F310TDU用	個	1	S45C: 垂鉛めっき (HDZT77)
止めプレート (WS用)	F310TDU用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77)
スプリング (WS用)	F310TDU用 L=500	個	2	SW-C: 垂鉛めっき, クロメート処理
中間プレート	F310TDU用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77)
ユニバーサル用緩衝具	F310TDU用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77) + 合成ゴム
偏向具	F310TDU用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT49) 接着剤付
異型鋼製キャップ	F310TDU用 L=1300	個	1	SS400, STK400: 垂鉛めっき (HDZT77)
取付ボルト・Uナット	M16x65 2W付	本	4	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT49)
ブラケットピン	F310TDU用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
止めナット	F310TDU用	個	2	S45C, 垂鉛めっき (HDZT77)
ワッシャー	F310TDU用	個	2	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77)
アイバー	F310TDU用	個	1	S45C, 垂鉛めっき (HDZT77)
フォークエンド	F310TDU用	個	1	S45C, 垂鉛めっき (HDZT77)
エンドピン (ピン)	F310TDU用	本	1	SCM435, ダクロダイズド処理, DMコート
(止めプレート)	F310TDU用	個	1	SS400相当品: 垂鉛めっき (HDZT77)



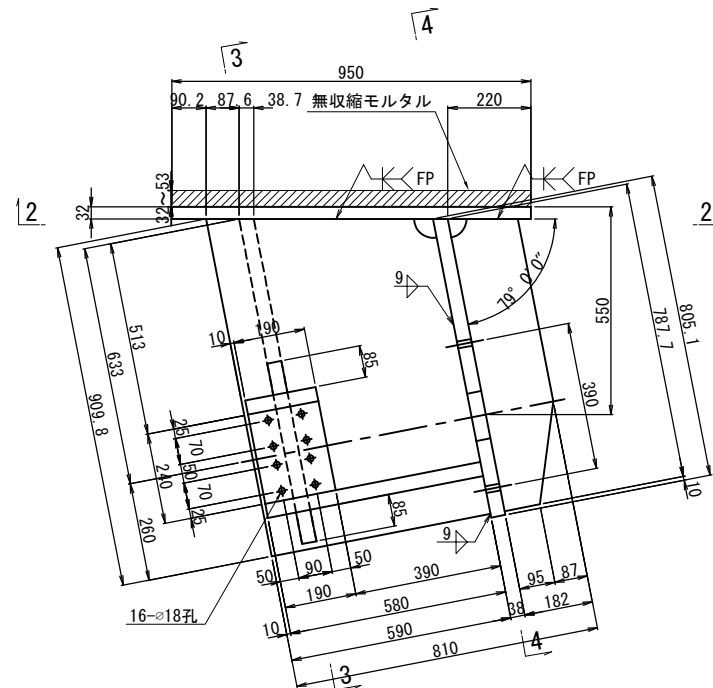
設計条件	
1本あたりの設計反力 (P)	2340kN
設計遊間量	750mm



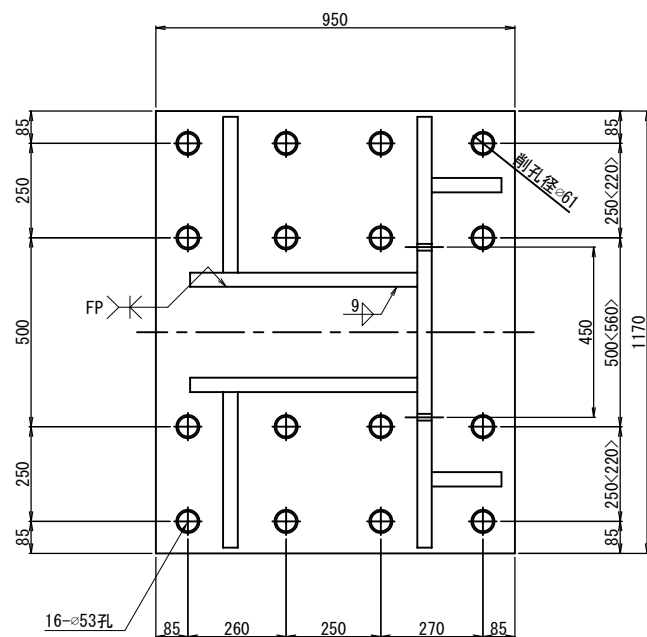
注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間距離を確認のうえ、おこなうこと。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事	
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1構造図(その1) (参考図)
縮 尺	図示 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

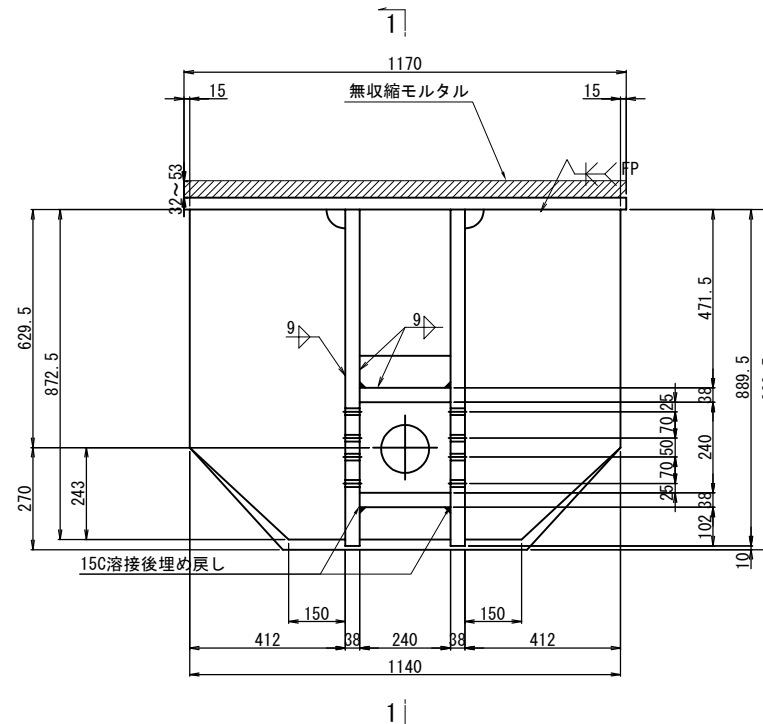
1 - 1



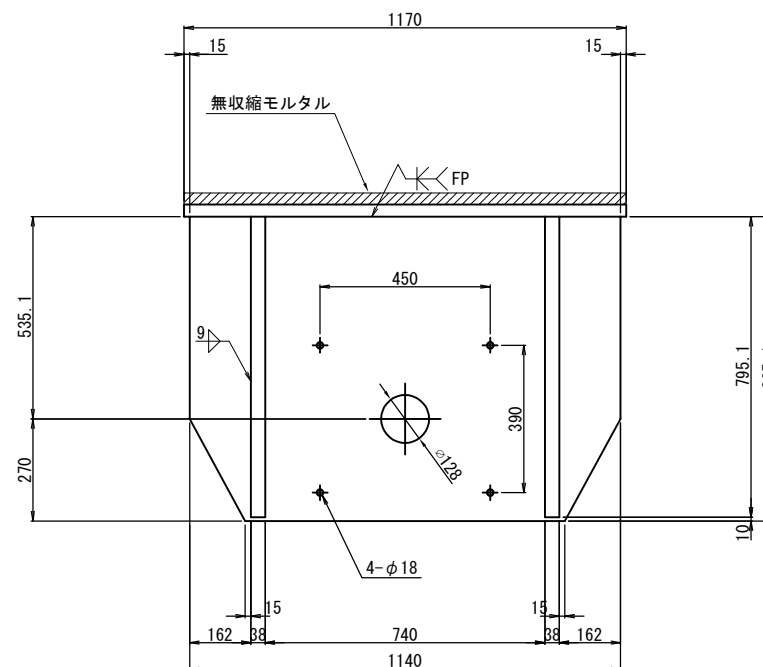
2 - 2



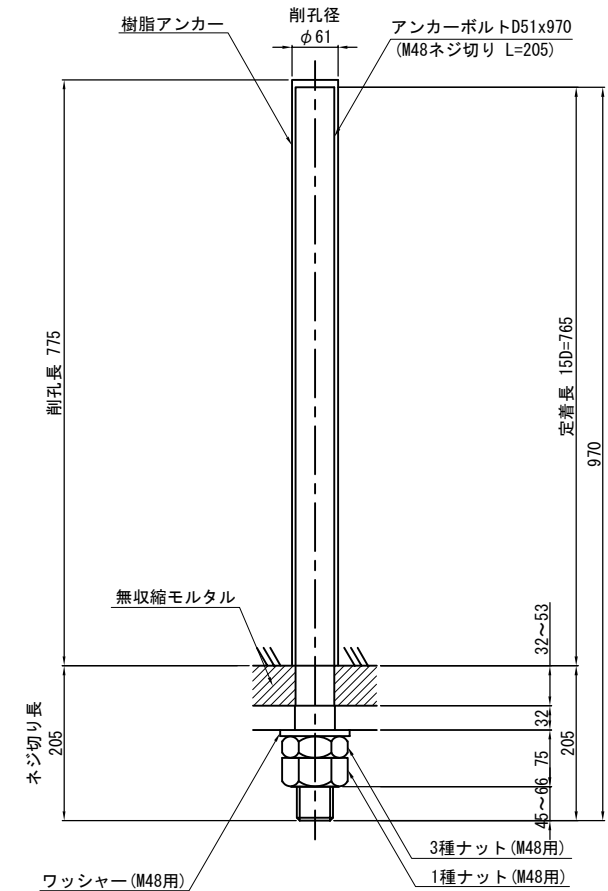
※〈 〉内寸法は**⑥**を示す。



4 - 4



アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:3基)

- 2-PL 182x38x788
2-PL 590x38x910
2-PL 412x38x873
2-PL 85x38x240
1-PL 240x38x580
1-PL 190x38x240
1-PL 806x38x1140
1-PL 1170x32x950
16-Anc. Bolt D51x970 (SD345)
16-1種 Nut M48用 (SS400)
16-3種 Nut M48用 (SS400)
16-Washer M48用 (SS400)

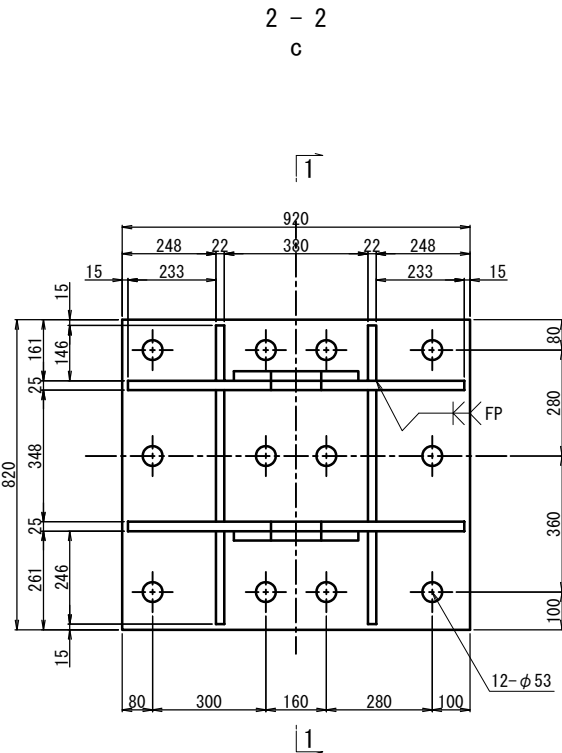
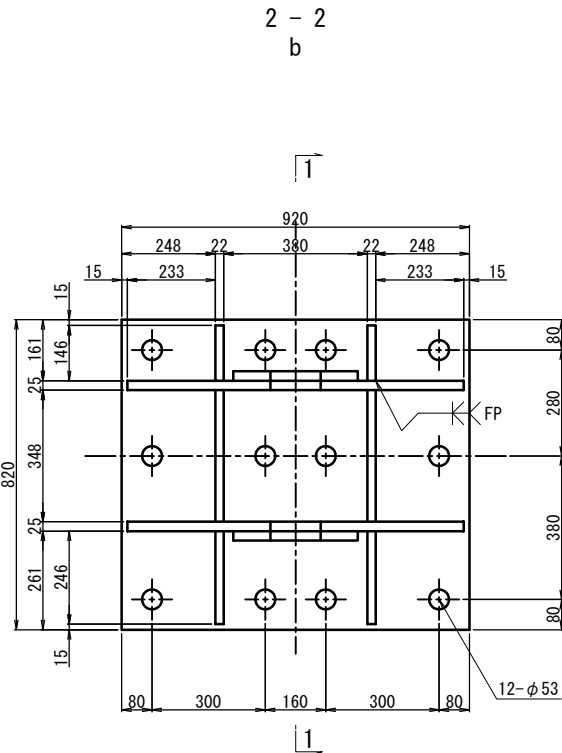
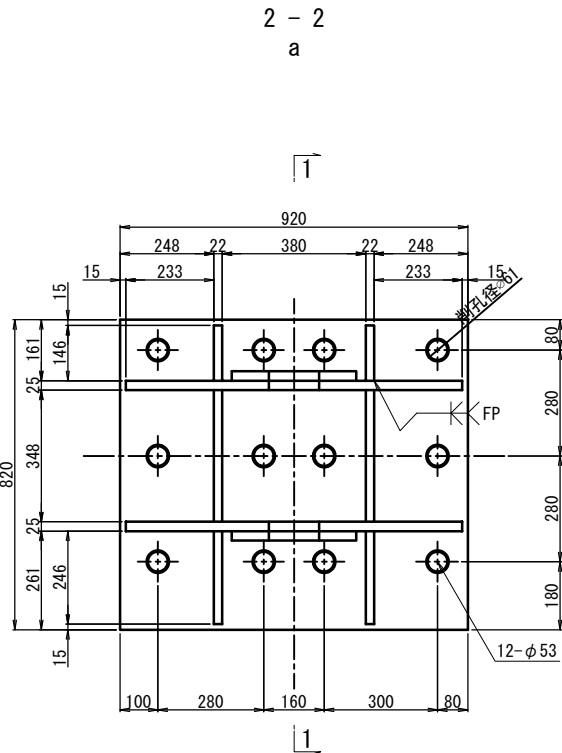
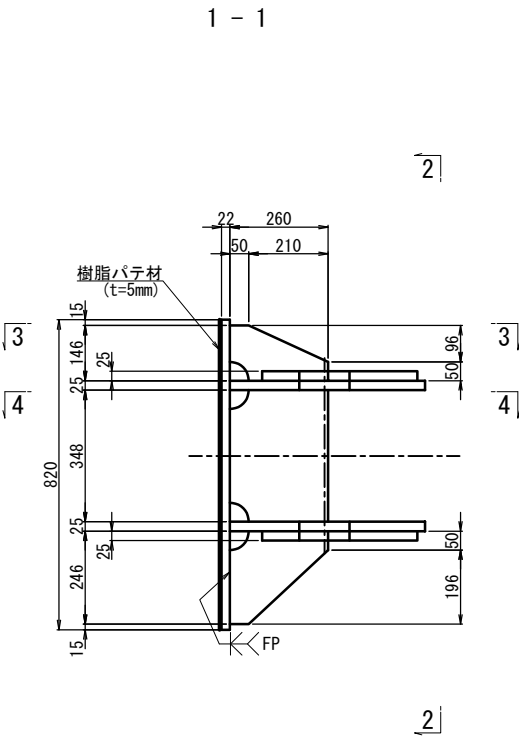
注記)

1. 特記なき材質は全てSMA400Bとする。
2. 特記なきカラーは50Rとする。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、HS JIS641 HDZ77とする。
ただし、ポルト・ナット類はHDZ749とする。
4. 工場製作は、現場実測確認のうえ行う。
5. 「F」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
6. 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。

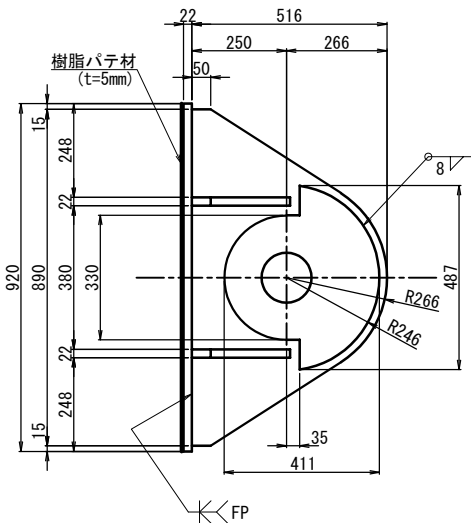
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(起) 落橋防止構造P1構造図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P1-2340 (750)
下部エブラケット詳細図
P5橋脚P 4側

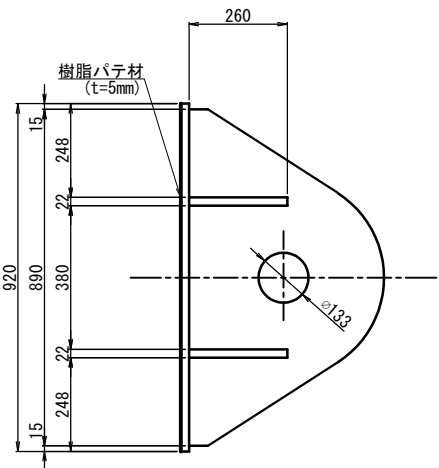
下部エブラケット詳細図



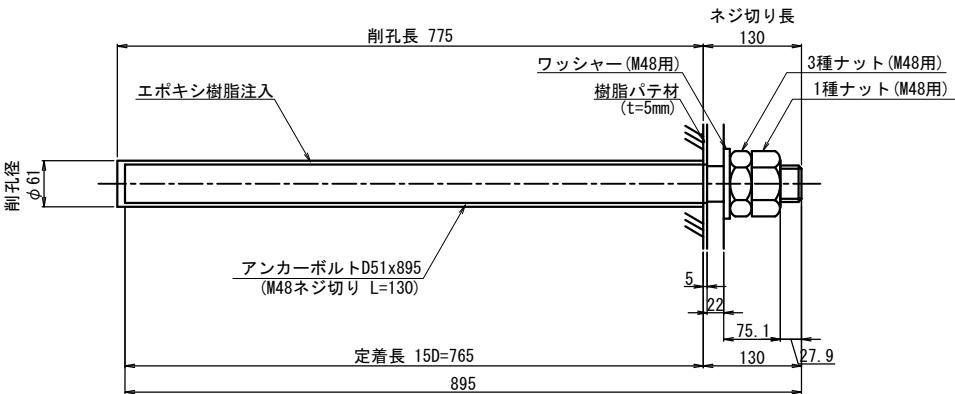
3 - 3



4 - 4



アンカーボルト詳細図 S=1:5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当たり(製作数:3基)

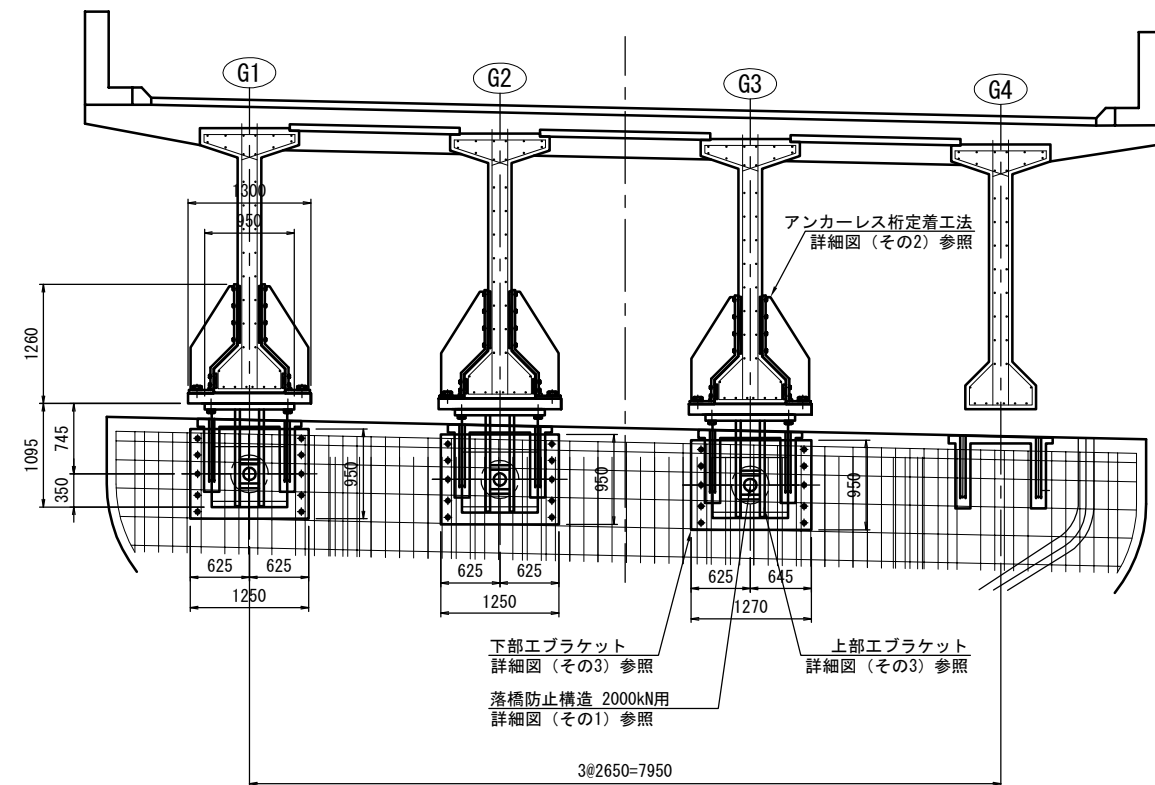
- 2-PL 411x25x487
- 2-PL 516x25x890
- 2-PL 260x22x146
- 2-PL 260x22x246
- 2-PL 260x22x348
- 1-PL 820x22x920
- 12-Anc Bolt D51x895 (SD345)
- 12-1種 Nut M48用 (SS400)
- 12-3種 Nut M48用 (SS400)
- 12-Washer M48用 (SS400)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM490Bとする。
 - 特記なきスカーラップは全て50Rとする。
 - 部材は、全て溶融垂鉛めっき仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作をおこなうこと。
 - 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
 - 鋼製部材とコンクリートの接触面は、チッピングによる表面処理を行うこと。

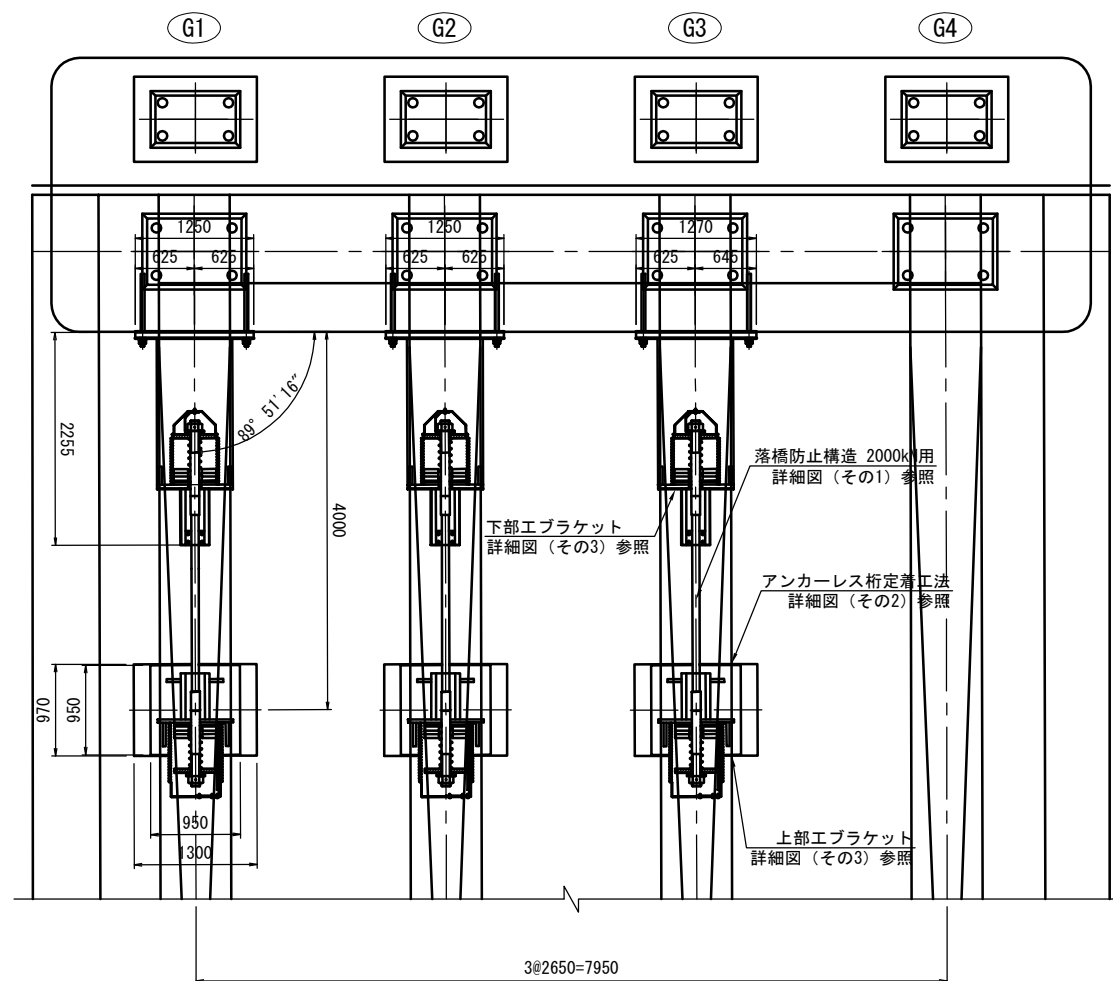
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(起)		
	落橋防止構造P1構造図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P2-2000 (650)

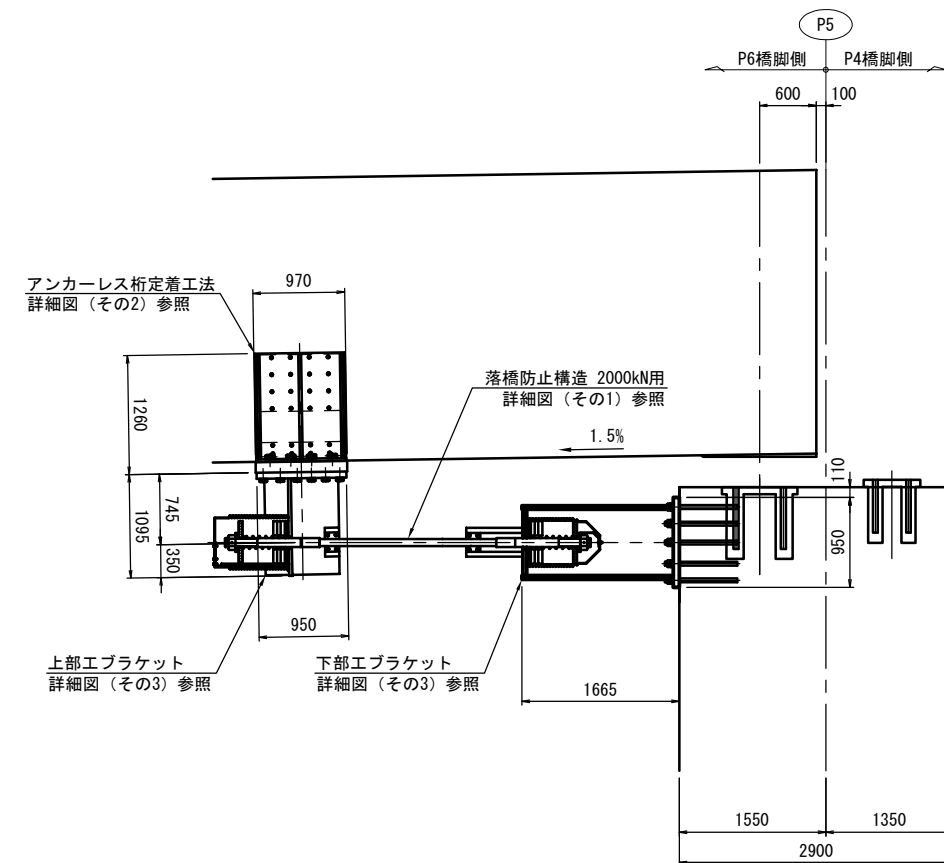
正面図



平面図



側面図



設計条件

死荷重反力 (R_d)	6000kN
設計反力 (H_r)	6000kN
1本あたりの設計反力 (P)	2000kN
設計遊間量	650mm

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2配置図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

取付詳細図

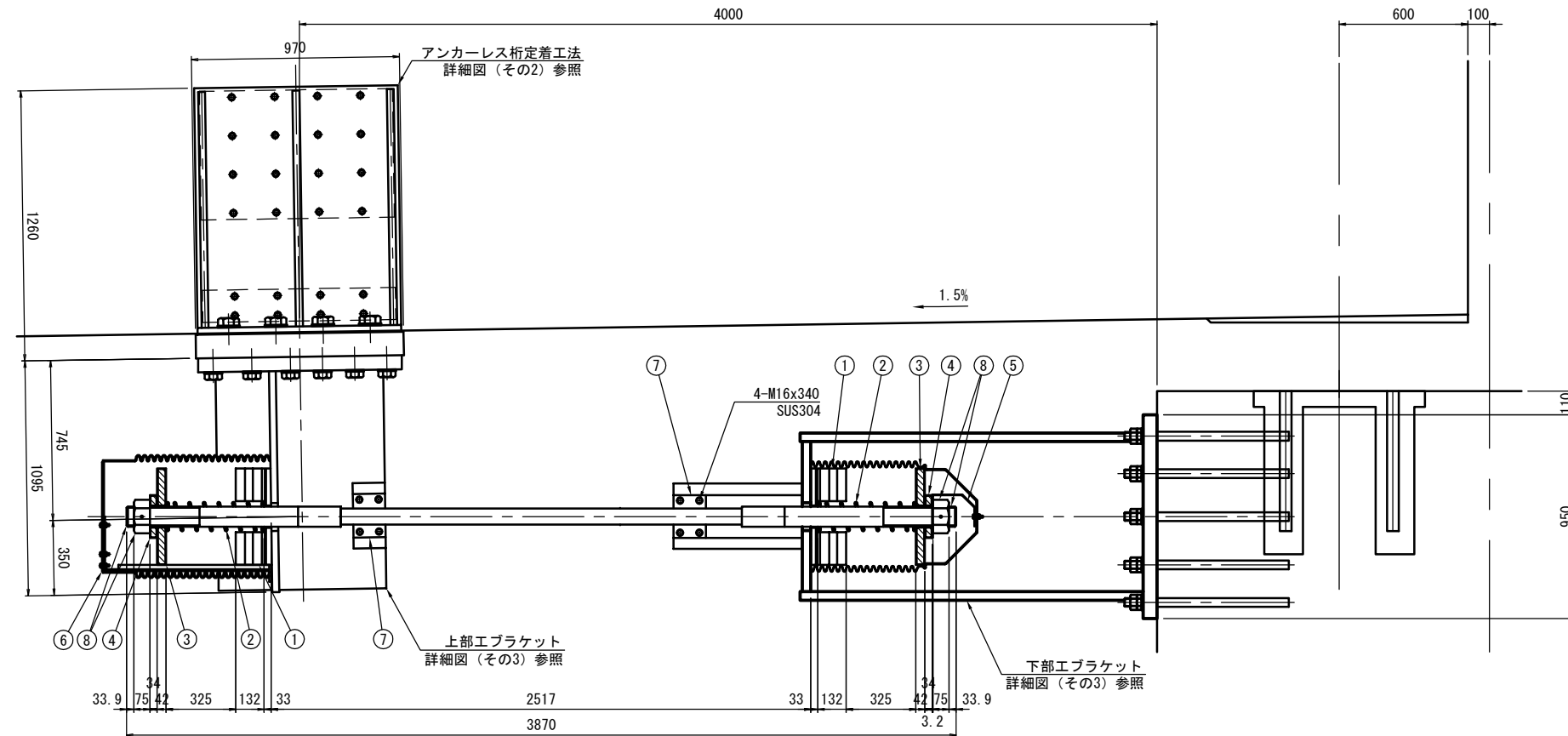
P2-2000 (650)
取付詳細図及び部品図

材 料 表

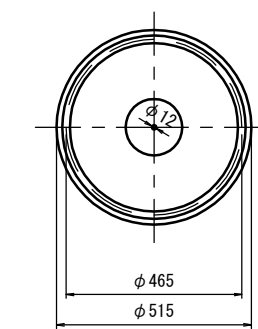
N.º	名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
					P5終点側	
1	セーフティストッパー	φ450x165	SS400, ネオプラス, CR	個	6	
2	コイルスプリング	φ137x510	SWOSC-B	本	6	PEコーティング
3	防錆支圧板	φ450x42	SS400, ネオプラス	枚	6	
4	防錆座金	φ200x34	SS400, ネオプラス	枚	6	
5	防錆キャップ (B)	φ515x800	CRまたはTPE	個	3	
6	防錆キャップ (C)	φ575x810	CRまたはTPE, SS400, SGP	個	3	取付受台含む
7	ガイドブロック	200x200x150	EPDM	組	6	六角ボルト・ナット 2-平座金付
8	PC鋼より線・ナット	L=3870	SWPR (PW270-GL)	組	3	垂鉛めつき仕様、長尺 取付プレート付

設計条件

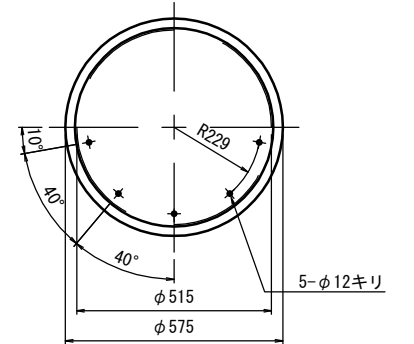
1本あたりの設計反力(P)	2000kN
設計遊間量	650mm



⑤ 防錆キャップ (B)



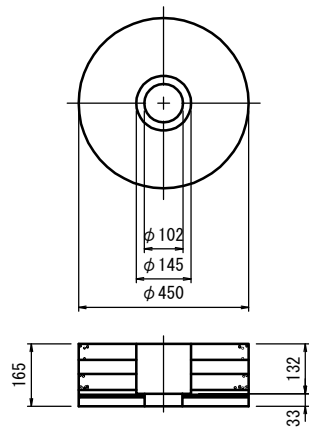
⑥ 防錆キャップ (C)



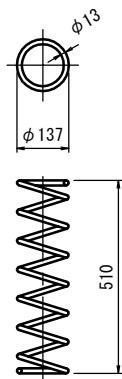
部 品 図

S=1:10

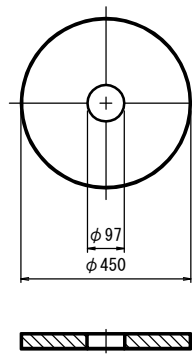
① セーフティストッパー



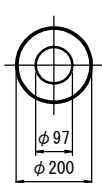
② コイルスプリング



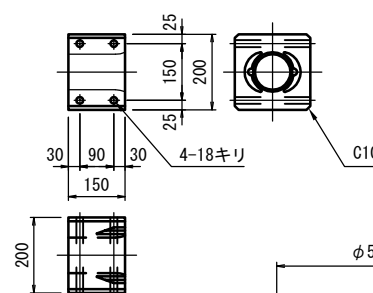
③ 防錆支圧板



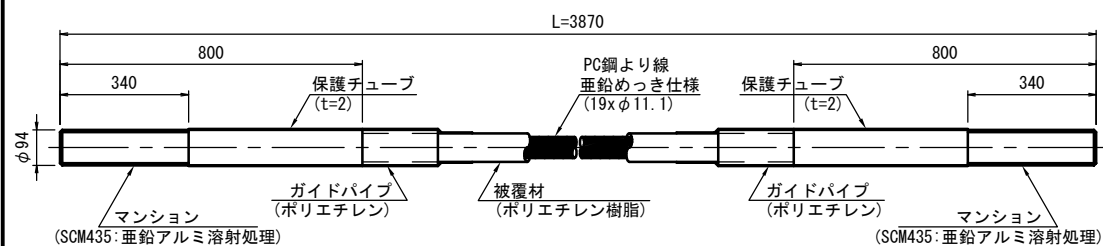
④ 防錆座金



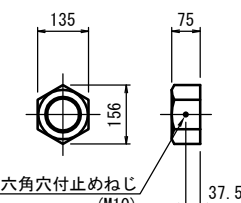
⑦ ガイドブロック



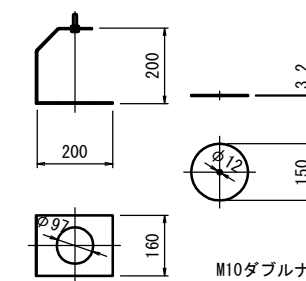
⑧ PC鋼より線・ナット



ナット
(S45C: 垂鉛めつき)

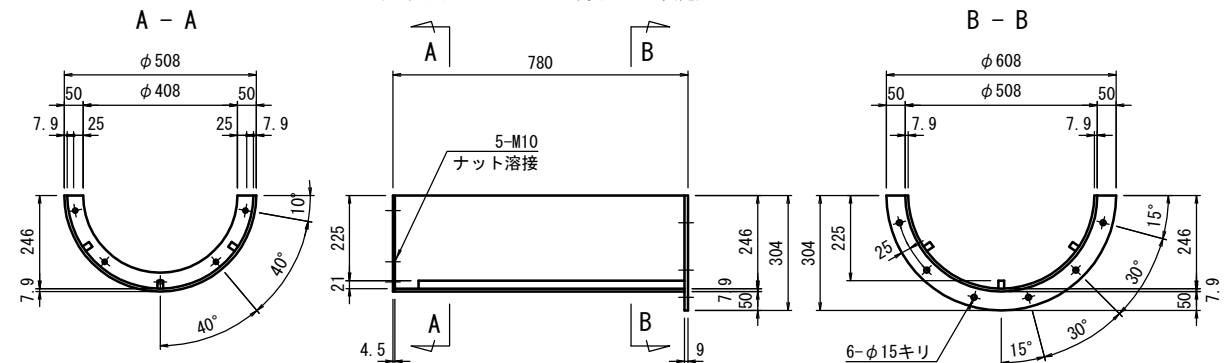


取付プレート詳細図



防錆キャップ (C) 取付用受台

(ブラケットのメネジに六角ボルトで固定)



六角ボルト (SUS304) M10x35-5 (A-A側) 1-N、1-W
六角ボルト (SUS304) M12x25-6 (B-B側) 1-W

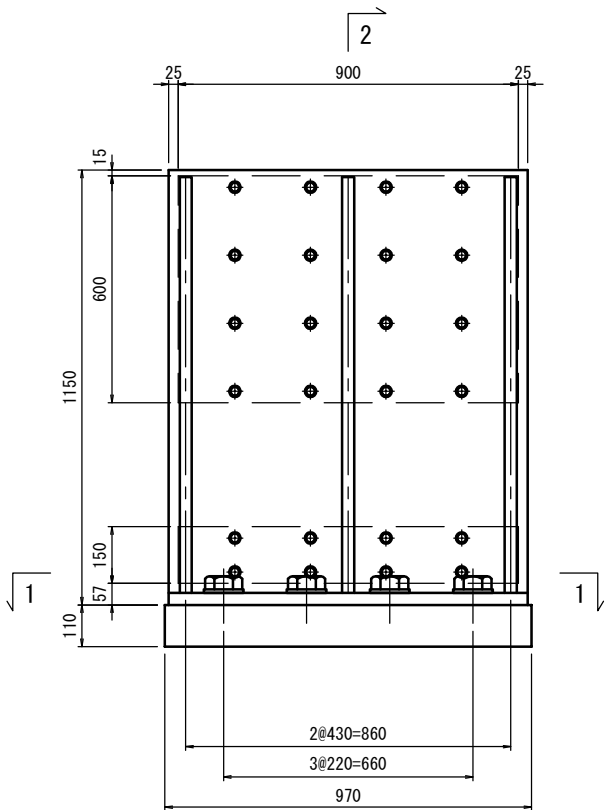
特記事項

1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
2. 施工前に現況を再度調査・寸法計測・鉄筋探査を行い、施工計画書を作成し監督員等の承諾後に着手すること。
3. 材質は製作納期、流通などを考慮し、同程度以上の材質に変更してもよい。

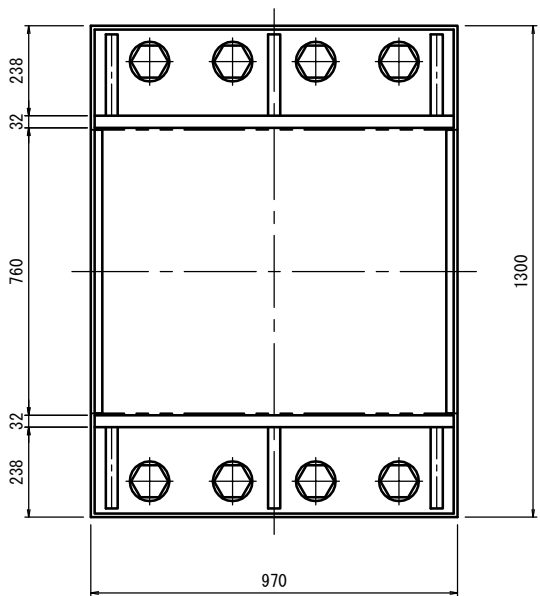
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2構造図(その1)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P2-2000 (650)
アンカーレス桁定着工法詳細図

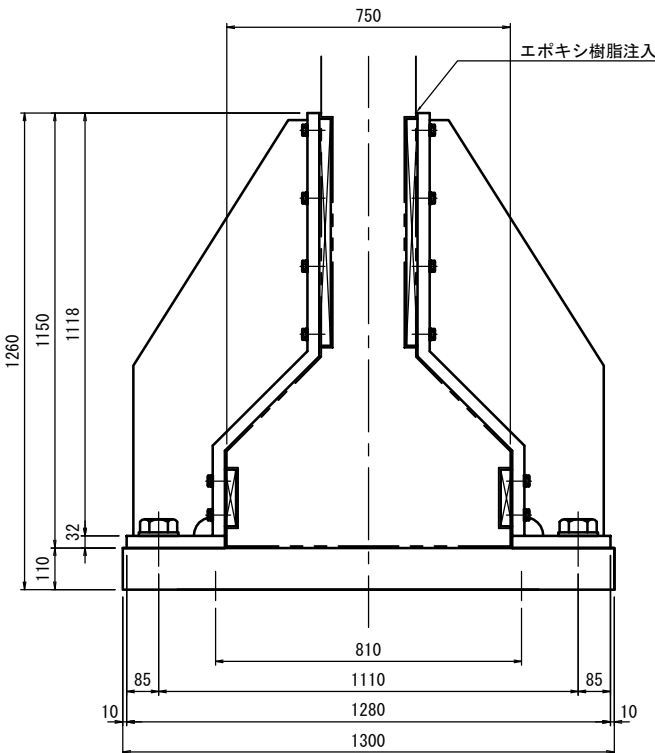
組立側面図



1 - 1

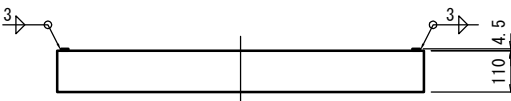
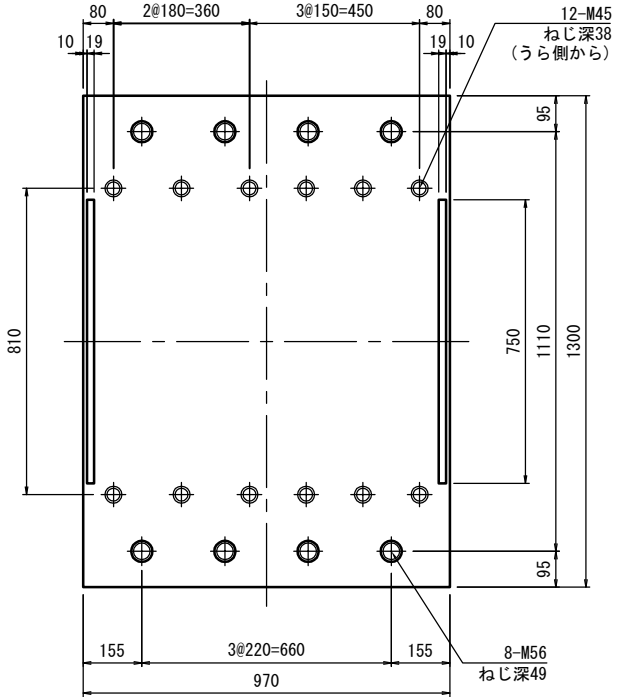


2 - 2

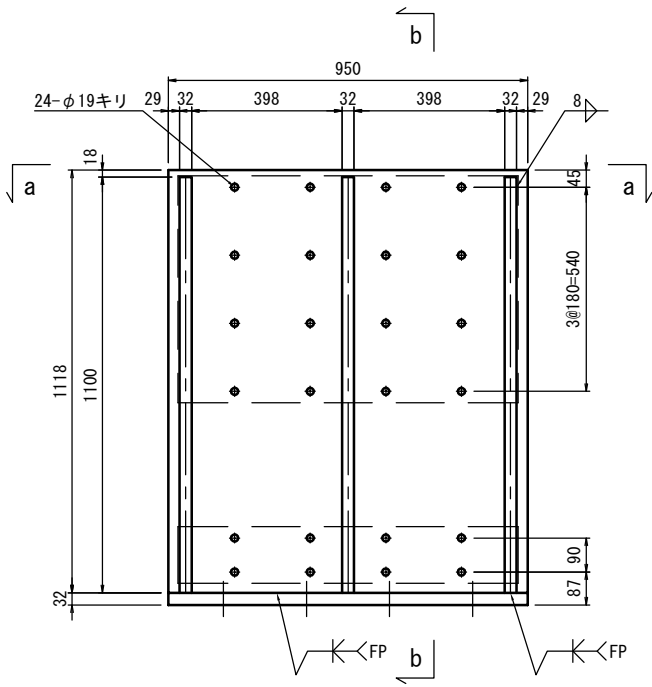


P6側

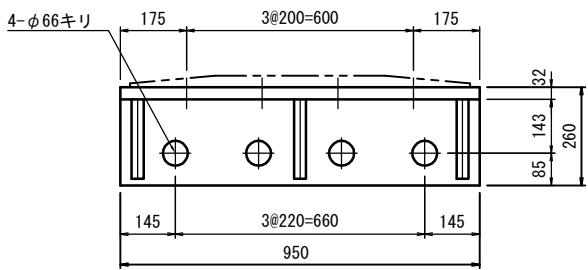
P7側



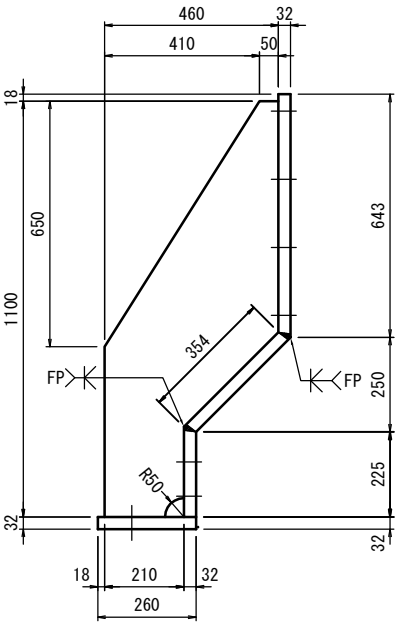
補強板詳細図



a - a



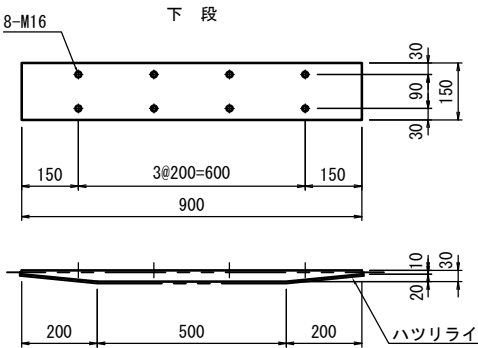
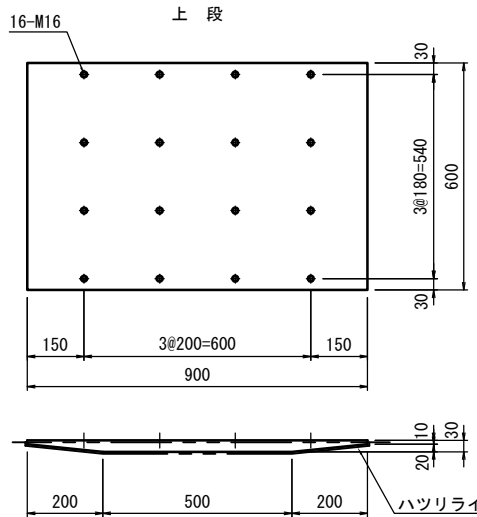
b - b



材料表 (1基当り)

- 1-P1 1300x110x970 (SM490A)
- 2-P1 643x 32x950 (SM490A)
- 2-P1 354x 32x950 (SM490A)
- 2-P1 225x 32x950 (SM490A)
- 2-P1 260x 32x950 (SM490A)
- 6-P1 1100x 32x460 (SM490A)
- 2-P1 600x 30x900 (SM490A)
- 2-P1 150x 30x900 (SM490A)
- 2-P1 750x4. 5x 19 (SS400)
- 48-Bolt M16 x 50 (強度区分8. 8) 平座金付 (SS400)
- 8-Bolt M56 x 90 (強度区分8. 8) 平座金付 (SS400)

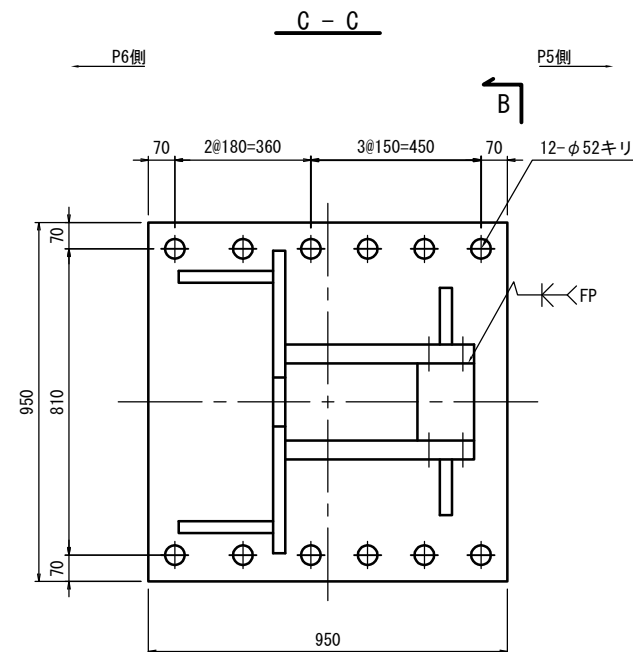
くさび板詳細図



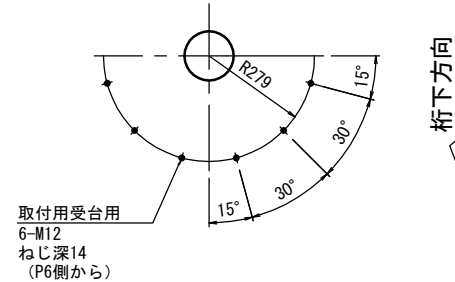
- 特記事項
- 施工着手に先立ち、現地寸法等を確認し、製作時に鋼材の加工に反映すること。
 - 鋼材は全て溶融亜鉛めっき仕様とする。鋼板 (HDZT77)、ボルト・ナット類 (HDZT49)
 - 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
 - くさび板挿入部のハツリ作業は、くさび形状になるよう十分注意すること。
 - ハツリ範囲は、くさび板から5mm以上確保すること。
 - 既設桁の下地処理を行うとともに、エポキシ樹脂注入前に接着面を清掃すること。
 - ブラケット内側は無塗装とし、エッチングプライマー (膜厚15μm) を塗布すること。
 - 製作施工に必要な吊り孔等は適宜設けること。
 - 鋼材材質は図面に記載した材質を基本とするが、流通状況や機械的性質を考慮し適宜反映してもよい。

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚(終) 落橋防止構造P2構造図(その2)(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

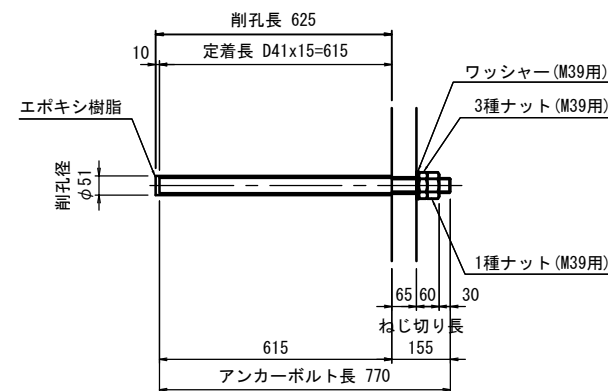
下部エブラケット



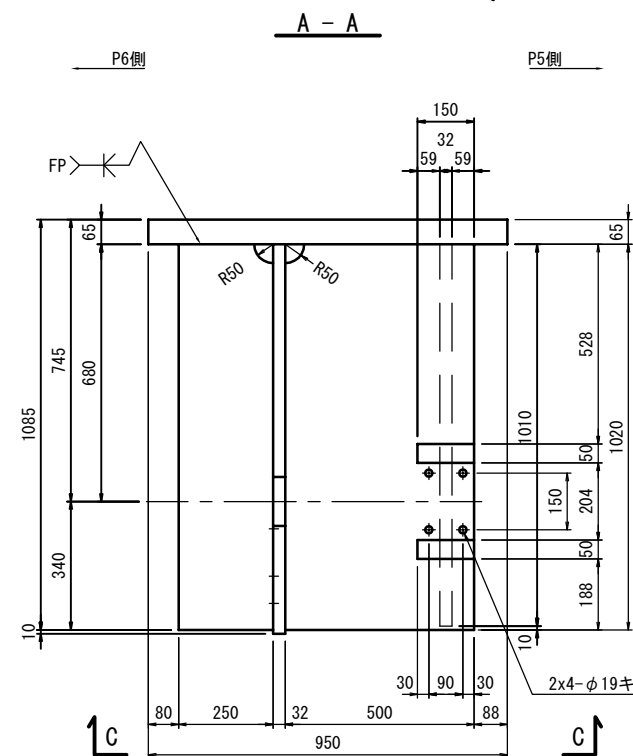
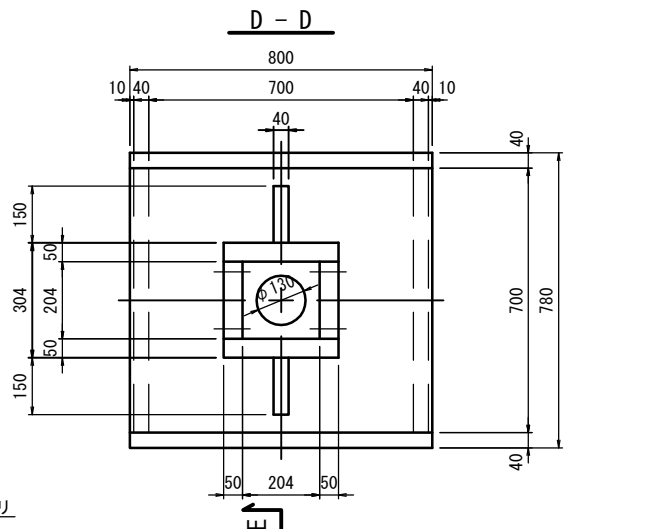
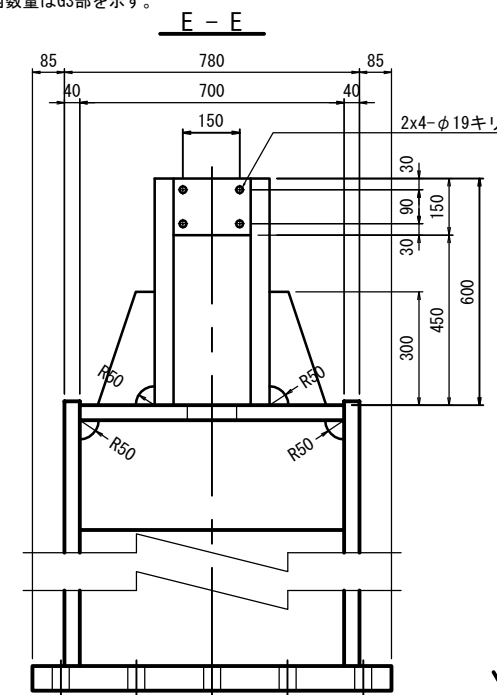
取付用受台ねじ孔詳細



下部アンカーボルト詳細図

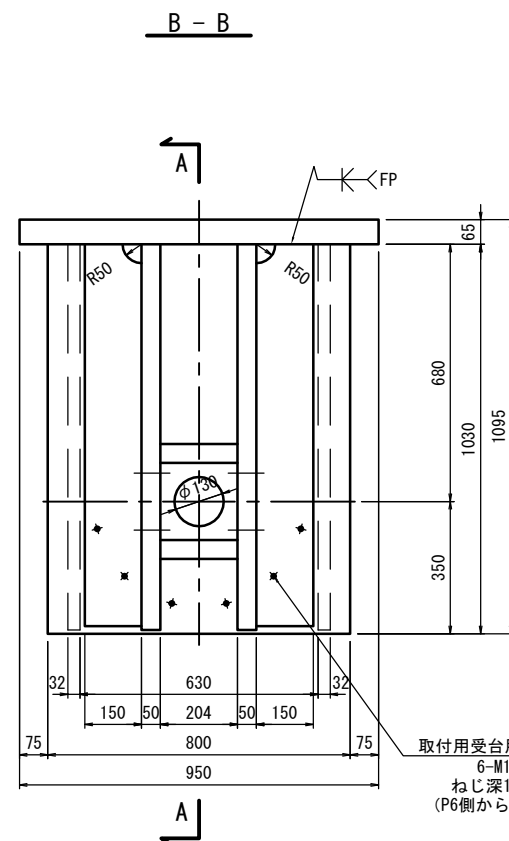


※ アンカーボルトはねじ切り部のみ防錆処理を施すものとする。



上部エブラケット材料（1基当り）

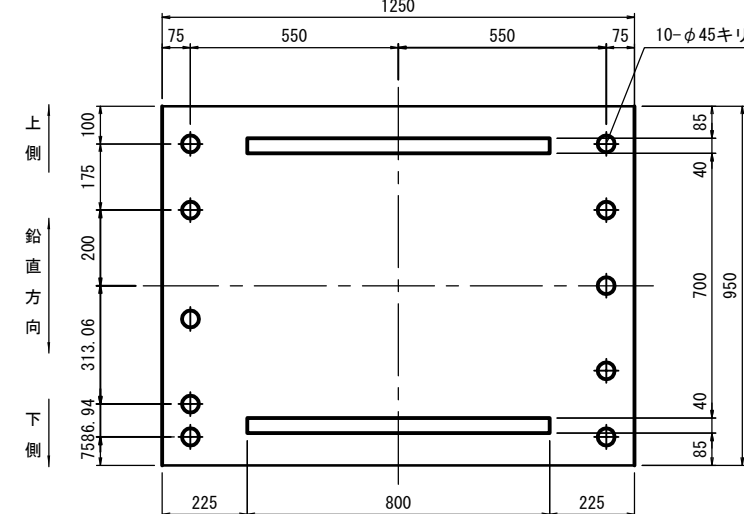
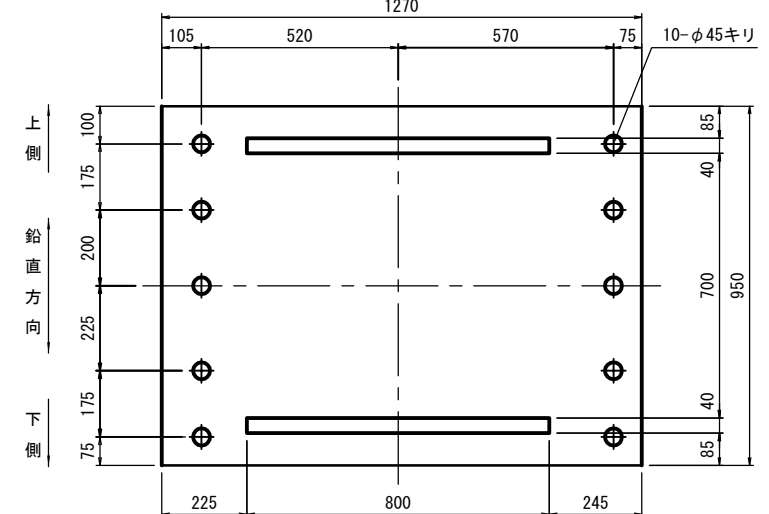
- 1-PL 950x65x 950 (SM520C)
1-PL 800x32x1030 (SM490YB)
2-PL 500x50x1020 (SM520C)
2-PL 250x32x1020 (SM490YB)
2-PL 150x32x1010 (SM490YB)
2-PL 150x50x 204 (SM520C)
12-Bolt M45x110 (強度区分8.8)平座金付 (SS400)



特記事項

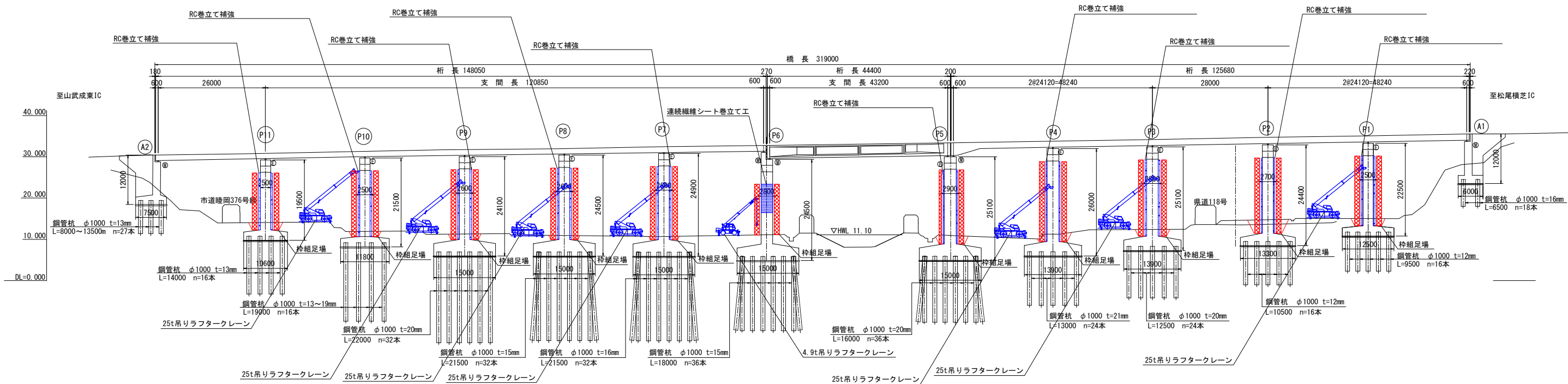
1. 本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
2. 施工前に現況を再度調査・寸法計測・鉄筋探査を行い、施工計画書を作成し監督員等の承諾後に着手すること。
3. 鋼材防錆処理は溶融亜鉛めっき仕様とする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ177とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ149とする。
4. 「FP」の表記がある箇所は完全溶け込み溶接を用いること。
5. 製作施工に必要な吊り孔等は適宜設けること。
6. 鋼材材質は図面に記載した材質を基本とするが、流通状況や機械的性質を考慮し適宜反映してもよい。

G1, G2部

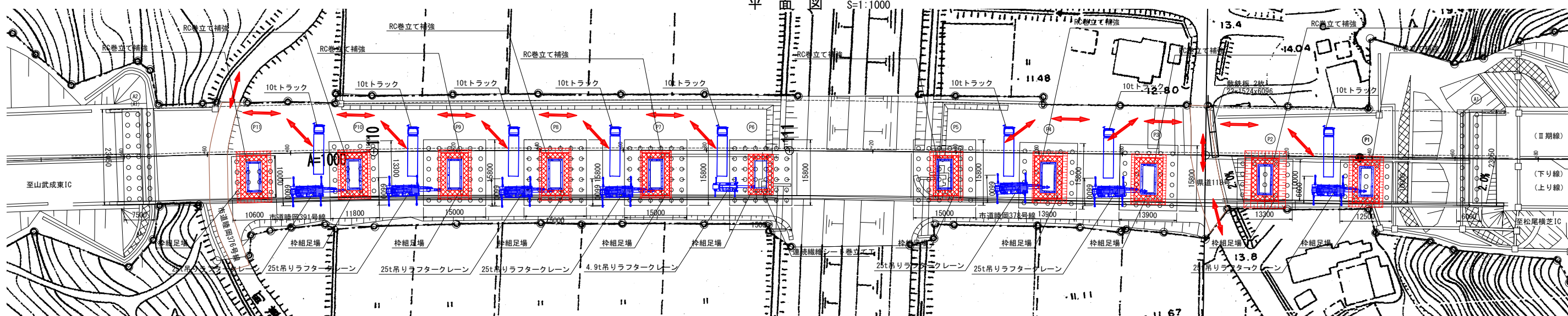

$$\underline{F - F}$$


	首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚（終） 落橋防止構造P2構造図（その3）
縮 尺	図号 図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所

側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



P1橋脚～P5橋脚、P8橋脚～P11橋脚

- ①下部補強施工 :RC巻立て
- ②補強材設置方法:下から施工(杵組足場設置)、オープン掘削
- ③搬入方法 :バックホウにて掘削を行い、杵組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
- ④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

■起点側進入路
市道睦岡376号線からP1～P6橋脚へ進入する

■終点側進入路
県道118号線からP7～P11橋脚へ進入する

P6橋脚

- ①下部補強施工:繊維巻立て
- ②補強材設置方法:下から施工(杵組足場設置)、掘削無し
- ③搬入方法 :杵組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
- ④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

P7橋脚

- ①下部補強施工 :RC巻立て
- ②補強材設置方法:下から施工(杵組足場設置)、オープン掘削
- ③搬入方法 :バックホウにて掘削を行い、杵組足場を設置し、クレーンにて補強材を搬入する。
- ④搬入～設置まで:補強材を設置位置まで搬入し、設置する。

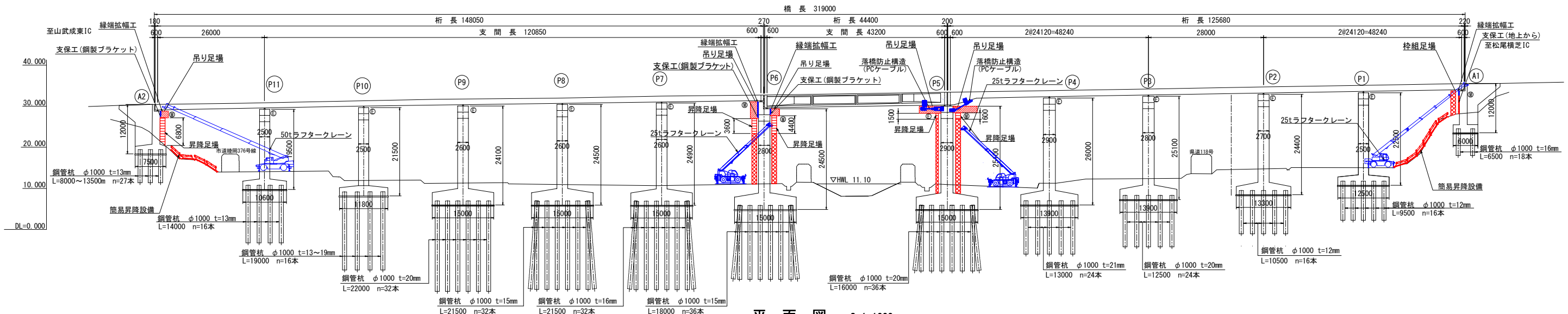
※P7橋脚起点側に水路が近接しているため、オープン掘削余裕幅を縮小する

注記
1) 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、
地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

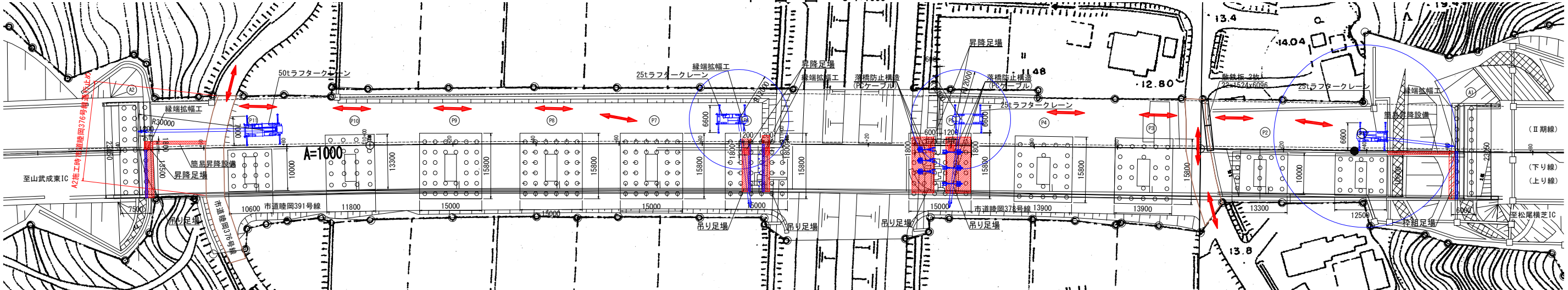
凡例		
—	施工中	
—	重機、補強	
	足場工	

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 下部工施工要領図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

側面図 S=1:1000



平面図 S=1:1000



【定格総荷重量表: 50tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出7.0m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	30.2	37.0
作業半径		
28.0		1.35
30.0		1.05
32.0		0.80

吊り可能重量: ①吊上げ能力 1.05t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.34t
1.05-0.34
Σ=0.71t×0.9=0.639t
※資材搬入時は0.6t程度の吊り重量にて搬入させること

- A2橋台
- ①上部補強施工: 緑端拡幅
 - ②補強材設置方法: 下から施工(吊り足場設置)
 - ③吊り上げ重機: 50tラフタークレーン(アウトリガー幅7.0m)(最大張り出し)
 - ④搬入～設置まで: 現道より重機配置位置に進出し車線規制を行い吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う※現道を跨いで施工する必要があるため、施工時は一時通行止めにする必要がある

【定格総荷重量表: 25tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出6.6m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	16.4	23.45
作業半径		
11.0	6.50	6.65
12.0	5.55	5.80
13.0	4.75	5.00

吊り可能重量: ①吊上げ能力 5.80t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.22t
5.80-0.22
Σ=5.58t×0.9=5.022t
※資材搬入時は5.0t程度の吊り重量にて搬入させること

- P5橋脚
- ①上部補強施工: 落橋防止構造(PCケーブル)
 - ②補強材設置方法: 下から施工(吊り足場設置)
 - ③補強材最大重量: 起点側 0.9t, 終点側 2.9t
 - ④吊り上げ重機: 25tラフタークレーン(アウトリガー幅6.6m)(最大張り出し)
 - ⑤搬入～設置まで: 現道より進入し吊り足場を設置、その後、重機を配置しクレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

【定格総荷重量表: 25tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出5.2m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	16.4	23.45
作業半径		
11.0	6.50	6.65
12.0	5.55	5.80
13.0	4.75	5.00

吊り可能重量: ①吊上げ能力 5.80t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.22t
③補強材 1.3t, 2.9t
5.80-0.22
Σ=5.58t×0.9=5.022t
2.9 < 5.022t...ok

- A1橋台
- ①上部補強施工: 緑端拡幅
 - ②補強材設置方法: 下から施工(吊り足場設置)
 - ③吊り上げ重機: 25tラフタークレーン(アウトリガー幅6.6m)(最大張り出し)
 - ④搬入～設置まで: 現道より重機配置位置に進出し枠組足場を設置、その後、クレーンにて桁外の足場上に搬入横移動は軌上設備(レール)+チルホールにて横移動、その後、チェーンブロックにて上に吊り上げ補強材設置を行う

【定格総荷重量表: 25tラフタークレーン】
●主ブーム定格総荷重表(アウトリガー最大張出6.6m)
単位(t)

ブーム長さ (m)	23.45	30.5
作業半径		
21.0		1.95
22.0		1.75
24.0		1.40

吊り可能重量: ①吊上げ能力 1.75t
①-② ②吊り具・フック(主巻) 0.22t
1.75-0.22
Σ=1.53t×0.9=1.377t
※資材搬入時は1.3t程度の吊り重量にて搬入させること

凡例

- 施工中
- 重機、補強
- 昇降足場
- 吊り足場
- 枠組足場(下部工足場)

注記
1) 施工時に必要に応じて現地盤を確認し、地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 上部工施工要領図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		

平面図 S=1:1000

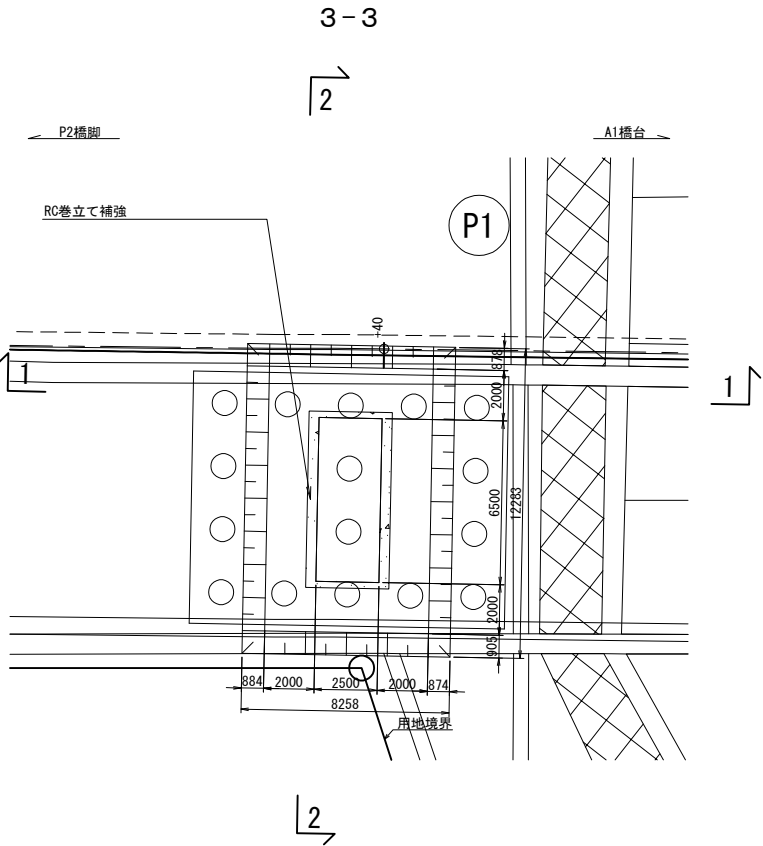
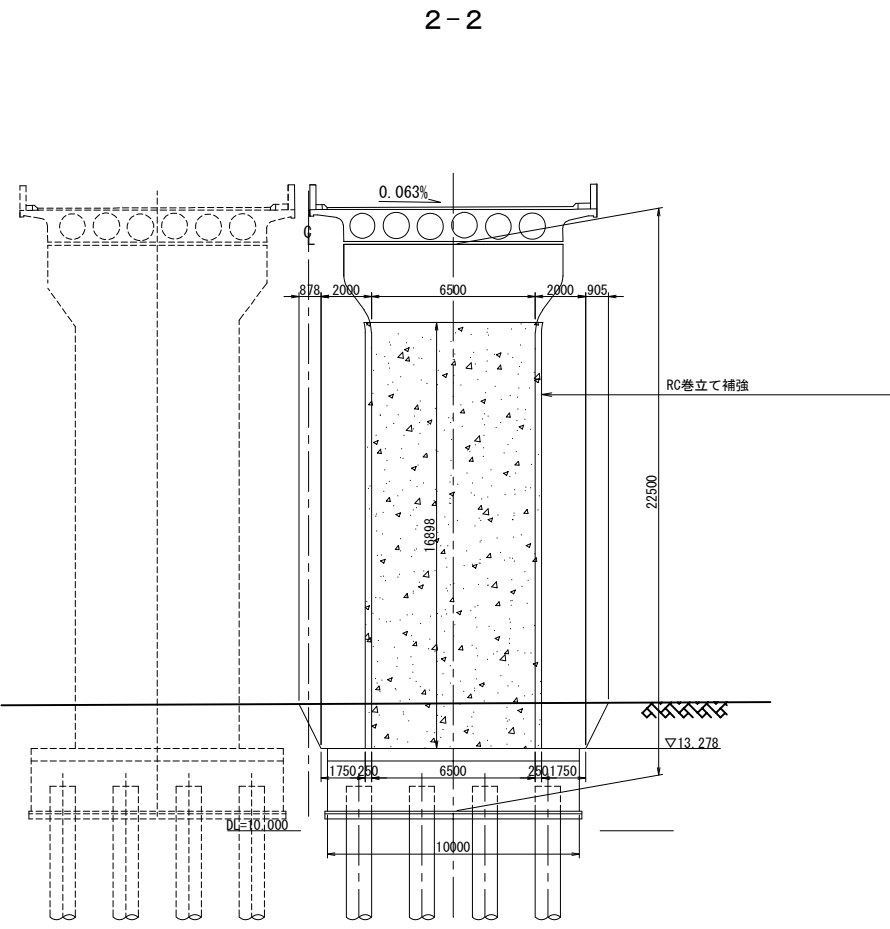
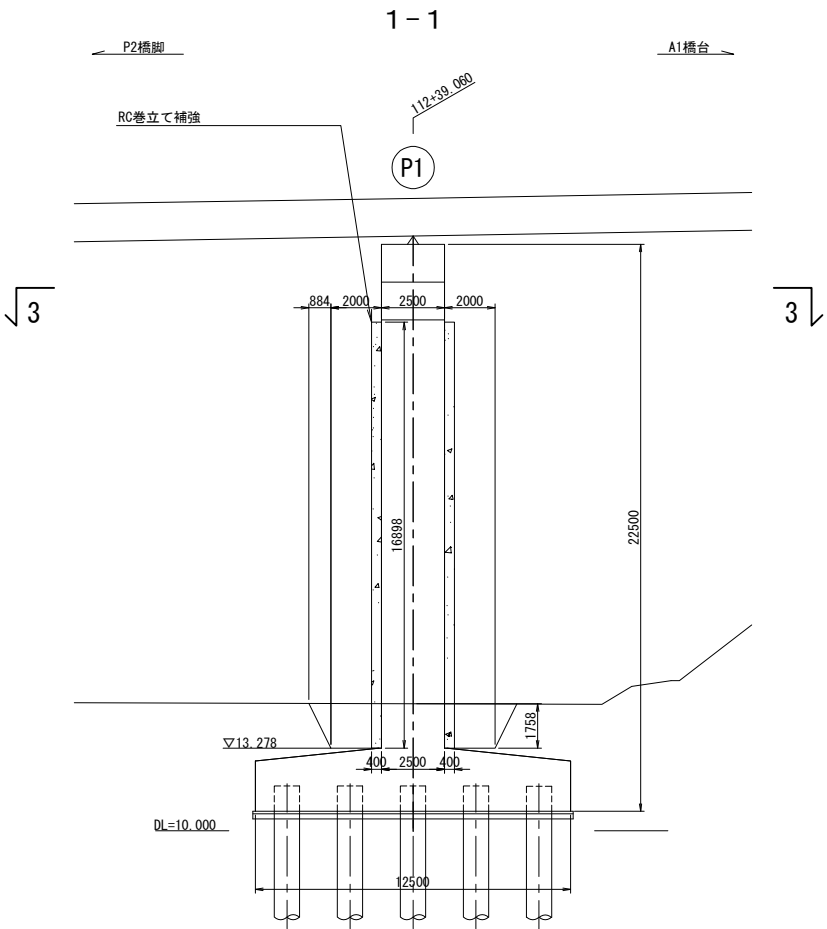


注記
1) 施工時に必要に応じ現地盤を確認し、
地盤の状況、支障物等がある場合は適宜修正を行うこと

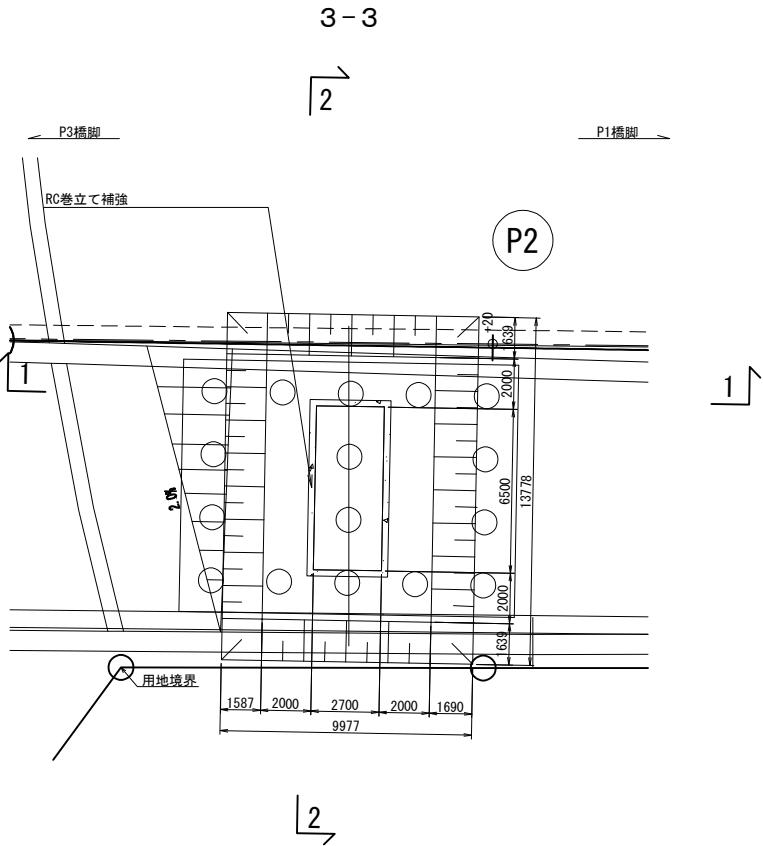
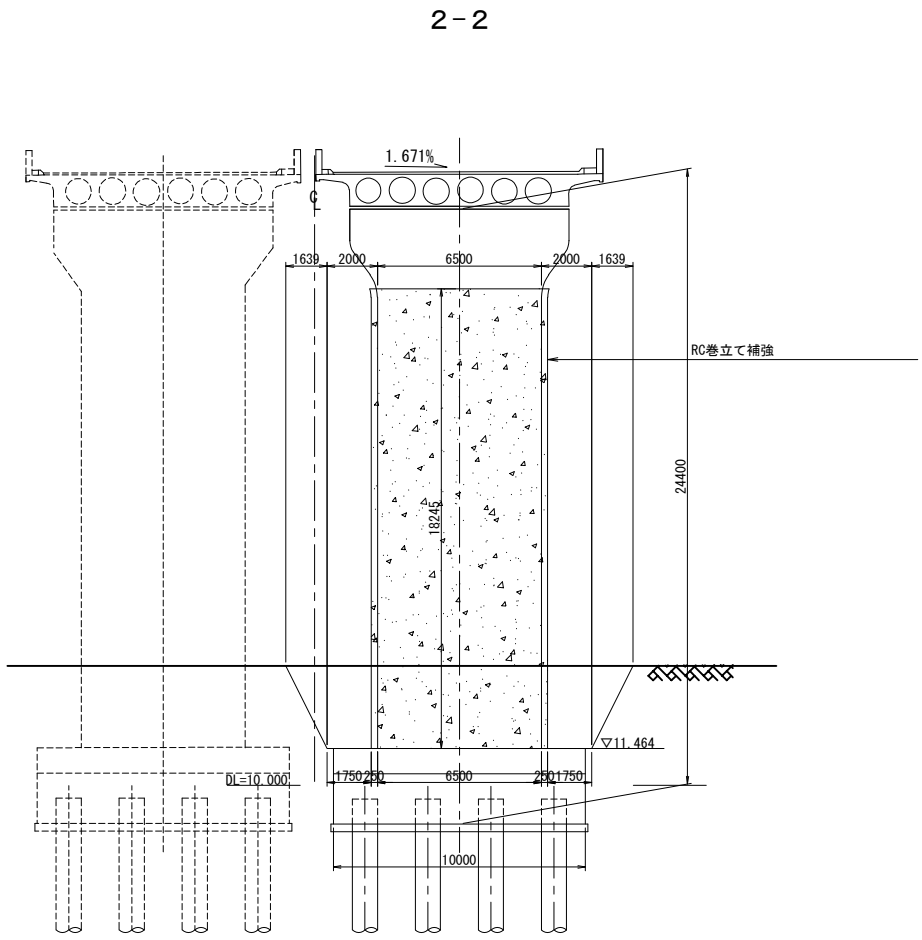
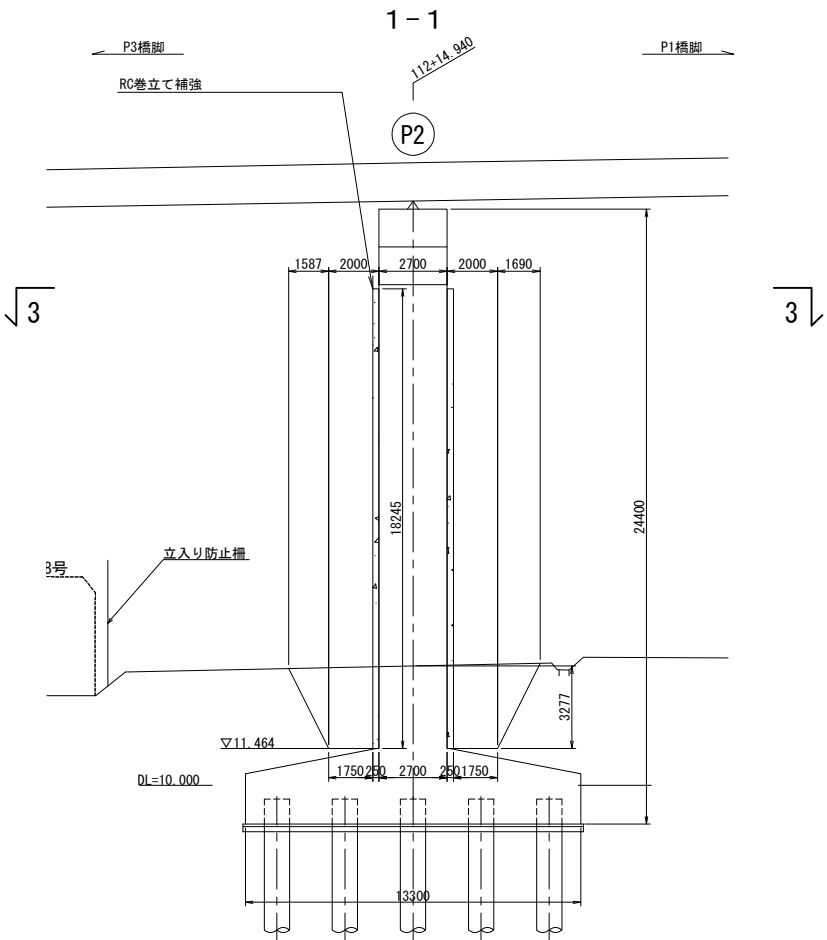
凡例

—	施工中
—	重機、補強
⊗	足場工

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 コンクリート打設要領図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P1橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



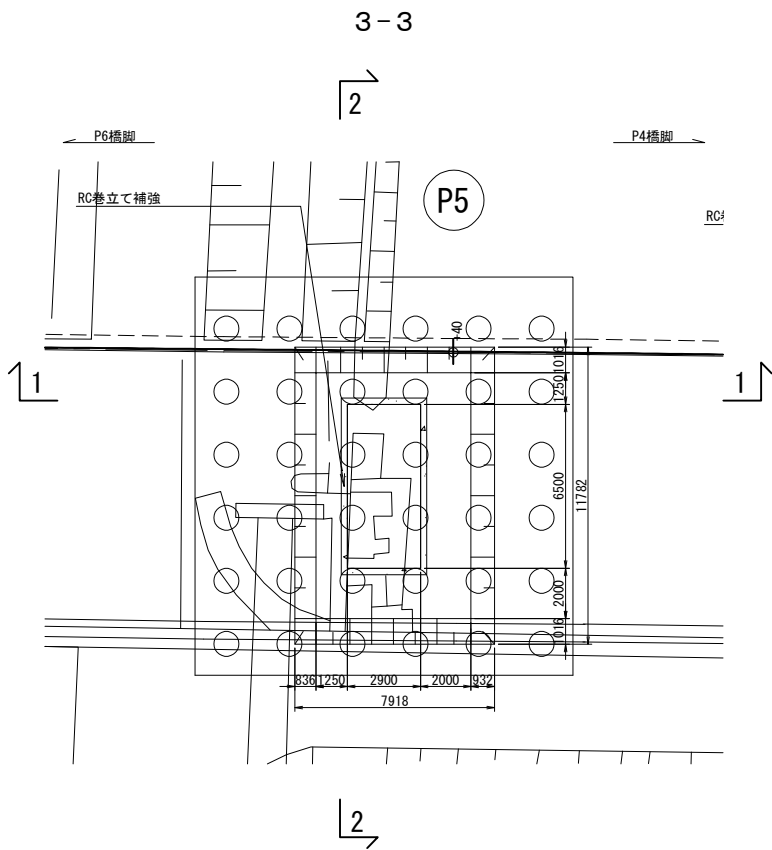
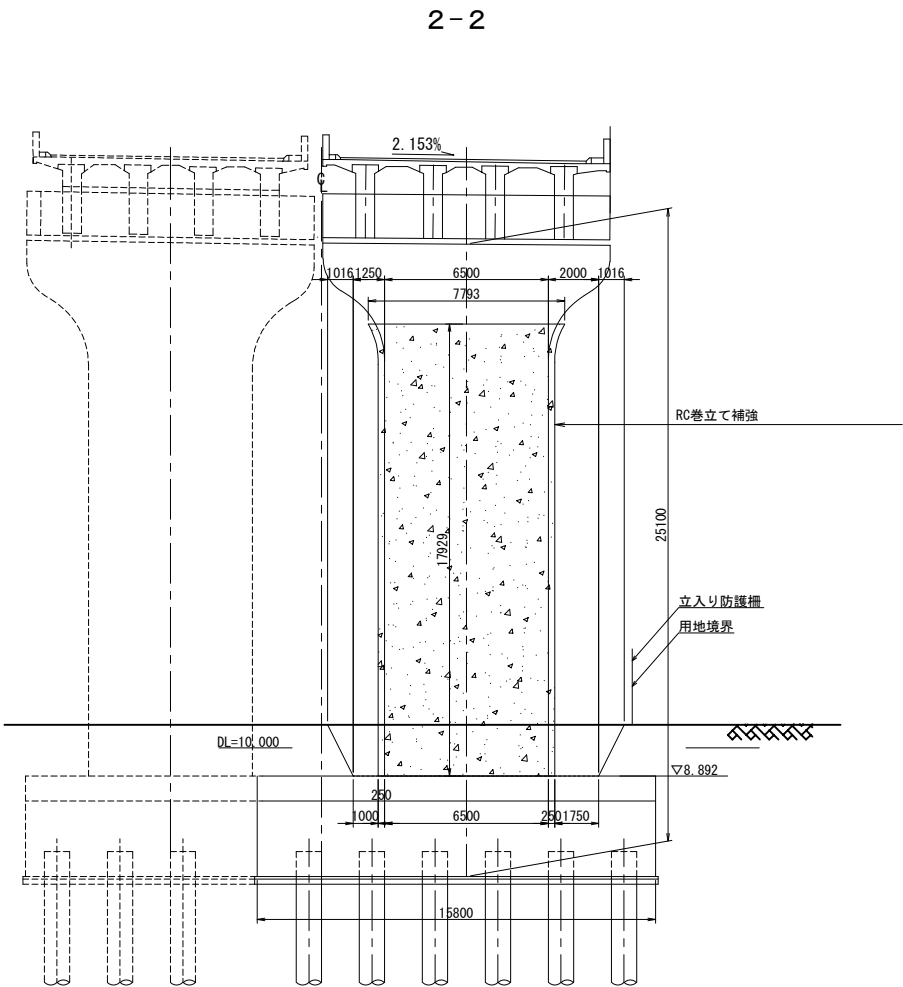
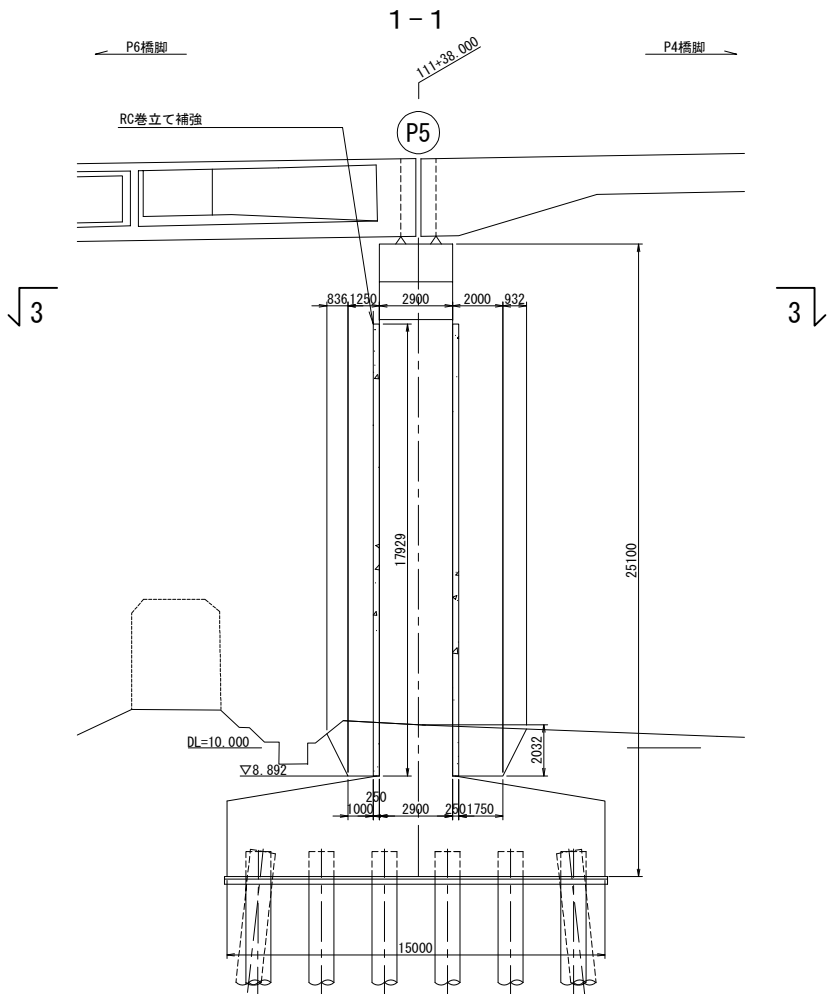
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P2橋脚 構造物掘削図		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



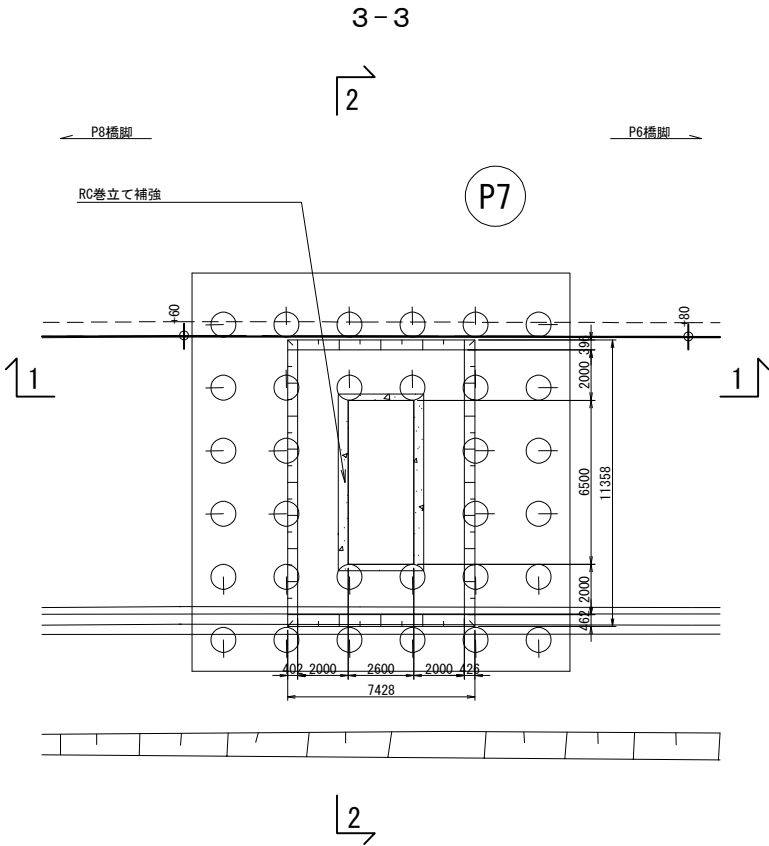
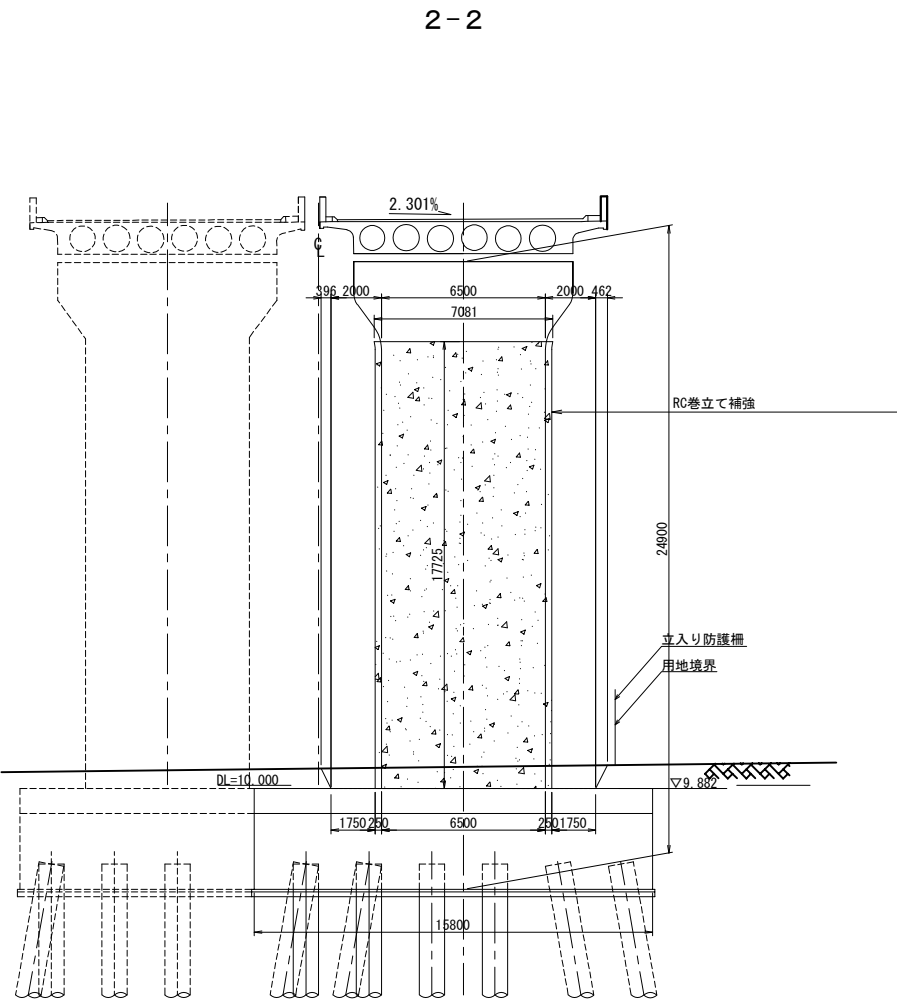
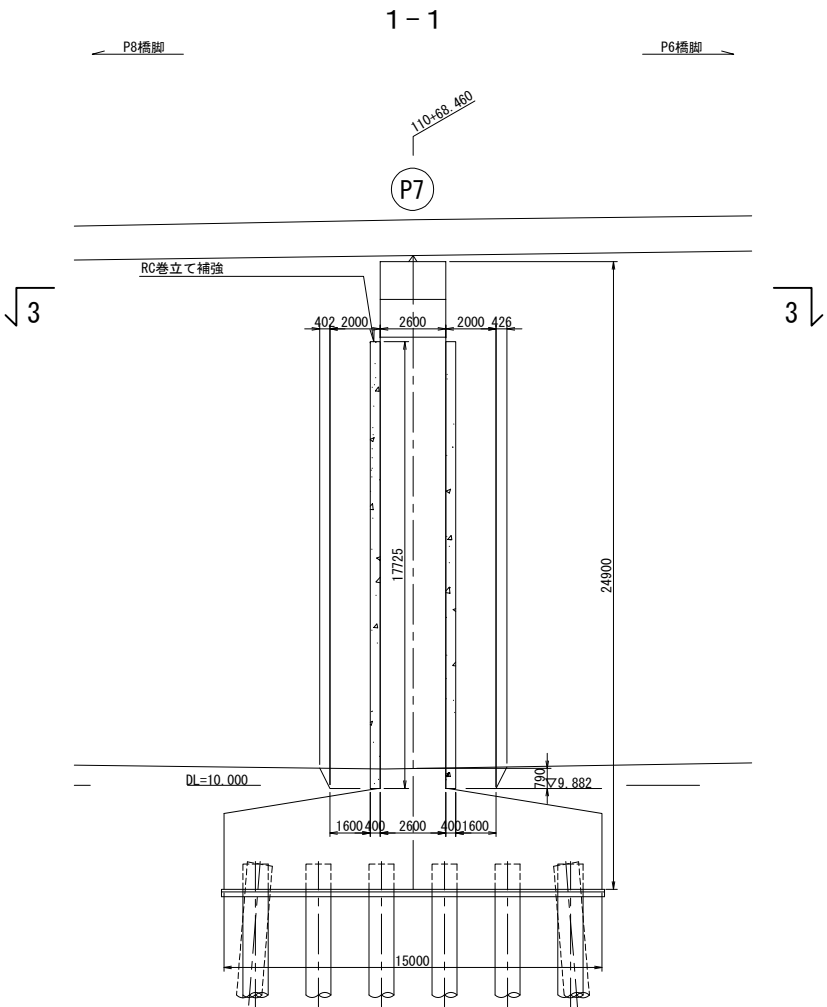
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事				
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚 構造物掘削図			
縮 尺	図示	図面番号	／	
設計会社名	日本工営株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所			



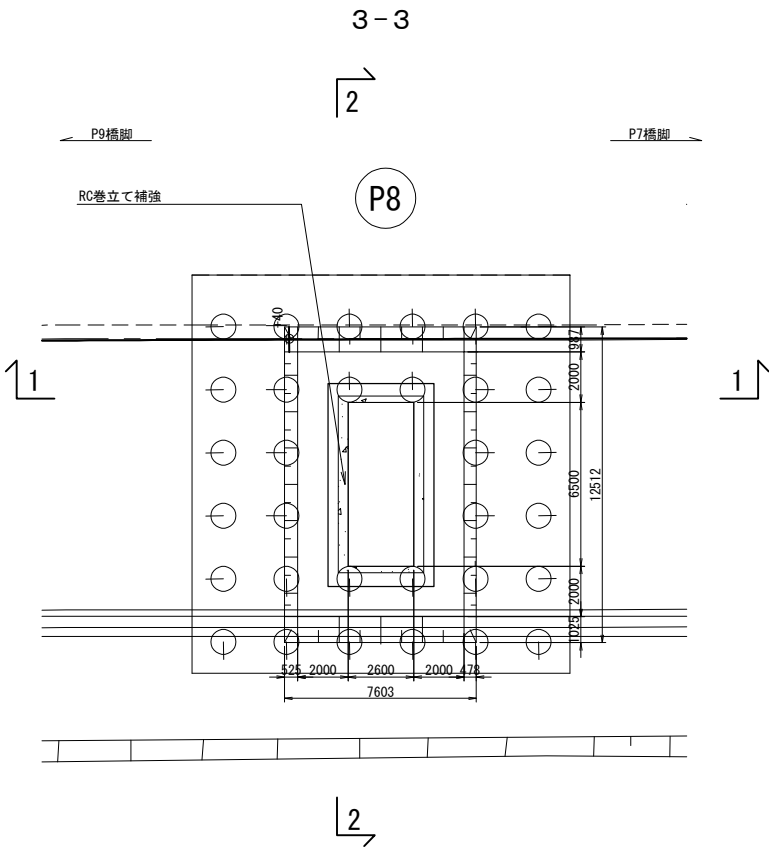
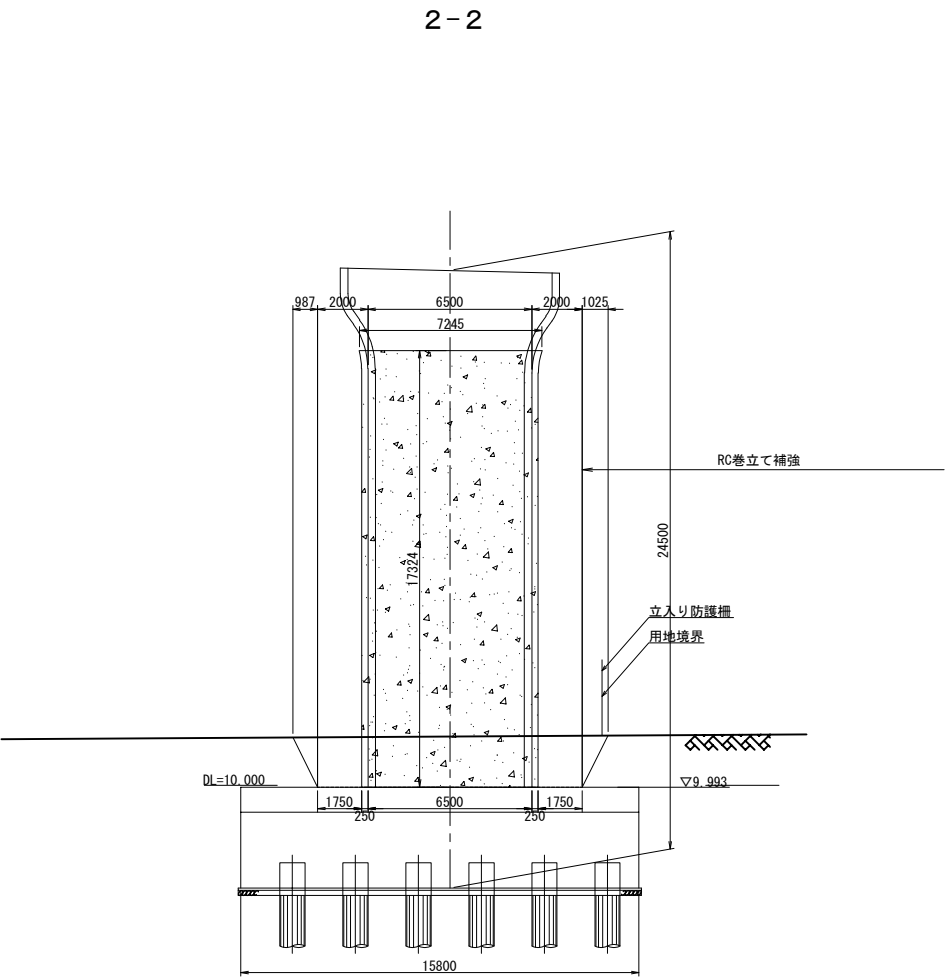
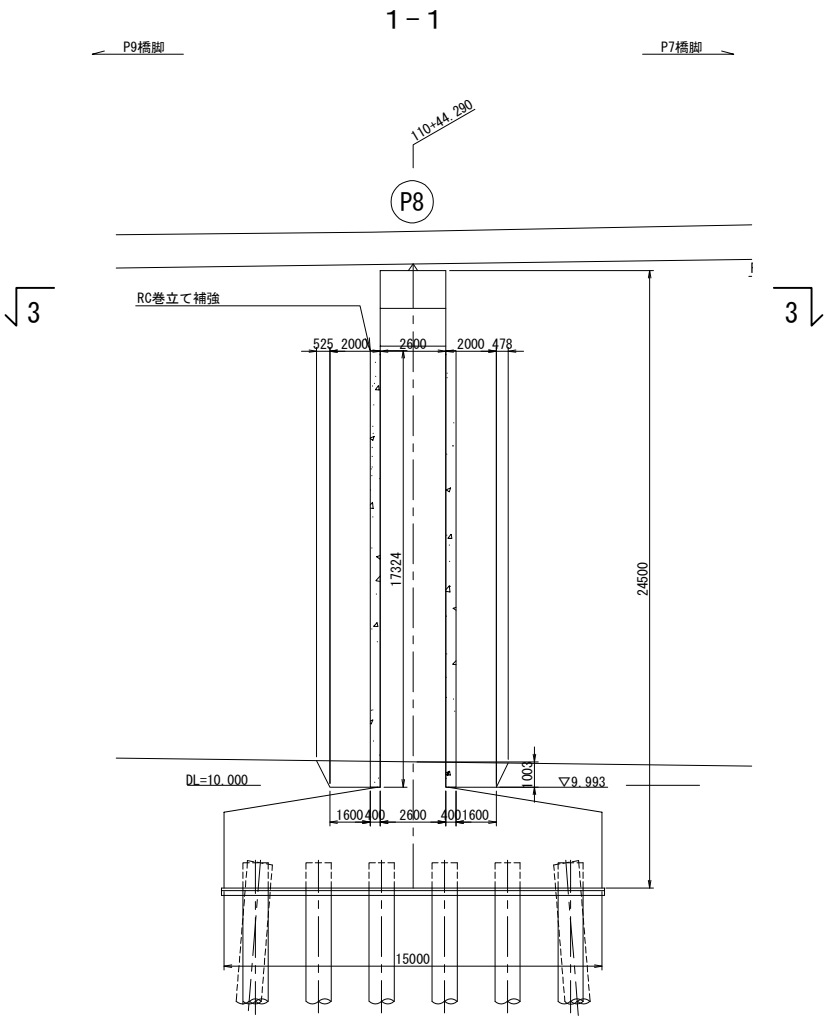
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P4橋脚 構造物掘削図	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名		日本工営株式会社	
施工会社名			
事務所名		東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所	



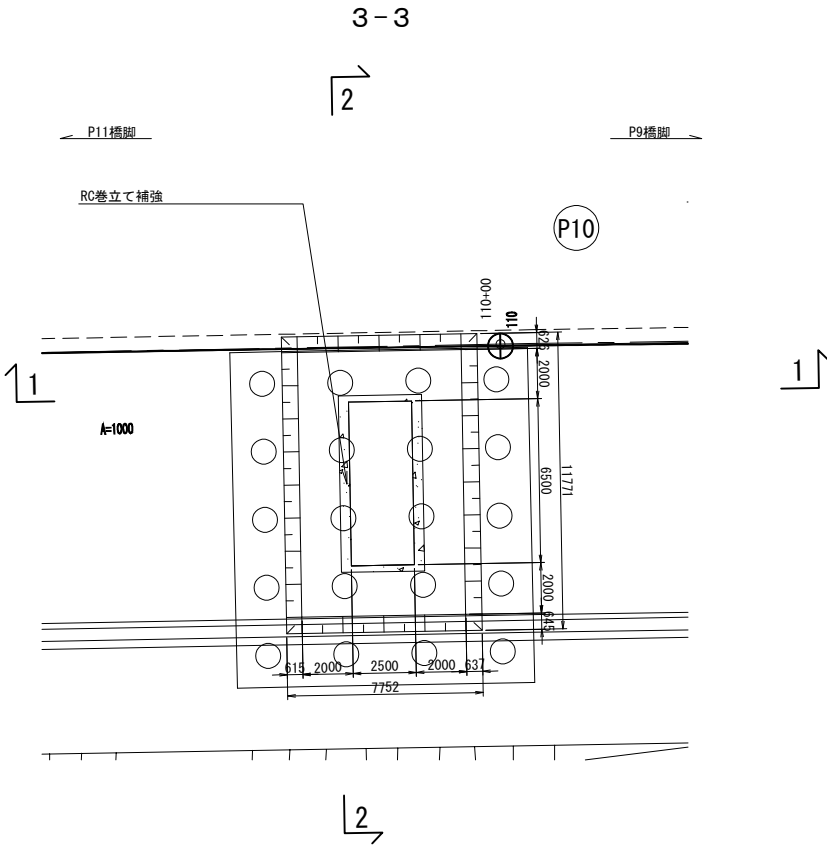
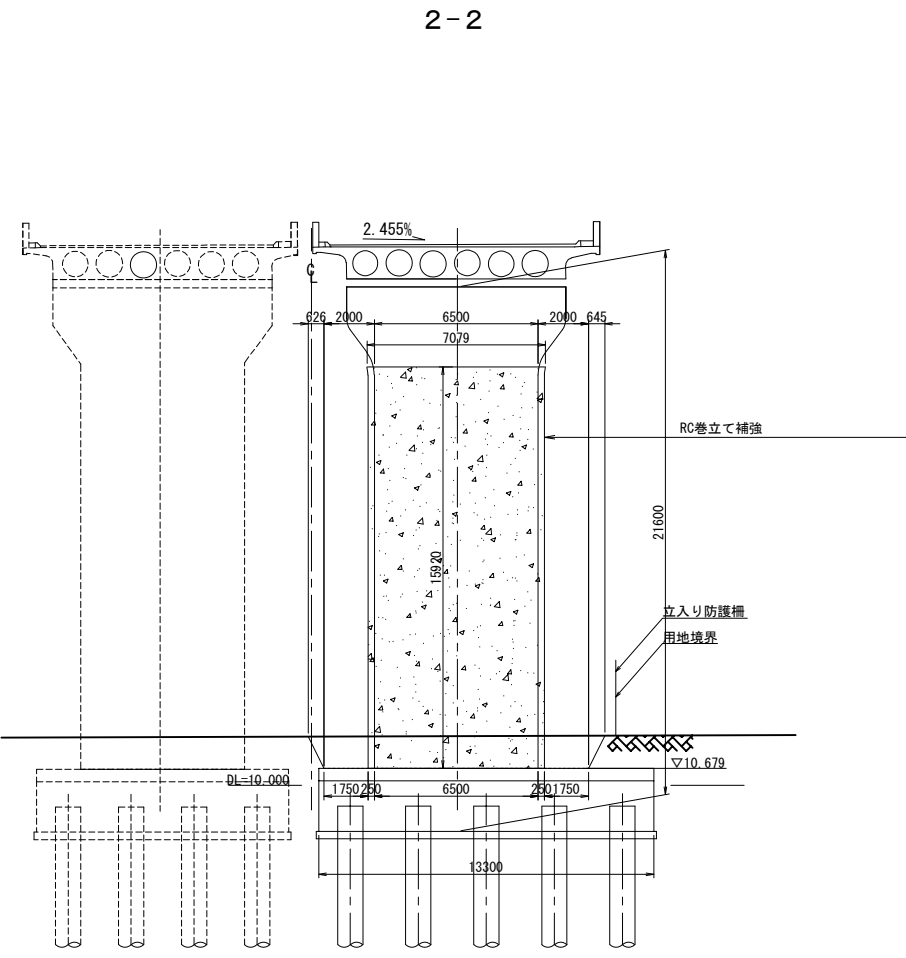
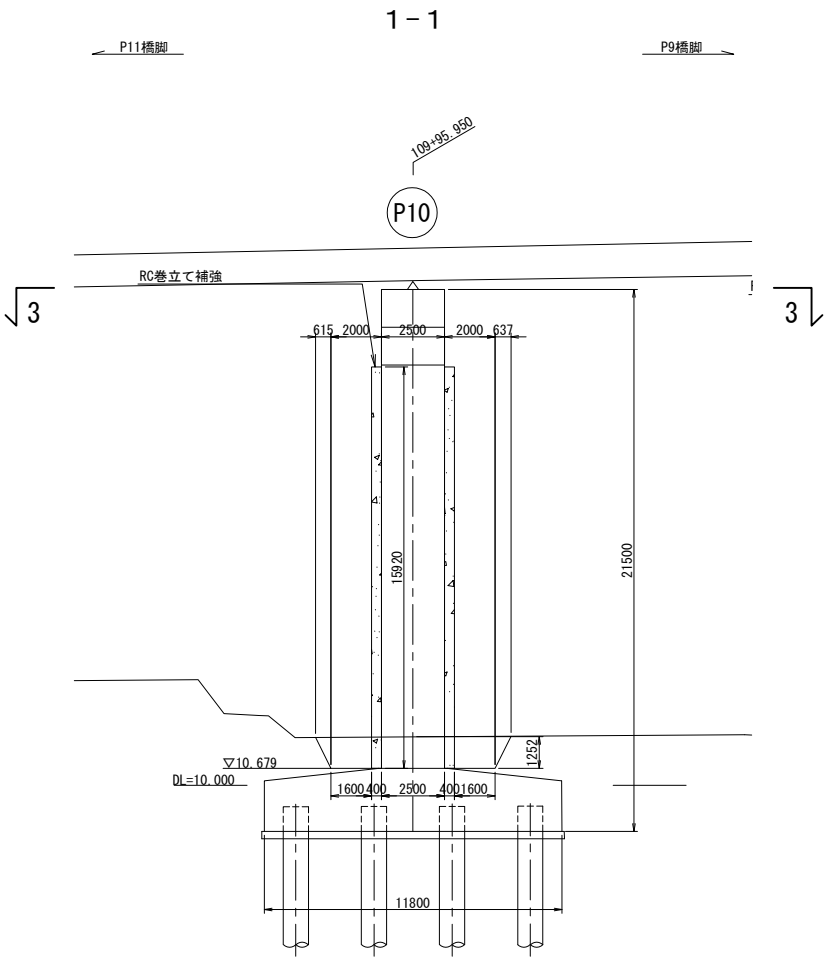
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



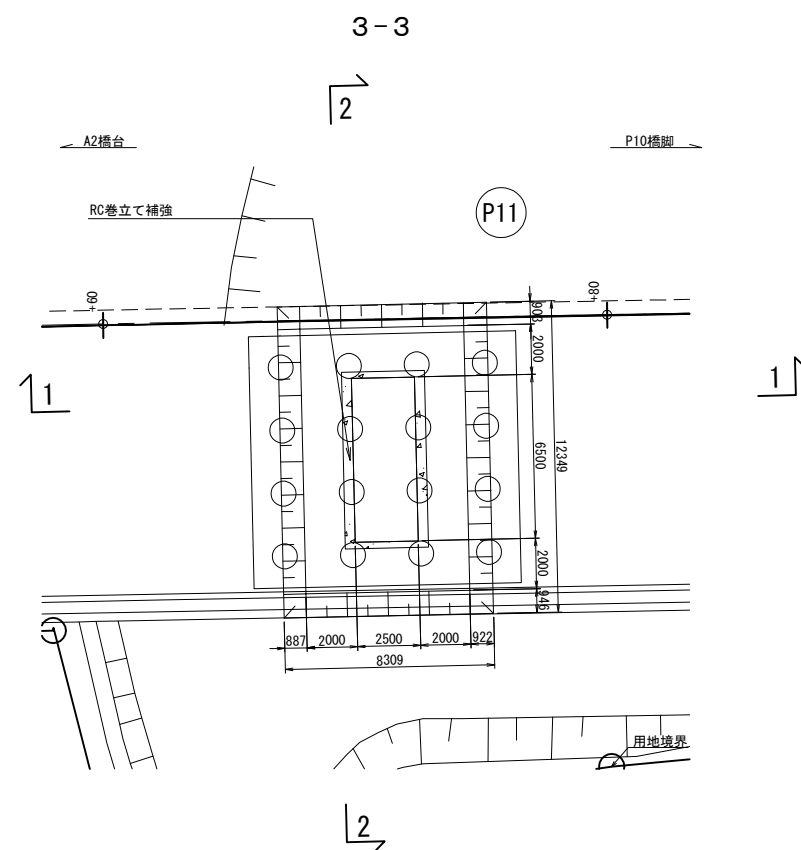
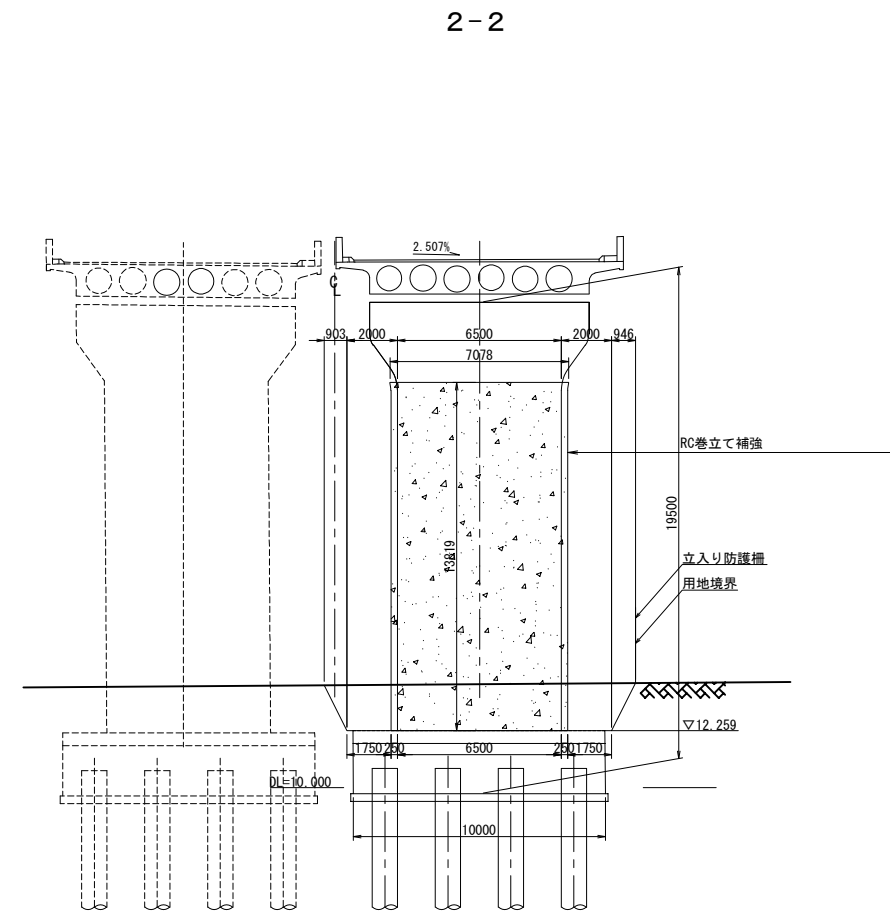
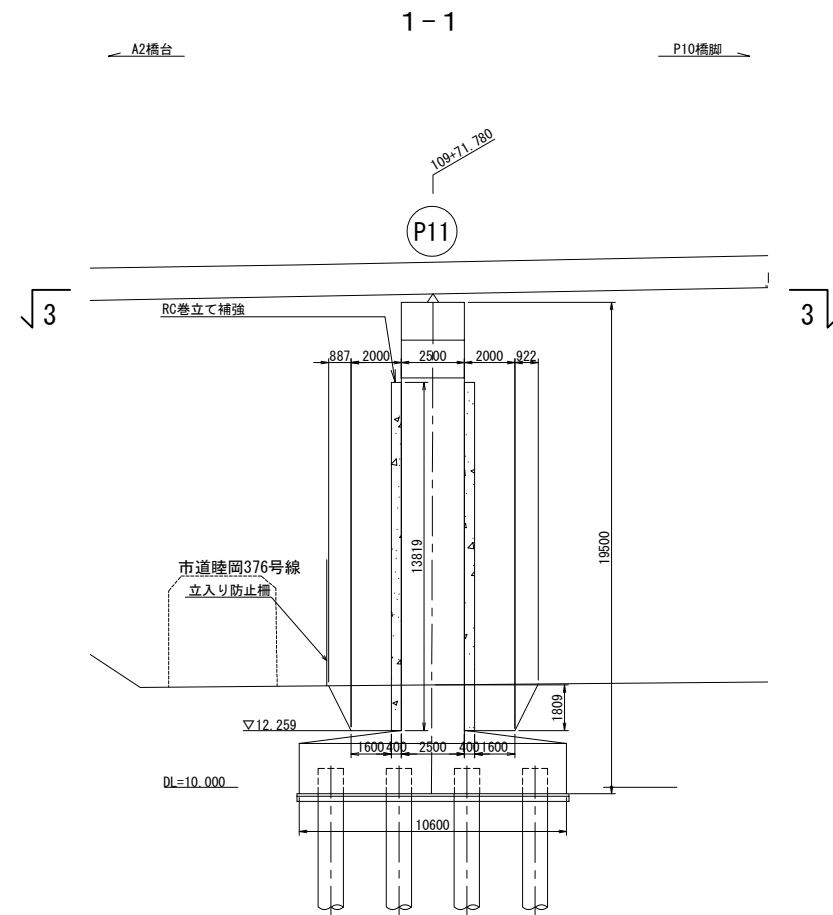
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



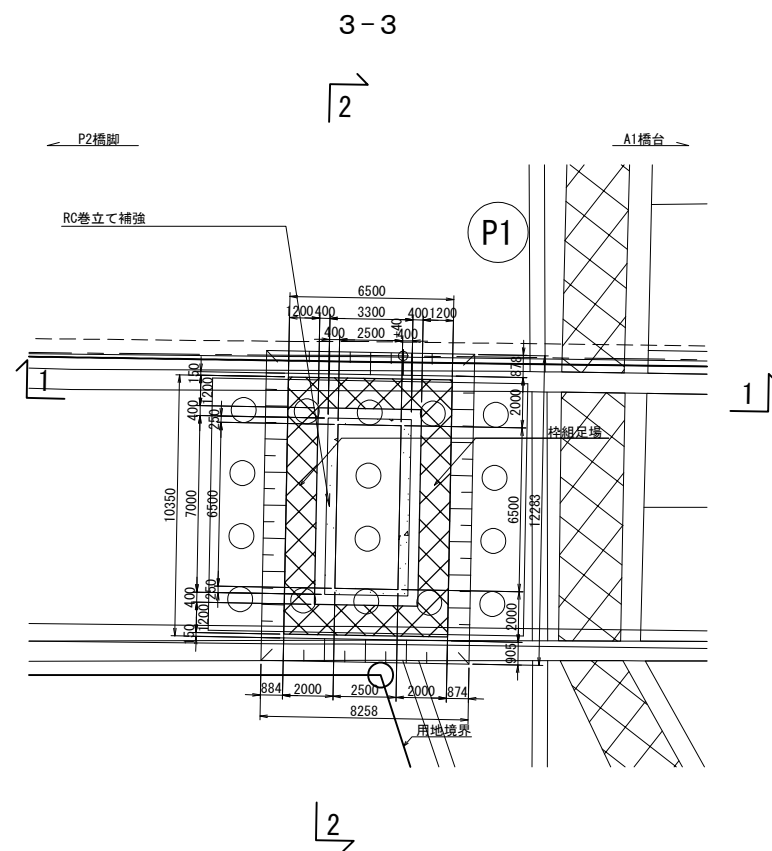
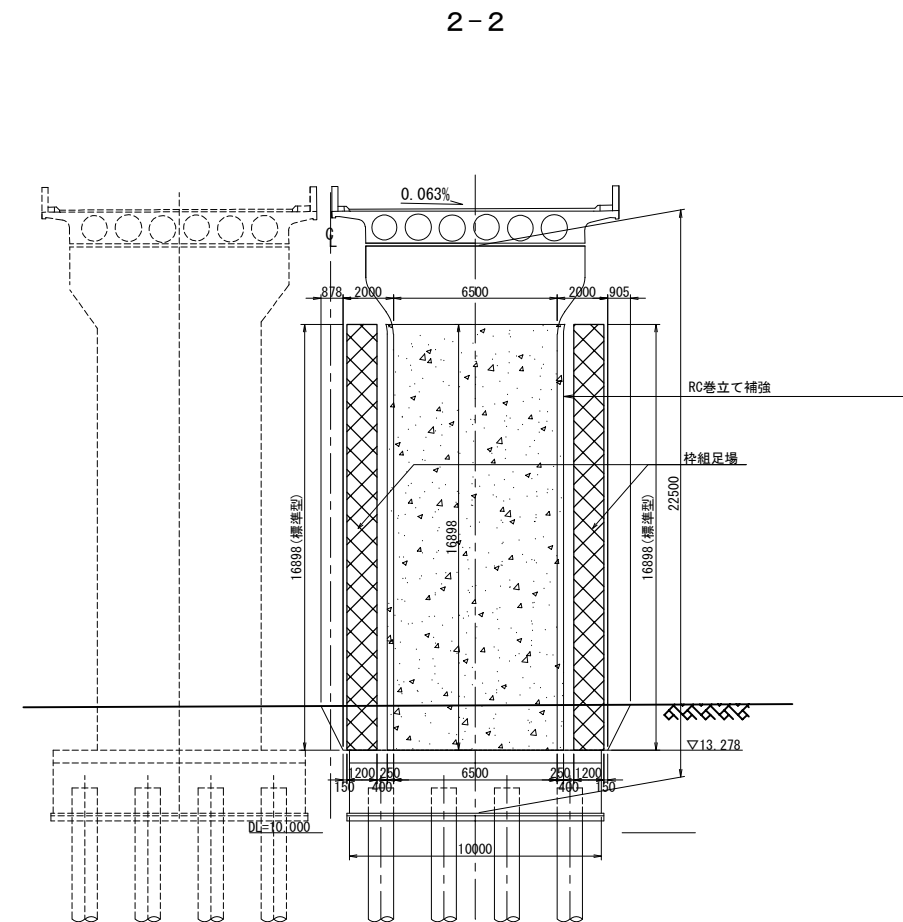
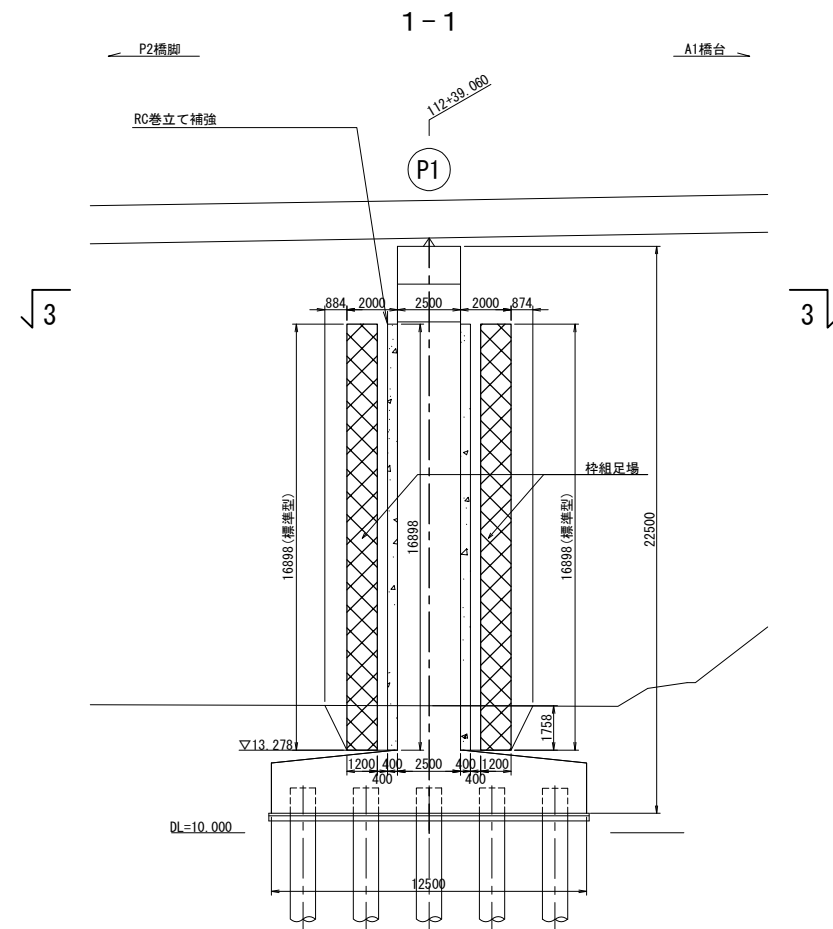
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P8橋脚		
	構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



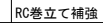
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 構造物掘削図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



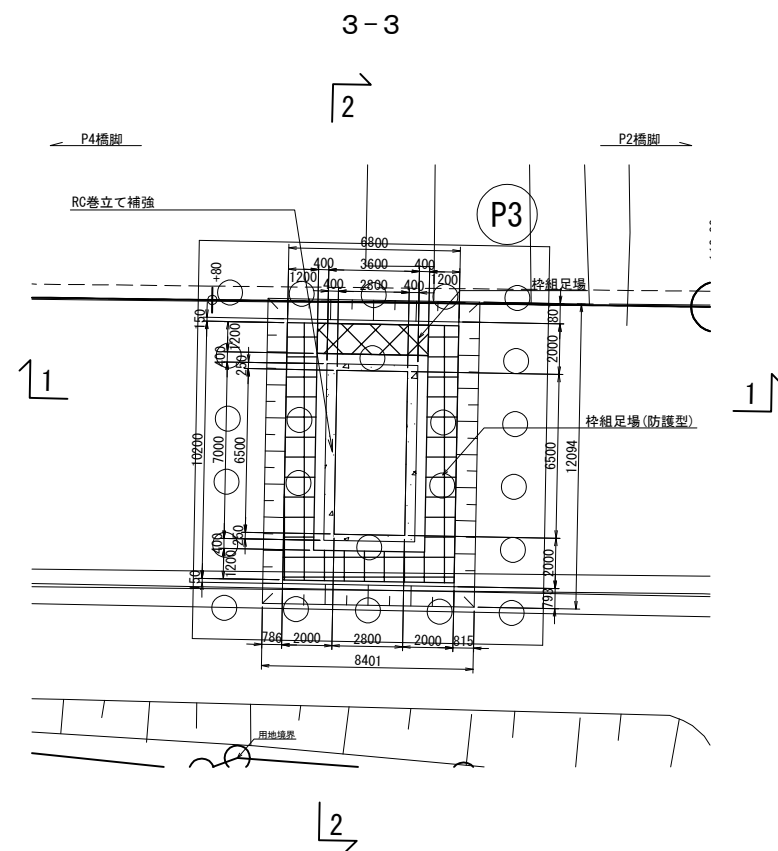
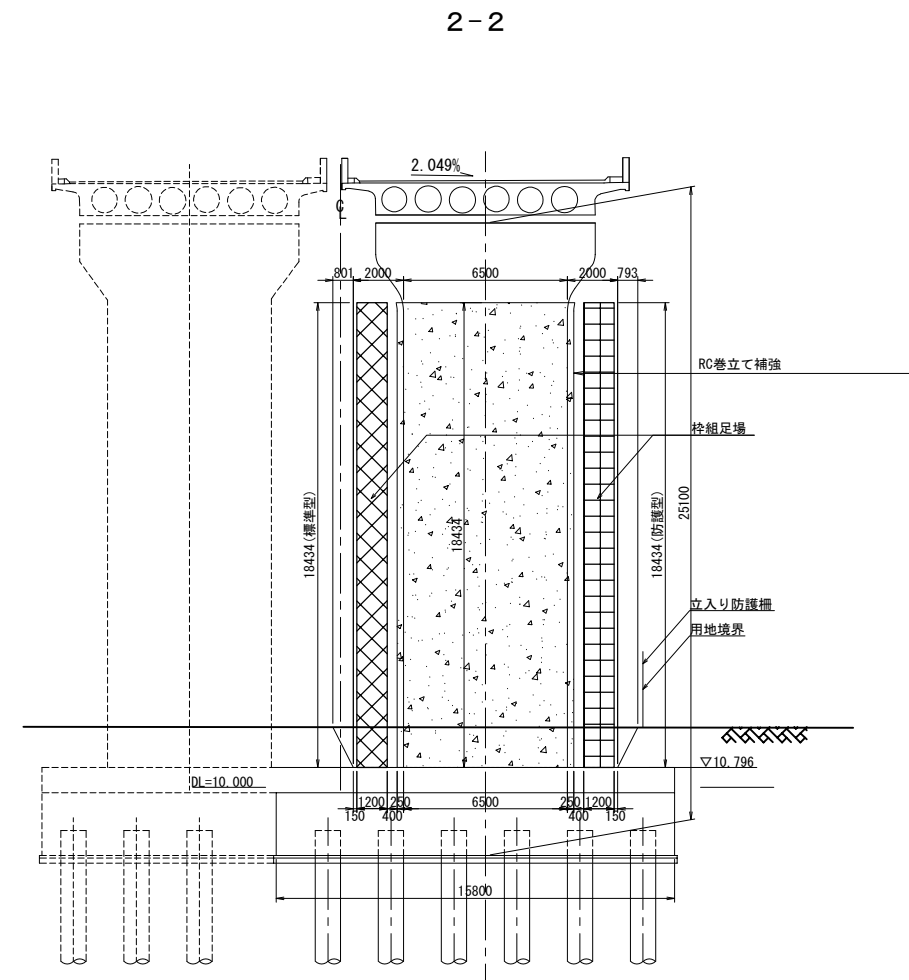
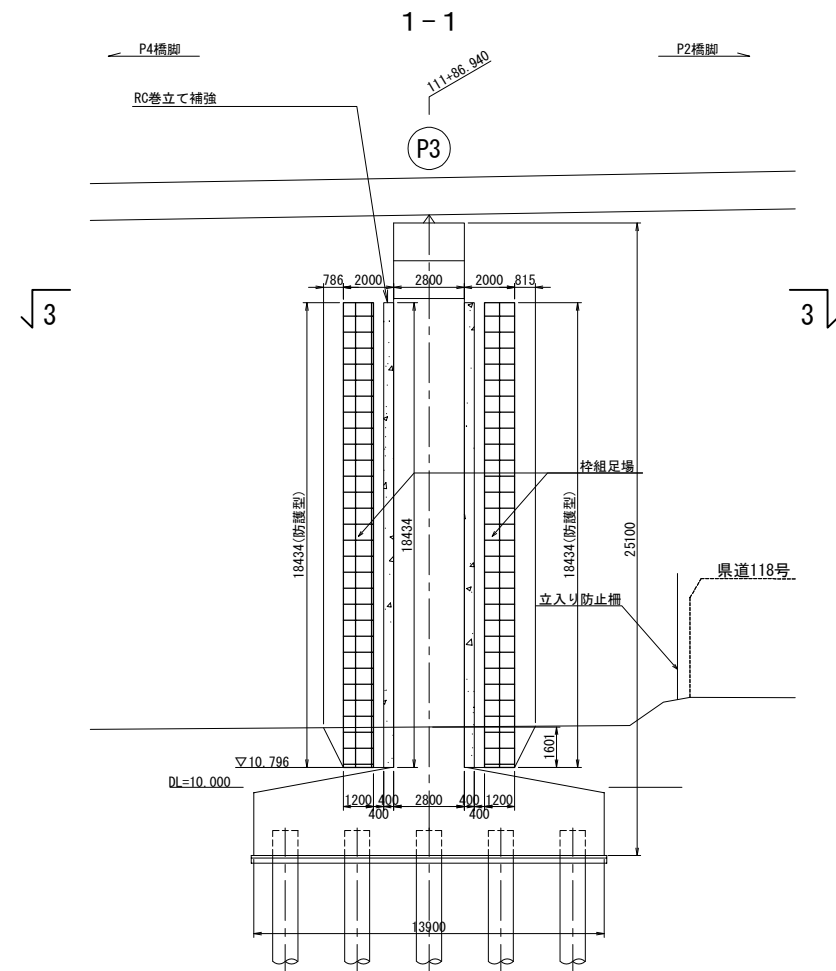
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P11橋脚 構造物掘削図	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



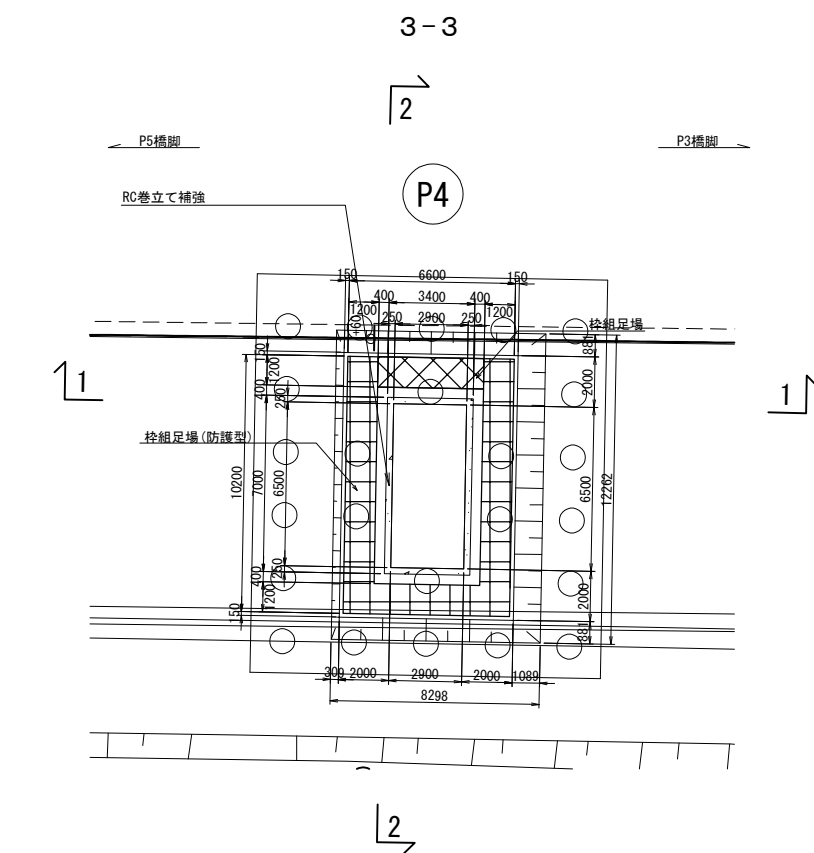
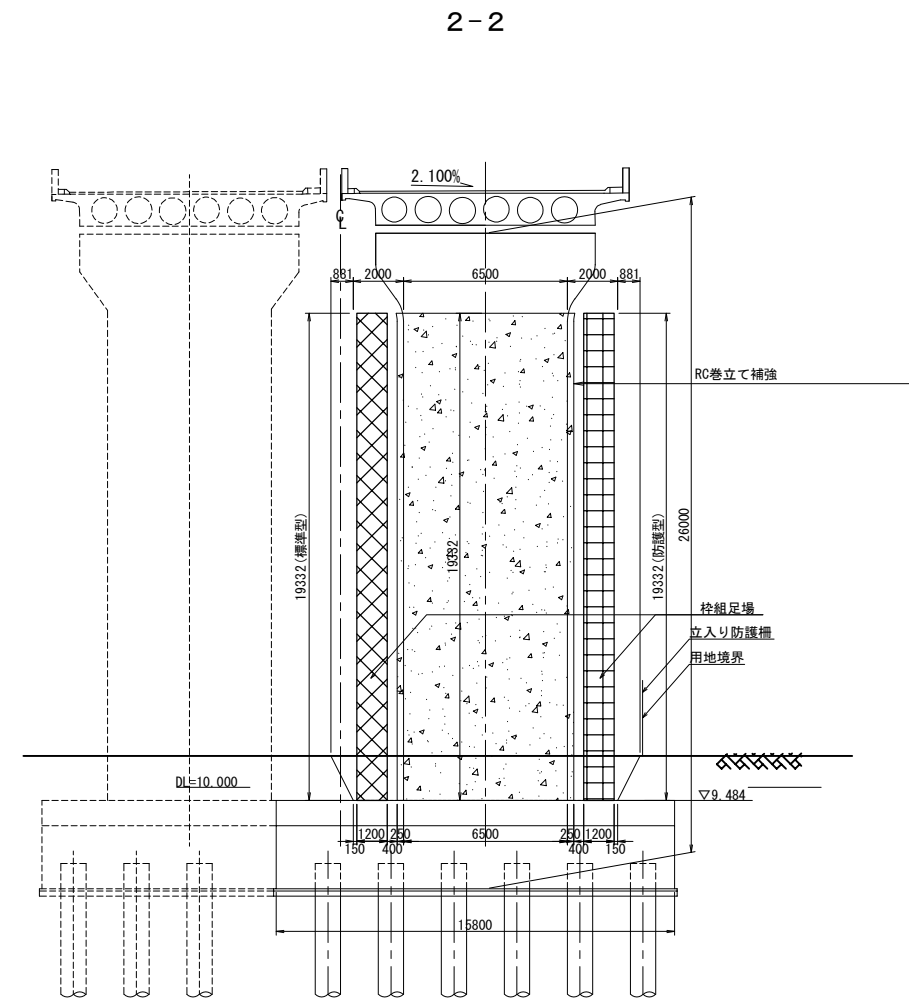
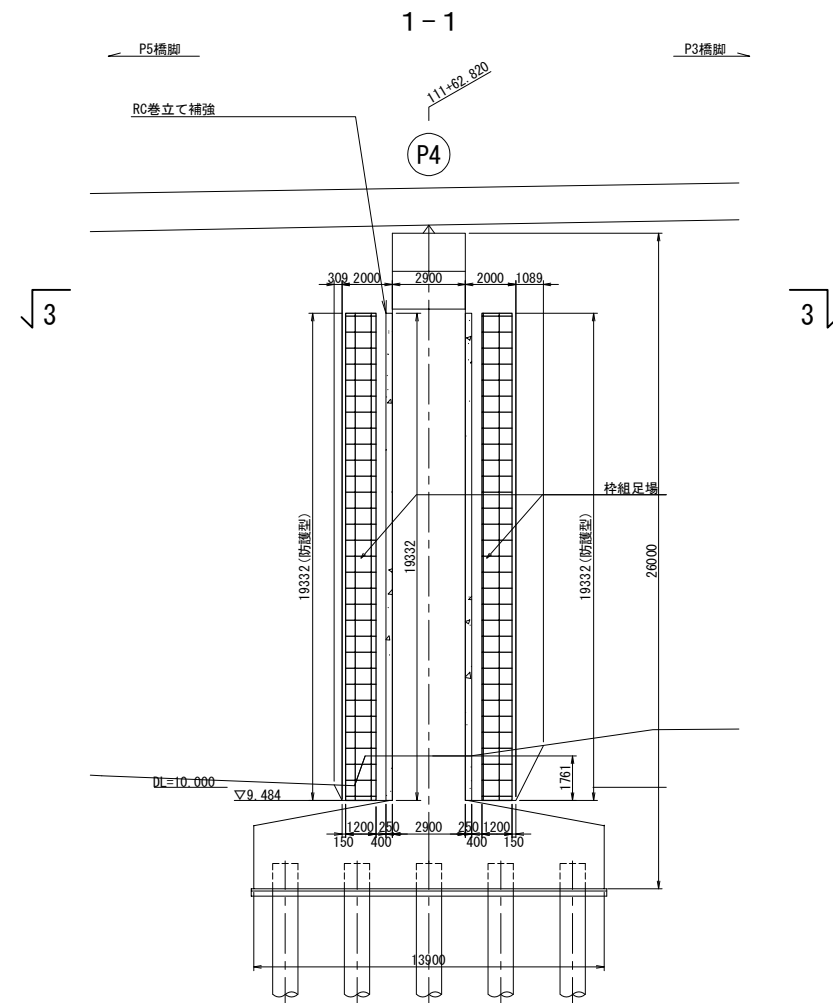
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P1橋脚 足場工図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社		
事務所名	関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P2橋脚 足場工図（参考図）	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



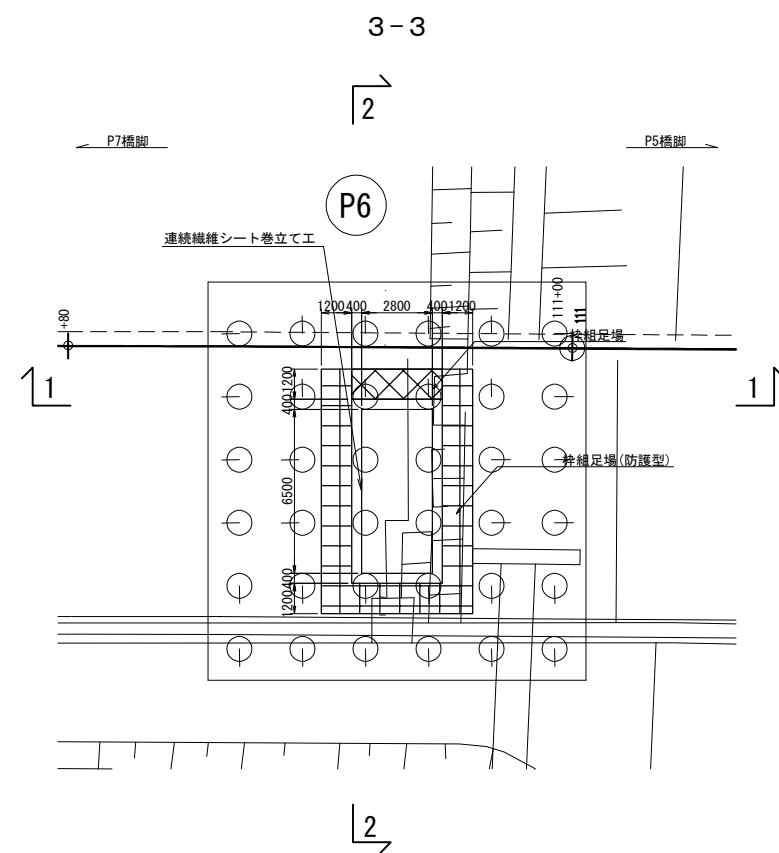
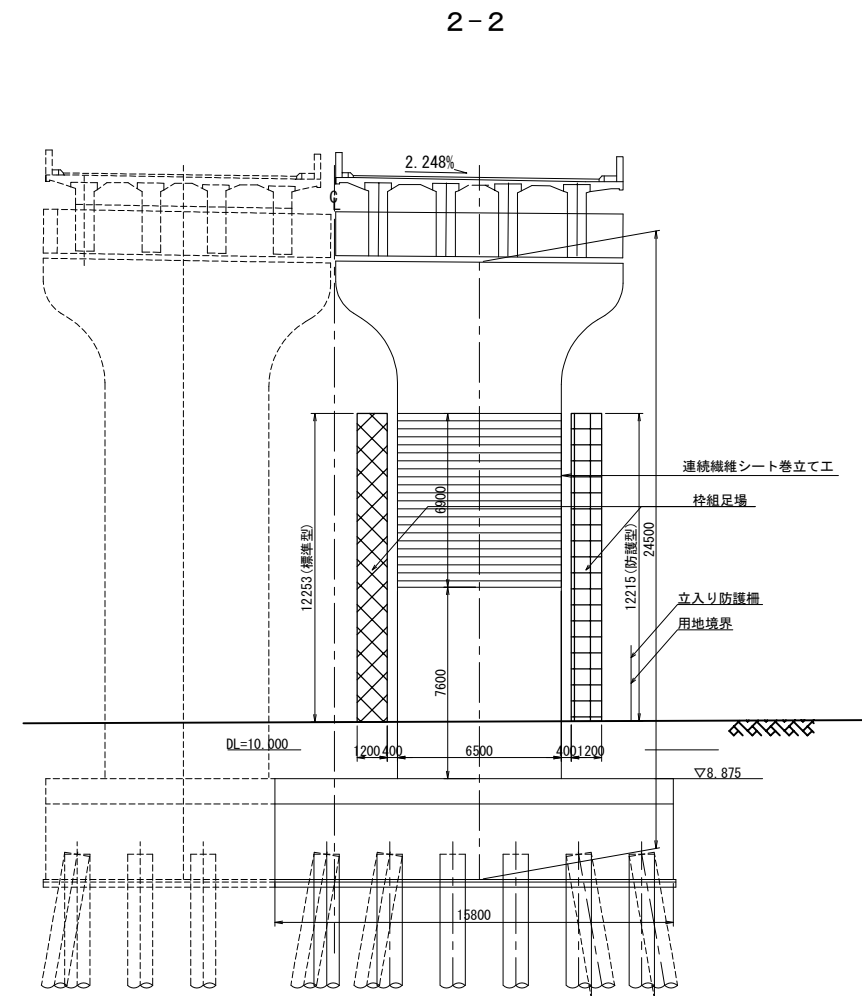
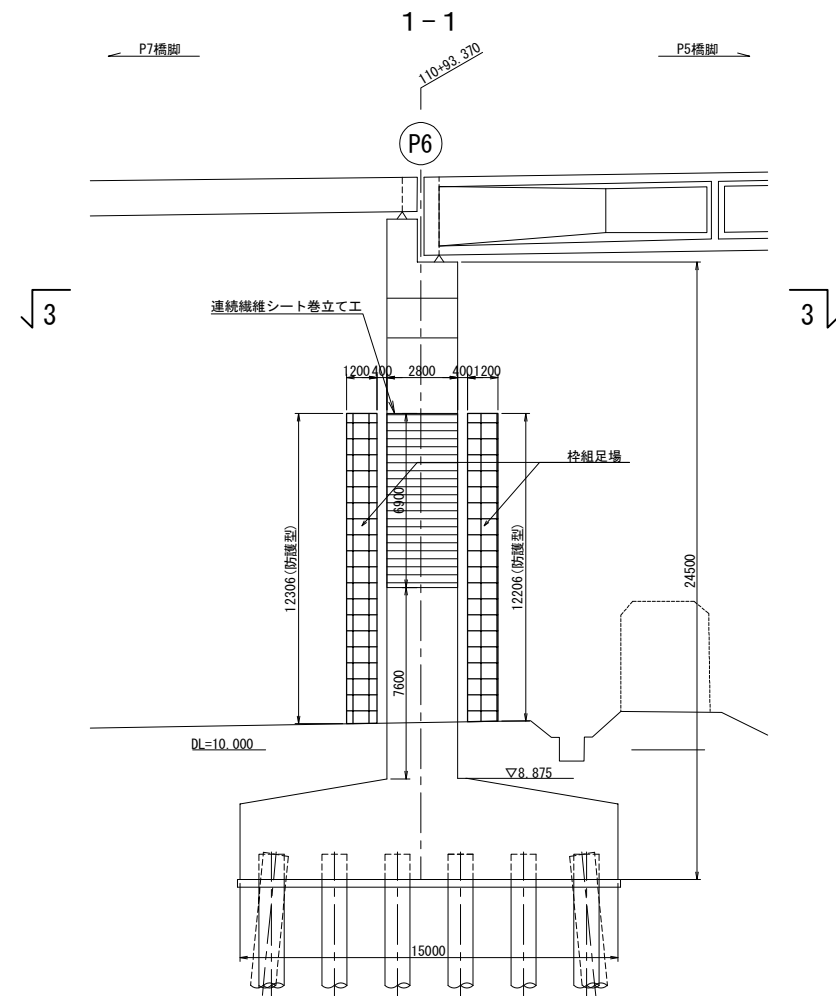
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P3橋脚 足場工図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



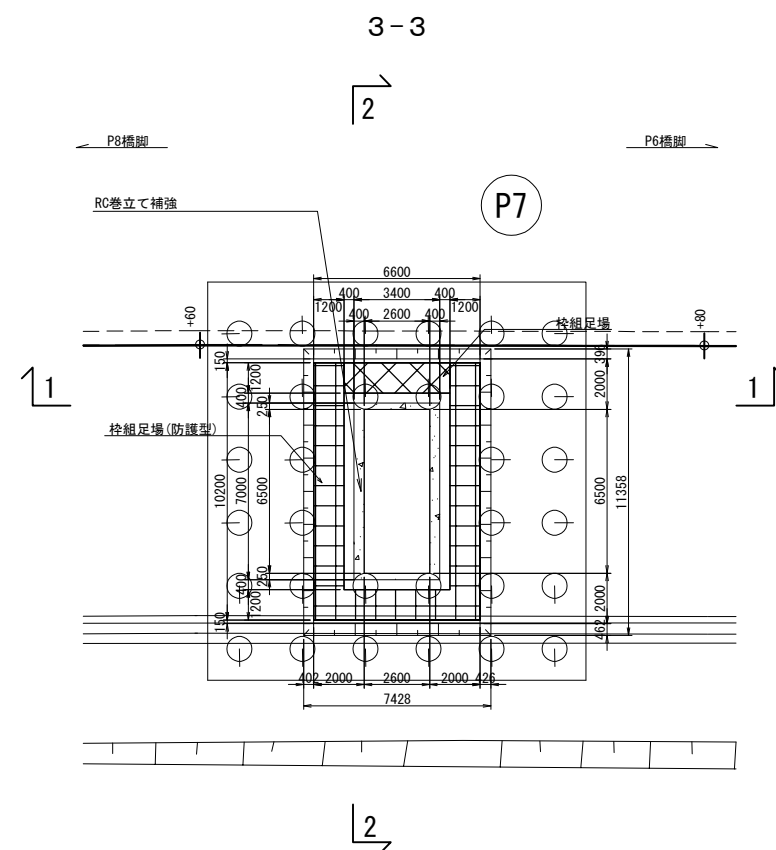
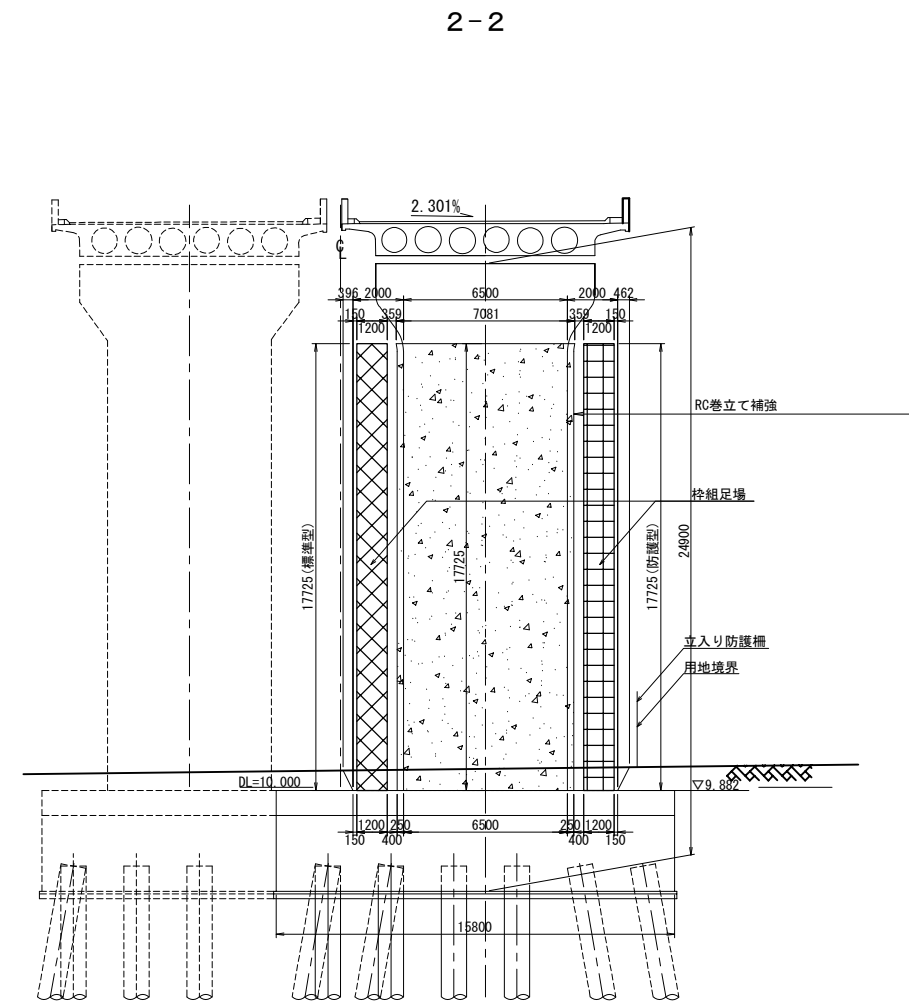
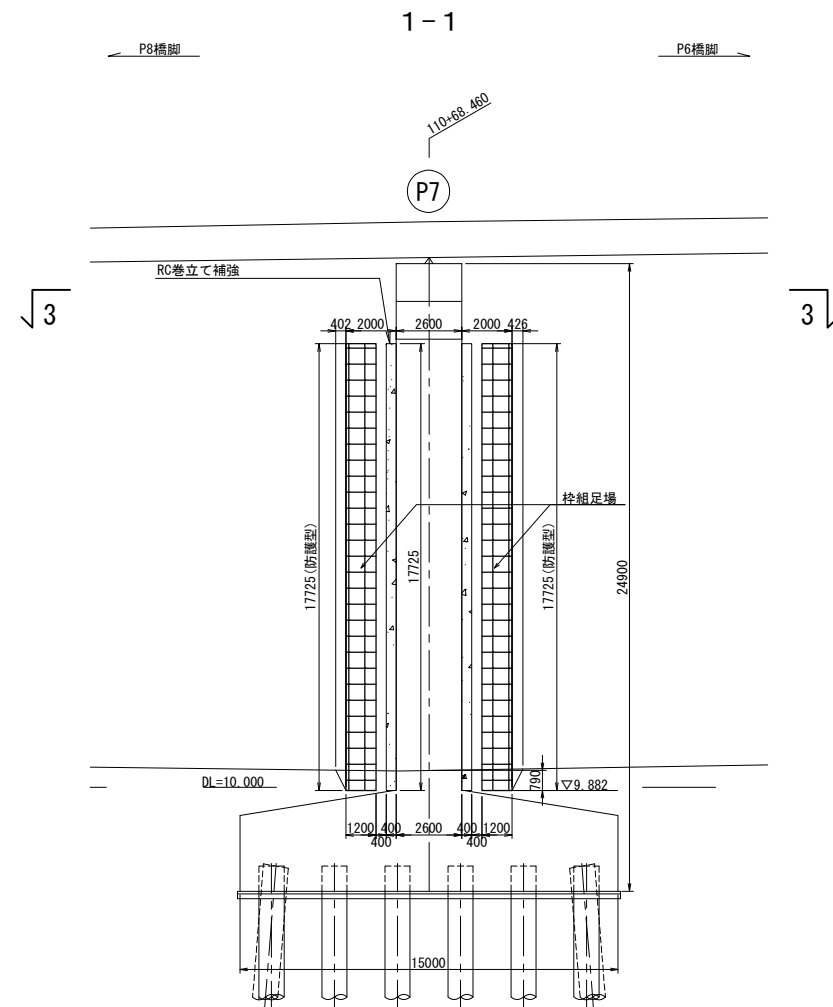
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P4橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚 足場工図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



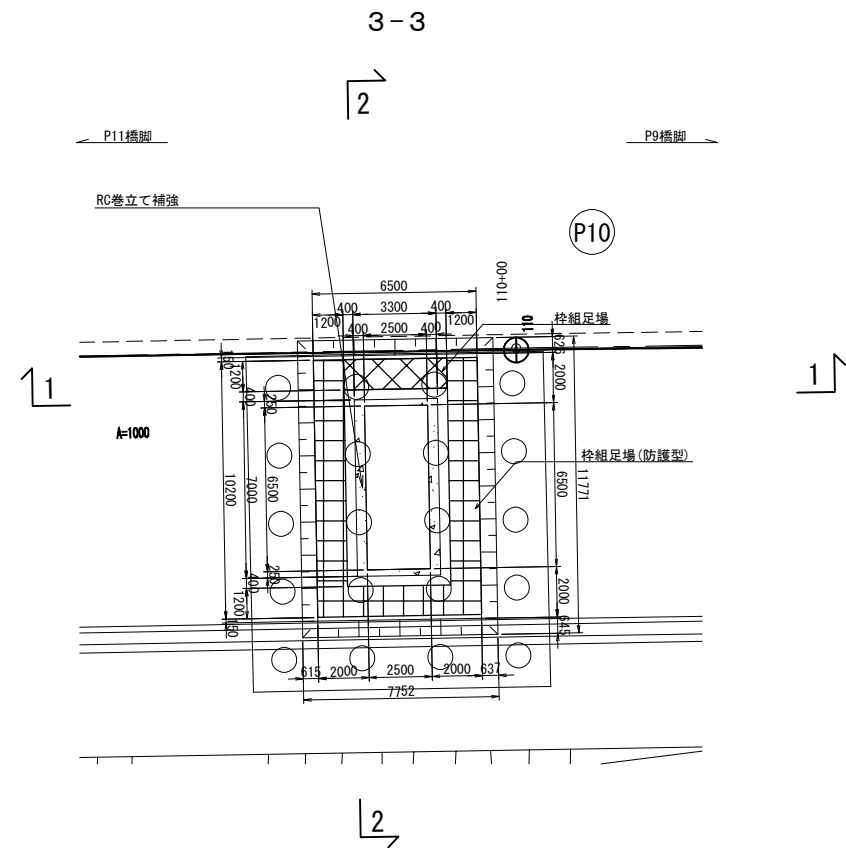
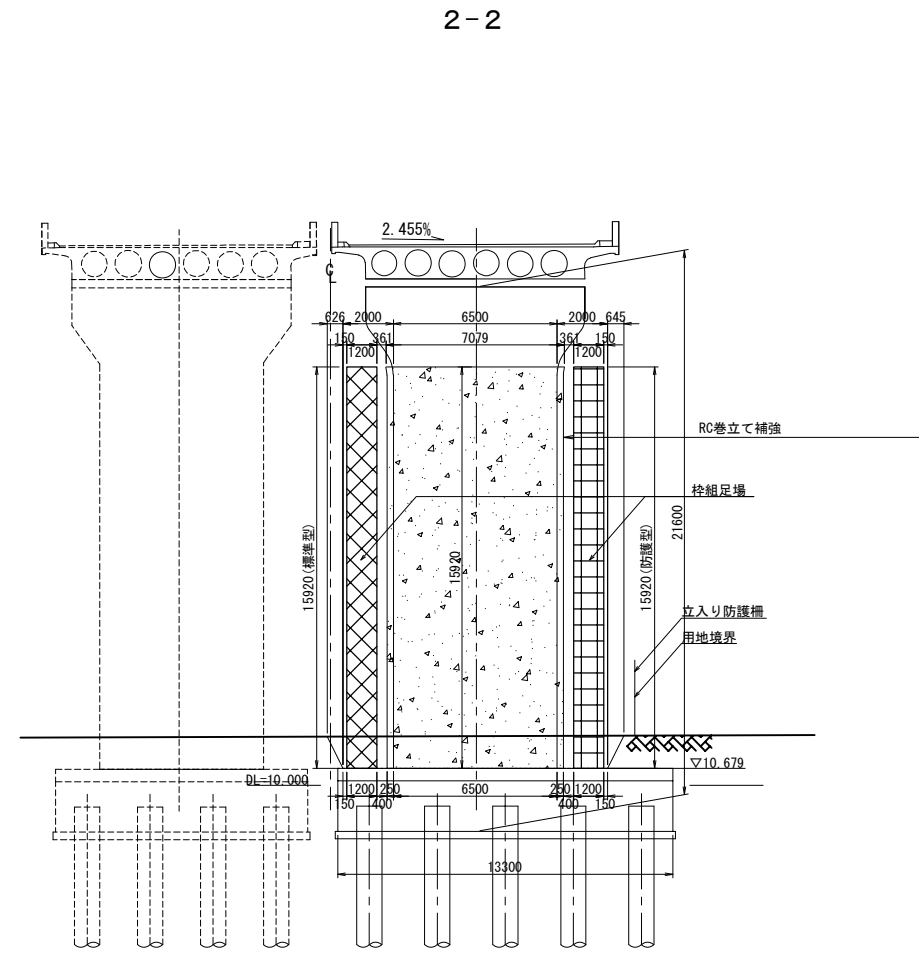
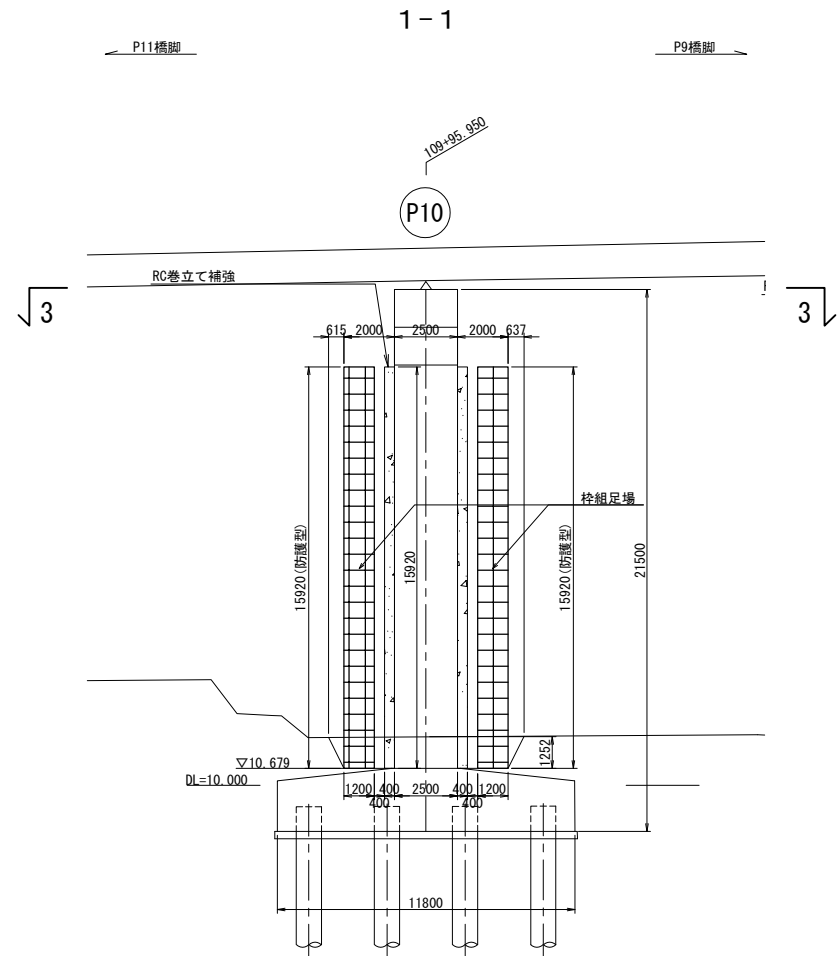
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P6橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



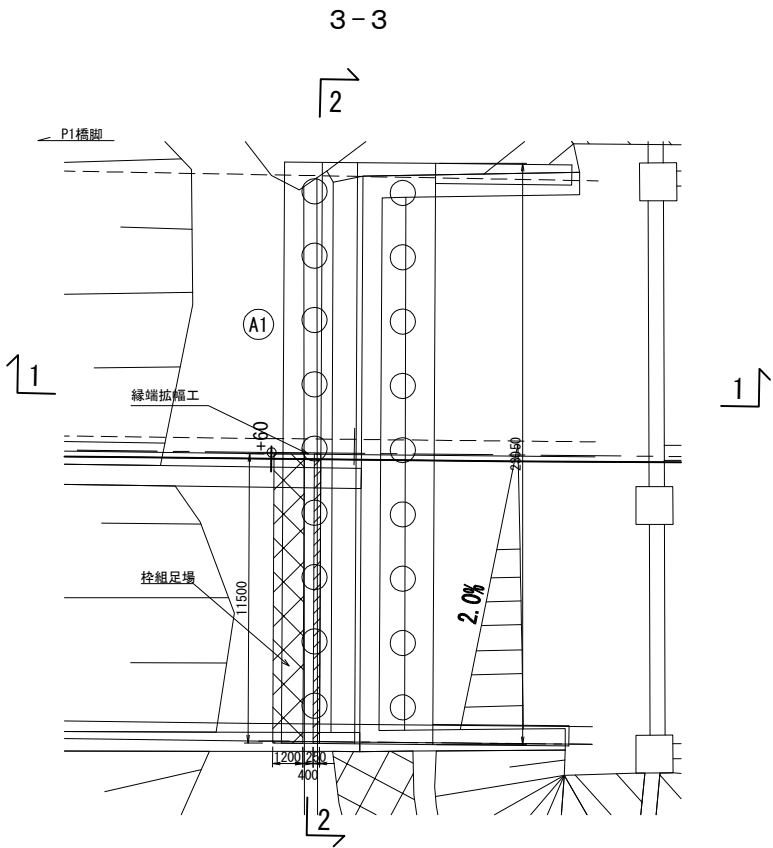
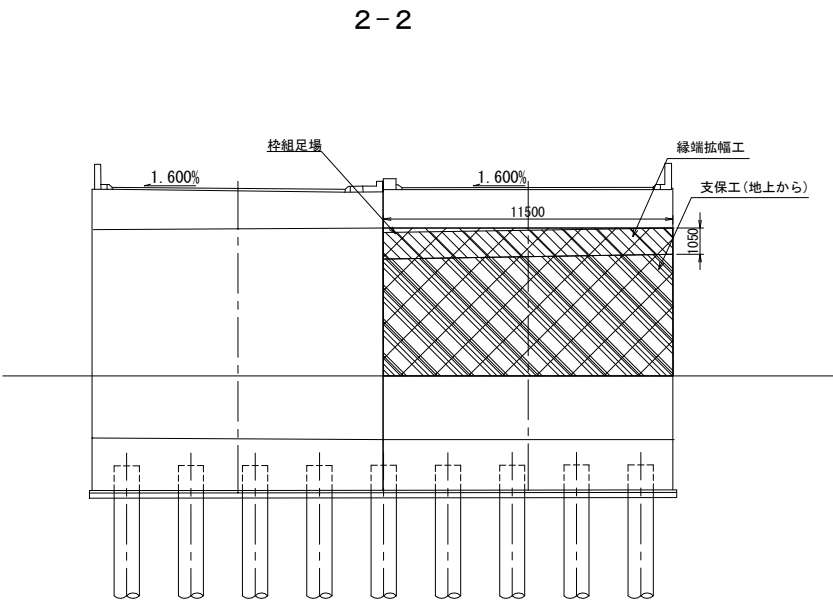
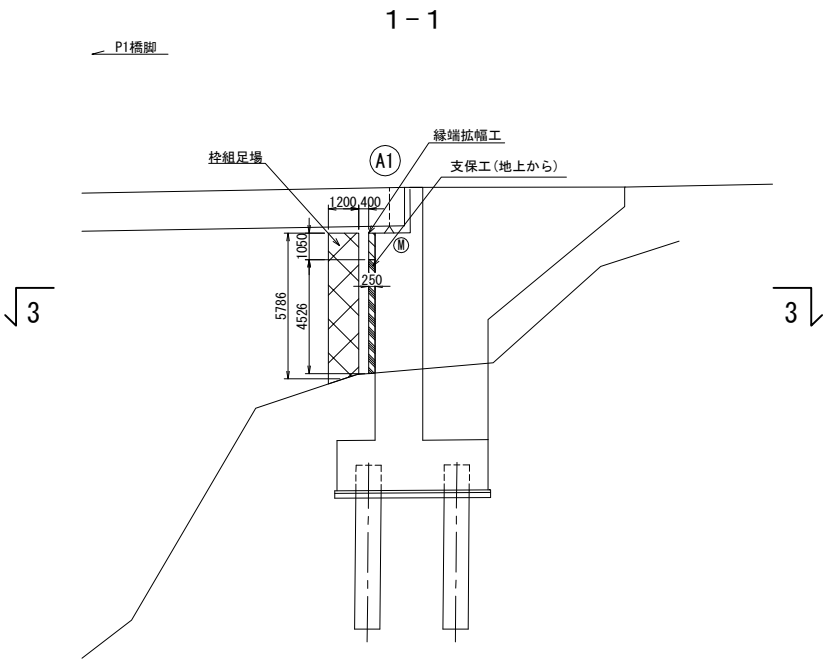
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



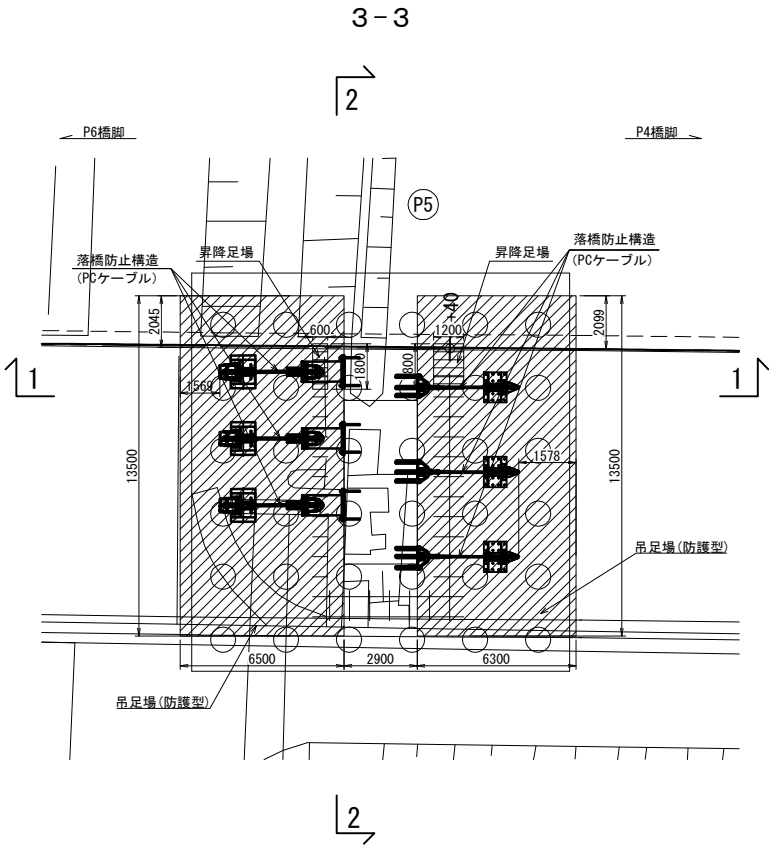
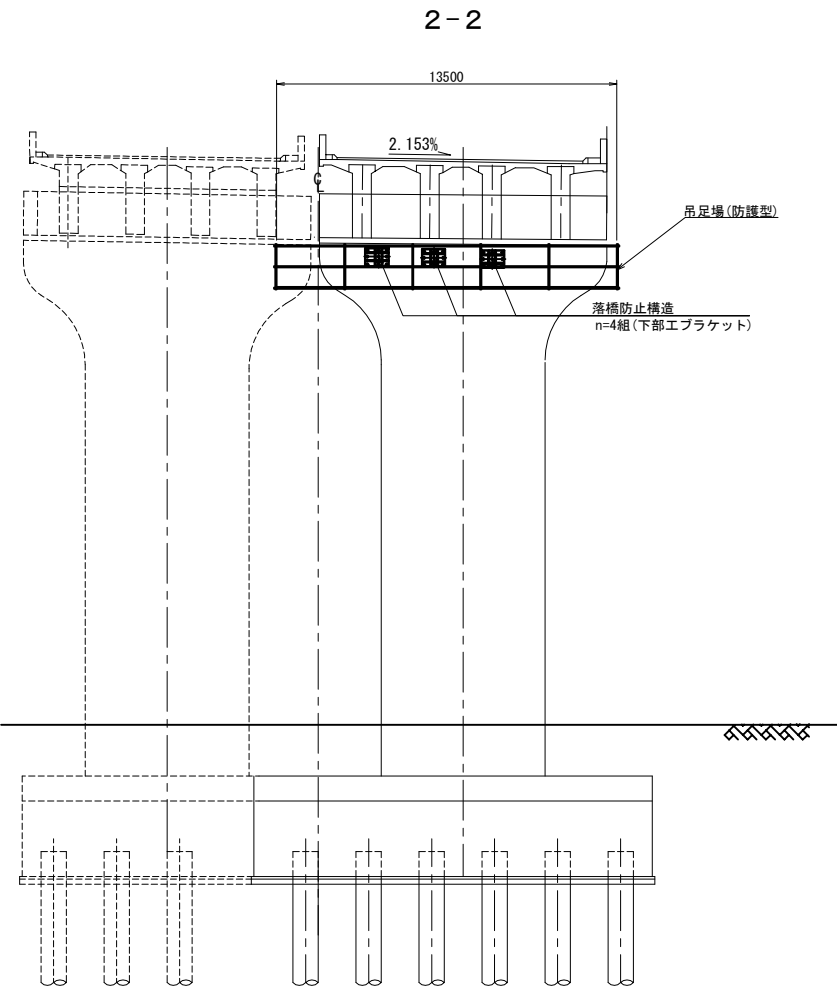
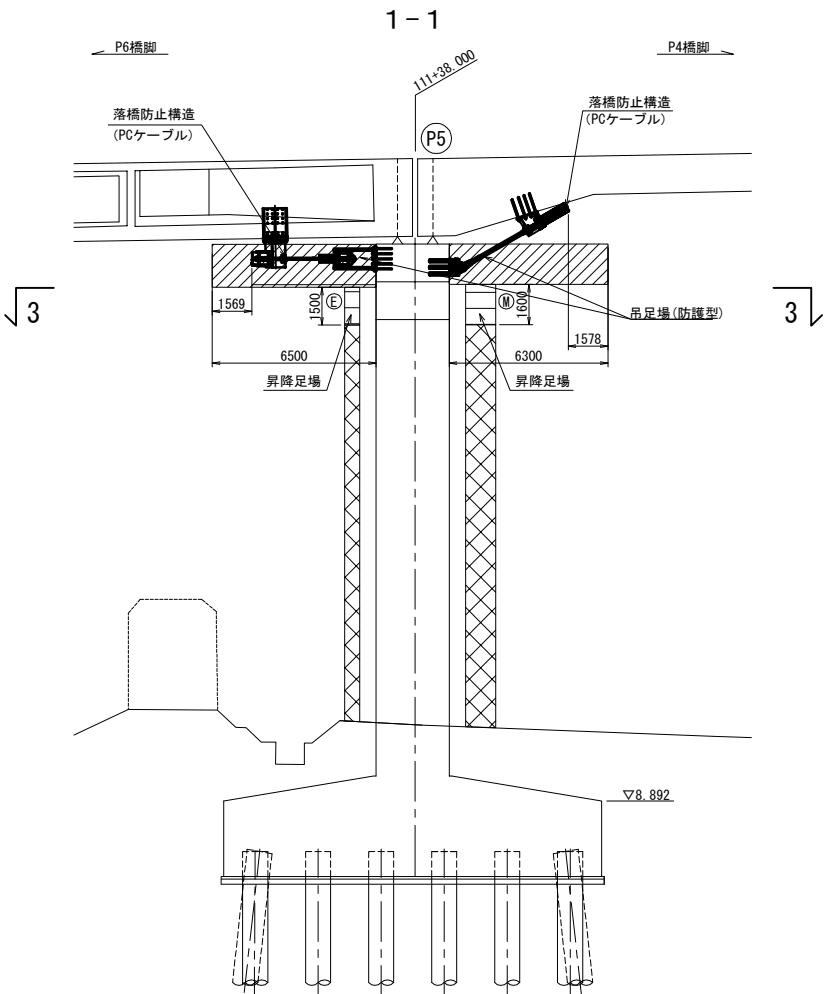
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類		戸田高架橋 P9橋脚 足場工図（参考図）	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



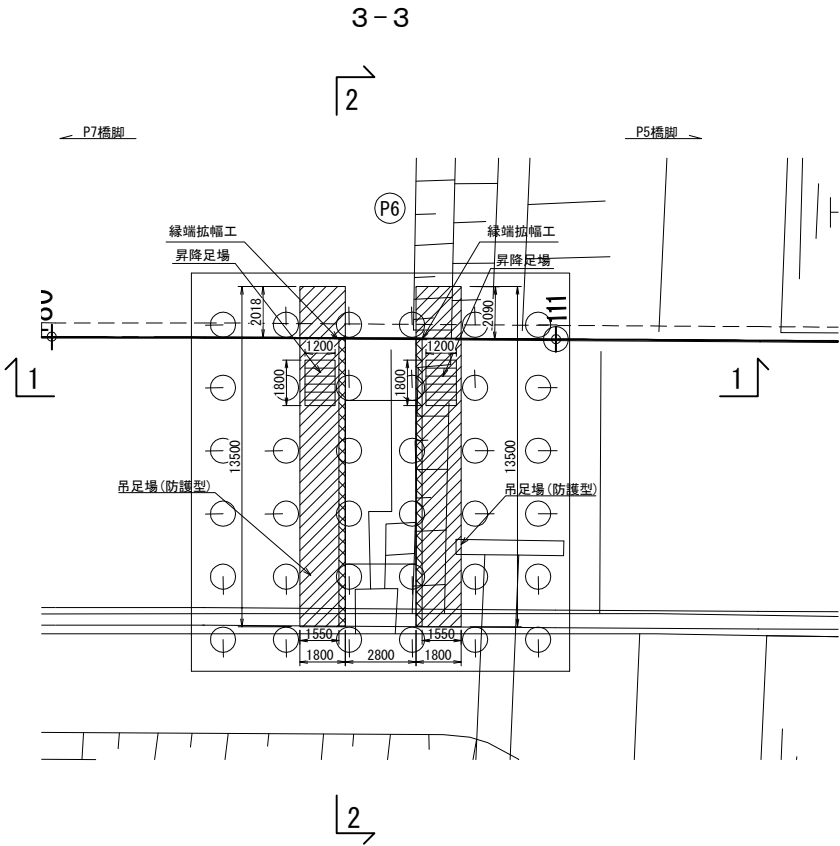
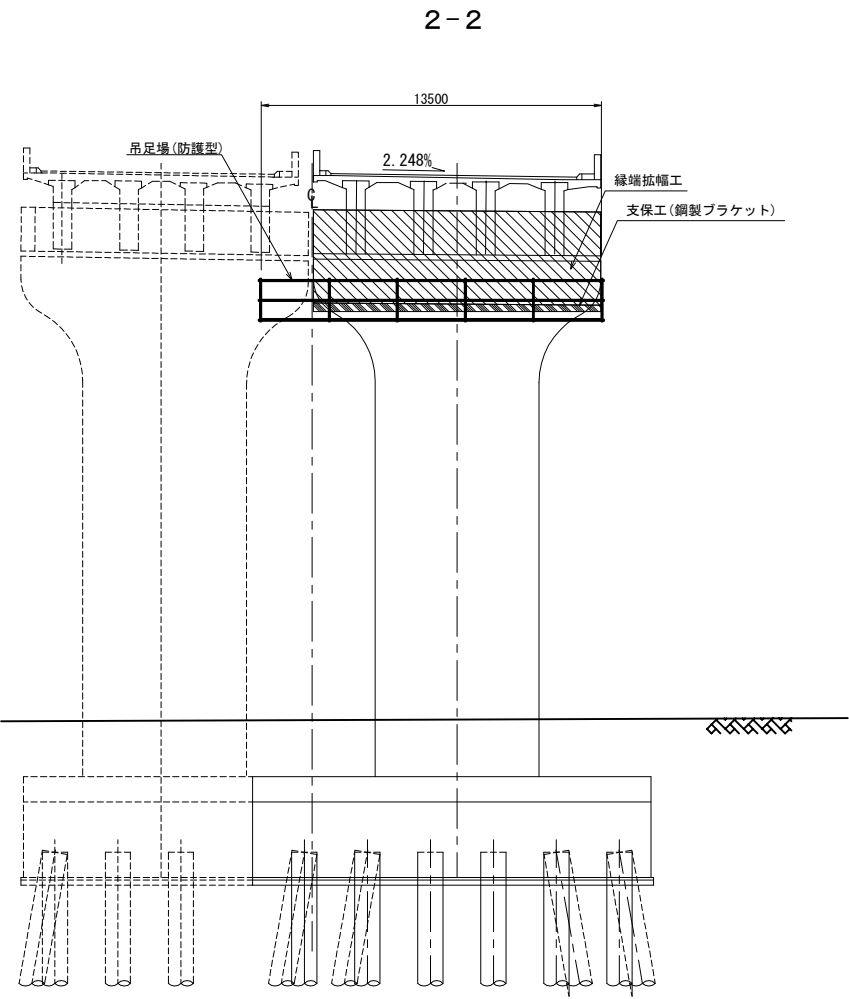
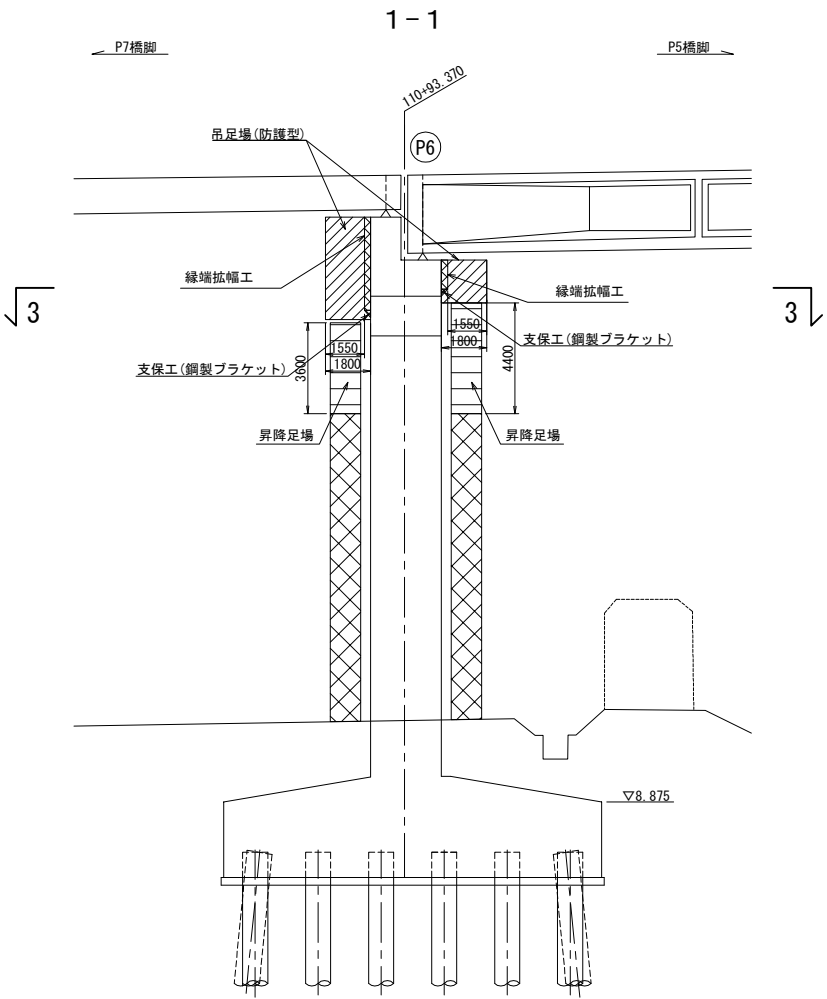
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



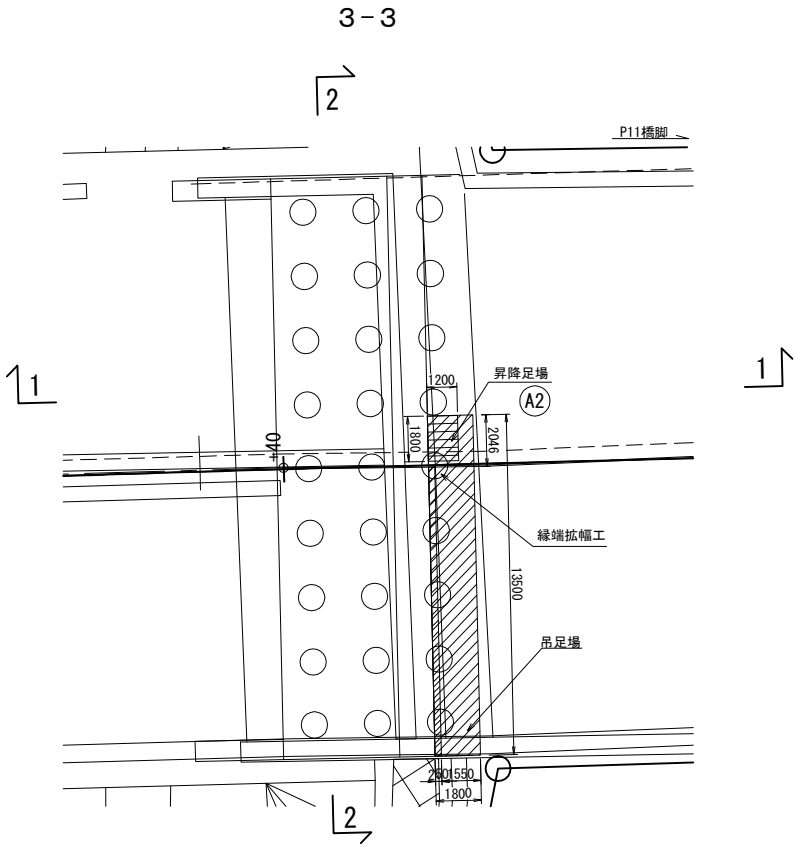
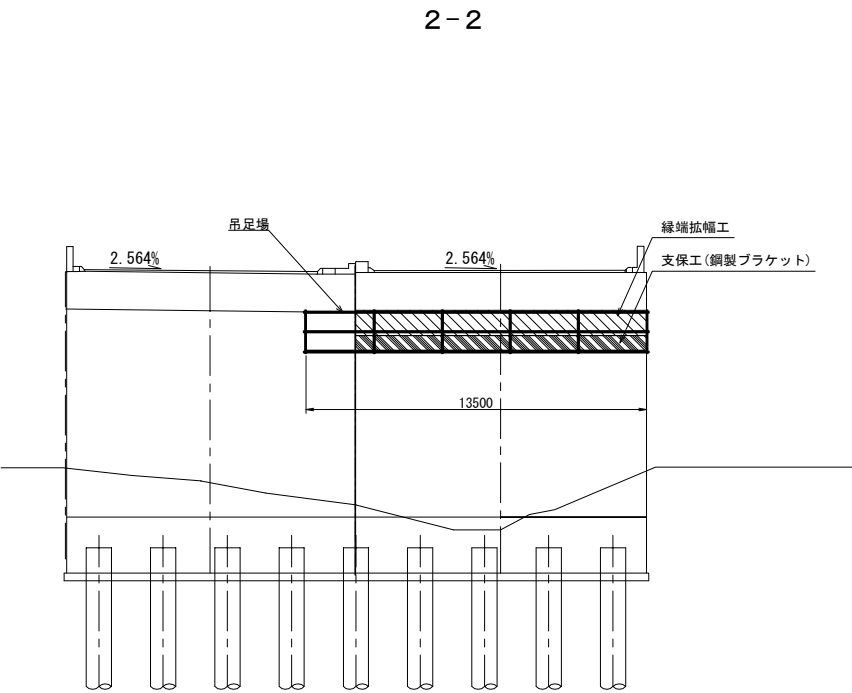
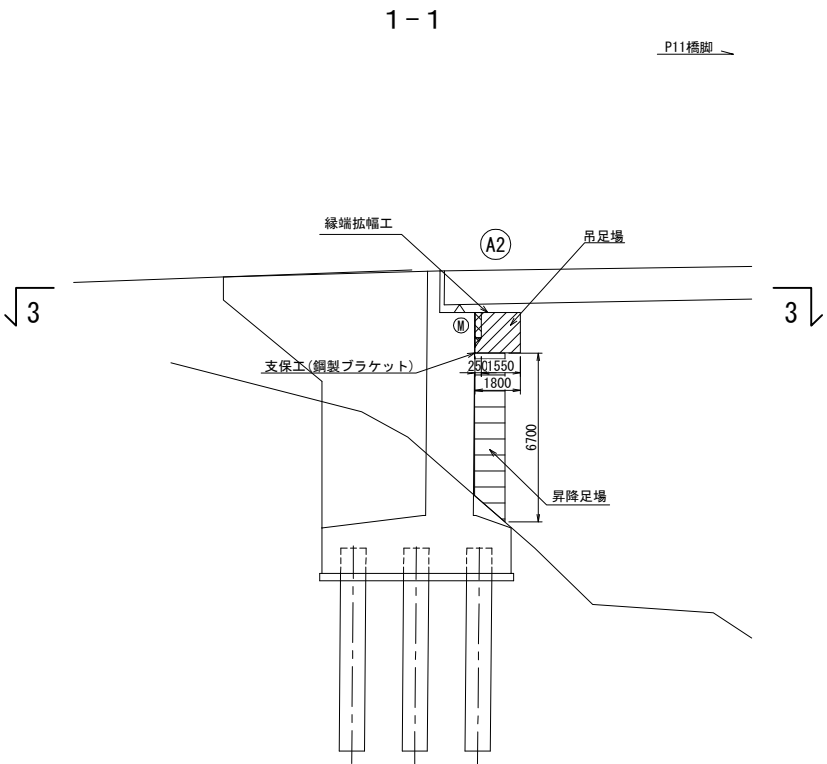
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 A1橋台		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



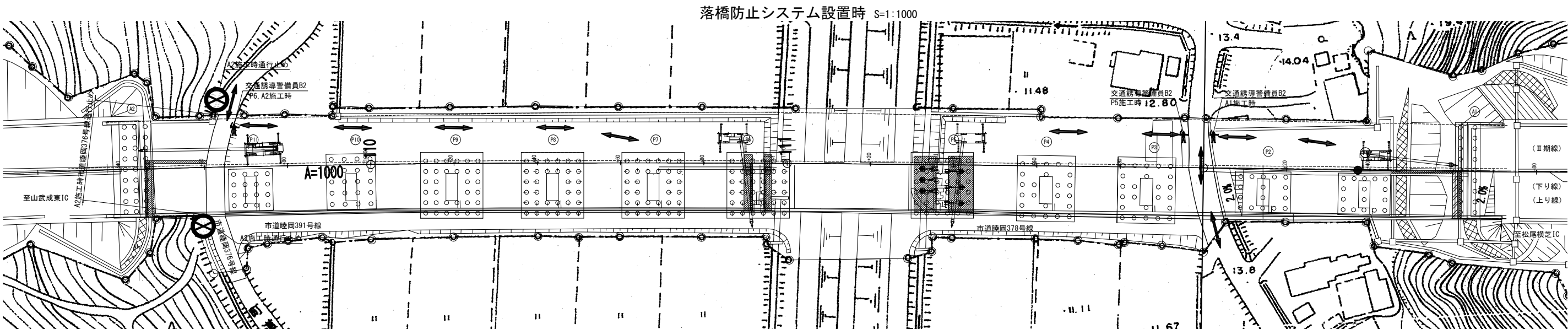
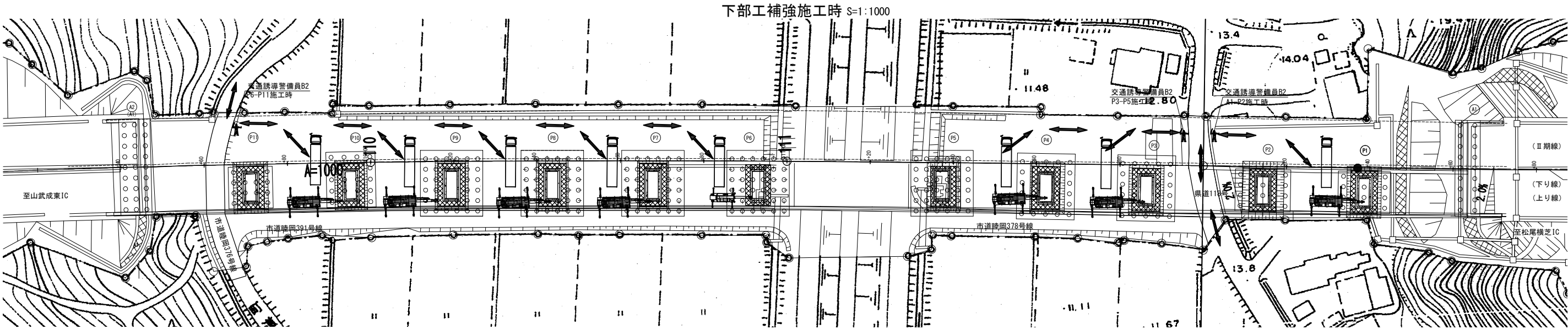
首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P6橋脚		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		



首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 A2橋台		
	上部工施工用足場工図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

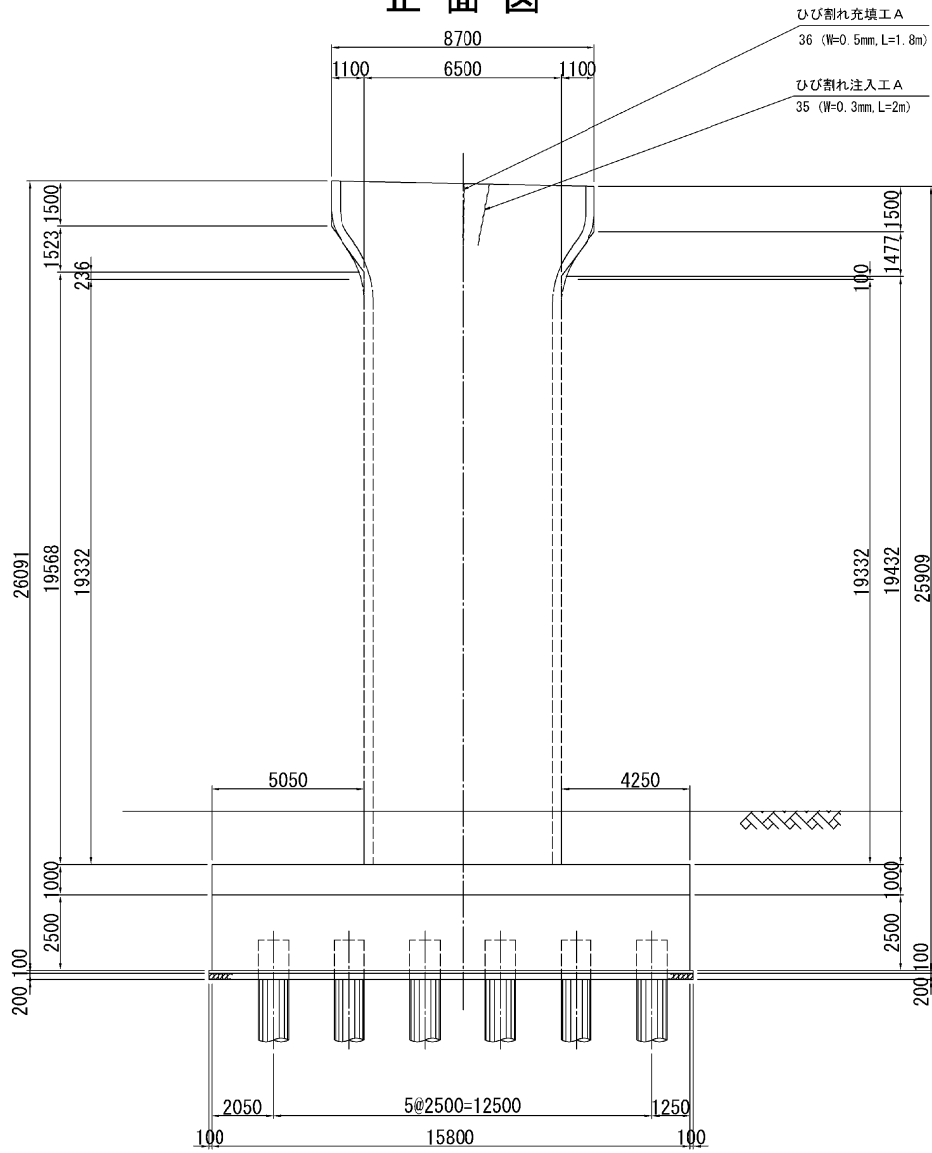


首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 交通保安要員配置図（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

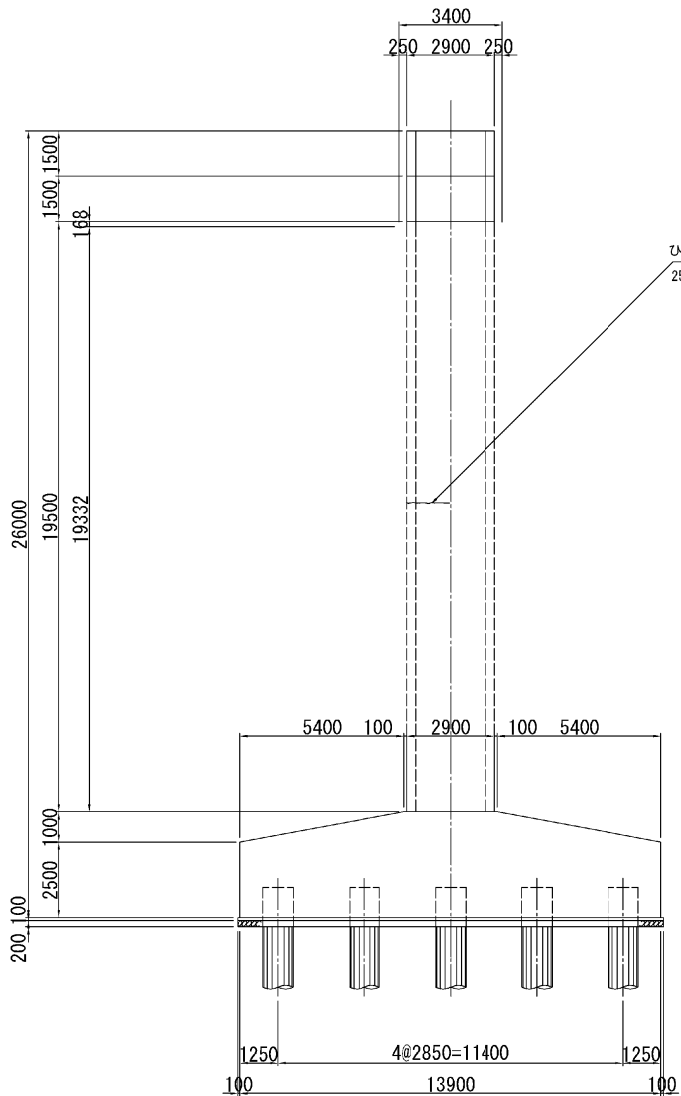
戸田高架橋 P4橋脚 補修図

S=1:250

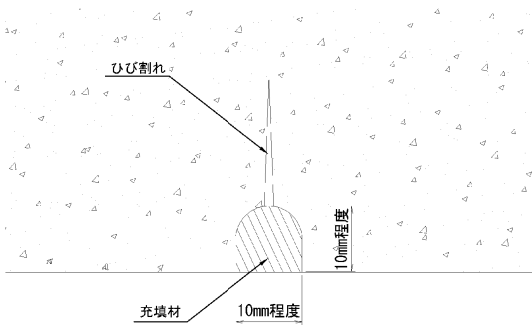
正面図



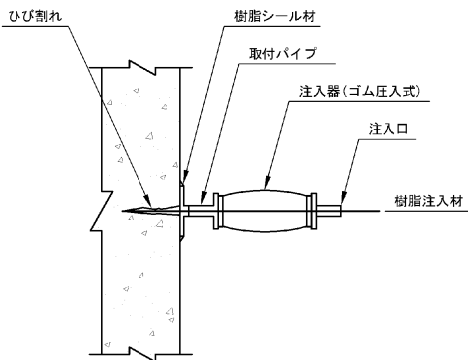
側面図



ひび割れ充填工 詳細図



ひび割れ注入工 詳細図 (参考図)



ひび割れ充填工 A 数量内訳表

損傷番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
25	橋脚柱	1.0	1.2	1	1.2	
36	橋脚張出梁	0.5	1.8	1	1.8	
合計					2	3.0

ひび割れ注入工 A 数量内訳表

損傷番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
35	橋脚張出梁	0.3	2.0	1	2.0	
合計					1	2.0

数量表

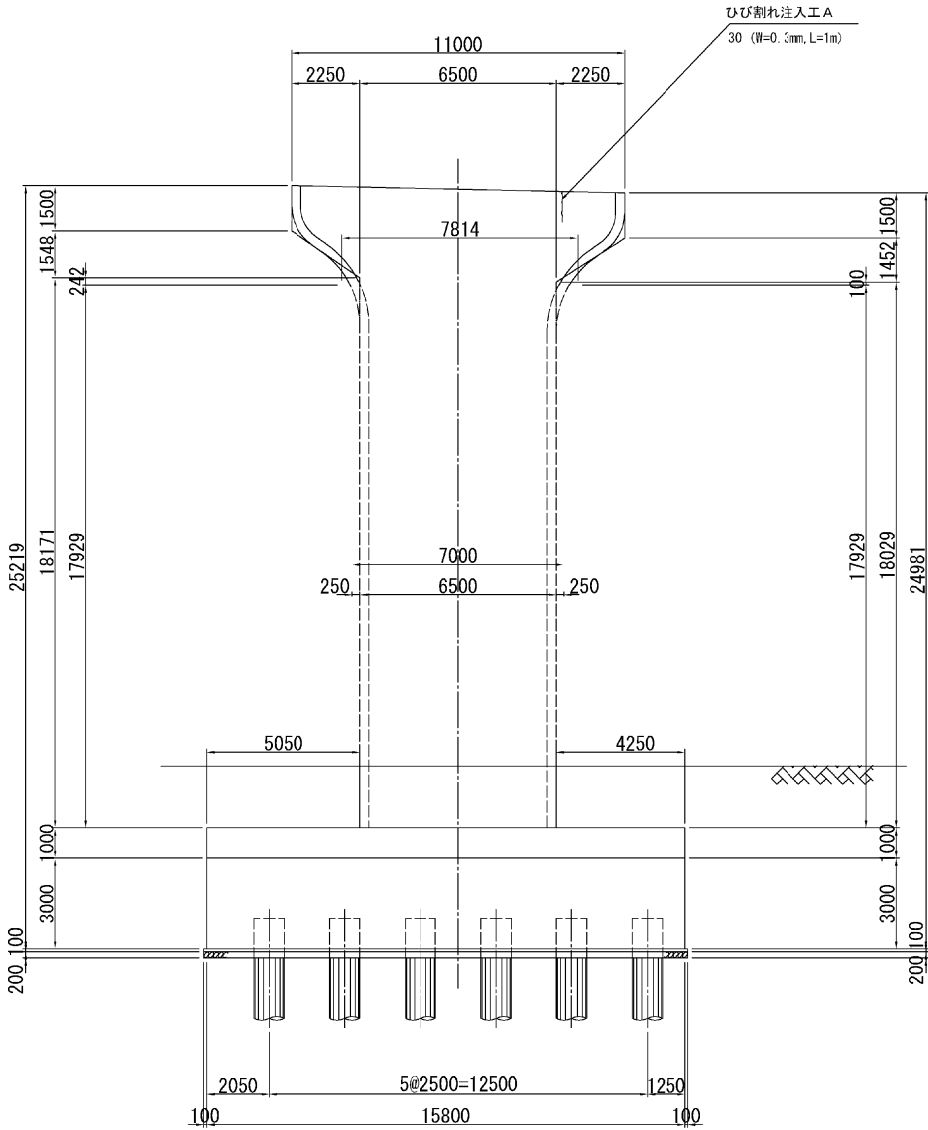
項目	単位	数量
ひび割れ充填工 A	m	3.0
ひび割れ注入工 A	m	2.0

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P4橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

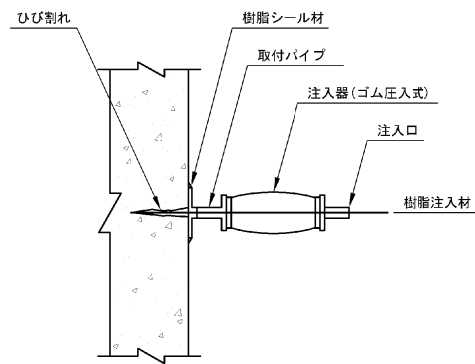
戸田高架橋 P5橋脚 補修図

S=1:250

正面図



ひび割れ注入工 詳細図 (参考図)



ひび割れ注入工 A 数量内訳表

損傷 番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ 延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
30	橋脚張出梁	0.3	1.0	1	1.0	
合計				1	1.0	

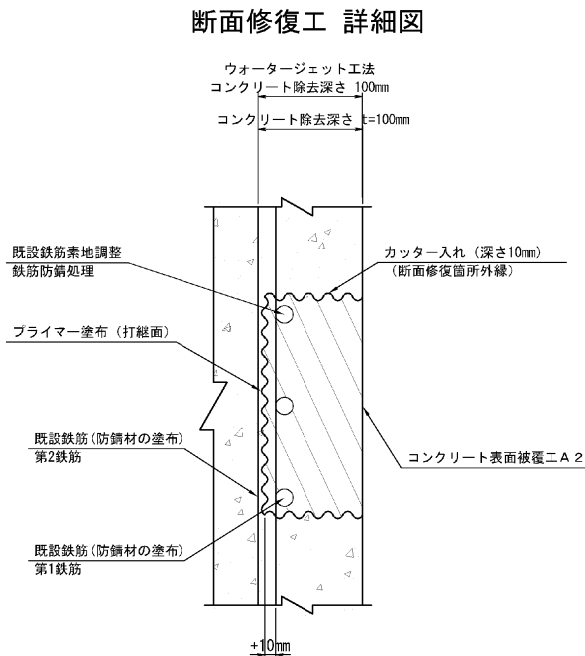
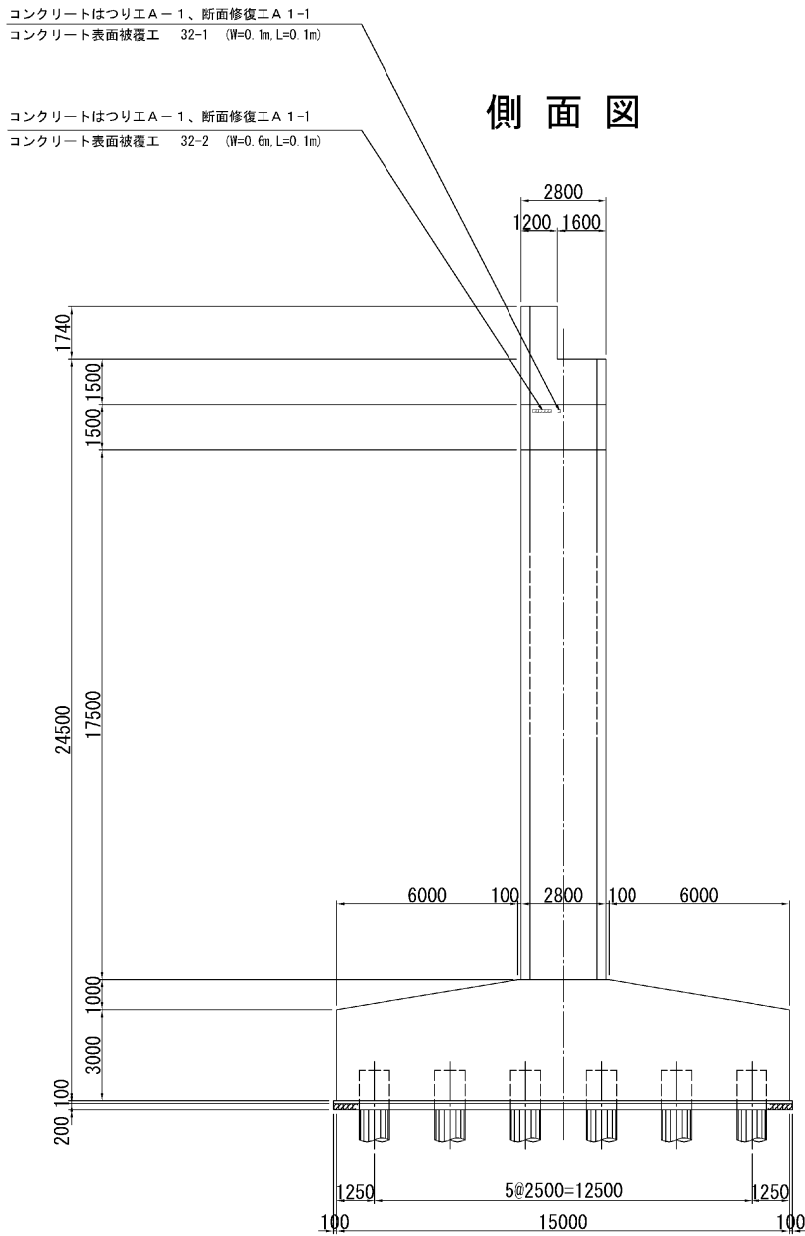
数量表

項目	単位	数量
ひび割れ注入工 A	m	1.0

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P5橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

戸田高架橋 P6橋脚 補修図

S=1:250



コンクリートはつりエ A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷 番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター 延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (m ²)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (m ²)	深さ (m)	
32-1	橋脚張出梁	100×100	0.100	0.100	0.100	1	0.400	0.010	1.000	0.010	0.100	
32-2	橋脚張出梁	600×100	0.600	0.100	0.100	1	1.400	0.060	6.000	0.060	0.100	
合計						2	1.800	0.070	7.000	0.070	0.100	

合計	箇所	2
	カッター延長 (m)	1.800
	コンクリートはつりエ A-1 (m ³)	0.007
	断面修復工 A 1 (L)	7.000
	コンクリート表面被覆工 (m ²)	0.070

数量表

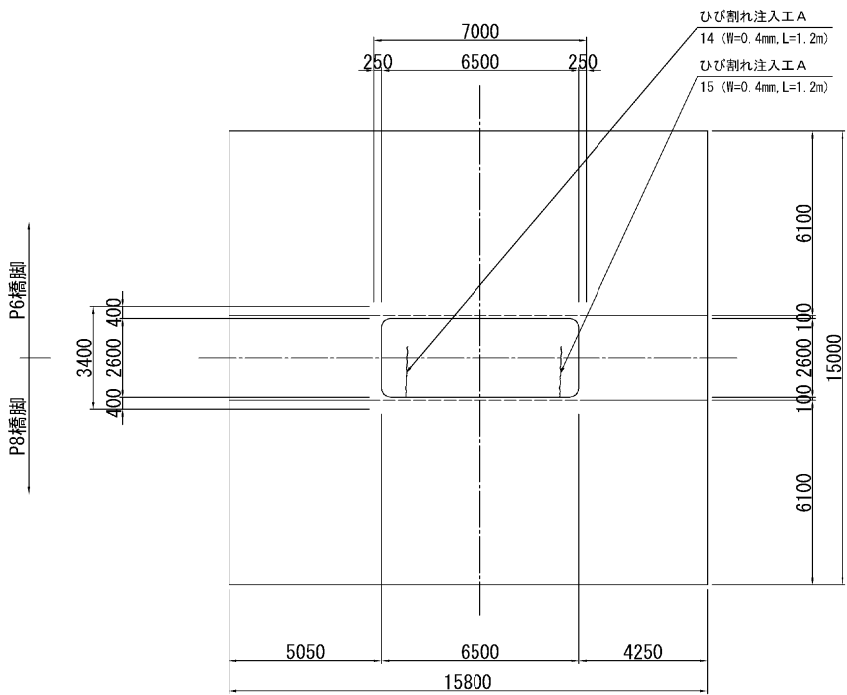
項目	単位	数量
コンクリートはつりエ A-1	m ³	0.007
断面修復工 A 1-1	L	7.000
表面保護工 コンクリート表面被覆工	m ²	0.070

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P6橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

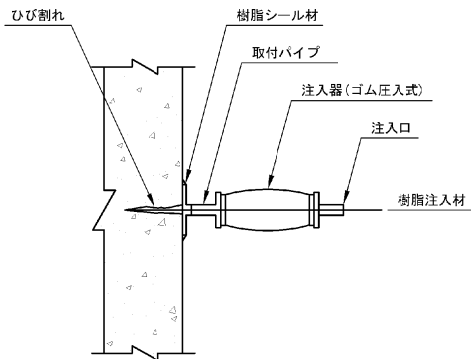
戸田高架橋 P7橋脚 補修図

S=1:250

平面図



ひび割れ注入工 詳細図 (参考図)



ひび割れ注入工 A 数量内訳表

損傷 番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ 延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
14	橋台前面	0.4	1.2	1	1.2	
15	橋台前面	0.4	1.2	1	1.2	
合計				2	2.4	

数量表

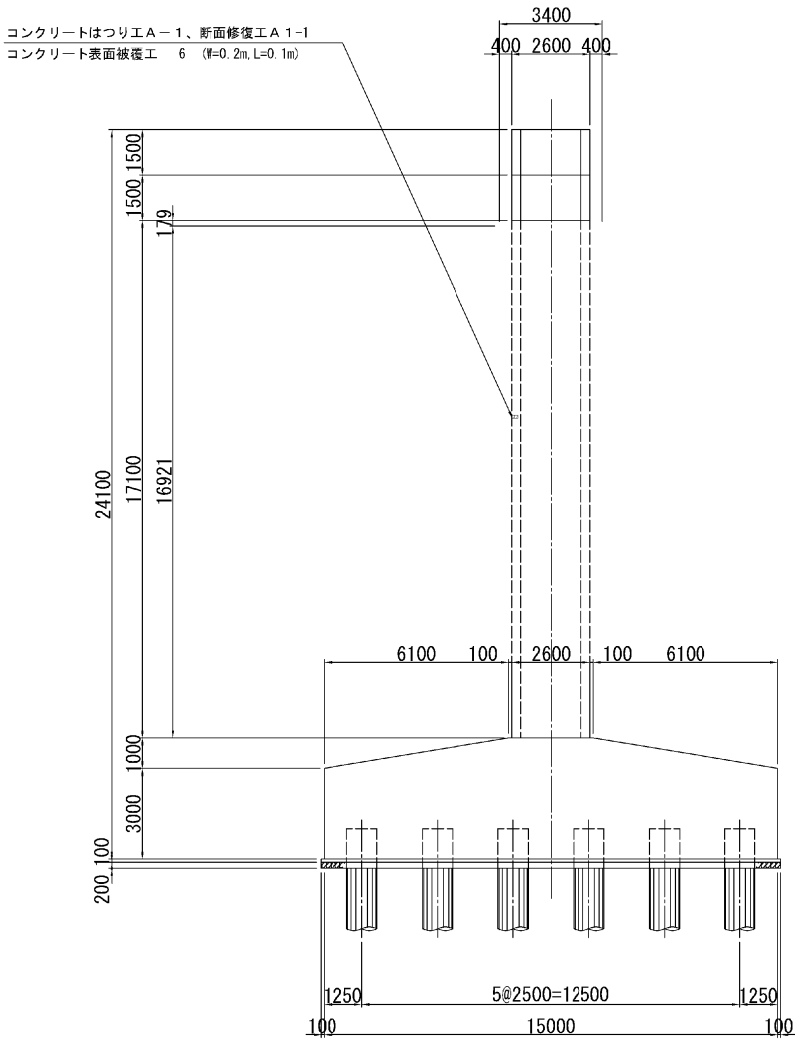
項目	単位	数量
ひび割れ注入工 A	m	2.4

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P7橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

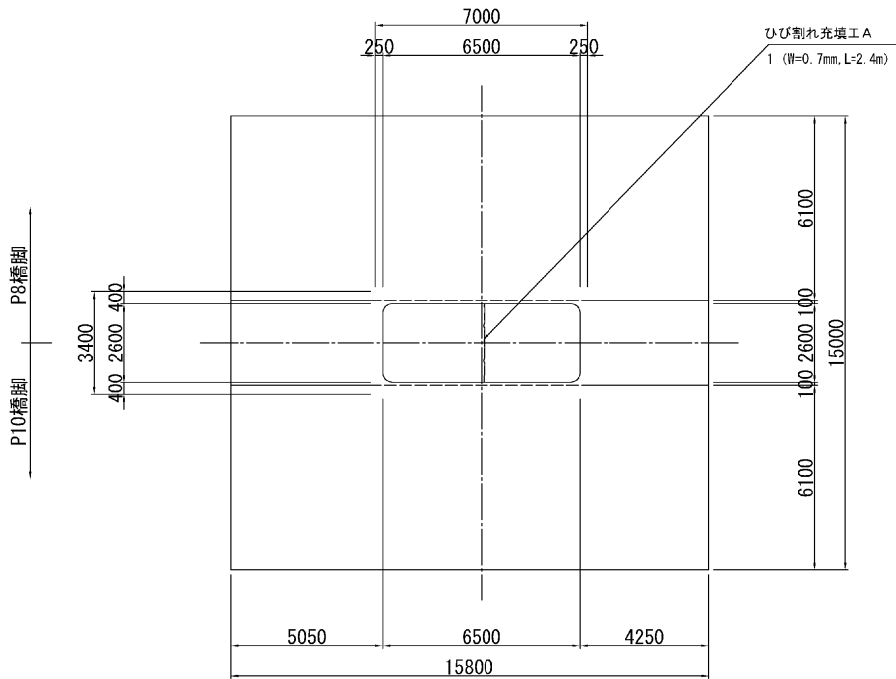
戸田高架橋 P9橋脚 補修図

S=1:250

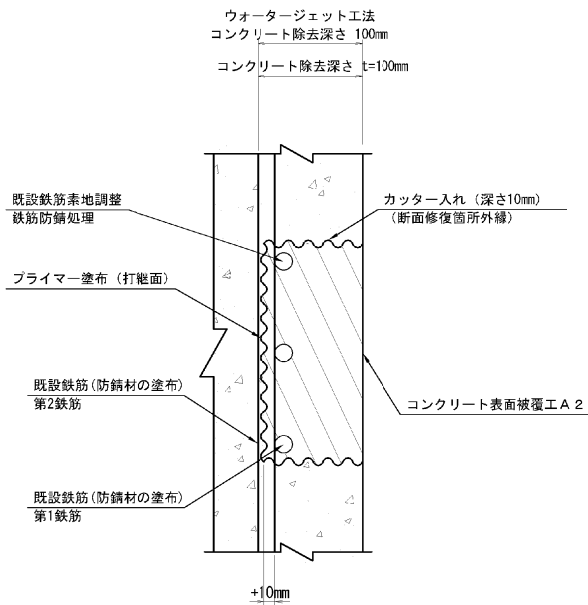
側面図



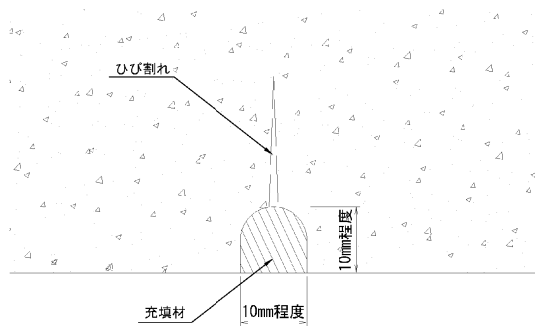
平面図



断面修復工 詳細図



ひび割れ充填工 詳細図



コンクリートはつりエ A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター延長 (m)	面積 (m ²)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (m ²)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (m ²)	長さ (m)	
6	橋脚柱	200×100	0.200	0.100	0.100	I	0.600	0.020	2.000	0.020	0.100	
合計												

合計	箇所	I
	カッター延長 (m)	0.600
	コンクリートはつりエ A-1 (m ³)	0.002
	断面修復工 A 1-1 (L)	2.000
コンクリート表面被覆工 (m ²)		0.020

ひび割れ充填工 A 数量内訳表

損傷番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
1	宥座面	0.7	2.4	1	2.4	
合計				1	2.4	

数量表

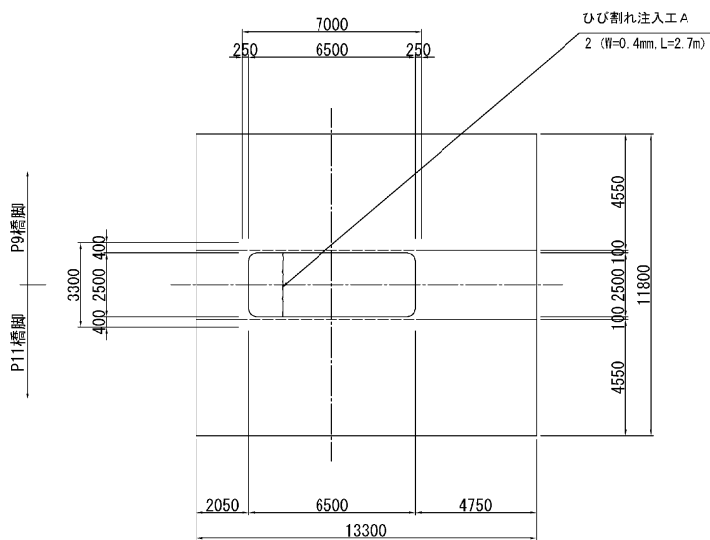
項目	単位	数量
ひび割れ充填工 A	m	2.4
コンクリートはつりエ A-1	m ³	0.002
断面修復工 A 1-1	L	2.000
表面保護工 コンクリート表面被覆工	m ²	0.020

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P9橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

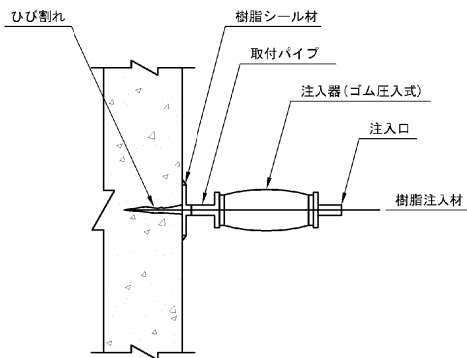
戸田高架橋 P10橋脚 補修図

S=1:250

平面図



ひび割れ注入工 詳細図 (参考図)



ひび割れ注入工 A 数量内訳表

損傷 番号	部材名	ひび割れ		箇所	ひび割れ 延長 (m)	備考
		幅 (mm)	長さ (m)			
2	橋台前面	0.4	2.7	1	2.7	
合計				1	2.7	

数量表

項目	単位	数量
ひび割れ注入工 A	m	2.7

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P10橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		

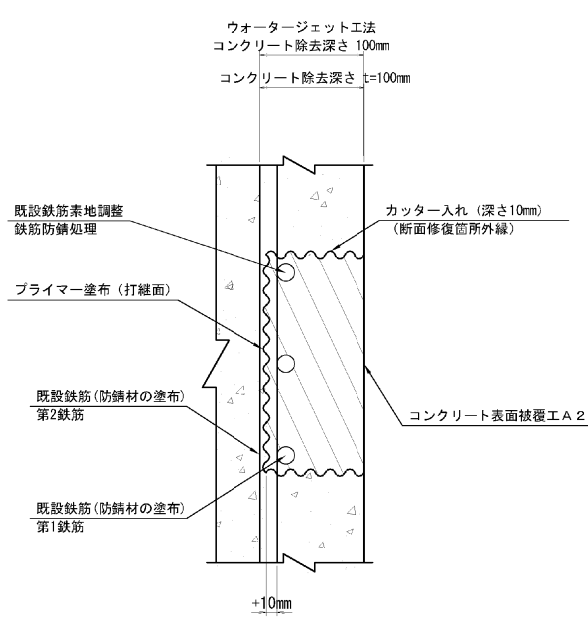
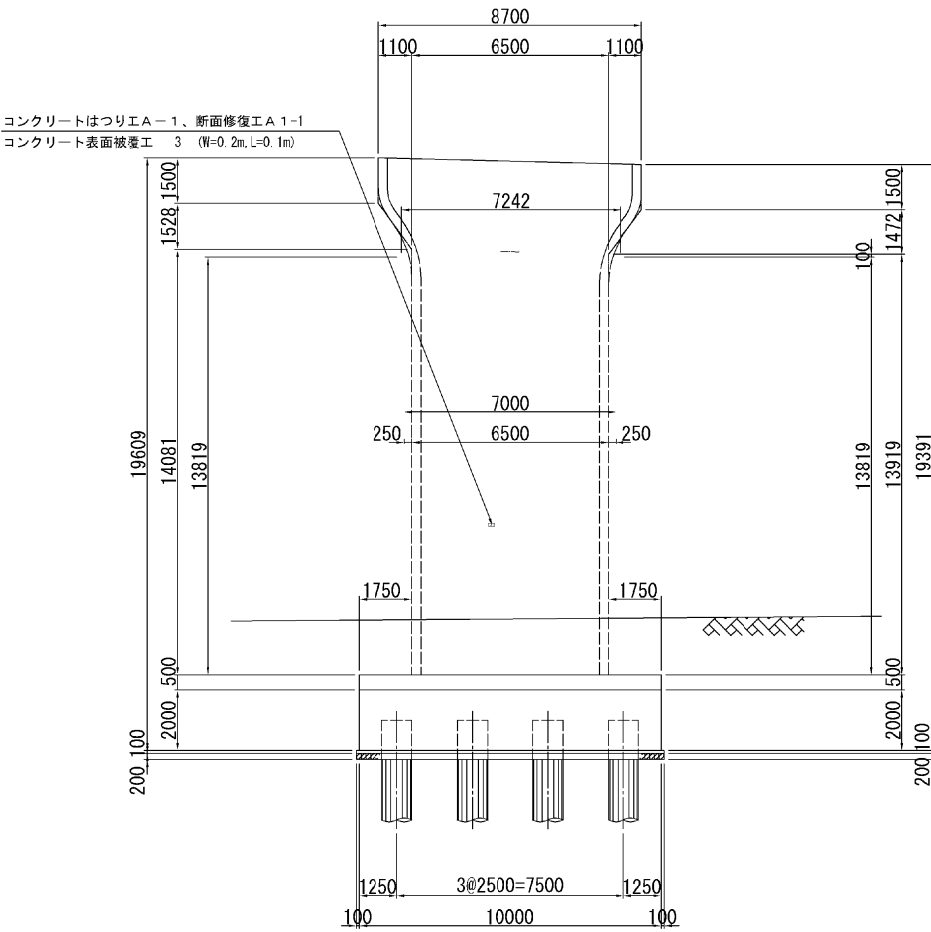
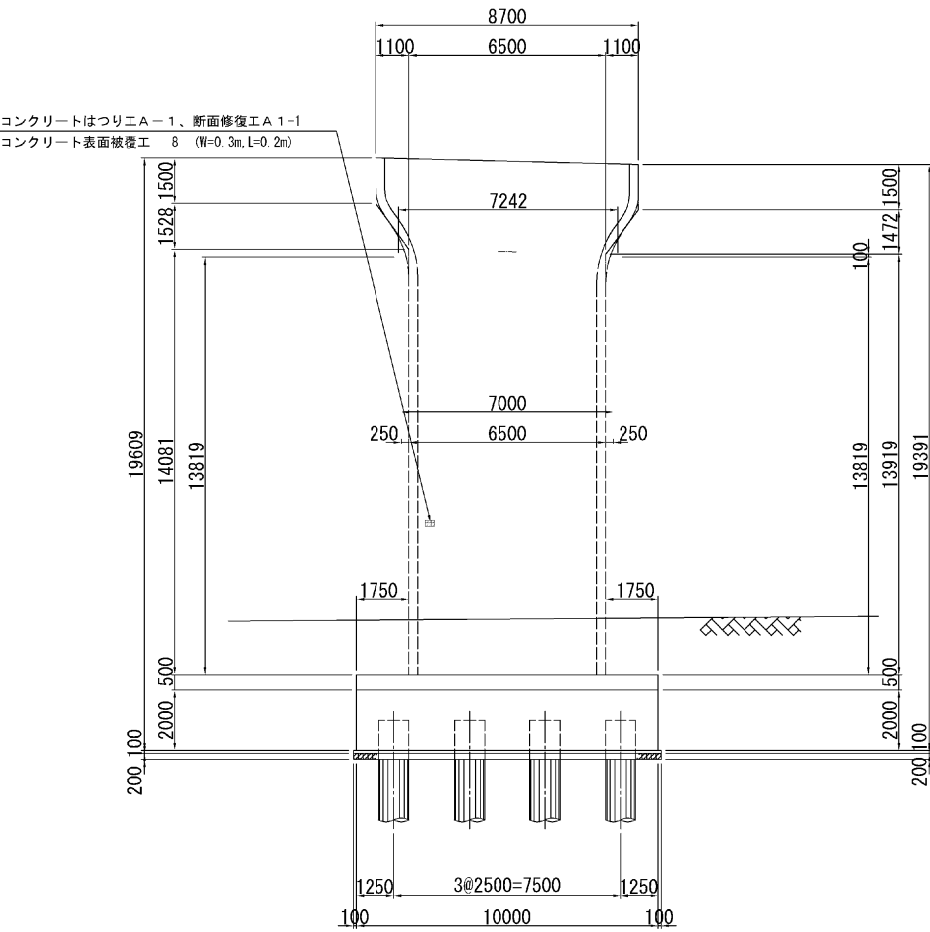
戸田高架橋 P11橋脚 補修図

S=1:250

正面図

背面図

断面修復工 詳細図



コンクリートはつりエ A-1、断面修復工 A 1-1、表面保護工 コンクリート表面被覆工 数量内訳表

損傷 番号	部材名	損傷形状	補修寸法			箇所	カッター 延長 (m)	面積 (㎡)	体積 (L)	はつり WJ 工法 数量 (m ²)		備考
			幅 (m)	長さ (m)	深さ (m)					数量 (m ²)	深さ (m)	
3	橋脚柱	200×100	0.200	0.100	0.100	1	0.600	0.020	2.000	0.020	0.100	
8	橋脚柱	300×200	0.300	0.200	0.100	1	1.000	0.060	6.000	0.060	0.100	
合計						2	1.600	0.080	8.000	0.080	0.100	

合計	箇所	2
	カッター延長 (m)	1.600
	コンクリートはつりエ A-1 (m ³)	0.008
	断面修復工 A 1-1 (L)	8.000
コンクリート表面被覆工 (㎡)		0.080

数量表

項目	単位	数量
コンクリートはつりエ A-1	m ³	0.008
断面修復工 A 1-1	L	8.000
表面保護工 コンクリート表面被覆工	㎡	0.080

首都圏中央連絡自動車道 戸田高架橋耐震補強工事			
図面の種類	戸田高架橋 P11橋脚 補修図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	日本工営株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 市原管理事務所		